

沼津市文化財調査報告書 第113集

中原遺跡発掘調査報告書

第3分冊

調査の成果・遺物観察表・写真図版

2016

沼津市教育委員会



3区第6号竪穴住居址出土土器



8区第7・17号竪穴住居址出土土器

巻頭カラー図版 2



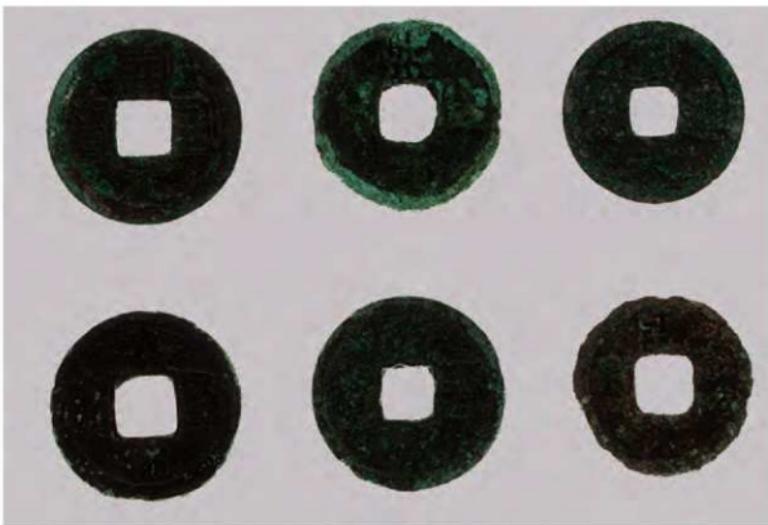
6区第5号竪穴住居址出土土器



4区第11号竪穴住居址出土土器

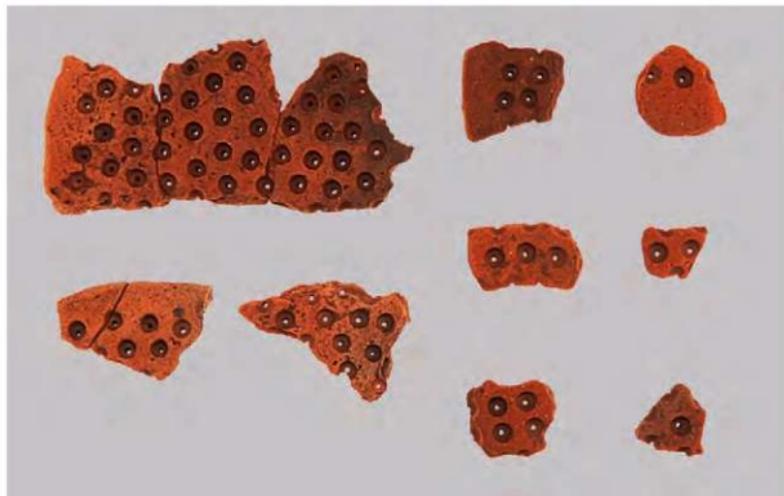


4区第15号竪穴住居址出土土器

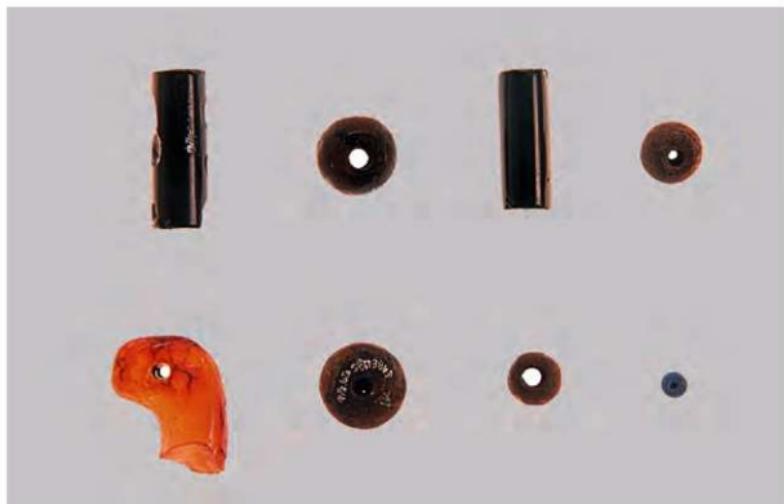


古銭

巻頭カラー図版 4



ガラス小玉鋳型



玉製品

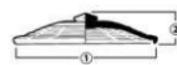
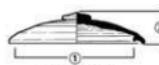
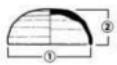
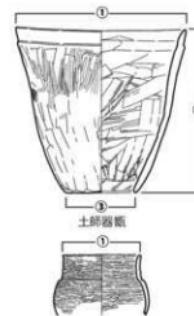
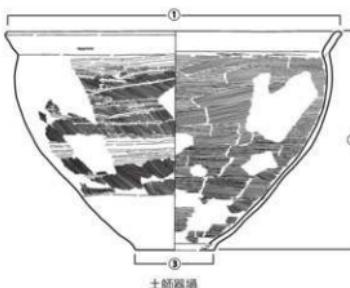
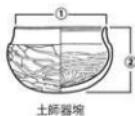
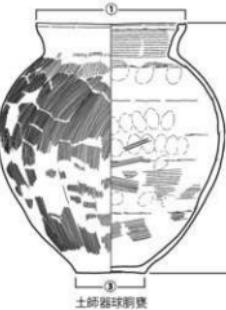
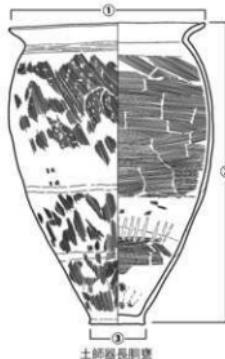
例 言

1. 本書は静岡県沼津市原字一本松他に所在する中原遺跡の発掘調査報告書（第3分冊）である。第3分冊は調査の成果・遺物観察表・写真図版を掲載している。その他、調査に関する例言は、第1分冊を参照していただきたい。

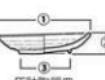
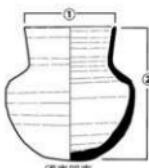
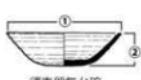
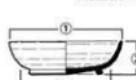
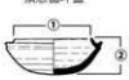
凡 例

1. 方位は国家座標の真北方位で、座標値は世界測地系に準拠している。標高は海拔高を表す。
2. 遺構名の記載は例のとおりに統一した。なお、各区の報告において、8・5区を除いては、調査区名は省略した。 例) 3区第1号竪穴住居址：3-SB1
3. 遺構の略号は、次のとおりである。

SB：竪穴住居址	SH：掘立柱建物址
SD：溝状遺構	SK：土坑
PT：ピット	P：柱穴
SX：不明遺構	
4. 観察表の図版番号について、3区・8区・5区・6区の出土遺物は第1分冊の図版番号に、4区・7区の出土遺物は第2分冊の図版番号にそれぞれ対応している。
5. 土器胎土の色調・記号は、新版標準土色帖に基づいて記載し、計測は土色計（SCR-1 第一合成株式会社製）を用いた。
6. 本遺跡で用いる時期区分は鈴木敏則氏の遠江須恵器編年（鈴木敏則 2001・2004）を用い、本文では遠江と略す。おおよその時期の対応は第1分冊の凡例を参照。



土师器小型壺



①口径
②器高
③底部

目 次

巻頭カラー図版

例言

凡例

第IX章 調査の成果

第1節 中原遺跡の竪穴住居址と出土土器	1
第2節 その他出土遺物の概要	10
第3節 成果と課題	16
遺物観察表	20

写真図版

報告書抄録

奥付

挿図目次

第 1 図	時期別 SB 遺構の規模と主軸方位	4
第 2 図	7世紀前半の出土土器	5
第 3 図	7世紀後半～末葉の出土土器	6
第 4 図	8世紀前半の出土土器	8
第 5 図	8世紀中葉～後半の出土土器	9
第 6 図	区分別 SH 遺構検出状況図	10
第 7 図	中原遺跡出土鐵製品編年図	12
第 8 図	中原遺跡出土石製品・土製品・銅製品編年図	13
第 9 図	SD 遺構および遺構外出土鐵製品	14
第 10 図	中原遺跡出土のガラス小玉鋲型	15
第 11 図	東駿河地域における古墳時代後期～奈良平安時代の遺跡分布と推定街道	16

挿表目次

第 1 表	SB 遺構時期別計測一覧表（1）	2
第 2 表	SB 遺構時期別計測一覧表（2）	3
第 3 表	東駿河地域における古墳時代後期～奈良平安時代の遺跡消長表	17
第 4 表	3区土器観察表（1）	20
第 5 表	3区土器観察表（2）	21
第 6 表	3区土器観察表（3）	22
第 7 表	3区土器観察表（4）	23
第 8 表	8区土器観察表（1）	23
第 9 表	8区土器観察表（2）	24
第 10 表	8区土器観察表（3）	25
第 11 表	8区土器観察表（4）	26
第 12 表	8区土器観察表（5）	27
第 13 表	5区土器観察表（1）	27
第 14 表	5区土器観察表（2）	28
第 15 表	5区土器観察表（3）	29
第 16 表	6区土器観察表（1）	29
第 17 表	6区土器観察表（2）	30
第 18 表	6区土器観察表（3）	31
第 19 表	6区土器観察表（4）	32
第 20 表	6区土器観察表（5）	33
第 21 表	6区土器観察表（6）	34
第 22 表	4区土器観察表（1）	34
第 23 表	4区土器観察表（2）	35
第 24 表	4区土器観察表（3）	36
第 25 表	4区土器観察表（4）	37

第26表	4区土器観察表(5)	38
第27表	7区土器観察表(1)	39
第28表	7区土器観察表(2)	40
第29表	7区土器観察表(3)	41
第30表	7区土器観察表(4)	42
第31表	7区土器観察表(5)	43
第32表	7区土器観察表(6)	44
第33表	7区土器観察表(7)	45
第34表	7区土器観察表(8)	46
第35表	石器・土製品観察表	46
第36表	銅製品観察表	46
第37表	鉄製品観察表	47
第38表	ガラス小玉鋳型観察表	47
第39表	玉製品観察表	48
第40表	古銭観察表	48

巻頭カラー図版目次

- 図版1 3区第6号竪穴住居址出土土器
8区第7・17号竪穴住居址出土土器
- 図版2 6区第5号竪穴住居址出土土器
4区第11号竪穴住居址出土土器
- 図版3 4区第15号竪穴住居址出土土器
古銭
- 図版4 ガラス小玉鋳型
玉製品

写真図版目次

P L . 1	3区第1・2号住居址
P L . 2	3区第2・3・4・5号住居址
P L . 3	3区第6号住居址
P L . 4	3区第7・8号住居址、第1号掘立柱建物址、第1号溝状遺構
P L . 5	3区第1・2・17・18号溝状遺構
P L . 6	3区第2・3・4・5・6・7・8・9・10号溝状遺構
P L . 7	3区第10・11・12・13・14号溝状遺構
P L . 8	3区第15・16・18・19号溝状遺構
P L . 9	8区第3号住居址
P L . 10	8区第3・4号住居址
P L . 11	8区第18・5号住居址
P L . 12	8区第5・6号住居址
P L . 13	8区第7・17号住居址
P L . 14	8区第17・8号住居址
P L . 15	8区第8・16号住居址
P L . 16	8区第9・12号住居址
P L . 17	8区第12・10号住居址
P L . 18	8区第11・13・14号住居址
P L . 19	8区第14号住居址、第1号掘立柱建物址、第1・2・3・5・7・8・9号溝状遺構
P L . 20	8区第8・10・12・13・16号溝状遺構
P L . 21	8区第17・18号溝状遺構、PT306、第1号不明遺構
P L . 22	5区第1・2号住居址
P L . 23	5区第2号住居址
P L . 24	5区第2・3号住居址
P L . 25	5区第4・5号住居址
P L . 26	5区第5・6号住居址
P L . 27	5区第6・7号住居址
P L . 28	5区第7・8・9・10号住居址
P L . 29	5区第1・2・3・4号掘立柱建物址、第1・3・5・7号溝状遺構
P L . 30	6区第1・2号住居址
P L . 31	6区第2・3号住居址
P L . 32	6区第3・4・12号住居址
P L . 33	6区第5号住居址
P L . 34	6区第5・6・7号住居址
P L . 35	6区第6・7号住居址
P L . 36	6区第8号住居址
P L . 37	6区第9・10・11・14号住居址
P L . 38	6区第13・14号住居址

- PL.39 6区第1号掘立柱建物址、第1·2·3·4号溝状遺構
- PL.40 6区第5·10·11·13·14号溝状遺構・遺構外
- PL.41 4区第1·2号住居址
- PL.42 4区第2·3·4号住居址
- PL.43 4区第2·4号住居址
- PL.44 4区第5·6·7号住居址
- PL.45 4区第7·8·9·10号住居址
- PL.46 4区第11·12号住居址
- PL.47 4区第14号住居址
- PL.48 4区第22·15号住居址
- PL.49 4区第15·16号住居址
- PL.50 4区第21·17号住居址
- PL.51 4区第17·18·20号住居址
- PL.52 4区第20号住居址、第1·2·3·4号掘立柱建物址
- PL.53 4区第5号掘立柱建物址、第1·12·13·2·3·4·5·8号溝状遺構
- PL.54 4区第15·18·19·20·23·24·25·27·28号溝状遺構
- PL.55 4区第29·31号溝状遺構、第1号不明遺構
- PL.56 7区第1·2号住居址
- PL.57 7区第2·3·4号住居址
- PL.58 7区第3·4号住居址
- PL.59 7区第5·6号住居址
- PL.60 7区第6·7·8号住居址
- PL.61 7区第8号住居址
- PL.62 7区第35·36·9·10号住居址
- PL.63 7区第11·12号住居址
- PL.64 7区第12·14·15号住居址
- PL.65 7区第16·17号住居址
- PL.66 7区第17·18·19号住居址
- PL.67 7区第19·20·21号住居址
- PL.68 7区第20·21·22·23·24号住居址
- PL.69 7区第24·25·26·27号住居址
- PL.70 7区第27·39号住居址
- PL.71 7区第28·29·30号住居址
- PL.72 7区第30·31·32·33·34号住居址
- PL.73 7区第1·3·4号掘立柱建物址、第1·3·4·5·7·8号溝状遺構
- PL.74 7区第6·7·9·10·11·12·13·14号溝状遺構
- PL.75 7区第15·16·17·18·21·22·23·25号溝状遺構
- PL.76 7区溝状遺構群、第1号不明遺構
- PL.77 3区第1号住居址出土土器（1）
- PL.78 3区第1号住居址出土土器（2）、第2·3·4号住居址出土土器
- PL.79 3区第6号住居址出土土器（1）

- P L . 8 0 3区第6号住居址出土土器（2）
P L . 8 1 3区第6号住居址出土土器（3）
P L . 8 2 3区第6号住居址出土土器（4）
P L . 8 3 3区第6号住居址出土土器（5）
P L . 8 4 3区第7号住居址出土土器、第7号溝状遺構出土土器、遺構外出土土器
P L . 8 5 8区第3号住居址出土土器
P L . 8 6 8区第5・6号住居址出土土器、第7号住居址出土土器（1）
P L . 8 7 8区第7号住居址出土土器（2）
P L . 8 8 8区第7号住居址出土土器（3）
P L . 8 9 8区第17号住居址出土土器
P L . 9 0 8区第8号住居址出土土器（1）
P L . 9 1 8区第8号住居址出土土器（2）
P L . 9 2 8区第8号住居址出土土器（3）、第16住居址出土土器、第9号住居址出土土器（1）
P L . 9 3 8区第9号住居址出土土器（2）、第12・10号住居址出土土器
P L . 9 4 8区第11・14号住居址出土土器、5区第1号住居址出土土器
P L . 9 5 5区第2号住居址出土土器、第3号住居址出土土器（1）
P L . 9 6 5区第3号住居址出土土器（2）、第4号住居址出土土器
P L . 9 7 5区第5・6号住居址出土土器
P L . 9 8 5区第7号住居址出土土器、第8号住居址出土土器（1）
P L . 9 9 5区第8号住居址出土土器（2）、8区溝状遺構出土土器、8区ピット出土土器
P L . 1 0 0 8区第1号不明遺構出土土器、8区遺構外出土土器、5区遺構外出土土器
P L . 1 0 1 6区第1号住居址出土土器
P L . 1 0 2 6区第2号住居址出土土器、第3号住居址出土土器（1）
P L . 1 0 3 6区第3号住居址出土土器（2）
P L . 1 0 4 6区第4号住居址出土土器（1）
P L . 1 0 5 6区第4号住居址出土土器（2）
P L . 1 0 6 6区第12号住居址出土土器、第5号住居址出土土器（1）
P L . 1 0 7 6区第5号住居址出土土器（2）
P L . 1 0 8 6区第5号住居址出土土器（3）
P L . 1 0 9 6区第6号住居址出土土器
P L . 1 1 0 6区第7号住居址出土土器、第8号住居址出土土器（1）
P L . 1 1 1 6区第8号住居址出土土器（2）、第9・10号住居址出土土器、第13号住居址出土土器（1）
P L . 1 1 2 6区第13号住居址出土土器（2）、第14号住居址出土土器、溝状遺構出土土器（1）
P L . 1 1 3 6区溝状遺構出土土器（2）
P L . 1 1 4 6区溝状遺構出土土器（3）、ピット出土土器、遺構外出土土器（1）
P L . 1 1 5 6区遺構外出土土器（2）
P L . 1 1 6 4区第1・2号住居址出土土器、第4号住居址出土土器（1）
P L . 1 1 7 4区第4号住居址出土土器（2）、第5・6号住居址出土土器
P L . 1 1 8 4区第7住居址出土土器
P L . 1 1 9 4区第9号住居址出土土器、第10号住居址出土土器（1）
P L . 1 2 0 4区第10号住居址出土土器（2）、第11号住居址出土土器（1）

- PL.121 4区第11号住居址出土土器（2）、第12号住居址出土土器
- PL.122 4区第14・22号住居址出土土器
- PL.123 4区第15号住居址出土土器
- PL.124 4区第16号住居址出土土器、第21号住居址出土土器（1）
- PL.125 4区第21号住居址出土土器（2）、第17号住居址出土土器（1）
- PL.126 4区第17号住居址出土土器（2）、第18号住居址出土土器（1）
- PL.127 4区第18号住居址出土土器（2）、第20号住居址出土土器、
4区第3号掘立柱建物址出土土器、溝状遺構出土土器
- PL.128 4区ピット出土土器、遺構外出土土器（1）
- PL.129 4区遺構外出土土器（2）
- PL.130 7区第1号住居址出土土器、第2号住居址出土土器（1）
- PL.131 7区第2号住居址出土土器（2）
- PL.132 7区第3号住居址出土土器、第4号住居址出土土器（1）
- PL.133 7区第4号住居址出土土器（2）、第5号住居址出土土器
- PL.134 7区第6号住居址出土土器
- PL.135 7区第7号住居址出土土器、第8号住居址出土土器（1）
- PL.136 7区第8号住居址出土土器（2）、第36号住居址出土土器、第10号住居址出土土器（1）
- PL.137 7区第10号住居址出土土器（2）、第11号住居址出土土器（1）
- PL.138 7区第11号住居址出土土器（2）、第12号住居址出土土器、第15号住居址出土土器（1）
- PL.139 7区第15号住居址出土土器（2）、第16号住居址出土土器（1）
- PL.140 7区第16号住居址出土土器（2）、第17号住居址出土土器
- PL.141 7区第18・20・21号住居址出土土器
- PL.142 7区第22・23号住居址出土土器
- PL.143 7区第24・25・27号住居址出土土器
- PL.144 7区第28号住居址出土土器、第29号住居址出土土器（1）
- PL.145 7区第29号住居址出土土器（2）、第30号住居址出土土器（1）
- PL.146 7区第30号住居址出土土器（2）、第31号住居址出土土器（1）
- PL.147 7区第31号住居址出土土器（2）
- PL.148 7区第33号住居址出土土器、溝状遺構出土土器
- PL.149 7区ピット出土土器、第1号不明遺構出土土器、遺構外出土土器（1）
- PL.150 7区遺構外出土土器（2）
- PL.151 碲石斧・砥石・敲石・削器
- PL.152 紡錘車・土錘・印・銅製品
- PL.153 鉄製品（1）
- PL.154 鉄製品（2）
- PL.155 鉄製品（3）
- PL.156 鉄製品（4）
- PL.157 鉄製品（5）
- PL.158 鉄製品（6）

第IX章 調査の成果

第1節 中原遺跡の豊穴住居址と出土土器

本書では、3区から8区より検出した104軒の豊穴住居址（以下、SB遺構とする）を報告した。これ以外にも未報告であるが1区・2区においても計26軒のSB遺構が検出されている。このため、いまだ未調査の区域を残しながらも中原遺跡においてSB遺構は計130軒が確認されることになる。中原遺跡で検出した掘立柱建物址（以下、SH遺構）がわずか17棟ということを考慮すると、SB遺構こそが中原遺跡の中心的な遺構といえる。そこで、ここではSB遺構とSB遺構出土土器を中心として現段階での中原遺跡における集落の成立と展開についてまとめておきたい¹⁾。

（1）中原遺跡 SB遺構と出土土器の特徴

東駿河における古墳時代後期以降の土師器編年研究は、共伴須恵器を年代の根拠とする山本惠一、池谷初恵の成果や出土土師器の形式変化を根拠とする木ノ内義昭による成果があり（山本1995、池谷1995、木ノ内2002）、その様相はおおむね把握することができるが、これらの研究成果については資料の制約もあることから、それぞれに課題があるとの指摘もある（佐藤2014）。

つまり東駿河における古墳時代後期から奈良平安時代の土師器編年研究は調査例も決して多くないこともあって、検討途中の段階といえる。中原遺跡でも本地域の編年を組み立てるほどの良好な一括資料には必ずしも恵まれていないため、遺構の年代決定は共伴する須恵器に頼らざるを得ない。そのため、以下では遠江須恵器編年（鈴木2001・2004）や土師器の先行研究の成果を併用しながら、時期ごとに中原遺跡の変遷を検討する。

中原遺跡の年代は、第Ⅲ章以下に報告したように、出土資料の制約から「7世紀代」「7世紀後半～8世紀前半」「8世紀代」などと大きく捉えることしかできなかった遺構もある。しかし全体の様相として、中原遺跡のSB遺構は、出土須恵器を根拠として、古いものから①「遠江須恵器編年Ⅲ期末葉～Ⅳ期前葉」（7世紀前半～中葉頃）、②「同編年Ⅳ期後葉～V期初頭」（7世紀後半～末葉頃）、③「同編年Ⅴ期前半」（8世紀前半頃）④「同編年Ⅵ期後半以降」（8世紀後半以降）の4グループに分かれる（第1表・第2表）²⁾。

以下では、SB遺構の「建物規模」「主軸方位」「出土土器」の3点に着目して時期ごとに検討する。「建物規模」は、規模が東西・南北ともに把握できるSB遺構のみを対象として、実際には不整形なSB遺構も存在することを承知しつつも、東西規模の数値を横軸に、南北規模の数値を縦軸にS=1/200によって模式的に図示した（第1図左列）。また「主軸方位」についても判明しているSB遺構のみを対象にして、東西の振れ幅を示した（第1図右列）。「出土土器」は比較的良好な一括資料のみを抽出して、SB遺構単位で掲載した（第2図～第5図）。

①遠江須恵器編年Ⅲ期末葉～Ⅳ期前葉並行段階（7世紀前半～中葉頃）

遠江須恵器編年Ⅲ期末葉～Ⅳ期前葉は、飛鳥編年における飛鳥I・IIの時期（7世紀前半～中葉頃）である。第1表21～31のSB遺構を対象とした。

SB遺構の特徴（建物規模と主軸方位 第1図）

この段階のSB遺構は3区で2軒、6区で2軒、4区で2軒、7区で5軒、計11軒が検出されている。西側の調査区では3区の2軒のみで、8区と5区ではこの段階のSB遺構は存在しない。このことから、その分布はやや東寄りにあるといえる。ただし7世紀代とした第1表1～20の中で、8区と5区検出のSB遺構は存在するため、両区にて検出したいくつかのSB遺構はこの段階に含まれている可能性は残る。

当該期のSB遺構の規模は一辺が4～5m台のものが多く、特段に大規模もしくは小規模なものは見受けられない。最大値は3-SB3の6.06m×6.65mで、最小値は6-SB5の3.47m×3.26mである。多

第1表 SB構造時期別計測一覧表（1）（規模の（）は残存値を示す）

番号	区分	時期	遺跡名	添江県地図編年	規模(東西)(m)	規模(南北)(m)	方位	年代の推測
01		7C以前	8-5818	-	4.22	4.07	N- 6° ~ E	
02		7C以前	8-5810	-	(0.62)	(3.89)	不明	S-SBBとの切り合い関係
03	①～②	7C代	3-581	IV期	6.44	6.32	N- 10° ~ E	
04	①～②	7C代	3-582	-	4.80	4.64	N- 7° ~ E	
05	①～②	7C代	8-583	IV期	8.36	8.20	N- 6° ~ E	
06	①～②	7C代	8-581	-	(7.60)	(7.51)	N- 15° ~ E	
07	①～②	7C代	5-581	-	5.62	5.41	N- 4° ~ E	
08	①～②	7C代	5-583	-	6.66	7.10	N- 2° ~ W	
09	①～②	7C代	5-584	-	3.71	3.98	N- 13° ~ E	
10	①～②	7C代	5-585	-	5.17	5.39	N- 3° ~ W	
11	①～②	7C代	5-586	-	2.68	2.68	N- 8° ~ E	
12	①～②	7C代	5-588	-	4.58	(3.51)	N- 16° ~ E	
13	①～②	7C代	4-583	-	2.92	(1.81)	不明	
14	①～②	7C代	4-5817	IV期	6.95	6.94	N- 9° ~ E	
15	①～②	7C代	4-587	-	4.93	4.88	N- 31° ~ W	
16	①～②	7C代	7-587	-	6.42	(1.58)	N- 23° ~ E	
17	①～②	7C代	7-5836	IV期	(1.40)	(1.40)	不明	
18	①～②	7C代	7-5820	-	3.23	3.66	N- 60° ~ W	
19	①～②	7C代	7-5822	IV期	5.96	6.58	N- 51° ~ W	
20	①～②	7C代	7-5827	IV期	3.22	3.11	N- 4° ~ W	
21	①	7C前半	3-583	(Ⅲ期末尾)	(4.75)	(4.99)	N- 2° ~ W	
22	①	7C前半～中頃	3-583	Ⅲ期末尾～Ⅳ期前頭	6.06	6.65	N- 11° ~ E	
23	①	7C前半～中頃	6-583	Ⅲ期末尾～Ⅳ期前頭	3.47	3.26	N- 20° ~ E	
24	①	7C前半～中頃	4-5811	Ⅲ期末尾～Ⅳ期前頭	3.60	5.76	N- 9° ~ W	
25	①	7C前半～中頃	4-5815	Ⅲ期末尾～Ⅳ期前頭	3.95	(3.97)	N- 20° ~ W	
26	①	7C前半～中頃	7-5811	Ⅲ期末尾～Ⅳ期前頭	5.12	6.96	N- 15° ~ E	
27	①	7C前半～中頃	7-5817	Ⅲ期末尾～Ⅳ期前頭	4.37	4.17	N- 22° ~ W	
28	①	7C前半～中頃	6-583	Ⅳ期前頭	5.41	4.89	N- 18° ~ W	
29	①	7C前半～中頃	7-5815	Ⅳ期前頭	4.77	5.39	N- 7° ~ W	
30	①	7C前半～中頃	7-5821	-	5.78	5.11	N- 17° ~ E	
31	①	7C前半～中頃	7-5823	-	(4.63)	(4.55)	N- 1° ~ E	
32	①	7C後半～BC前半以前	5-589	-	(3.32)	(2.24)	不明	S-587との切り合い関係
33	②	7C後半	3-586	IV期後頭	9.20	9.43	N- 11° ~ W	
34	②	7C後半	3-587	IV期後頭	3.75	4.09	N- 5° ~ W	
35	②	7C後半	6-582	-	4.24	3.78	N- 28° ~ E	
36	②	7C後半	6-587	-	4.08	3.95	N- 28° ~ E	方位は西カマド設置
37	②	7C後半	6-5810	-	(4.79)	(1.45)	N- 18° ~ E	
38	②	7C後半	4-582	IV期後頭	3.82	3.34	N- 8° ~ E	北カマド設置
39	②	7C後半	7-584	IV期後頭	6.51	6.61	N- 13° ~ E	
40	②	7C後半	7-585	-	5.04	4.85	N- 16° ~ E	
41	②	7C後半	7-586	IV期後頭	6.23	6.23	N- 68° ~ W	西カマド設置
42	②	7C後半	7-587	IV期後頭	8.35	8.64	N- 37° ~ W	
43	②	7C後半	7-5810	IV期後頭	5.58	5.51	N- 48° ~ W	
44	②	7C後半	7-5816	IV期後頭	5.07	4.47	N- 15° ~ E	
45	②	7C(後半か)	7-5818	-	2.09	1.96	N- 23° ~ E	
46	②	7C後半	7-5824	Ⅳ期後頭	4.29	4.53	N- 24° ~ E	
47	②	7C後半	7-5825	IV期後頭	3.22	3.11	N- 4° ~ W	
48	②	7C後半	7-5829	IV期後頭	6.05	5.48	N- 2° ~ W	
49	②	7C後半	7-5833	IV期(後葉か)	5.50	(2.18)	不明	
50	②	7C後半～未確	6-581	IV期後頭～未確	4.99	4.68	N- 53° ~ W	
51	②	7C後半～未確	6-582	IV期後頭～Ⅳ期初頭	(3.45)	3.10	N- 19° ~ E	
52	②	7C後半～未確	6-583	IV期後頭～Ⅳ期初頭	(6.21)	(6.08)	N- 3° ~ E	
53	②	7C後半～未確	6-5812	IV期後頭～Ⅳ期初頭	(6.37)	(6.24)	N- 30° ~ E	
54	②	7C後半～未確	4-5816	IV期後頭～Ⅳ期初頭	5.48	5.41	N- 6° ~ E	
55	②	7C後半～未確	4-5810	IV期後頭～Ⅳ期初頭	5.84	5.52	N- 9° ~ E	
56	②	7C後半～未確	4-5818	IV期後頭～Ⅳ期初頭	2.25	2.08	N- 13° ~ E	
57	②	7C後半～未確	7-5819	IV期後頭～Ⅳ期初頭	3.13	2.91	N- 23° ~ E	
58	②	7C後半～未確	7-5830	IV期後頭～Ⅳ期初頭	4.42	4.69	N- 22° ~ E	
59	②～③	7C後半～BC前半	3-584	-	4.48	(3.08)	N- 14° ~ E	
60	②～③	7C後半～BC前半	3-585	-	4.45	(3.53)	N- 14° ~ E	方位が3-584と近似値を兼る
61	②～③	7C後半～BC前半	6-5816	IV期後頭～Ⅳ期前半	(6.28)	(1.38)	不明(北-3°～東-3°)	
62	②～③	7C後半～BC前半	6-588	IV期後頭～Ⅳ期前半	7.06	6.45	N- 2° ~ W	
63	②～③	7C後半～BC前半	5-582	-	7.34	7.73	N- 4° ~ W	
64	②～③	7C後半～BC前半	6-587	-	(4.25)	6.68	N- 24° ~ W	
65	②～③	7C後半～BC前半	6-585	-	2.56	2.61	N- 6° ~ E	
66	②～③	7C後半～BC前半	4-586	-	2.53	2.70	N- 80° ~ W	
67	②～③	7C後半～BC前半	4-588	-	3.41	3.88	N- 3° ~ E	
68	②～③	7C後半～BC前半	4-5812	-	3.31	3.52	N- 6° ~ E	
69	②～③	7C後半～BC前半	4-5822	-	(2.81)	(2.20)	N- 6° ~ E	
70	②～③	7C後半～BC前半	4-5820	-	2.49	2.54	N- 9° ~ E	
71	②～③	7C後半～BC前半	7-5803	-	4.67	7.19	N- 12° ~ W	
72	②～④	BC代	8-5810	V期	(3.07)	(4.91)	N- 68° ~ W	
73	③	BC前半	8-584	V期前半	(2.93)	(2.79)	N- 75° ~ W	
74	③	BC前半(～中頃)	8-587	V期前半	4.79	5.03	N- 84° ~ W	V期-3(平城Ⅲ) BC中頃か
75	③	BC前半	8-589	V期前半	(5.08)	(4.86)	N- 6° ~ W	
76	③	BC前半	8-5812	V期前半	4.35	(4.85)	N- 77° ~ W	

第2表 SB遺構時期別計測一覧表(2)(規模の()は残存値を示す)

番号	区分	時期	遺構名	後江須恵器編年	規模(東西)(m)	規模(南北)(m)	方位	年代の根拠
77	(3)	BC 前半	6-SB13	-	(6.54)	(0.93)	N-5°-E	
78	(3)	BC 前半	6-SB14	V期前半	5.23	(4.75)	N-7°-E	
79	(3)	BC 前半	6-SB4	V期前半	6.17	5.43	N-30°-E	
80	(3)	BC 前半	6-SB6	V期前半	3.99	4.39	N-60°-W	V期-3(平城Ⅲ) BC中頃か
81	(3)	BC 前半	6-SB9	V期前半	5.79	(1.88)	N-18°-E	
82	(3)	BC 前半	6-SB13	V期前半	2.72	3.05	N-24°-E	
83	(3)	BC 前半	6-SB14	V期前半	(2.34)	4.55	N-20°-E	
84	(3)	BC 前半	4-SB1	V期前半	3.66	3.41	N-4°-E	
85	(3)	BC 前半	4-SB9	V期前半	(1.70)	2.76	不明	
86	(3)	BC 前半	7-SB1	V期前半	5.15	5.61	N-11°-E	V期-3(平城Ⅲ) BC中頃か
87	(3)	BC 前半	7-SB2	V期前半	5.24	5.06	N-6°-E	
88	(3)	BC 前半	7-SB12	V期前半	3.02	3.46	N-14°-E	
89	(3)	BC 前半	7-SB14	V期前半	4.30	4.66	N-11°-E	
90	(3)	BC 前半	7-SB28	V期前半	6.64	(2.40)	不明	
91	(3)	BC 前半	7-SB31	V期前半	3.75	3.79	N-21°-E	
92	(3)	BC 前半	7-SB32	V期前半	3.06	(0.95)	不明	
93	(3)	BC 前半	7-SB39	-	3.22	3.11	N-4°-W	
94	(4)	BC 中葉～後半	6-SB17	V期前半(断)～後半(古)	4.65	(4.77)	N-6°-E	
95	(4)	BC 後半以後	6-SB08	-	5.06	4.53	N-63°-W	
96	(4)	BC 後半以後	4-SB4	V期後半	3.60	4.36	N-85°-W	
97	(4)	BC 後半以後	4-SB14	-	3.25	3.23	N-5°-W	
98	(4)	BC 後半以後	4-SB21	-	5.44	5.75	N-81°-W	
99	不明		6-SB15	不明	(0.29)	(4.51)	不明	
100	不明	(BC 前半以前)	6-SB11	-	(1.83)	(2.32)	不明	
101	不明	(7C 前半以前)	7-SB35	-	(1.80)	(1.70)	不明	
102	不明	(7C 後半以前)	7-SB9	-	4.22	4.20	N-81°-W	
103	不明		7-SB26	-	(4.83)	(4.55)	N-39°-W	
104	不明	(7C 後半以前)	7-SB34	-	(5.81)	(1.28)	不明	

くが正方形に近い数値であるが、4-SB11 のみ 3.60m × 5.76m と南北に長い長方形を呈す。

主軸方位は、北北西—南南東軸が 7 軒、北北東—南南西軸が 4 軒であることから、北壁にカマドを設置する傾向がある。西の最大振れ幅は N-23°-W (7-SB17)、東の最大振れ幅は N-20°-E (6-SB5) で、このように建物規模と同じく、極端に他と異なる主軸方位を持った SB 遺構は存在しない。

出土土器の特徴(第2図)

当該期の中で比較的古相(Ⅲ期末葉頃)に位置づけられる可能性を持つ SB を上段に、新相(IV期前葉頃)に位置づけられる可能性のある SB を下段に示した。主要な器種には甕、壺(塊)、高壺、壠があり、その他に数は少ないが、甕の出土もある。

当該期の甕は器壁が薄く、また最大径が胴部中位以上にあり、球胴化しきっていないことが特徴である。しかし新相において、口唇部の肥大化が認められる個体が出現していることから、駿東型球胴甕の特徴でもある口唇部の肥大化は、7世紀前葉～中葉頃に開始したものと考えられる。

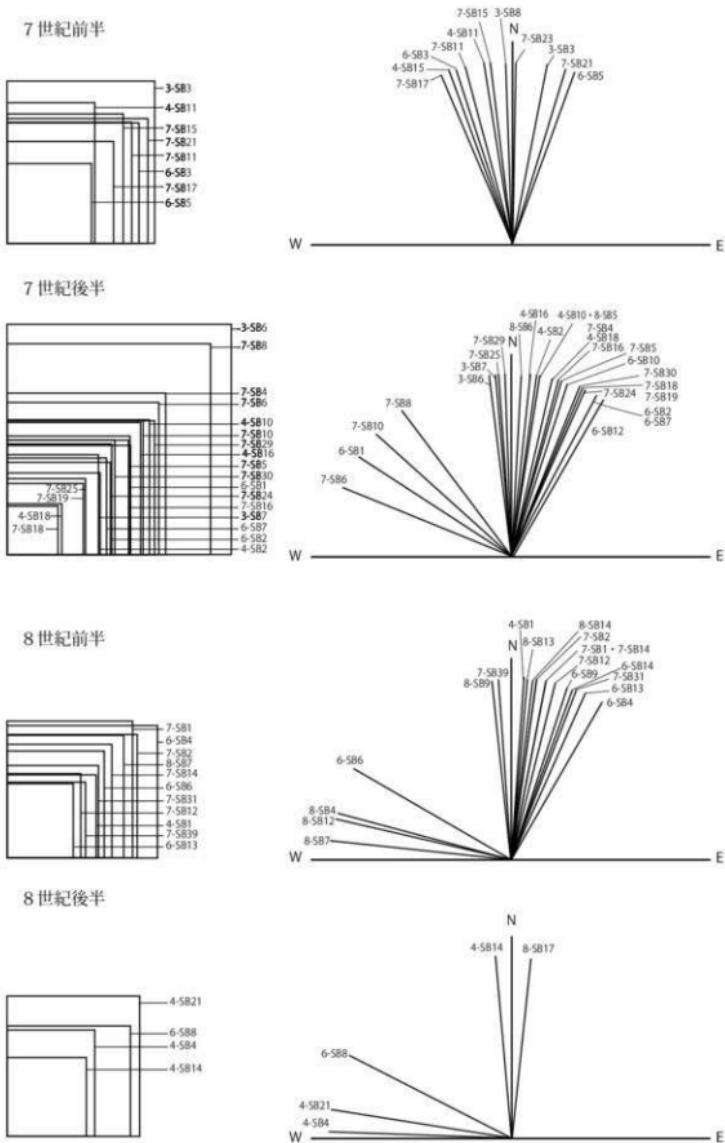
壺は須恵器を模倣する一群が主要な器形であり、口縁部と体部の境が不明瞭な器形は数が少ない。須恵器模倣壺は、体部下半を削ったのち、ミガキ調整を丁寧に施すものが多く、中には内面見込み部に放射状のミガキ調整を施すものもある。また粗製胎土で、黒色粒をまばらに含む壺も出土する。この壺は底部に木葉痕、外面に指頭圧痕を強く残しながら、ナデによる調整のみを施す。器形に類似性は認められるものの、須恵器模倣壺とは明らかに区別されるものである。

壠と同様に丁寧なミガキ調整を施す高壺も当該期の特徴である。高壺の壠部は須恵器模倣壺と器形および調整ともに共通する。また丁寧なミガキ調整という点で共通性を持つ土師器壺が 1 点のみ 4-SB15 から出土している。

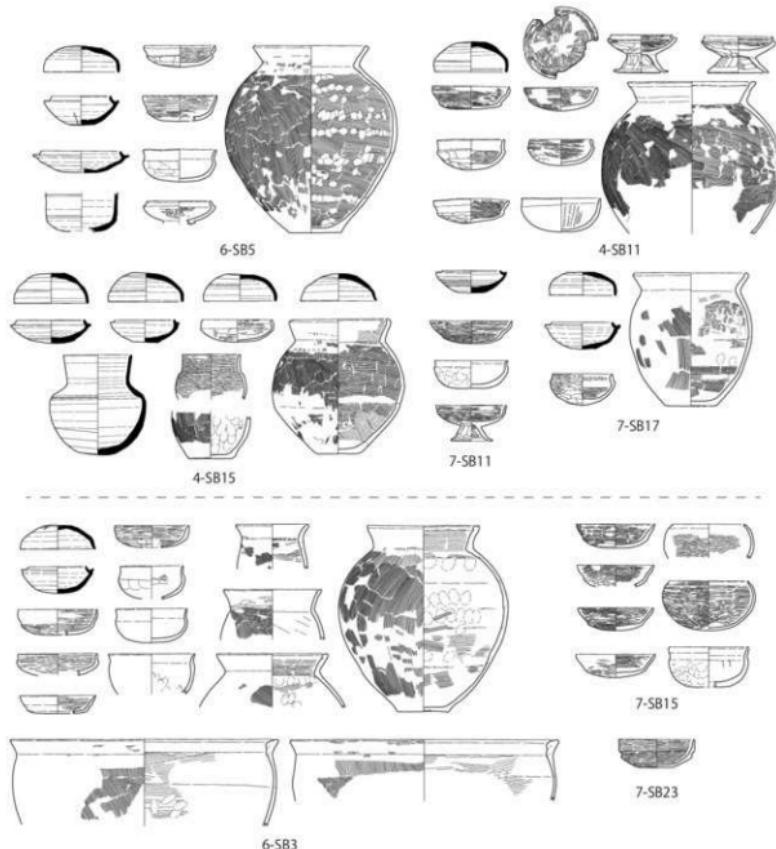
壠は新相から加わる器種である。木ノ内編年では、壠の出現を 8 世紀頃と想定しているが、中原遺跡においては、7世紀中葉頃には出現する。この段階における壠の器面調整方法は甕と共通し、ハケメのみである。

②遠江須恵器編年IV期後葉～V期初頭並行段階(7世紀後半～末葉)

遠江須恵器編年IV期後葉～V期初頭は、飛鳥編年における飛鳥Ⅲ・IV期(7世紀後半～末葉)頃にあ



第1図 時期別SB遺構の規模と主軸方位



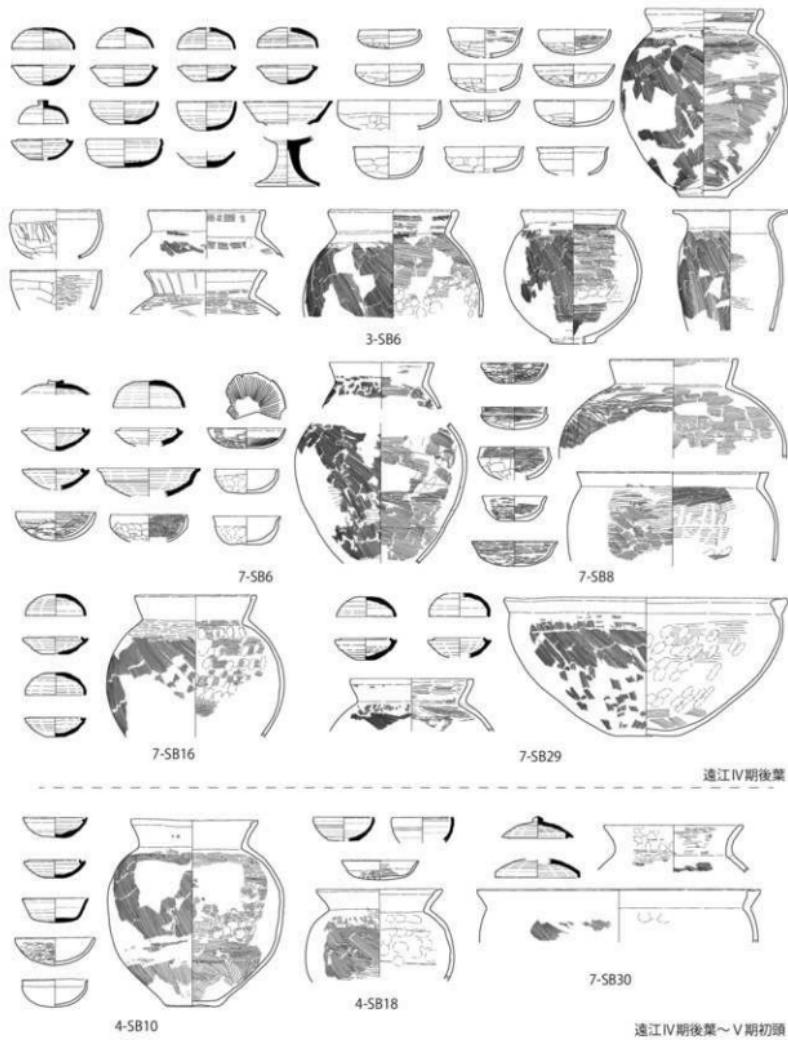
第2図 7世紀前半の出土土器 (S=1/8)

たる。第1表33~58を対象とした。

SB遺構の特徴（建物規模と主軸方位 第1図）

この段階のSB遺構は3区で2軒、8区で2軒、6区で5軒、4区で4軒、7区で13軒、計26軒が検出されている。全体的に数が増加し、特に7区では、全36軒中13軒が当該期に相当する。一方で、西側調査区である3区や8区、5区では依然として検出数は少ない。

この段階の特筆すべき点は、極端に大規模もしくは小規模なSB遺構が登場することである。当該期における最大SB遺構は3-SB6の9.02m×9.43mで、次点が7-SB8の8.35m×8.64mである。それよりやや小さく、7-SB4・7-SB6が続く。このふたつのSB規模は、前段階の最大値と近似値を測る。一方、最小のSB遺構は7-SB18の2.09m×1.98m、次点が4-SB18の2.25m×2.08mである。なお最小に近い数値を測るものについては、「7世紀後半~8世紀前半」と大きく捉えたSB遺構（第1表59~



第3図 7世紀後半～末葉の出土土器 (S=1/8)

71)の中にも存在する。

最大値を測る3-SB6では、大量の遺物が出土しており、内76点を図示するに至った。一方、最小の7-SB18では、4点のミニチュア土器がまとめて出土した。その他の規模も、前段階と比べ、ばらつきが発生しており、一边が3～6m台のものが多いが、一方で、大部分が正方形に近い数値を測り、

前段階に位置づけた 4-SB11 のような長方形を呈すものは見受けられない。

主軸方位は、北壁にカマドを据える SB 遺構が大半であるものの、45 度を超えて西に振れる一群が新たに出現する。当該期の西への最大振れ幅は N-68°-W (7-SB6)、東への最大振れ幅は N-30°-E (6-SB12) である。西へ振れる一群は 4 軒のうち 3 軒が 7 区で、1 軒は 6 区であることから東寄りに分布する傾向がある。

出土土器の特徴（第 3 図）

主要な器種は甕、壺（塊）、壠がある。前段階で出土した高壺はこの段階で失われてしまう。

甕は最大径が胴部中位にあるものが増え、前段階から球胴化がより進む。また口唇部が肥大化した個体の割合が増える。そして最大の変化は 7-SB8 や 7-SB16 出土資料のように頸部や胴部にミガキ調整を施すものが出土することである。

またこの段階には遠江系水平口縁長胴甕の出土例がある（3-SB6）。胎土に白雲母を多く含むことから、搬入品と考えられる。木ノ内編年では、東駿河における水平口縁長胴甕の流入を 8 世紀前半、すなわち在地甕が長胴化をする段階と同時期と想定しているが、3-SB6 の共伴土器を検討する限り、水平口縁甕の流入は、在地の甕が長胴化する前段階から始まっていたことになる。なお、水平口縁甕は、沼津市域において下石田原田遺跡（鶴田編 2000）とそれに隣接する相生町遺跡（原田編 2016）にまとまった出土例があるが、ともに 8 世紀以降の集落であり、中原遺跡の出土例が本地域における最古例である。

壺は前段階の須恵器模倣壺の器形が粗雑化し、全体的に丸みをもって立ち上がるものが中心となる。ミガキ調整も前段階ほど密な調整を施すものが少なくなり、体部下半を削るのみで調整を終えるものが多い。粗製胎土の壺は引き続き出土するが、平底を呈する個体も出現する。

前段階の新相から出現した壠は 7-SB8 に見られるようにミガキ調整が施されるものが出現する。7-SB8 出土の甕も同じくミガキ調整であることから、甕と壠における共通性は引き続きみられるが、甕と比較して壠の個体数は少ない。

③遠江須恵器編年Ⅴ期前半並行段階（8 世紀前半）

遠江須恵器編年Ⅴ期前半は、平城 I ~ III 期頃にあたる（8 世紀前半）。第 1 表・第 2 表 73 ~ 93 を対象とした。

SB 遺構の特徴（建物規模と主軸方位 第 1 図）

8 区で 6 軒、6 区で 5 軒、4 区で 2 軒、7 区で 8 軒の、計 21 軒の検出がある。前段階よりも 8 区での検出数が増えており、一方で東側に位置する調査区では減ることから、集落は西寄りに展開したと考えられる。

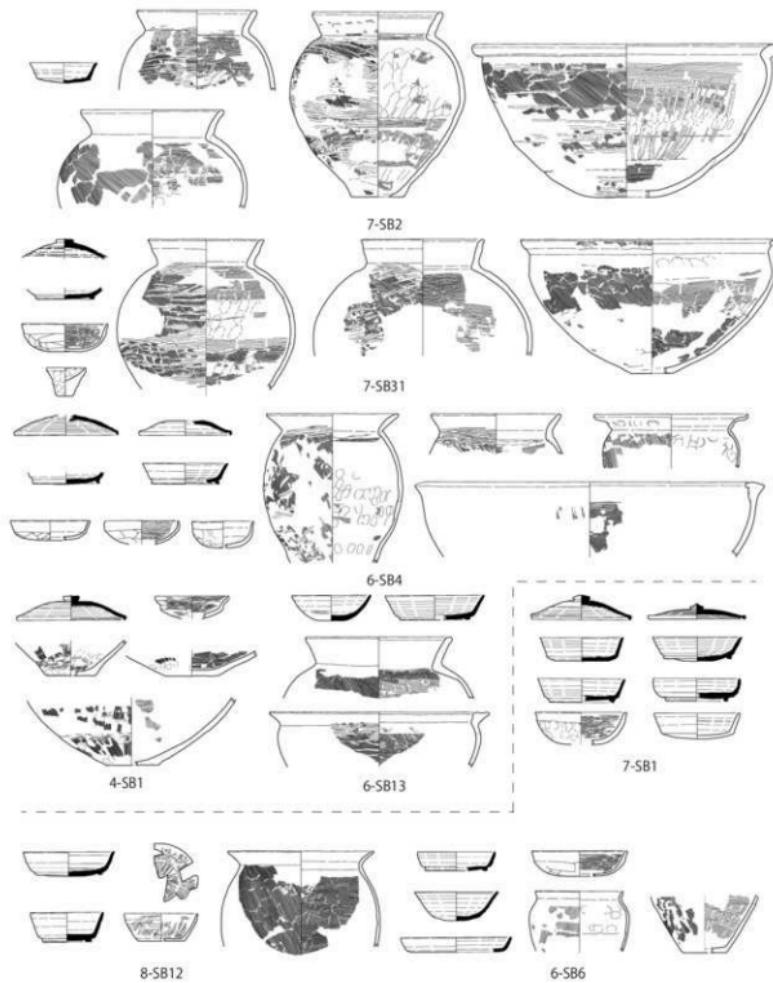
建物規模を見れば、前段階にみられた極端に大規模な SB 遺構は存在せず、最大でも 6-SB4 の 6.17m × 5.43m であり、これは前段階の中規模であった 4-SB10 とほぼ同規模である。最小の SB 遺構は、6-SB13 で、2.72m × 3.05m を測る。小規模ではあるが前段階ほど極端ではない。その他の建物規模は一定の規模に集中しない。正方形に近いものが多いが、最大規模の 6-SB4 のみ東西に長い長方形を呈す。

主軸方位は、依然として北壁にカマドを設置する傾向は強いものの、一方で N-60°-W を超える SB 遺構が増加し、ほぼ真西にカマドを設置する SB 遺構も現れる。当該期の西の最大振れ幅は N-84°-W (8-SB7) で、東の最大振れ幅は N-30°-E (6-SB4) である。

出土土器の特徴（第 4 図）

当該期の中で比較的古相（V 期前半古段階頃）に位置づけられる可能性を持つ SB 遺構を上段に、新相（V 期前半新段階頃）に位置づけられる可能性がある SB 遺構を下段に示した。主要な器種には前段階からの変更はなく、甕、壺（塊）、壠である。

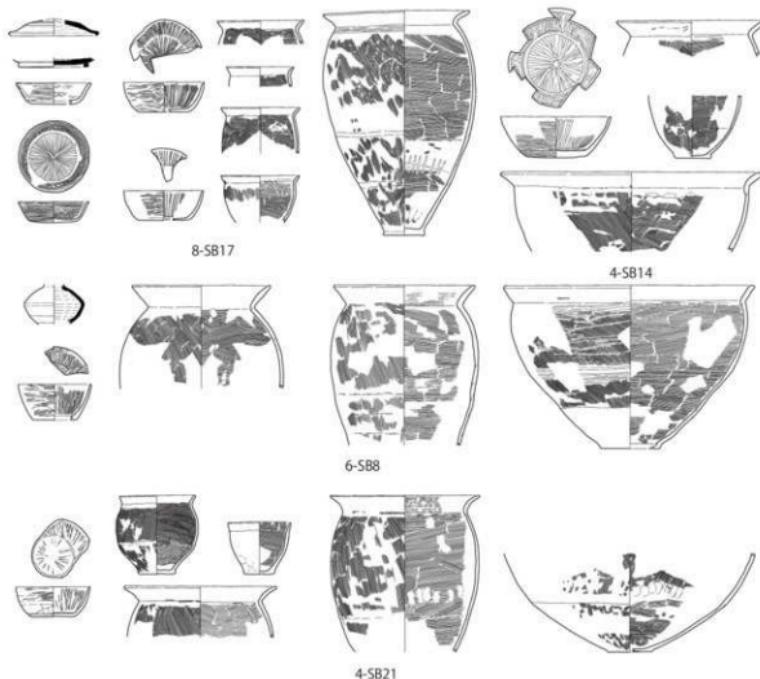
甕は頸部や胴部にミガキ調整を施す球胴甕が主要器形であるが、6-SB4 に見られるような長胴甕が登



第4図 8世紀前半の出土土器 (S=1/8)

場する。なお 6-SB4 では、駿東型球胴甕、駿東型長胴甕、そして水平口縁長胴甕が共伴して出土している。環は須恵器模倣環の数が減少し、多くが半球形の器形となる。また駿東型環（須恵器箱形环身を模倣する平底環）の祖形ともいえるような平底環も 6-SB4 において出土している。粗製胎土の環も、継続して出土するが、稜の張りは弱くなり、口縁部も内傾するものが多い。また新相（8世紀中葉頃）になると、甲斐型環が出土するようになる。

場はこの段階でも調整方法は駿東型球胴甕と共通する。器形には 7-SB2 や 7-SB31 出土のような大型



第5図 8世紀中葉～後半の出土土器 (S=1/8)

な個体から、6-SB13出士のような小型の個体まである。また壺と比べれば少數であるが、出土数は前段階よりも若干増える傾向がみられる。

④遠江須恵器編年V期後半並行段階以降（8世紀後半以降）

中原遺跡の最終段階となる遠江須恵器編年V期後半段階は、平城IV・V期（8世紀後半）に相当する。一部のSB遺構は9世紀まで存続する可能性があるが、第2表94～98を対象とした。

SB遺構の特徴（建物規模と主軸方位 第1図）

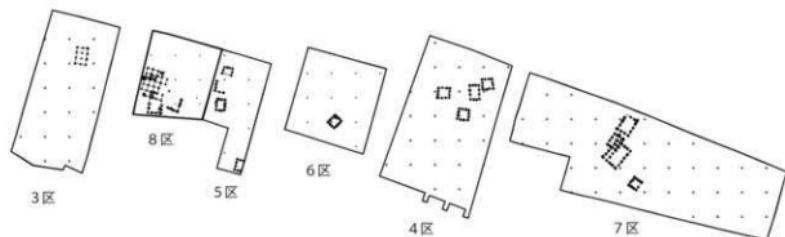
8区で1軒、6区で1軒、4区で3軒、計5軒と検出数は少ない。最西部の3区および最東部の7区において検出例がなくなり、調査区の中央にのみ分布するようになる。

建物規模は、対象とできたのが4軒と非常に少ないが、最大でも4-SB21の $5.44m \times 5.75m$ といずれも小規模である。4-SB4のみ南北に長辺をもつ長方形で、その他はおむね正方形を呈す。

主軸方位は8-SB17と4-SB14が北壁に、残りは西壁にカマドを設置する。絶対数は少ないが、西へのカマド設置の傾向は前段階から継続している。西への最大振れ幅はN-88°-W(4-SB4)で、東への最大振れ幅はN-6°-E(8-SB17)である。

出土土器の特徴（第5図）

主要な出土土器は引き続き壺、壺、壠である。壺は長胴壺が主流になり、球胴壺はほとんど出土しなくなる。だが、球胴壺と調整方法を共通としていた壠は引き続き出土する。壠は平底のいわゆる駿東型壠が



第6図 区別SH遺構検出状況図（各区はS=1/2000だが、区間の距離は任意）

出現する。また甲斐型壺にやや小型のものも見受けられる。木ノ内編年をもとに土師器の形態のみを検討すれば、一部のSB遺構は9世紀にまで継続する可能性があるが、中原遺跡のSB遺構からは、灰釉陶器は1点も出土していないため、おむね9世紀初頭以前には集落は衰退していたものと考えられる。

(2) 中原遺跡のSH遺構（第6図）

次にSH遺構の概要について記す。SH遺構は、3区で1棟、8区で3棟、5区で4棟、6区で1棟、4区で4棟、7区で4棟の計17棟が検出されている。複数棟が検出される区では、SH遺構は比較的まとまっている。遺物がほとんど出土していないことから年代比定は難しい。しかし8-SH1を除いて建物規模や柱穴規模に画一性が見られることから、先述したSB遺構の年代を考慮すると、SH遺構の年代も7世紀～8世紀後半（～9世紀初頭）に位置づけられるものと推測される。ただし4-SH3からは灰釉陶器が出土していることから、いくつかのSH遺構は9世紀以降にも継続していた可能性もある。

建物配置としては、3区、6区、7区ではSB遺構とSH遺構の重複は認められない。このことは、両遺構群が同時に存在していた可能性が示唆される。また、未報告である2区においては、SH遺構が一列に並ぶような配置も検出されており、後述する鉄製品や銅製品の出土様相を踏まえると、中原遺跡が官衙関連遺跡としての性格を有していた可能性も想起される。これに関連して総柱建物址である3-SH1、片面庇付の掘立柱建物址である7-SH2など特殊なSH遺構も検出されている。

一方、8区と5区ではSB遺構とSH遺構が重複する。8区のSB遺構は、全体として7世紀後半以後に位置づけられるものが多く、中原遺跡初期段階および終末段階にはあまり集落が展開していなかった区域である。SH遺構の年代は不明であるが、8区・5区に関しては、SB遺構との重複関係を考えると両遺構は異なる年代に属す。このように中原遺跡内でも、区によってやや様相が異なる。

唯一の例外として扱った8-SH1遺構は、柱穴規模が小さく、また配置も4間×3間（もしくは5間×4間）の総柱建物址である。1間幅も、他のSH遺構よりも大きく、2mを超える。特殊な性格を持った建物址であることは確実であるが、出土遺物はなく、年代は不明である。ただし、中原遺跡からは13世紀から14世紀前後の中世の遺物が一定量出土している（本書では未報告）ことから、この年代に位置づけられる可能性がある。

第2節 その他出土遺物の概要

第1節でみたようにSB遺構の出土土器から、中原遺跡は7世紀前半に成立したのち、7世紀後半～8世紀前半に最盛期を迎え、8世紀後半頃から衰退を開始する様相が確認できる。本節では、土器以外の出土遺物についてその特徴を記載する。

(1) 鉄製品

中原遺跡における鉄製品の総出土数（1区・2区除く）は217点である。これは10,996m²という広域

の調査とはいえ、単独の集落の出土数としては多い。そのうち残存状態の良いものを抽出し、55点を報告した。鉄製品の全体像については未調査区の整理作業が行われてから、総合的に判断されるものと考えられるため、ここでは報告した55点のうち特徴的なものを抽出し、その概要をまとめておくこととしたい。

第7図には、SB遺構から出土した図化可能な鉄製品に限って、前節に見たSB遺構の時期ごとに提示した³⁾。

①Ⅲ期末葉～Ⅳ期前葉並行段階（7世紀前半～中葉）

当該期に位置づけられる鉄製品の点数は少ないものの、刀子、鉄鎌、釣針が出土している。刀子は、両角（もしくは撫）関で、刃部が比較的長い形態である。鉄鎌は、やや丸みのある平根式の長三角形式と思われるものと、逆刺のない片刃式である。片刃式の鎌身関は撫関、茎関は棘関である。

②Ⅳ期後葉～末葉並行段階（7世紀後半）

当該期の鉄製品として図示できたものは、刀子の刃部片と三角形式の鉄鎌のみである。本時期は、SB遺構の検出数が4時期の中で最も多く、集落の最盛期であるが、鉄製品の数量は少ない。しかし図化できなかった小片鉄製品が、刀子や鉄鎌であることから、本来は本時期に位置づけられるものの、図示できなかった鉄製品も一定量含まれているものと考えられる。

三角形式の鉄鎌は、正三角形のように断ち落とされている。頭部は短く、棘関の茎関が茎部の上半寄りにある。

①～②Ⅳ期並行段階（7世紀代）

出土土器の関係から7世紀代と大体でしか位置づけられなかったSB遺構出土の鉄製品を右列上段枠内に示した。年代は①～②の範囲に収まる。刀子、鉄鎌のほか、責金具、釣針、鎌先の可能性のある鉄製品や棒状不明鉄製品などがある。

刀子は5-SB5から出土した刃部の短い形式と、7-SB16や8-SB3から出土した刃部の長い形式の二種がある。鉄鎌は、脇抉長三角（もしくは五角）形式と両刃式の鑿箭式、鎌身関が角関および撫関の片刃式などがある。責金具は5-SB5から2点が出土している。なお、5-SB5は、先述した刀子や鉄鎌、責金具の他に、釣針も出土しており、まとまった出土がある。8-SB3から出土した平ら、かつ極めて薄い鉄製品は、鎌先もしくは鉄素材の可能性がある。同じく不明鉄製品とした7-SB34出土の棒状の鉄製品はゆがみが激しく、両先端ともに先細っている。

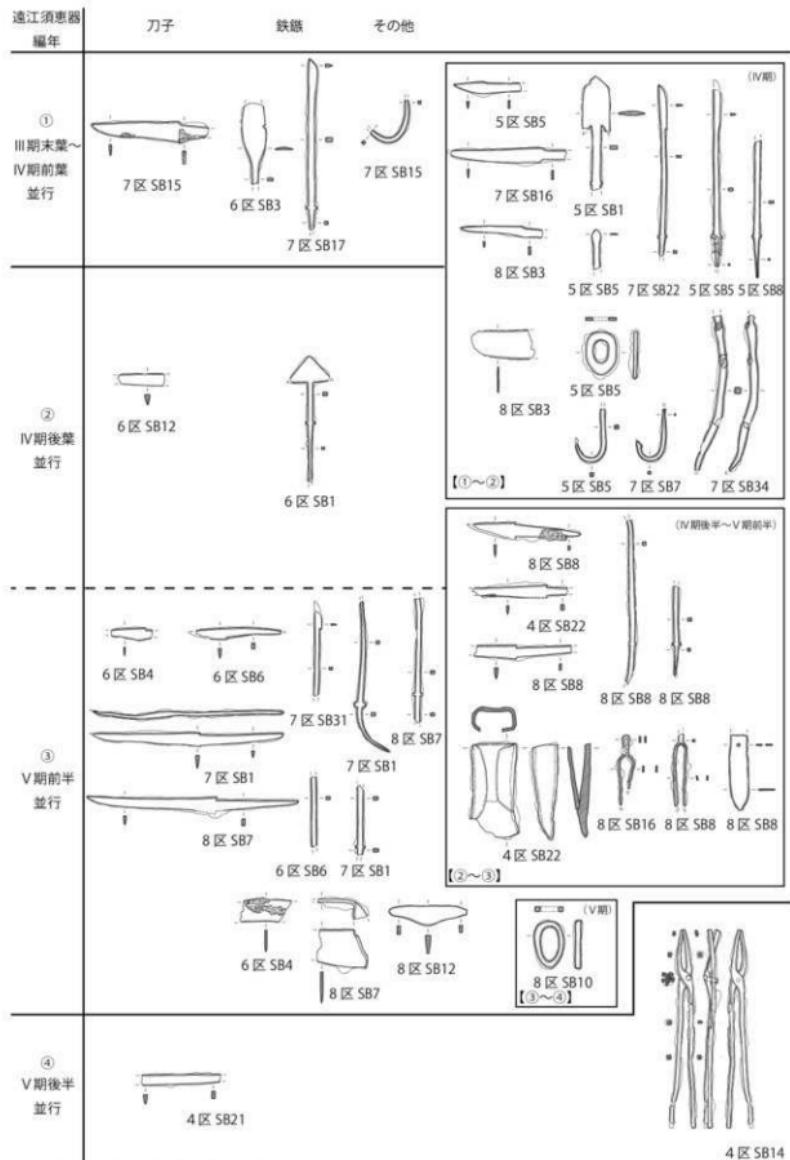
③Ⅴ期前半並行段階（8世紀前半）

本時期において図化可能であった鉄製品は、刀子、鉄鎌、鎌、不明鉄製品がある。刀子は、Ⅳ期並行段階でみられたように、刃部の短い形式と長い形式の二種があり、刃部の短い形式は撫関、長い形式は両角関である。鉄鎌は平根式のものがなくなり、全て尖根式である。多くが棘関をもつ片刃式と考えられるが、7-SB1出土のように大きく茎部が屈曲するものもある。鎌は6-SB4と8-SB7から出土しており、ともに残存状況は良好ではない。8-SB12出土の不明鉄製品は、平面形が丸みを持った三角形を呈しており、中心の断面形は図の下側に向けて先細る。

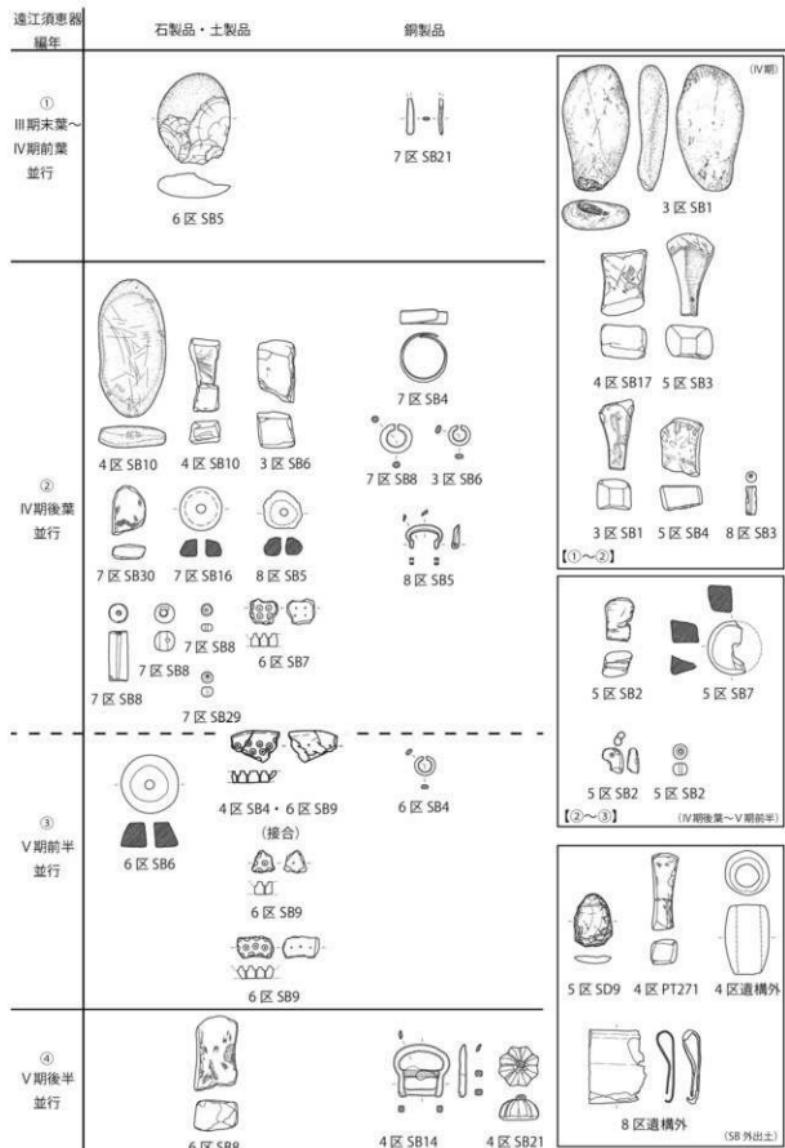
②～③Ⅳ期後葉～Ⅴ期前半（7世紀後半～8世紀前半）

出土土器の関係から7世紀後半～8世紀前半と大きく位置づけたものを右列中段枠内に示した。鉄製品が最も多く出土する時期である。種別には刀子、鉄鎌、袋状鉄斧、吊金具、板状鉄製品（もしくは鎧吊金具）がある。

刀子は、これまで見てきたように刃部が短い形式と長い形式の二種があり、いずれも両角関である。鉄鎌は「茎部先端が曲がる」という点で7-SB1出土のものと共通する形態の形式と、茎部が先細り、かつ短い形式がある。袋状鉄斧は、この1点のみの出土であるが、先端部がやや欠損するもののほぼ完形品である。なお、中原遺跡における農耕具は、鎌のほか、今回報告しなかった2区より鎌先が出土し



第7図 中原遺跡出土鉄製品編年図



第8図 中原遺跡出土石製品・土製品・銅製品編年図



第9図 SD 遺構および遺構外出土鉄製品

ているのみで刀子や鉄釘と比べて数は少ない。吊金具は彫形と推測されるが、先端部が欠損するため、詳細は明らかではない。板状鉄製品は、鎧吊金具の可能性もある。

この時期に位置づけた資料の多くが、8-SB8からの出土である。

④V期後半並行段階以後（8世紀後半以後）

集落が衰退を始める本時期に位置づけられる鉄製品は、刀子片1点と鉄鉗1点のみである。鉄鉗は柄の一部が欠損するが、ほぼ完形である。このほか、V期と大きく位置づけた資料には貴金属がある。

⑤SB 遺構外出土鉄製品

SB 遺構以外から出土した鉄製品の一部を第9図に図示した。SB 遺構以外からの出土であるため、年代は不明である。

1～3は8-SD13出土の棒状の不明鉄製品である。全面に木質が付着し、先端が先細ることから鎧もしくは鉄釘の可能性がある。6も同じく鉄釘であろう。また4は8区遺構外から出土した針である。着目すべき遺物としては、5の碗型をした鉄滓で5-SD9より出土した。鉄鉗の出土であることから、中原遺跡において鉄鍛冶が行われていたと推測されるが、鉄滓はこの1点のみであり、また鍛冶遺構は検出されていない。

（2）石製品・土製品・銅製品

第8図には石製品・土製品・銅製品の順に左列から示した。なお、石製品と土製品には素材から玉製品も含めた。これらも鉄製品と同様、型式分類による位置づけではなく、出土したSB 遺構の共伴土器から年代を推定している。そのため鉄製品の編年図と同じく、「IV期」「IV期後半～V期前半」と大きく捉えたものは右列に配した。また右下にはSB 遺構以外から出土したものを持てに示した。

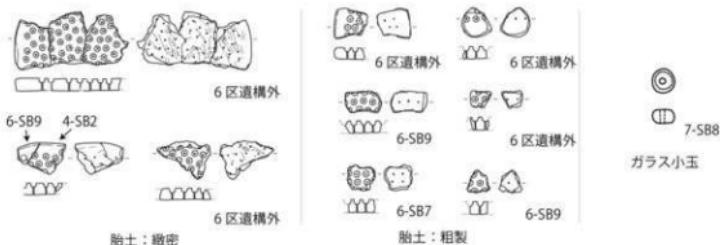
①Ⅲ期末葉～Ⅳ期前葉並行段階（7世紀前半）

鉄製品と同じく、出土点数は少ない。本段階の石製品は、6-SB5出土の凝灰岩製の敲石のみであり、土製品は出土していない。銅製品も7-SB21出土の銅製鉗具の刺金1点のみである。刺金の鍍金には銀が使用されている。

②IV期後葉～末葉並行段階（7世紀後半）

鉄製品の出土数は少ない時期であるが、集落の拡大時期と同じくして石製品・土製品・銅製品の出土例は増加する。石製品は砥石と紡錘車がある。砥石は4-SB10出土の楕円形を呈するものと4-SB10・3-SB6・7-SB30出土のような方形を呈する二種がある。紡錘車は滑石製（7-SB16）と砂岩製（8-SB5）が出土しており、表面・裏面ともに面取りされている。1辺が8mを超える大型のSB 遺構である7-SB8では、3点の玉類が出土しており、それぞれ管玉、丸玉、ガラス小玉である。また、6-SB7では、ガラス小玉の鋳型が出土している。

銅製品は7-SB4から銅環の出土があるが、覆土上層のため、当該期に位置づけられるかは定かでない。玉類が3点出土した7-SB8では耳環の出土がある。同時期と考えられる3-SB6出土の耳環よりもやや大型である。8-SB5では、覆土上層からの出土であることから当該期に位置づけられるものは明らかではないが、縦2.1cm、横3.1cmと非常に小型の鉗具が出土している。



第10図 中原遺跡出土のガラス小玉鋳型 (S=1/4) とガラス小玉 (S=1/1)

(1)~(2)IV期並行段階 (7世紀代)

7世紀代に位置づけられる一群を右列上枠に示した。石製品には、礫石斧や砥石がある。砥石は方形を呈す形式であり、IV期後半並行段階に位置づけられるものと類似する。また縄玉軸製の菅玉も認められる。

(3)V期前半並行段階 (8世紀前半)

鉄製品は増加する段階であるが、図化できない小片を除いて石製品の出土例が減る。図示ができたのは6-SB6出土の泥岩製錘車のみである。土製品もガラス小玉鋳型以外に図示できたものはない。なお、4-SB4と6-SB9で出土した小片が接合したが、前者は7世紀後半、後者は8世紀前半に位置づけられるSB遺構であるため、両時期の間に掲載した。銅製品は6-SB4出土の耳環が1点あるのみである。

(2)~(3)IV期後葉~V期前半 (7世紀後半~8世紀前半)

集落は最盛期を迎えており、この段階に位置づけられる石製品・土製品・銅製品は少ない。図示したのは、5-SB2の方形砥石、5-SB7出土の土製錘車、5-SB2出土のメノウ製勾玉と玉軸製丸玉である。

(4)V期後半並行段階以後 (8世紀後半以後)

当該期は、集落が衰退し始め、鉄製品も数を減らす時期であるが、砥石1点、銅製品（鉗具・分銅）2点が出土している。銅製品の2点はいずれも全体が銅製であるものの、一部が鉄によって修復されている。なお鉗具に関連して8世紀第4四半期とされる富士市の東平遺跡第107号住居址において中原遺跡出土の鉗具と同型式の鉄製鉗具と銅製丸鞘の出土例がある（佐藤ほか1981）。東平遺跡出土資料を検討した植松章八は、鉄製鉗具と銅製丸鞘の組み合わせを「何らかのセットとして扱われた」可能性を指摘しており（植松2003）、中原遺跡出土の鉄で修復された銅製鉗具も社会的地位を表すものとして十分に機能したのであろう。また分銅も鉄で修復されているが、この場合、重量が変わってしまうことから、重量を測る本来の機能では使われていないもある。

(3) ガラス小玉鋳型 (第10図)

ガラス小玉鋳型は土製品として編年表に記したが、静岡県内初出資料であるため、その特徴についてまとめておく。記載方法については全国の出土例を集めた鈴木徹の報告を参考とした（鈴木2011）。

中原遺跡出土のガラス小玉鋳型の平面形は小判形、型穴は直線配列であり、拡大写真から判断する限り、型孔にガラスが付着する孔（第2分冊カラー図版4参照）もあり、使用された痕跡が残る。また表面観察によれば、ガラス小玉鋳型には胎土が「緻密」なものと「粗雑」なものの二種があり、背面の様子にも違いがある。「緻密」な鋳型は背面にケズリ痕を残しながら平滑に仕上げられ、背面穿孔部の近くに表面まで貫通しない穴（「盲孔」）が認められる。また緻密胎土の個体には、少なくとも3個体のイネ種実の圧痕が確認されている。一方、「粗雑」な鋳型は、背面は平滑であるが、はっきりとしたケズリ痕は観察できず、盲孔もみられない。また植物圧痕は確認されなかった。

鈴木は、焼成・平面形・型穴配置・軸孔穿孔の属性の組み合わせによって、ガラス小玉鋳型を3類に



第11図 東駿河地域における古墳時代後期～奈良平安時代の遺跡分布と推定街道

(河川や浮島沼の範囲は、現在の地図を参照して作成したため、必ずしも当時の様子を反映するものではない)

分類している。この分類に従えば中原遺跡出土のガラス小玉鋳型はB類（平面小判形・貫通孔）に位置づけられる。B類は5世紀後半～8世紀中葉頃が実年代として想定されており、第8図に見たように中原遺跡出土の鋳型もその範囲に含まれることから、年代的位置づけにおいて、鈴木の検討は首肯することができる。鈴木の検討に含まれていない胎土や調整方法の違い、植物種実との関係などの背景は今後の課題であろう。

また集落全域はいまだ調査されていないものの、鋳型の出土とは裏腹に、ガラス小玉そのものの出土例が少ないと見えており、これは着目すべき事象である。そもそも全時期を通じても、ガラス小玉は未報告である2区に1点、7世紀後半に位置づけた7-SB29出土の1点、計2点しか出土していない。このことは生産されたガラス小玉の大半が集落外へと運ばれたことを示唆するものであるが、一方でガラス片の出土がないことから、実際の生産は限定的であった可能性もある。

第3節 成果と課題

以上のようにSB遺構・SH遺構と出土土器・鉄製品・石製品・土製品・銅製品の様相を概観した。最後に中原遺跡の変遷と性格、そして東駿河地域における位置づけをまとめておきたい(第11図・第3表)⁴⁾。

(1) 中原遺跡の成立と展開

先述したように、4段階に分けて中原遺跡のSB遺構を中心に、その出土遺物について検討した。ここでは、この4段階を古い順から「中原第1期」「中原第2期」「中原第3期」「中原第4期」と便宜的に設定し、時期ごとに中原遺跡の様相を見る。

【第1期】集落の成立は7世紀前半と考えられる。中原遺跡の西側に立地する下道遺跡の開始時期は中原遺跡の開始よりも若干先行するようで、その開始時期は6世紀後半頃と考えられるが、東側に隣接する烏沢遺跡は中原遺跡と同じく7世紀前半頃である。このことから千本砂礫洲上における古墳時代後期後半以

第3表 東駿河地域における古墳時代後期～奈良平安時代の遺跡消長表

区分	遺跡名	6C 後	7C 前	7C 後	8C 前	8C 後	9C 前	9C 後	10C 前	10C 後
集落	中原遺跡	-	○	◎	◎	△	△	-	-	-
集落	下道遺跡	○	○							
集落	鳥沢遺跡		○	◎	◎	○				
集落	東烟毛遺跡	○	○	?	○	○	○	△	?	
集落	丸子町遺跡	○	○	○						
集落	双葉町遺跡							○	○	○
集落	千本遺跡						○	○	○	○
集落	上ノ段遺跡				○	○	○	○	○	○
集落	本田町遺跡				△	△	△	○	○	○
集落	高田第六天遺跡	○	○	○						
集落	山王台遺跡	○	○							
集落	下石田原田遺跡				○	○	○			
集落	的場遺跡		○	○	○	○	△			
集落	御幸町遺跡	△	△	△	○	○	○	○	○	
集落	藤井原遺跡				○	○	○	△	△	△
古墳	中里古墳群	○	○							
古墳	船津古墳群	○	○							
古墳	神ヶ沢古墳群									
古墳	石川古墳群	○	○							
古墳	平沼吹上古墳群	○								
古墳	井出1号墳	○	○	○						
古墳	的場古墳群	○	○							
古墳	東原古墳群	○	○							
古墳	清水柳北古墳群	○	○	○	○					
古墳	下土狩西1号墳		○							
古墳	原分古墳		○	○						
古墳	天神洞古墳群	○	○							
寺院	日吉廻寺			△	○	○	○			

後の集落展開はおおむね6世紀後半～7世紀前半頃に開始されたと考えられる。ただし建物址に大型もしくは小型のものではなく、均一的である。土器や鉄製品には古墳に副葬されるようなものも出土することから、当該期に展開した愛鷹山麓の古墳群との関連も示唆される。

【第2期】 7世紀後半に位置づけられる第2期では、建物址の数が増加し、また突出した大型あるいは小型の建物址が認められる。おそらく集落の最盛期であろう。だが、愛鷹山麓の古墳群の数が減ることと関連しているためか、当該期と比定できる鉄製品の数は少ない。ただし年代を決めきれなかった鉄製品が、第2期に位置づけられる可能性もある。またガラス小玉鋳型の出土があり、生産は引き続き集落で行われている可能性が高い。

【第3期】 第3期は8世紀前半とする。建物址の数は、第2期と比べてやや減ってしまうものの、引き継ぎ数が多い。そして詳細な年代比定が困難であった「7世紀後半～8世紀前半」としたSB遺構の存在を考えると、集落はやや規模は縮小しながらもおおむね8世紀前半にも盛期を継続したものと考えられるが、突出するような規模の建物址は見られなくなる。このことは第3期の特徴といえる。一方で、第2期と比べて鉄製品の数が豊富になり、ガラス小玉鋳型の出土数が増加する。ガラス小玉鋳型は、4区と6区の資料が接合することから、両区の間に生産に関連する施設が存在している可能性がある。

【第4期】 8世紀後半になると集落において建物址は急激にその数を減らし、集落は小規模となる。中原遺跡の東側に展開する鳥沢遺跡も同様で、集落は8世紀末（9世紀初頭）までしか存続しない。両遺跡ともにSB遺構からの灰釉陶器の出土例がほとんどないことから、灰釉陶器流入前には、集落はおおむね終末を迎えていたと推測される。ただし、当該期では衰退を始めているとはいえ、鉄鉗、銅製鉗具、分銅

などの出土があることから、鉄製品生産は継続され、また同時に鉸具や分銅を持つような高位の人物が集落にいた可能性がある。

(2) 中原遺跡の生業

中原遺跡において特筆すべきは鉄製品の豊富さである。また出土量に加え、鉄鉗や砥石の出土を考慮すると、中原遺跡において鉄製品生産が行われていた可能性が高い。これに関連して中原遺跡には、4-SB15（中原第1期）のように完形品の須恵器环蓋・环身・壺、さらには丁寧なミガキを施す土器など古墳の副葬品としても違和感の無いよう一括遺物をもつSB遺構がある。これらのことから、中原遺跡で生産された鉄製品は日常的に使用するもの他に、同時代に愛鷹山山麓に築かれた古墳群に副葬するために生産されていた可能性があろう。

中原遺跡から直線距離にして約4km北東の的場3号墳では、鉄生産に係る集団の祭祀具と考えられている鉄鐸が2点出土している（富樫編2010）。的場3号墳の年代は、中原第1期よりも若干先行する6世紀後半頃と考えられるが、この地域において鉄製品生産が行われていた可能性を示しているといえる遺物である。また中原遺跡ではガラス小玉鑄型の出土もあり、このことから中原遺跡は鉄製品のみならず、複合的な生産集落であったと考えることができる。ただし銅製品だけは例外であったようで、全時期で出土しているものの、銅片などの出土はない。また第4期では、鉄で補修される銅製品が出土していることから、中原遺跡において銅製品生産は困難であったようで、このことから銅製品は、別の場所から運び込まれたと考えられる。

また、中原遺跡の生業という点に関して、農耕具や漁労具の出土数が少ないことも特筆すべき事象である。中原遺跡の後背地は浮島沼であるため、大規模な稻作を行うことは不可能であったと思われる。そのため中心的な生業は、目の前が海岸という立地から自ずと漁労関連と想像されるが、豊富な鉄製品の中に釣針の数量は相対的に少ない。中原遺跡の生業の中心が漁労ではなく、前述したような鉄製品や玉製品の生産に主体が置かれていたと推測される。

だが一方で、鍛冶遺構が検出されていないことと鉄滓の出土が少ないとには注意を払う必要がある。砥石の出土があることから鉄製品生産の最終的な仕上げは集落内で行われていたと考えられるが、それを遷る工程がどこまで行われていたかは明らかではない⁵⁾。このことはガラス小玉鑄型におけるガラス片の出土がないことにも通ずる。遺構については、平地式の鍛冶遺構であったため、検出ができていない可能性や未調査区が鍛冶を行なう地区として集落の中で分離されている可能性もあるが、これは将来的な調査を待って結論を出す必要がある。

(3) 東駿河地域における中原遺跡の位置づけ

最後に東駿河地域における中原遺跡についてまとめておきたい。

中原遺跡では道状遺構は検出されなかったが、狭い千本砂礫洲上を街道が通っていたことは想像に難くなく、中原遺跡は街道沿いに面していた可能性が高い。遺跡の展開も千本砂礫洲上に一列に並ぶように展開することから、これらを結んだ線が古代東海道に相当し、さらに古代東海道は、古代祭祀遺跡として知られる丸子町遺跡や、駿河国最古級の古代寺院である日吉庵寺へとつながっていたと考えられる。

しかし同一の砂礫洲上に立地し、街道沿いに面していたと考えられる下道遺跡と烏沢遺跡、東畠毛遺跡は3者で様相が異なる。下道遺跡は愛鷹山麓の古墳群の終息とともに集落が衰退するが、烏沢遺跡と東畠毛遺跡は中原遺跡と同じく集落は継続する。そして烏沢遺跡は中原遺跡と時期を同じくして衰退するものの、千本砂礫洲の中でもより東に位置する東畠毛遺跡は、現在の沼津市中心域に存在する官衙との関連が推測される遺跡（上ノ段遺跡、千本遺跡など）と同じく10世紀ごろまで継続することが報告されている。

このように整理をすると、東駿河地域の7世紀以降の集落展開は、3つのグループに分類することができる。すなわち、①愛鷹山麓の古墳群の終焉と時期を同じくして衰退する集落、②古墳時代終末期前

後を境に最盛期を迎え、8世紀末～9世紀に衰退する集落、③8世紀後半頃より集落の本格的な展開を開始し、灰釉陶器流入（9世紀）以後も継続する集落である。

中原遺跡は②のグループに位置づけられる。このような集落消長の背景は今後の検討課題となろうが、かねてより官衙関連遺跡として注目される上ノ段遺跡や千本遺跡、御幸町遺跡などは③のグループであり、これらが8世紀になってから同時に大きく展開し始めることは、本地域の奈良平安時代の在り方を検討する上で示唆深い。中原遺跡では、8世紀後半に位置づけた鉄製品や分銅など、官衙等と関連が推測される遺物が出土しているが、一方で一切の文字資料が出土せず、また大型のSH遺構群なども検出されていない。特徴として挙げた鉄製品生産も鉄滓の出土が限定的であることから、律令体制を整えるような「官営工房」のような集落ではなく、7世紀代にあったであろう伝統的な村落内工房による生産体制を継続していた可能性が高い。以上のことから、必ずしも官衙関連遺跡とは言い難い様相といえるが、中原遺跡が東に位置する官衙関連集落の開始と相前後して衰退を始めることは、東駿河地域における律令体制の開始を検討する上で注目すべき事象であろう⁶⁾。

註

- 1) 中原道路の未調査となっている包囲地範囲は、残り約15,000mあることから、今後の調査成果によって本章の成果を再検討する可能性もある。
- 2) なお、以下の検討や第III章から第VII章までに提示した中原遺跡検出遺構の年代は、山本・池谷の手法と同様に、土師器そのものではなく、年代のわかる共伴遺物を根拠としている。しかし共伴する上器が少ない、もしくは出土していない場合には木ノ内編年を合わせて参考にした。
- 3) この編年図は、鉄製品そのものの型式分類によって位置づけたものではなく、出土上器を根拠として第1節で設定したSB遺構の年代に従っている。そのため、本来、年代的位階づけに源流がある鉄製品も存在している可能性もある。
- 4) 遺跡の消長表は、各報告書もしくは『沼津市史 考古編』を参考に作成したが、紙幅の都合から参考文献からは割愛した。古代東海道は、『静岡県郷土誌叢刊 静岡駿東郡誌』(龍川書店刊)を参照した。
- 5) 奈良時代における鉄製品生産の様相については、馬場・青木編2011を参考にした。
- 6) 7世紀から8世紀における地域拠点の推移に関連して、佐野2008、鈴木2013、藤村2014などの論考がある。

参考文献

- 植松卓八 2003 「特論 静岡県の持帯」『富士市埋蔵文化財調査報告書 東平遺跡発掘調査報告書』55-108頁 富士市教育委員会
- 佐藤政次・平林将信ほか 1981 『西富士道路(富士地区) 信南広域都市計画道路田子浦駿臨線埋蔵文化財発掘調査報告書 東平』富士市教育委員会
- 佐藤祐樹 2014 「第5章 総括 第1節 藤井川流域における須恵器流入以降の土器様相」『富士市埋蔵文化財調査報告第56集 静岡県富士市沢東 A 遺跡第1次 遊技場建設に伴う理蔵文化財発掘調査報告書』75-81頁 富士市教育委員会
- 化野五十三 2008 「駿河国富士郡における8世紀代の移住と集落」『静岡県考古学研究』No.40 271-284頁 静岡県考古学会
- 鈴木一 2013 「7世紀における地域拠点の形成過程 東海地方を中心として」『国立歴史民俗博物館研究報告』第179集 137-166頁
- 鈴木一 2011 「第6章第2節 ガラス小玉軽型の検討」『石岡市埋蔵文化財調査報告書 城中跡 一私道建設に伴う発掘調査一』 32-40頁
- 石岡市教育委員会 有限会社勾玉工房 Mogi
- 鶴田晴徳 2000 『沼津市文化財調査報告書第74集 下石田原田遺跡発掘調査報告書』沼津市教育委員会
- 富権孝志編 2010 『静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第227集 的場古墳群・的場遺跡 第二東名建設事業に伴う理蔵文化財発掘調査報告書 沼津市-6』中日本高速道路株式会社東京支社・財團法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
- 原田雄紀 2016 『沼津市文化財調査報告書第111集 相生町遺跡発掘調査報告書』沼津市教育委員会
- 藤村 順 2014 『富士郡駿連遺跡群の成立と展開～富士市東平遺跡とその周辺～』『静岡県考古学研究』No.45 53-66頁 静岡県考古学会
- 馬場基・青木敬編 2011 『第14回古代官衙・集落研究会報告書 官衙・集落と鉄』独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所
- ・池谷 1995, 木ノ内 2002, 鈴木 2001・2004, 山本 1995 は第1分冊凡例13を参照。

第4表 3区土器觀察表(1)

器物番号	種類	出土地点	遺物名	口内 周縁 及 底	成形	手法の特徴	色調・様式部位	備考
13-01	土師器 灰	SB1	155 609 627	21.0 — —	輪組み	外面 口縁部ハケマーテー 内面 口縁部ハケマーテー 底部ハケマーテー 脚部低いハケマーテー	2.5時間/4 にじる赤褐色 口縁部～脚部	
13-02	土師器 灰	SB1	668	19.6 (8.6)	輪組み	片面 口縁部ハケマーテー 内面 口縁部ハケマーテー 底部ハケマーテー 脚部低いハケマーテー	2.5時間/4 にじる赤褐色 口縁部～脚部	
13-03	土師器 灰	SB1	—	19.4 (5.6)	輪組み	片面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ 底部ハケマーテー 内面 ハケマーテー 脚部ハケマーテー	2.5時間/4 にじる赤褐色 口縁部～脚部	
13-04	土師器 灰	SB1	663	— (9.7) 9.6	輪組み	片面 底部ハケマーテー(2万円), 木葉底 内面 ハケマーテー, ナデ(ミガカホ). 指揮注底	2.5時間/4 にじる赤褐色 口縁部～脚部	
13-05	土師器 灰	SB1	—	— (2.5) 9.0	輪組み	片面 ナデ 内面 ハケマーテー	2.5時間/2 灰褐色 底部	
13-06	土師器 灰	SB1 P186	—	2.0 9.3	輪組み	片面 指揮注底, ナデ 底部木葉底 内面 脚部高いハケマーテー	SHR4.2 にじる赤褐色 底部	
13-07	土師器 灰	SB1	70	(2.4) 9.6	輪組み	片面 ナデ 内面 口縁部ナデ(指揮注底, ナデ)	SHR4.2 にじる赤褐色 底部	
13-08	土師器 小口型	SB1	163	12.4 (7.1)	輪組み	片面 口縁部ナデ 内面 ナデ(指揮注底)	SHR5.4 にじる赤褐色 口縁部～脚部	
13-09	土師器 灰	SB1 383	756 1114	12.0 3.1 6.0	輪組み	外面 口縁部ナデ, ミガキ 底部ハケマーテー(2万円) 脚部底部を切り落とす 内面 ミガキ	SHR5.4 にじる赤褐色 口縁部～底部	出土に白墨色含む 底入品か
13-10	土師器 灰	SB1	68	11.9 3.4 —	輪組み	片面 口縁部ナデ, ミガキ 内面 ミガキ	SHR4.2 灰褐色 口縁部～脚部	
13-11	土師器 灰	SB1	964	12.1 (4.2) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 体部へラグリ、黑色粘壁 内面 口縁部ナデ 底部ミガキ 黑色粘壁	SHR4.2 灰褐色 口縁部～体部	やや灰質
13-12	土師器 灰	SB1	611	12.0 (4.4) —	輪組み	片面 口縁部ナデ, ミガキ 内面 ミガキ 黑色粘壁	SHR4.2 灰褐色 口縁部～体部	
13-13	土師器 灰	SB1	625	12.1 (5.1) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 体部へラグリ～一部ミガキ 内面 ミガキ	SHR4.2 にじる赤褐色 口縁部～体部	やや灰質
13-14	土師器 灰	SB1	130 667	12.5 5.0 —	輪組み	片面 口縁部ナデ 内面 ナデ	SHR4.2 灰褐色 口縁部～体部	
13-15	土師器 灰	SB1	411	12.0 (4.4) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 内面 ナデ	SHR4.2 灰褐色 口縁部～体部	黄色斑跡か
13-16	土師器 灰	SB1	666	11.1 3.6 —	輪組み	片面 口縁部ナデ 内面 ナデ, ラグリミガキ	SHR4.2 にじる赤褐色 口縁部～体部	
13-17	土師器 灰	SB1	123	10.3 4.6 —	輪組み	片面 口縁部ナデ 体部へラグリ後不規則(下部までは削っていない) 内面 底部木葉底 ナデ	SHR4.2 にじる赤褐色 口縁部～体部	軽度で胎土に少しだけ 大的の黒色斑を含む
13-18	土師器 灰	SB1	921 1052	10.9 (4.2) —	輪組み	片面 ナデ 内面 ナデ	SHR4.2 灰褐色 口縁部～体部	大的の黒色斑を含む
13-19	土師器 灰	SB1	883 1119	42.0 (6.0) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケマーテー 底部ハケマーテー	SHR4.2 にじる赤褐色 口縁部～体部	白色砂粒含む
13-20	須磨器 灰	SB1	617 626 1051	10.2 4.3 —	右ロクロ	天井部回転へラグリ	SHR5.1 灰褐色 天井部	
13-21	須磨器 灰	SB1	188 890	9.3 (3.5) —	右ロクロ	天井部回転へラグリ	SHR5.1 灰褐色 天井部	
13-22	須磨器 灰	SB1	150 684	9.1 (3.4) —	右ロクロ	底部回転へラグリ, 面面に裏印有り	SHR5.1 灰褐色 底部	
13-23	須磨器 灰	SB1	149 2455	8.3 (3.6) —	左ロクロ	底部回転へラグリ	SHR5.1 灰褐色 底部	
13-24	須磨器 灰	SB1	133	8.6 4.4 4.0	右ロクロ	底部回転へラグリ, 面面に裏印有り	SHR5.1 灰褐色 底部	
13-25	須磨器 灰	SB1	129 1196	9.0 (2.6) —	回転方向 不明	外面に「ブク」(乳状) 多数	SHR5.1 灰褐色 口縁部～体部	
15-01	土師器 灰	SB2	—	(4.5) 8.9	輪組み	片面 指揮注底, ナデ 底部木葉底 内面 ハケマーテー	SHR4.2 にじる赤褐色 脚部下半～底部	白色砂粒含む
15-01	土師器 小口型	SB3	507 513 914	16.7 (12.7) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 底部ハケマーテー 内面 口縁部高いハケマーテー 底部高いハケマーテー	SHR4.2 灰褐色 口縁部～体部	白色砂粒含む
15-02	土師器 灰	SB3	1096 2664	(6.6) 7.5	輪組み	片面 ハケマーテー 内面 底部木葉底 ナデ	SHR4.2 灰褐色 脚部下半～底部	白色砂粒含む
15-03	土師器 灰	SB3	2062	(5.0) (10.0)	輪組み	片面 ハケマーテー 内面 ハケマーテー 底部木葉底 ナデ	SHR4.2 にじる赤褐色 脚部下半～底部	白色砂粒含む
15-04	須磨器 灰	SB4	561 1715 1960	10.4 (2.1) —	回転方向 不明	天井部回転へラグリ	SHR5.1 灰褐色 天井部	
15-05	須磨器 灰	SB4	1072	10.0 4.5 —	右ロクロ	底部回転へラグリ	SHR5.1 灰褐色 底部	
20-01	土師器 灰	SB4	882 1056 1196	10.6 (3.5) (8.9)	輪組み	片面 ハケマーテー 内面 ハケマーテー	SHR4.2 にじる赤褐色 脚部下半～底部	白色砂粒含む
20-02	土師器 灰	SB4	796 797 799	(46.0) (19.6) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 底部ハケマーテー 内面 口縁部ハケマーテー 底部ハケマーテー ナデ	SHR4.2 にじる赤褐色 口縁部～脚部	白色砂粒含む
26-01	土師器 灰	SB6	1829 2028 2480	18.1 30.7 7.6	輪組み	片面 口縁部ナデ 底部ハケマーテー 内面 口縁部ハケマーテー 底部ナデ, 木葉底 ナデ	SHR4.2 灰褐色 口縁部～底部	白色砂粒含む

第5表 3区土器觀察表(2)

第1分類番号	断層	出土地点	遺物名	口径 底面 高さ	成形	手法の特徴	色調・斑点部位	備考
26-02	土師器 壺	SME	2727 2773 3035	21.9 (17.3) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 脇部ハメーナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層縫合ハメー 断層下半周強張痕	3794-3 にない褐色 口縫部～底部下半	白色砂和少量含む
26-03	土師器 壺	SME	2794 2833	18.5 (16.2) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 脇部ハケーナデ 断層縫合ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層下半周強張痕	7.5W4-2 にない褐色 口縫部～底部下半	白色砂和含む
26-04	土師器 壺	SME	2820 2864 2932	16.7 (21.9) 6.7	輪摺込	外面 口縁部ナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー 断層上半周いいハメー 中側に強張痕 内面 口縁部ハケーナデ 断層上半周いいハメー 断層下半周ハメー	3794-2 直端部 口縫部～底部	白色砂和含む
26-05	土師器 壺	SME	2841 2758 2778	19.8 (10.1) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層縫合ハメー	3794-3 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和含む
26-06	土師器 壺	SME	2893 2940	18.5 (19.7) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 断層ハメー 断層ハメー 内面 口縁部ナデ 断層縫合ハメー	7.5W4-2 直端部 口縫部～底部下半	直端部白色 地土に白雲母含む
26-07	土師器 壺	SME	2874 2456	18.9 —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層ハメー	3794-1 直端部 口縫部～底部上半	白色砂和少量含む
26-08	土師器 壺	SME	2929 2933 2963	18.2 (8.2) —	輪摺込	外面 口縁部ハケーナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー	3794-2 直端部 口縫部～底部上半	白色砂和含む
26-09	土師器 壺	SME	2906 2916 2919	17.6 (7.6) —	輪摺込	外面 口縁部ハケーナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー	3794-3 直端部 口縫部～底部上半	白色砂和含む
26-10	土師器 壺	SME	2995 2919 2919	19.3 (7.6) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層縫合ハメー、強張痕	3794-3 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和少量含む
26-11	土師器 壺	SME	2932 2224 2972	17.3 (7.8) —	輪摺込	外面 口縁部ハケーナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層ハメー	3794-3 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和含む
27-12	土師器 壺	SME	3035 3035	22.0 (7.1) —	輪摺込	外面 口縁部強張痕ハメーナデ 強張痕ハメーナデ 断層ハメー 内面 口縁部強張痕ハメーナデ 断層ハメー	3794-3 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和少量含む
27-13	土師器 壺	SME	2462	16.1 (6.0) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ 断層ハメーナデ 断層ハメー、弱いガリ 内面 口縁部ナデ 断層ハメー	3794-2 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和含む
27-14	土師器 壺	SME	2926 2977	20.1 (8.9) —	輪摺込	外面 口縁部ハケーナデ 断層ハメーナデ、ミガキ 断層ハメー 内面 口縁部ハケーナデ 断層ハメー	3794-3 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和少量含む
27-15	土師器 壺	SME	2734 3459	18.5 (7.6) —	輪摺込	外面 口縁部ナデ、タリガニ 内面 口縁部ナデ、タリガニ 内面 口縁部ハケーナデ 断層ハメー	3794-2 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂和含む
27-16	土師器 壺	SME	2841 2841 2384	22.0 (22.0) 8.5	輪摺込	外面 ハケーナデ弱張痕ハメー ガリ 連続木裏 内面 強張痕上半周ハメー、弱いガリ、強張痕ではない 中側に強張痕	3794-2 直端部 強張痕上半周	白色砂和少量含む
27-17	土師器 壺	SME	2470 2521 2521	— (24.0) (11.1)	輪摺込	外面 ハケーナデ、底部ナデ 内面 強張痕上半周ハメー不明確 断層下半 (複合部より下) ハケーメ明確 中側に強張痕	3794-4 にない褐色 強張痕上半周	白色砂和少量含む
27-18	土師器 壺	SME	2876 2330	18.7 (4.8) 8.7	輪摺込	外面 脱唇ハメー 底部ナデ、底部ナデ、底部木裏 内面 ハメー	3.5W4-2 直端部 脱唇上半周	白色砂和含む
27-19	土師器 壺	SME	2770 2803	18.0 (10.0) 7.2	輪摺込	外面 脱唇ハメー、弱いガリ 底部ナデ 内面 ハメー	3.5W4-2 直端部 脱唇上半周	白色砂和含む
27-20	土師器 壺	SME	2522	— (9.0) —	輪摺込	外面 強張痕ハメー 底部ナデ 内面 強張痕ハメーナデ、弱いハメーナデ、強張痕	3794-2 にない褐色 強張痕上半周	白色砂和含む
27-21	土師器 壺	SME	2830 2410	19.0 (7.0) (9.5)	輪摺込	外面 ハメー、底部ナデ 底部木裏 内面 強張痕上半周ハメー 不明確	3794-3 にない褐色 強張痕上半周	白色砂和少量含む
27-22	土師器 壺	SME	1941 2860	— (5.2) 8.0	輪摺込	外面 ハケーナデ、ミガキ 底部ナデ、木裏痕 内面 ハケーナデ	3.5W4-2 直端部 強張痕上半周	白色砂和少量含む
27-23	土師器 壺	SME	2689 2810	— (5.2) 8.0	輪摺込	外面 ハメー、弱いガリ (ナデか)、木裏痕 内面 弱いハメー	3.5W4-2 にない褐色 強張痕上半周	白色砂和含む
27-24	土師器 壺	SME	2394 2653	— (4.7) 7.7	輪摺込	外面 ハメー、底部ナデ、木裏痕 内面 弱いハメー	3.5W4-2 直端部 強張痕上半周	白色砂和少量含む
27-25	土師器 壺	SME	385	— (7.0) 7.4	輪摺込	外面 ハメー、底部ナデ、木裏痕 内面 弱いハメー	3.5W4-3 にない褐色 強張痕上半周	白色砂和含む
27-26	土師器 壺	SME	2337 2355	(2.4) 9.1	輪摺込	外面 ナデ 内面 ハメー	3.5W4-2 直端部 強張痕上半周	白色砂和含む
27-27	土師器 壺	SME	—	(2.9) (8.8)	—	外面 底部ナデ (ミガキ) 内面 弱いハメー	2.5W4-4 にない褐色 底部	白色砂和含む 器壁厚手
27-28	土師器 壺	SME	—	(2.5) 8.9	—	外面 底部ハメーナデ、木裏痕 内面 ナデ	10.5W4-2 直端部 強張痕上半周	白色砂和・白雲母少量含む
27-29	土師器 壺	SME	1534	(3.3) 7.7	輪摺込	外面 底部ハメー、ナデ (ミガキ) 内面 弱いハメー	3.5W4-3 にない褐色 底部	白色砂和含む
27-30	土師器 壺	SME	2084	(2.4) 9.0	輪摺込	外面 ナデ 内面 ナデ	3.5W4-2 直端部 底部	白色砂和含む
27-31	土師器 壺	SME	1924	11.7 3.7	—	外面 口縁部ナデ ボディヘラケズリ 内面 ナデ 黒色處理	2.5W4-4 にない褐色 底部	白色砂和含む 器壁厚手
27-32	土師器 壺	SME	2439	16.8 4.9 —	—	外面 口縁部ナデ ボディヘラケズリ 内面 ナデ 黑色處理	3.5W4-2 にない褐色 口縫部～全体	白色・赤色砂和含む
27-33	土師器 壺	SME	2301 2304	12.0 4.6 —	—	外面 口縁部ナデ ボディヘラケズリ 内面 ナデ 黑色處理	3.5W4-2 にない褐色 口縫部～全体	白色・赤色砂和含む
27-34	土師器 壺	SME	1903 2105	12.0 4.8 —	—	外面 口縁部ナデ ボディヘラケズリ 内面 口縁部ナデ、ミガキ ボディナデ、ミガキ 黑色處理	3.5W4-2 直端部 口縫部～全体	赤色砂和をまぶらに含む
27-35	土師器 壺	SME	2429	11.4 3.4 —	—	外面 口縁部ナデ ボディラクゼリ 内面 ナデ 美登形に強張	3.5W4-2 塔形 口縫部～全体	白色・赤色砂和少量含む

第6表 3区土器観察表(3)

調査番号	種類	出土地点	遺物名	口内 基部 修理	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考
29-36	土師器 片	586	1922 1940	11.1 —		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ ナデ、ミカキ 黒色修理	SH95.2 底裏褐色 口縁部	
29-37	土師器 片	586	2390 1410 2584	13.2 3.6 —		片面 口縁部ナデ 体部へラケズリ(トビカンナのような痕跡) ナデ 頭頂圧痕	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 赤色砂をまばらに含む	
29-38	土師器 片	586	2375 2596 2587	12.6 (4.0) 4.2		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面 ナデ	SH94.2 にじみ赤褐色 口縁部～底部	赤色砂粒をまばらに含む
29-39	土師器 片	586	2825	12.8 4.1		背面 口縁部ナデ 体部下半へラケズリ 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 赤色砂と白墨書き 口縁部	赤色砂と白墨書きまばらに含む
29-40	土師器 片	586	2481	9.9 3.0		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	白色砂含む
29-41	土師器 片	586	2667 2669	11.0 3.5 —		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	白色砂含む
29-42	土師器 片	586	2011	13.0 4.1		背面 口縁部ナデ 体部仰頭圧痕、ヘラケズリ 逆頭木葉痕 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 黒褐色を含む	黒褐色を含む
29-43	土師器 片	586	1938	10.0 (5.0)		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	白色砂含む
29-44	土師器 片	586	—	11.5 5.7 —		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 逆頭木葉痕 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 黒褐色を含む	黒褐色を含む
29-45	土師器 片	586	—	11.7 —		背面 ナデ(摩擦痕しくケズリ痕は確認できないが、下半はケズりか) 内面 ナデ	SH95. 7 7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	黒褐色を含む
29-46	土師器 片	586	2588 2586	11.3 4.6		背面 口縁部ナデ 体部仰頭圧痕 逆頭木葉痕 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	黒褐色を含む
29-47	土師器 片	586	2396 2399	12.0 4.7 —		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 逆頭木葉痕 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	黒褐色を含む
29-48	土師器 片	586	2029 2169 2795	12.5 (9.4) —		背面 口縁部ナデ 体部から腹部へラケズリ 内面 ナデ	SH94.2 7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	黒褐色を含む
29-49	土師器 片	586	1556	12.9 (8.3)		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面 ナデ	SH95.4 にじみ赤褐色 口縁部～底部	赤色砂と少量含む
29-50	土師器 片	586	2697 2698	14.0 (7.6)		背面 口縁部ナデ 体部上半部いたずけズリ 下ヨコケズリ 内面 ナデ	SH95.4 7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂・白墨 口縁部	白色砂・白墨 口縁部
29-51	土師器 片	586	2007	14.9 (9.0)		背面 口縁部ナデ 体部下部へラケズリ 内面 ナデ	SH95.4 にじみ赤褐色 口縁部～底部 白色砂含む	黒褐色を含む
29-52	土師器 片	586	1515	15.6 6.6 —		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 全体的に擦耗し、成形痕不明瞭 底裏 木葉痕 内面 ナデ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 黒褐色を含む	黒褐色を含む
29-53	土師器 片	586	1840	14.8 (7.0)		背面 口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面 ミカキ	7.5H6.2/ 11.5H6.2/ 口縁部～底部 白色砂含む	白色砂含む
29-54	土師器 片	586	2012 2115 2192	15.0 (5.6)	右ロクロ	回転ナデ(天井部ケズりなし)	SH95.2 反転褐色 天井部	
29-55	土師器 片	586	1584	9.8 3.0 —	右ロクロ	天井部回転へラケズリ	SH94.1 天井部	天井部自然剥離
29-56	土師器 片	586	—	10.7 4.1 —	右ロクロ	天井部側面回転へラケズリ	SH94.1 天井部	天井部少量含む
29-57	土師器 片	586	2213	10.1 3.6 —	右ロクロ	天井部回転へラケズリ	SH94.1 天井部	白色砂と少量含む
29-58	土師器 片	586	1582	9.2 (3.1) —	左ロクロ	天井部回転へラケズリ	SH94.1 天井部	天井部自然剥離
29-59	土師器 片	586	1433	9.4 (3.4) —	右ロクロ	天井部回転へラケズリ 印記	SH94.1 天井部	天井部自然剥離
29-60	土師器 片	586	2133	(9.8) (3.2)	左ロクロ	天井部回転へラケズリ	SH94.1 天井部	白色砂含む
29-61	土師器 片	586	1482 1485	8.0 3.8 1.7(拂み)	回転方向 不明	天井部回転へラケズリ	SH95.2 反転褐色 天井部	天井部自然剥離
29-62	土師器 片	586	1484	8.8 3.2 —	右ロクロ	底部回転へラケズリ	SH95.1 反転褐色 天井部	天井部自然剥離
29-63	土師器 片	586	2482	9.3 3.4 4.9 —	右ロクロ	底部回転へラケズリ	SH95.1 反転褐色 天井部	白色砂少量含む
29-64	土師器 片	586	2279 2438	8.1 3.8 4.8 —	右ロクロ	底部回転へラケズリ	SH95.2 反転褐色 天井部	天井部自然剥離
29-65	土師器 片	586	1464 1465	8.4 (3.1)	右ロクロ	底部回転へラケズリ	SH95.1 反転褐色 天井部	白色砂含む
29-66	土師器 片	586	1471	8.1 3.4 —	左ロクロ	底部回転へラケズリ	SH95.1 反転褐色 天井部	天井部自然剥離
29-67	土師器 片	586	2247	7.9 (3.1)	回転方向 不明	底部回転へラケズリ	SH94.1 反転褐色 天井部	白色砂含む
29-68	土師器 片	586	P1138 2404	10.0 (4.1) —	回転方向 不明	底部回転へラケズリ	SH94.1 反転褐色 天井部	白色砂含む
29-69	土師器 片	586	1845 2232	(2.7) 4.0	右ロクロ	底部回転へラケズリ	SH95.1 反転褐色 天井部	

第7表 3区土器観察表(4)

第1分類 図版番号	理	出土点	遺物名	口径 底径 厚さ	成形	手法の特徴	色調・保存部位	備考
29-70	渕部器 舟身	586	1876	11.1 (3.7) 5.0	右ロクロ	底部凹輪へラケズリ 底面に窓印有り	10195/2 底黄褐色 口縁部～底部	
29-71	渕部器 舟身	586	2801	9.6 4.7 —	右ロクロ	底部凹輪へラケズリ	10195/1 底黄褐色 口縁部～底部	内面自然脱付着
29-72	渕部器 舟身	586	2808	12.2 4.6 5.1	右ロクロ	底部凹輪へラケズリ	2,5195/2 底黄褐色 口縁部～底部	
29-73	渕部器 舟身	586	2175 2538	14.6 (3.6) —	回転方向 不規	回転ナシ	7,5195/2 底黄褐色 外縁部	内外面自然脱付着
29-74	渕部器 舟身	586	1325	— 10.3	回転方向 不規	底部凹輪ナシ	10195/2 底黄褐色 外縁部	内面自然脱付着
32-01	土師器 片	587	2037	9.0 3.5 —		内面 口縁部ナシ 体部へラケズリ 内面 ミガキ 窓印有り 桂色褐斑	3,5195/2 底黄褐色 口縁部～底部	
32-02	渕部器 舟身	587	2804	9.5 — —	右ロクロ	天井部回転へラケズリ	2,5195/1 底黄褐色 天井部～口縁部	
39-01	土師器 皿	582	608	(42.0) (9.0) —		内面 口縁部ナシ 体部ナシ 体部ハケメ 内面 口絞部ナシ 体部ハケメ	5195/2 底黄褐色 口縁部	
41-01	渕部器 盤	遺構作	—	(39.0) (3.6) —	右ロクロ	回転ナシ	10195/2 底黄褐色 口縁部	外表面褐色付着、半 安後期か
41-02	渕部器 舟身	遺構作	—	9.2 3.7 —	右ロクロ	天井部回転へラケズリ	10195/1 底黄褐色 天井部～口縁部	
41-03	渕部器 舟身	111-0411	1418	(11.0) 1.5 —	右ロクロ	内面 渕部凹輪へラケズリ 底面有り不十分で土軋焼行着 内面 窓孔形成後にナシ 窓座及びヘラ状の工具傷跡有り	5195/4 に近い褐色 浅灰色	白色砂と少量食む
41-04	渕部器 板瓦器	遺構作	—	(11.2) (3.2) —	回転方向 不規	回転ナシ	5195/2 底黄褐色 口縁部～縁部上半	
41-05	元転写器 皿(瓶)	遺構作	—	(4.5) 13.7		貼付窓位	2,5195/1 底黄褐色 窓位	半安後期

第8表 8区土器観察表(1)

第1分類 図版番号	理	出土点	遺物名	口径 底径 厚さ	成形	手法の特徴	色調・保存部位	備考
52-01	土師器 皿	583	2347 2349 2500	18.6 19.6 —	輪筋込	内面 口縁部ハケメナシ 薄盤ナシ 窓孔ハケメ 内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメ	5195/3 に近い褐色 口縁部～縁部上半	白色砂和食む
52-02	土師器 皿	583	—	(6.0) —	輪筋込	内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメナシ 窓孔ハケメ 内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメ	5195/2 に近い褐色 口縁部～縁部上半	白色砂和少量食む
52-03	土師器 皿	583	—	(9.4) (3.2) —	輪筋込	内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメナシ 窓孔ハケメ 内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメ	7,5195/1 底黄褐色 口縁部～縁部上半	白色砂和食む
52-04	土師器 皿	583	3683	(21.0) 9.0	輪筋込	内面 窓孔ハケメ 薄盤ナシ 本茎有 内面 窓孔ハケメ 窓孔ハケメ	7,5195/4 に近い褐色 窓位	白色砂和食む
52-05	土師器 皿	583	—	(3.1) 8.5	輪筋込	内面 ハケメナシ 週面木葉模	5195/3 に近い褐色 底部	白色砂和少量食む
52-06	土師器 片	583	—	(12.7) (3.3)		内面 口縁部ミガキ 微部へラケズリ+ミガキ 内面 ミガキ やや不規則	7,5195/3 に近い褐色 口縁部～底部	白色砂和食む
52-07	土師器 片	583	—	(12.0) (4.2) —		内面 口縁部ナシ 体部ハラケズリ 内面 ミガキ やや不規則	5195/4 に近い褐色 口縁部～底部	白色砂和少量食む
52-08	土師器 片	583	—	(12.9) 4.7 —		内面 口縁部ナシ 体部ハラケズリ 内面 ミガキ	5195/4 に近い褐色 口縁部～底部	
52-09	土師器 片	583	5816	(11.3) 4.1		内面 口縁部ナシ 体部ハラケズリ 流部木葉底 内面 ナシ	5195/6 青 口縁部～底部	窓葉で脚土に染み 大色砂和食む、保付番
52-10	渕部器 舟身	583	—	(10.0) (4.2)	右ロクロ	天井部回転へラケズリ	10195/1 底黄褐色 天井部～口縁部	白色砂和少量食む
52-11	渕部器 舟身	583	1707	8.5 3.8	回転方向 不規	回転ナシ 天井部回転へラケズリ	2,5195/1 底黄褐色 天井部～口縁部	
52-12	渕部器 舟身	583	1707 120-042	14.6 3.8 10.6	右ロクロ	貼付窓位	2,5195/1 底黄褐色 天井部～口縁部	白色砂和少量食む
52-13	渕部器 舟身	583	—	(15.3) 4.7 13.0	右ロクロ	底部凹輪へラケズリ 貼付窓位	10195/2 底黄褐色 天井部～口縁部	1m以上の白色粘糊質 。外表面黒帯
50-01	土師器 甕	585	—	(26.0) (6.4) —	輪筋込	内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメナシ 窓孔ハケメ 内面 口縁部ハケメナシ 窓孔ハケメ	2,5195/1 に近い褐色 口縁部～縁部上位	白色砂和食む
SE-02	渕部器 甕もしくは 瓶	585	—	(16.0) (6.4)	回転方向 不規	回転ナシ 内面「フ」(乳孔)	2,5195/1 底黄褐色 口縁部	内面とともに自然脱 付着
SE-03	渕部器 甕もしくは 瓶	585	1813	17.1 3.6 —	左ロクロ	天井部回転へラケズリ	10195/2 底黄褐色 天井部～口縁部	
SE-04	渕部器 甕もしくは 瓶	585	119-040	(10.3) 2.4 5013	右ロクロ	天井部に4～5点1段位の斜面痕	5195/4 底黄褐色 天井部～口縁部	
SE-05	土師器 片	586	2806	12.0 (4.6)	石ロクロ	内面 口縁部から側部ミガキ 進部へラケズリ 内面 ミガキ+横文ミガキ	5195/2 底黄褐色 口縁部～底部	
SE-06	渕部器 甕もしくは 瓶	586	2807	9.6 (1.7) —	右ロクロ	天井部回転へラケズリ	5195 灰 天井部～口縁部	白色砂和少量食む

第9表 8区土器觀察表(2)

調査番号	種類	出土地点	遺物名	口経及底	成形	手法の特徴		色調・模様部位	備考
						外面	内面		
65-01	土師器 皿	SB67	4999 4996 5023	23.2 21.3 6.7	輪積み	背面 内面	口縁部ナデ 底部ナギキ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.4 にない赤褐色 口経部～底部	
65-02	土師器 皿	SB67	4952 5040 5067	26.0 (10.0) —	輪積み	片面 内面	口縁部ナデ 底部ハケメ 底部ナギキ 底部木葉夜	S984.3 にない赤褐色 口縁部～底部上半	白色砂和少量含む
65-03	土師器 皿	SB67	5090 5081 5052	23.6 (13.6) —	輪積み	背面 内面	口縁部ナデ 底部ナギキ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.3 にない赤褐色 口縁部～底部	
65-04	土師器 皿	SB67	—	16.0 (6.7)	輪積み	背面 内面	口縁部ハケメ 底部ハケメ～底部ナギキ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 にない赤褐色 口縁部～底部	
65-05	土師器 皿	SB67	4140 4410	16.8 (6.6)	輪積み	片面 内面	口縁部ナデ 底部ナギキ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.3 にない赤褐色 口縁部～底部上半	黑色砂和少量含む
65-06	土師器 皿	SB67	4985 5040	(9.7) 6.4	輪積み	背面 内面	口縁部ハケメ 底部ナギキ 底部木葉夜	S984.4 にない赤褐色 底部～底部	
65-07	土師器 皿	SB67	4125 4127	(20.5) (8.1)	輪積み	背面 内面	口縁部ハケメ～ナギキ 底部ナギキ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 にない赤褐色 口縁部～底部上半	
65-08	土師器 皿	SB67	5011	—	—	片面 内面	ハケメ 底部木葉夜	S984.2 にない赤褐色	白色砂和少量含む
65-09	土師器 皿 ミニチュア 土器	SB67	—	4.4 2.5 2.4	作造	ナギ 内面	ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.3 にない赤褐色 口縁部～底部	
65-10	土師器 皿	SB67 121/0401	—	(4.6) 8.0	左ロクロ	背面 内面	ナギ 底部スコ状、疎止み切り	S984.4 にない赤褐色 底部～底部	黒がかり底面には 一部落書きで灰を引つ 等している
65-11	土師器 片	SB67	4112	13.2 4.4	輪積み	背面 内面	ナギ 底部ハケメ	S984.4 にない赤褐色 底部～底部	
65-12	土師器 片	SB67	4940 4954 4958	12.6 3.1 —	作造	ナギ 内面	ナギ 底部ハケメ	S984.2 にない赤褐色 底部～底部	砂土に白面多量に 含む
65-13	土師器 片	SB67	4114 4123	15.0 9.0	輪積み	背面 内面	ナギ 底部ハケメ～ナギキ 底部木葉夜	S984.3 にない赤褐色 底部～底部	砂土に白面少量含む
66-14	土師器 皿	SB67	4244	47.0 (10.6)	輪積み	作造 内面	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 灰褐色	白色砂和少量含む
66-15	土師器 皿	SB67	4128 4170	41.0 (8.0)	輪積み	作造 内面	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 灰褐色	
66-16	土師器 皿	SB67 5013	5091	41.0 (7.5)	輪積み	作造 内面	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 灰褐色	白色砂和少量含む
66-17	土師器 皿 輪積み	SB67	4906 4887 4888	13.0 2.0 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	天井部回転ヘラケズリ	S984.2 灰褐色	白色砂和少量含む
66-18	土師器 皿 輪積み	SB67 5012	—	16.0 (2.5)	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	天井部回転ヘラケズリ	S985.1 灰褐色 天井部～底部	外表面横筋込みの白 筋跡
66-19	土師器 皿	SB67	—	(2.5)	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	天井部回転ヘラケズリ	S987.3 にない赤褐色 天井部	底面墨。鉛質
66-20	土師器 皿	SB67 79	—	(10.1) 4.0	左ロクロ	遮断部回転ヘラケズリ	遮断部回転ヘラケズリ	S985.1 灰褐色 口縁部～底部	
66-21	土師器 皿 輪積み	SB67	4247 4442	12.4 11.2	右ロクロ	遮断部回転ヘラケズリ	遮断部回転ヘラケズリ	S985.2 灰褐色 口縁部～底部	白色砂和少量含む
66-22	土師器 皿 輪積み	SB67	4164	17.0 5.5 15.5	右ロクロ	遮断部回転ヘラケズリ	遮断部回転ヘラケズリ	S985.1 灰褐色 口縁部～底部	白色砂和少量含む
66-23	土師器 皿 輪積み	SB67 4470 4482 4438	3866 4240 4212	12.6 A.2 12.5	左ロクロ	遮断部回転ヘラケズリ 回転赤り斑 黏付茎苔	遮断部回転ヘラケズリ 回転赤り斑 黏付茎苔	S985.1 灰褐色 口縁部～底部	
66-24	土師器 皿 輪積み	SB67	4199	15.3 12.5	左ロクロ	遮断部回転ヘラケズリ	遮断部回転ヘラケズリ	S985.1 灰褐色 口縁部～底部	
66-25	土師器 皿 輪積み	SB67	4215	—	右ロクロ	遮断部回転ヘラケズリ	遮断部回転ヘラケズリ	S985.1 灰褐色 口縁部～底部	
66-26	土師器 皿 輪積み	SB67	3823	(5.0) 9.2	回転方向 不明	遮断部ヘラケズリ 黏付茎苔	遮断部ヘラケズリ 黏付茎苔	S985.1 灰褐色 体部下部～底部	外表面横筋跡
67-01	土師器 皿	SB67	4186 4187 4447	23.3 20.6 6.6	輪積み	片面 内面	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S985.4 にない赤褐色 口縁部～底部	内表面横筋跡に粘土 を被ったような痕跡
67-02	土師器 皿 小笠型	SB67	4253	13.9 (3.0)	作造	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 灰褐色 口縁部～底部上半	
67-03	土師器 皿 小笠型	SB67	—	—	作造	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 灰褐色 口縁部～底部上半	白色砂和少量含む
67-04	土師器 皿 小笠型	SB67 (SB67)	4177 4179 4329	12.7 (7.4) —	輪積み	片面 内面	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 灰褐色	遇物注記はSB67
67-05	土師器 皿 小笠型	SB67	4807	12.3 (7.6)	作造	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S984.2 にない赤褐色 口縁部～底部	
67-06	土師器 皿	SB67 120/042	—	(12.1) (3.4)	右ロクロ	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ	口縁部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ	S985.4 にない赤褐色 口縁部～底部	
67-07	土師器 皿	SB67 (SB67)	4445	11.4 (5.0)	—	片面 内面	体部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S985.6 灰褐色 内面	遇物注記はSB67
67-08	土師器 皿	SB67	—	12.0 4.8	—	片面 内面	口縁部～体部ナギ 底部ナギ 底部ハケメ 底部木葉夜	S985.6 灰褐色 内面	白面泥まぶらに含む

第10表 8区土器観察表(3)

第10表 番号	種類	出土地点	遺物名	口径 底面 内面	成形	手法の特徴	色調・陶片部位	備考
67-09	土器器 片	SB17 (3307)	4739 4978 5073	13.0 4.9 8.5	外面：口縁部ナデ、生万キ 内面：底又モガキ	底部へカズリ→ミガキ(底面まで)	2.5W4/2 明治褐色 口縁部～底部	遺物15件中5件 口縁部をまばらに含む
67-10	須恵器 抹み器	SB17 (3307)	4174	(4.0) (2.5)	右口クロ	天井部回転へラケズリ	10W5/1 黒褐色 天井部～口縁部	白色砂利少量含む
67-11	須恵器 有台付皿	SB17	4175	(1.6) 12.3	回転方向 不明	貼付裏面	10W5/1 暗灰色 天井部～口縁部	
74-01	土器器 片	SB08	—	21.0 (6.1)	梅筋孔	外面：口縁部ナデ 築部ナデ 築部ハケメ 内面：口縁部ハケメ～ミガキ 築部ハケメ	7.5W4/2 にない褐色 口縁部～底部上半	白色砂利含む
74-02	土器器 片	SB08	—	21.1 (6.0)	梅筋孔	外面：口縁部ナデ 築部ハケメ～ミガキ 築部ハケメ 内面：口縁部ナデ 築部ハケメ	7.5W4/2 暗褐色 口縁部～底部上半	白色砂利少量含む
74-03	土器器 片	SB08	—	21.5 (3.7)	梅筋孔	外面：口縁部ハケメ～ナデ 築部ハケメ～ミガキ 築部ハケメ 内面：口縁部ナデ 築部ハケメ	7.5W4/2 暗褐色 口縁部～底部上半	白色砂利少量含む
74-04	土器器 片	SB08	—	21.0 (4.0)	梅筋孔	外面：口縁部ハケメ～ナデ 築部ハケメ～ミガキ 築部ハケメ 内面：口縁部ハケメ～ナデ 築部ハケメ	7.5W4/2 暗褐色 口縁部～底部上半	白色砂利含む
74-05	土器器 片	SB08	—	21.0 (7.0)	梅筋孔	外面：口縁部ナデ 築部ナデ(ナデが強く沈黙になる)～ミガキ 築部ハケメ 内面：口縁部ナデ 築部ハケメ	7.5W4/2 灰褐色 口縁部～底部上半	白色砂利含む
74-06	土器器 片	SB08	—	(5.6) 10.0	梅筋孔	外面：築部ハケメ 築部ナデ 水底部木葉底 内面：築部ナデ	3.5W4/2 にない褐色 築部～底部	
74-07	土器器 片	SB08 121/041	—	(10.5) 8.7	梅筋孔	外面：築部ハケメ 築部ナデ 内面：築部ナデ	7.5W4/2 灰褐色 築部～底部	白色砂利含む
74-08	土器器 小型片	SB08	3820	(12.2) 8.0	梅筋孔	外面：築部ハケメ 築部ナデ、木葉底 内面：築部ナデ、指添江底	7.5W4/2 灰褐色 築部～底部	白色砂利含む
74-09	土器器 片	SB08	—	(8.5) (7.3)	梅筋孔	外面：築部ナデ 築部ナデ(木葉底) 内面：築部ナデ	2.5W4/2 暗褐色 築部～底部	白色砂利、白葉砂少 量含む
74-10	土器器 片	SB08 121/042	—	(2.5) 8.0	—	外面：築部ナデ 底部木葉底 内面：築部ナデ	3.5W4/2 暗褐色 築部～底部	白色砂利少量含む
74-11	土器器 片	SB08	—	(2.6) 8.0	—	外面：築部ナデ、ナデ 底部木葉底 内面：ハケメ	2.5W4/2 にない褐色 築部～底部	白色砂利含む
74-12	土器器 片	SB08	—	(2.7) 9.0	梅筋孔	外面：ナデ 底部木葉底 内面：ぬいひのきメ	7.5W4/2 灰褐色 築部～底部	白色砂利少量含む
74-13	土器器 小型片	SB08 4616 4685	—	11.1 (3.5)	梅筋孔	外面：口縁部ナデ 築部へカズリ 内面：口縁部ナデ 築部ハケメ。指添江底	3.5W4/2 にない褐色 口縁部～底部	黑色砂利含む
74-14	土器器 片	SB08	—	(1.8) —	—	外面：口縁部ナデ 体部へラズリ～ミガキ 内面：ナデ	3.5W4/2 にない褐色 口縁部～底部	白色砂利含む
74-15	土器器 片	SB08	—	(3.0) —	—	外面：口縁部ナデ 体部へカズリ 内面：3万キ	2.5W4/2 にない褐色 口縁部～底部	黑色砂利少量含む
74-16	土器器 片	SB08	—	11.8 (4.5)	—	外面：口縁部ナデ 築部へラケズリ 内面：6万キ	7.5W4/2 灰褐色 口縁部～底部	白色砂利少量含む
74-17	土器器 片	SB08	—	13.0 (4.5) —	—	外面：口縁部ナデ(ミガキナ)? 体部へカズリ 内面：ナデ	2.5W4/2 にない褐色 口縁部～体部	赤色砂利・黒色砂利 少量含む
74-18	土器器 片	SB08 4426	—	13.0 (4.5) (6.0)	—	外面：口縁部ナデ 体部へラケズリ 水底部木葉底か 内面：ナデ	7.5W4/2 12.5W4/2 口縁部～底部	7.5W4/4 12.5W4/4 糞製で動物に少しある 黒色砂利を含む
74-19	土器器 片	SB08	—	13.0 (2.5) —	回転方向 不明	外面：陶器質なし 不明 内面：体部ヨコミガキ 見込み焼成又ミガキ	7.5W4/2 にない褐色 口縁部～底部	白色砂利少量含む
74-20	土器器 片	SB08	—	12.4 (4.6) —	右口クロ	外面：口縁部へカズリ 内面：底又モガキ	7.5W4/2 にない褐色 口縁部～底部	白色砂利・赤色砂利 少量含む
74-21	土器器 片	SB08	—	(12.0) (6.1) —	—	外面：口縁部ナデ 体部へラケズリ 内面：口縁部ナデ 体部ヨコナダ～ミガキ	7.5W4/2 12.5W4/2 口縁部～底部	7.5W4/2 12.5W4/2 糞製で動物に少しある 黒色砂利を含む
75-22	須恵器 返り皿	SB08	—	8.7 2.8 —	左口クロ	天井部回転へラケズリ	2.5W4/2 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-23	須恵器 返り皿	SB08	—	13.2 (2.5) —	右口クロ	天井部回転へラケズリ	10W5/2 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-24	須恵器 返り皿	SB08	—	13.6 (2.4) —	回転方向 不明	天井部回転へラケズリ	10W5/2 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-25	須恵器 返り皿	SB08 P7412	—	13.8 2.8 —	左口クロ	天井部回転へラケズリ	10W5/2 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-26	須恵器 返り皿	SB08	—	9.0 (2.0) —	右口クロ	天井部回転へラケズリ	2.5W4/2 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-27	須恵器 抹み器	SB08	4070	14.6 1.5 —	右口クロ	天井部回転へラケズリ	2.5W4/2 灰褐色 口縫合部	天井部自然釉
75-28	須恵器 抹み器	SB08	4072	17.7 4.2 —	右口クロ	天井部回転へラケズリ	5W4/1 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-29	須恵器 抹み器	SB08 5216	—	16.6 2.4 —	左口クロ	天井部回転へラケズリ	2.5W4/1 灰褐色 天井部～口縁部	内装保付
75-30	須恵器 抹み器	SB08	—	17.0 (2.6) —	回転方向 不明	天井部回転へラケズリ	2.5W4/1 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉
75-31	須恵器 抹み器	SB08	—	—	—	天井部回転へラケズリ	2.5W4/1 灰褐色 天井部～口縁部	天井部自然釉

第11表 8区土器観察表(4)

第1分類 分類番号	種類	出土地点	遺物名	口部 縁部及 底部	成形	手法の特徴	色調・保存部位	備考
75-32	須磨器 身舟	S808	—	(2.4) (2.8) —	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ	2.5H5.1 真赤色 口縁部～底部	新面
75-33	須磨器 腹輪舟身	S808 P161	4700	10.5 2.5 7.8	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ	10H5.7 真赤色 口縁部～底部	白色砂利少量含む
75-34	須磨器 腹輪舟身	S808	—	(2.5) (3.9) 7.8	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ	2.5H4.7 真赤色 口縁部～底部	内面自然顔
75-35	須磨器 舟台舟身	S808	2817	(2.4) (4.3) 7.8	左ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	10H5.7 真赤色 口縁部～底部	外面自然顔
75-36	須磨器 舟台舟身	S808 4134 4630 4780	13.7 11.6 11.4	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	2.5H5.1 真赤色 口縁部～底部	白色砂利含む	
75-37	須磨器 舟台舟身	S808	—	0.6 4.0 11.7	右ロクロ	脱付蓋台	2.5H6.1 真赤色 口縁部～底部	
75-38	須磨器 舟台舟身	S808	3810	14.8 4.2 11.8	左ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	10H5.7 真赤色 口縁部～底部	
75-39	須磨器 舟台舟身	S808	—	15.5 4.3 12.2	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	2.5H6.2 真赤色 口縁部～底部	白色砂利含む
75-40	須磨器 舟台舟身	S808	—	14.6 4.1 12.5	右ロクロ	脱付蓋台	2.5H6.1 真赤色 口縁部～底部	表面保付面
75-41	須磨器 身舟	S808	—	10.5 (3.2) —	右ロクロ	回転ナヂ	SH6.1 真赤色 口縁部	外面自然顔
75-42	須磨器 身舟	S808	—	10.0 (3.2) —	回転方向 不規	回転ナヂ	7.5H4.2 灰褐色 口縁部	内面自然顔
75-43	須磨器 身舟	S808	—	2.3 (4.7) —	左ロクロ	回転ナヂ	7.5H4.1 灰褐色 口縁部	外表面ともに自然顔
75-44	須磨器 身舟	S808	—	10.0 (4.4) —	左ロクロ	回転ナヂ	10H5.7 真赤色 口縁部	内面自然顔
75-45	須磨器 身舟	S808	—	8.2 (6.0) —	左ロクロ	回転ナヂ	2.5H5.1 真赤色 口縁部	外表面ともに自然顔
76-01	須磨器 舟台舟身	S816	4071	14.8 4.0 11.1	右ロクロ	脱付蓋台 席面十字の縫刻	7.5H4.2 灰褐色 口縁部～底部	
79-01	土師器 盤	S809	4152 4210 4281	21.7 (12.4) —	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ミガキ 番割ハケメ 内面 口縫割ナヂ 番割ハケメ	2.5H4.2 にぶい赤褐色 口縫割～底部半	白色砂利少量含む
79-02	土師器 盤	S809	—	21.5 (7.6) —	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ハケメ～ミガキ 横割ミガキ 内面 口縫割ナヂ 番割ハケメ	SH4.3 にぶい赤褐色 口縫割～底部半	白色砂利少量含む
79-03	土師器 盤	S809	—	19.0 (9.4) —	輪組み	片面 口縫割ハケメ～ナヂ 番割ハケメ～ミガキ 内面 口縫割ナヂ 番割ハケメ	SH4.3 にぶい赤褐色 口縫割～底部半	白色砂利少量含む
79-04	土師器 盤	S809	4148 4230	20.5 7.3 —	輪組み	片面 口縫割ハケメ～ナヂ 番割ハケメ～ミガキ 番割ハケメ～ミガキ 内面 口縫割ナヂ 番割ハケメ	SH4.3 にぶい赤褐色 口縫割～底部半	白色砂利少量含む
79-05	土師器 盤	S809	4384	22.8 (7.8) —	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ミガキ 番割ハケメ、ミガキ 内面 口縫割ナヂ 番割ハケメ	SH4.3 にぶい赤褐色 口縫割～底部半	
79-06	土師器 盤	S809	4380	18.2 (6.1) —	輪組み	片面 口縫割ハケメ～ミガキ 番割ハケメ～ミガキ 内面 口縫割ナヂ 番割ハケメ	2.5H4.2 灰褐色 口縫割～底部半	赤色砂利、基赤色 と少量含む
79-07	土師器 盤	S809	—	18.0 7.5 —	輪組み	片面 口縫割ハケメ～ミガキ 番割ナヂ 不良底 内面 口縫割ナヂ 修理記入	7.5H4.1 灰褐色 口縫割～底部	修理で生えこじら れた糞をも含む
79-08	土師器 盤	S809	4149	9.2 5.0 5.0	輪組み	片面 口縫割ナヂ 体部ヘラケズリ 底部木座底 内面 ナジ	SH4.6 灰褐色 口縫割～底部	天の糞をも含む 内面保
79-09	須磨器 舟台舟身	S809	—	14.8 (4.8) 10.6	回転方向 不規	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	7.5H6.6 灰褐色 口縫割～底部	
82-01	土師器 盤	S812	3880	23.8 (18.0) —	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ハケメ～ナヂ 番割ハケメ 内面 口縫割ナヂ 修理記入	7.5H6.2 にぶい赤褐色 口縫割～底部	白色砂利及び黒色砂 利少量含む
82-02	土師器 小型盤	S812	—	(2.4) 6.2	片面	ハケメ 底部木座底 内面 ハケメ	SH4.6 灰褐色 口縫割～底部	
82-03	土師器 盤	S812 S813 S817 S818 7.7	—	12.0 4.4 4.4	右ロクロ	片面 口縫割凹輪ナヂ 体部ミガキ 内面 番割ミガキ	SH4.6 黄色 口縫割～底部	白色砂利及び黒色砂 利少量含む
82-04	須磨器 舟台舟身	S812 S814	—	14.8 4.0 12.5	左ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	2.5H7.7 灰褐色 口縫割～底部	構成悪く、やや駄目
82-05	須磨器 舟台舟身	S812	3887	11.8 4.4 9.0	左ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 脱付蓋台	2.5H6.2 灰褐色 口縫割～底部	
84-01	土師器 盤	S810	2880	21.8 (22.0) —	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ミガキ 番割ハケメ～ミガキ 内面 口縫割ハケメ～ナヂ 番割ハケメ	SH4.6 にぶい赤褐色 口縫割～底部	
84-02	土師器 盤	S810	114 S812 S813 25.6 2981	22.4 (25.6) —	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ミガキ 番割ハケメ、一部ナヂ 内面 口縫割ハケメ～ナヂ 番割ハケメ	7.5H4.2 灰褐色 口縫割～底部	
84-03	土師器 小型盤	S810	—	(5.4) 6.0 6.0	輪組み	片面 口縫割ナヂ 番割ミガキ 番割ハケメ 内面 ハケメ	SH4.4 にぶい赤褐色 口縫割～底部	天井部保付
84-04	土師器 小型盤	S810	—	14.3 3.0 —	回転方向 不規	天井部凹輪ヘラケズリ	SH4.7 にぶい赤褐色 口縫割～底部	
84-05	須磨器 飾片盤	S810	1396	—	—	—	SH4.7 にぶい赤褐色 天井部保付	新面

第12表 8区土器観察表(5)

第1分類 固有番号	種類	出土地点	通年期	口径 底面 深度	成形	手法の特徴	色調・残存部位	備考	
80-01	土器部 甕	S811	3890	(25.0) 8.5	輪摺込	外面 口縁部ハケメド 底部ナデ、木葉底 内面 口縁部ハケメド 残留庄抜	2.5H6/2 にない褐色 底面～芯部	白色砂粒含む	
80-02	土器部 甕	S811 119-041	—	9.4 (1.8)	—	外面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 内面 ナデ	1.5H6/4 にない褐色 口縫部～一部	表面がぼく、薄手で、 底部	
80-03	土器部 甕	S811	—	14.0 4.9	—	外面 口縁部ナデ、ミガキ 体部ヘラケズリ～S.ガキ 黒色処理 内面 S.ガキ 黑色処理	2.5H6/2 底面 口縫部～底部	赤色砂粒少量含む	
80-04	直腹器 陶瓶	S814	—	16.0 (2.5)	左ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	3.5H6/2 天井部 天井部～口縫部	天井部自然脱	
129-01	直腹器 陶瓶	S801	2001	9.6 (3.5)	回転ナシ	—	2.5H6/2 底面 口縫部～底部	外蓋自然脱	
129-02	土器部 甕	S810	120-040	12.2 (3.7)	—	外面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 内面 S.ガキ	2.5H6/2 にない褐色 口縫部～底部	—	
129-03	土器部 甕	S801 120-040	—	11.5 4.6 7.0	右ロクロ	外面 口縁部ナデ S.ガキ 部底ヘラケズリ～ミガキ 系切り痕 内面 滅文ミガキ	2.5H6/2 系切り痕 口縫部～底部	白色砂粒・赤色砂粒・ 少含む	
129-04	直腹器 陶瓶	S803	—	13.2 3.4 7.0	回転方向 不明	底部回転ヘラ切り	2.5H6/1 底面 口縫部～底部	—	
129-05	直腹器 陶瓶	S803	2805	22.7 (6.6)	回転方向 不明	回転ナシ	2.5H6/1 底面 口縫部～底部	外蓋、内蓋口縫部自然 脱	
129-06	土器部 甕	S816	—	20.8 (3.7)	—	外面 口縁部ハケメーナ子 蓋部ハケメーナ子 残部ハケメ 内面 口縁部ナデ 残部ハケメ	3.5H6/2 口縫部～底部上半	白色砂粒	
125-01	直腹器 舟形	P1206	—	— (2.5) 4.1	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ	2.5H6/1 底面 口縫部～底部	—	
125-02	土器部 甕	P1206	856	15.4 4.1 —	—	外面 口縁部ナデ、ミガキ 体部ヘラケズリ～ミガキ 内面 S.ガキ	2.5H6/2 にない褐色 口縫部～底部	白色砂粒・黑色砂粒 少含む	
120-01	土器部 甕	S801	—	20.5 (3.8)	—	外面 口縁部ナデ 蓋部ナデ、底部ハケメ 内面 口縁部ハケメーナ子 蓋部ハケメ	2.5H6/1 底面 口縫部～底部上半	白色砂粒含む	
130-02	土器部 甕	S801	—	(2.1) 7.9	—	外面 ナデ、底部木葉底 内面 ハケメ	2.5H6/2 底面 底部	白色砂粒・少量含む	
130-03	土器部 甕	S801	—	(2.3) 8.1	—	外面 ナデ、底部木葉底 内面 ハケメ	2.5H6/2 にない褐色 底部	白色砂粒・少量含む	
130-04	土器部 甕	S801	—	26.7 (7.0)	輪摺込	外面 口縁部ナデ 蓋部ナデ、底部ハケメ 内面 口縁部ハケメーナ子 蓋部ナデ	2.5H6/4 にない褐色 口縫部～底部	白色砂粒・黑色砂粒 少含む	
130-05	土器部 甕	S801 120-040	—	(12.8) 2.7 —	—	外面 ナデ 内面 ナデ	2.5H6/4 にない褐色 口縫部～底部	白色砂粒・黑色砂粒を含む	
130-06	土器部 甕	S801 120-040	—	10.0 (4.4)	—	外面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ	2.5H6/1 底面 口縫部～底部	白色砂粒・少量含む	
130-07	直腹器 陶瓶	S801	120-041	—	17.0 3.9	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ	2.5H6/2 底面 天井部	缺
130-08	直腹器 陶瓶	S801	120-040 120-041	13.6 (4.0) (1.0)	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 脱付窓	2.5H6/1 底面 口縫部～底部	—	
130-09	直腹器 陶瓶	S801	120-040	14.1 3.7 11.4	右ロクロ	脱付窓	2.5H6/2 底面 口縫部～底部	底面自然脱(窓に して底脱)	
130-10	直腹器 陶瓶	S801	121-041	10.5 9.7 —	右ロクロ	回転ナシ	2.5H6/2 底面 口縫部～底部	外蓋口縫部から裏蓋 まで自然脱	

第13表 5区土器観察表(1)

第1分類 固有番号	種類	出土地点	通年期	口径 底面 深度	成形	手法の特徴	色調・残存部位	備考
81-01	土器部 甕	S81	737	31.5	輪摺込	外面 口縁部ハケメーナ子 蓋部ハマタード 縫部ハケメド 通常木葉底 内面 口縁部ハマタード 縫部ハケメド 残留庄抜	2.5H6/2 底面 口縫部～底部	白色砂粒含む
81-02	土器部 小型甕	S81	738 2958	31.5 8.5	輪摺込	外面 縫部ハケメド 底部ナデ 内面 縫部上部ハケメド 残留庄抜 下半脱ハケメ	2.5H6/2 底面 縫部～底部	白色砂粒含む
101-01	土器部 甕	S82	1364 1947 2112	20.0 (13.2) —	輪摺込	外面 口縁部ハケメーナ子 通常ハマタード 縫部ハケメド 内面 口縁部ハケメーナ子 縫部ハケメド 残部ハケメ	2.5H6/4 にない褐色 口縫部～底部	白色砂粒含む
101-02	土器部 甕	S82	1364 1265	(6.2) 10.0	輪摺込	外面 縫部～底部ハケメ～ミガキ 米葉底 内面 縫部～底部ハケメ	2.5H6/3 にない褐色 縫部下半～底部	白色砂粒・少量含む
101-03	土器部 甕	S82	—	(3.6) 8.3	輪摺込	外面 縫部～底部ハケメ 内面 縫部～底部ハケメ	2.5H6/2 底面 縫部下半～底部	白色砂粒含む
101-04	土器部 甕	S82	—	2.3 8.3	輪摺込	外面 底部ナデ 内面 底部ハケメ	2.5H6/2 底面 底部	白色砂粒含む
101-05	土器部 甕	S82	1291	42.8 (12.6)	輪摺込	外面 口縁部ナデ、庄抜庄底 縫部ナデ、底部ハケメ 内面 口縁部ナデ、庄抜庄底 縫部ナデ、庄抜庄底	2.5H6/2 庄底 口縫部～底部上半	白色砂粒多量に含む
101-06	土器部 甕	S82	1259 1278	47.0 (12.2)	輪摺込	外面 口縁部ナデ 縫部ナデ、底部ナデ、底部ハケメ 内面 口縁部ナデ 縫部ナデ、庄抜庄底	2.5H6/2 庄底 口縫部～底部上半	白色砂粒多量に含む
104-01	土器部 甕	S82 PT197	2430 2807	21.6 (11.5)	輪摺込	外面 口縁部ナデ、底部ナデ、底部ハケメ 内面 口縁部ナデ 縫部ナデ、庄抜庄底	2.5H6/4 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂粒多量に含む
104-02	土器部 甕	S82	1840 2426	19.9 (10.5)	輪摺込	外面 口縁部ナデ、底部ナデ、底部ハケメ 内面 口縁部ナデ 縫部ナデ、庄抜庄底	2.5H6/2 にない褐色 口縫部～底部上半	白色砂粒含む

第14表 5区土器観察表(2)

調査分類番号	出土地点	出土年月	口沿 器底 器壁 修理	成形	手作の特徴	色調・様子部位	備考	
104-03	土師器 甕	583	1827 2017	22.5 (7.2)	輪組み 内面	口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ 内面 修理組いハケメ	SHRA1 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
104-04	土師器 甕	583	1841 2017	— (1.6) 9.5	片面 内面	瓶部ナデ 内面 修理組いハケメ 木葉底	SHRA2 灰褐色	白色砂粒含む
104-05	土師器 甕	583	2460 2542	(2.4) 8.0	片面 内面	瓶部ナデ 木葉底 内面 修理組いハケメ	SHRA4 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒多量に含む
104-06	土師器 甕	583	2238 2563	(2.1) 10.2	片面 内面	瓶部ナデ 内面 修理組いハケメ 木葉底	SHRA2 灰褐色 内面	白色砂粒少量含む
104-07	土師器 甕	583	2554 2400	— 2.3 7.6	片面 内面	瓶部ナデ 木葉底 内面 修理組いハケメ、修理底	SHRA2/2 灰褐色 内面	白色砂粒少量含む
104-08	土師器 甕	583	2292 2230	(2.0) 7.5	片面 内面	瓶部ナデ 木葉底 内面 修理組いハケメ	SHRA2/3 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒多量に含む
104-09	土師器 甕	583	905 2021	45.6 (9.7)	輪組み	口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA2/4 口縁部～瓶胴上半 口縁部	白色砂粒含む
104-10	土師器 甕	583	2023	27.4 (9.9)	輪組み	口縁部ナデ 瓶部ナデ、修理底 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA4 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
104-11	土師器 甕	583	308 2569	42.8 (7.4)	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ハケメ～ナデ 修理組いハケメ	SHRA2 灰褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
104-12	土師器 甕	583	124/042	— (7.0) 9.0	輪組み	内面 瓶部～底部へラズリ～ミミガキ 内面 瓶部～底部へラズリ～ミミガキ	SHRA2/3 にじみ赤褐色 内面	赤色砂粒含む
104-13	土師器 甕	583	1818	(3.6) 9.3	輪組み	外面 瓶部～底部へラズリ 内面 瓶部～底部へラズリ～ミミガキ 一部 一部ミミガキ	SHRA2/3 にじみ赤褐色 瓶部下～底部	外面煤
106-01	土師器 甕	584	1796	20.4 (9.4)	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ、修理底	SHRA2 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
109-01	土師器 甕	585	1337 1782 1898	22.0 (9.2) —	輪組み	口縁部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ハケメ～ナデ 修理組いハケメ、修理底	SHRA3 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
109-02	土師器 甕	585	1591 1292 1394	18.3 (7.2) —	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理ハケメ、修理底	SHRA3 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒多量に含む
109-03	土師器 甕	585	—	20.0 (8.4)	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA2 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
109-04	土師器 甕	585	1316	— (7.8) (7.9)	片面 内面	瓶部～底部組いハケメ (2方向からの誤差で斜格子状になる) 内面 瓶部～底部組いハケメ	SHRA2/2 灰褐色 内面	白色砂粒少量含む
109-05	土師器 甕	585	1807 1894 1898	(14.5) 7.8	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ 木葉底 内面 瓶部～底部ハケメ、修理底	SHRA2 にじみ赤褐色 瓶部下～底部	白色砂粒多量に含む
111-01	土師器 甕	586	1163 2632 2727	22.2 (11.0) —	輪組み	口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理ハケメ、修理底	SHRA2/4 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	黑色砂粒少量含む
111-02	土師器 甕	586	1164 2119	30.0 (9.9)	片面 内面	口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 瓶部～底部組いハケメ	SHRA4 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	内面煤多量付着
114-01	土師器 甕	587	—	(5.6) 10.0	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ、修理底 木葉底 内面 底部ハケメ	SHRA2 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒含む
114-02	土師器 甕	587	124/042	— (3.1) 11.5	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 底部組いハケメ	SHRA2 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒多量に含む
114-03	土師器 甕	587	2174	(5.1) 9.0	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ、修理底 木葉底 内面 底部組いハケメ、修理底	SHRA2/3 にじみ赤褐色 瓶部下～底部	白色砂粒少量含む
114-04	土師器 甕	587	1404 1405	25.0 (9.4)	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部～底部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA2 にじみ赤褐色 口縁部～瓶胴上半	白色砂粒含む
114-05	土師器 甕	587	1408 1410	(13.1) —	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ 内面 修理～底部ハケメ	SHRA2/4 にじみ赤褐色 内面	赤色砂粒含む
116-01	土師器 甕	588	169 1242 2641	20.8 (27.6) —	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ、修理底	SHRA2 灰褐色 内面	白色砂粒含む
116-02	土師器 甕	588	1239 1255	19.0 (12.4)	輪組み	外面 口縁部ナデ 修理組いハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA2 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒少量含む
116-03	土師器 甕	588	1436 1490 1746	19.2 (15.2) —	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部組いハケメ、斜部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA2/4 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒含む
116-04	土師器 甕	588	1523 1239	19.0 (18.5) —	輪組み	外面 口縁部ナデ 瓶部ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ、修理底	SHRA2 灰褐色 内面	白色砂粒含む
116-05	土師器 甕	588	1254	(19.5) (10.4)	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ 瓶部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ナデ 修理組いハケメ	SHRA2 灰褐色 内面	白色砂粒含む。内面 黒煤付着
116-06	土師器 甕	588	1353	20.7 (8.2)	輪組み	外面 口縁部ハケメ～ナデ 瓶部ハケメ 内面 口縁部ハケメ～ナデ 修理底	SHRA2/3 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒少量含む
116-07	土師器 甕	588	1428 1422 1433	(16.6)	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ、ナデ 修理ナデ 内面 修理～底部組いハケメ	SHRA2/4 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒多量に含む
116-08	土師器 甕	588	1227 1229 1371	— (12.9) 9.5	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ、ナデ 修理ナデ 内面 修理～底部組いハケメ	SHRA2 灰褐色 内面	白色砂粒含む
116-09	土師器 甕	588	1269 1379	(5.0) 9.0	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ 修理底付着 内面 修理～底部組いハケメ	SHRA2 にじみ赤褐色 内面	白色砂粒多量に含む
116-10	土師器 甕	588	1326	(8.9) 9.0	輪組み	外面 瓶部～底部ハケメ 修理底付着 内面 修理～底部組いハケメ	SHRA2/2 灰褐色 内面	白色砂粒含む

第15表 5区土器観察表(3)

第1分類 固有番号	種類	出土地点	遺物名	口径 高さ 底径	成形	手法の特徴	色調・残存部位	備考
116-11	土師器 甕	586 P276	2629	(3.3) 9.5	輪組み	外面 底部ナデ 木葉底 内面 底部高いハケメ	5.5cm/2 灰褐色 底部	白色砂和少含む
116-12	土師器 甕	586	1311	(2.6) 9.0	—	外面 底部ナメ 木葉底 内面 底部高いハケメ	5.5cm/2 灰褐色 底部	白色砂和少含む
140-01	土師器 小口(小型) 甕	122-041	—	(2.7) 8.8	—	外面 底部ハケメ 木葉底 内面 底部ハケメ	5.5cm/2 灰褐色 底部	白色砂和少含む
140-02	土師器 甕	122-041	—	33.6 — 4.8	—	外面 口縁部分ハケメ 縫部ハケメーナデ 回転ハケメ 内面 口縁部分ナデ 縫部ハケメ	5.5cm/1 灰褐色 口縁部	白色砂和少含む
140-03	土師器 甕	124-040	—	23.7 (6.7)	—	外面 口縁部分ハケメ ハラケズリ 内面 口縁部分ナデ 縫部ナデ+ガキ	7.5cm/3 にじいろ 口縁部+上半	白色砂和少含む

第16表 6区土器観察表(1)

第1分類 固有番号	種類	出土地点	遺物名	口径 高さ 底径	成形	手法の特徴	色調・残存部位	備考
147-01	土師器 甕	5861	4770 4771 2941	22.0 (3.7) —	輪組み	外面 口縁部分ハケメーナデ 縫部ハケメ 内面 口縁部分高いハケメーナデ 縫部底圧痕、粗いハケメ	2.5cm/2 灰褐色 口縁部+上半	白色砂和少含む
147-02	土師器 甕	5861	5500	21.9 (6.7)	輪組み	外面 ナデ 底部ハケメーナデ 内面 口縁部分高いハケメーナデ 縫部底圧痕	5.5cm/2 灰褐色 口縁部+上半	白色砂和少含む
147-03	土師器 甕	5861	4767	(3.1)	輪組み	外面 縫部ナメ 底部ハケメ 内面 縫部ナメ、底部压痕、縫部高いハケメ	5.5cm/2 灰褐色 縫部、半	白色砂和少含む
147-04	土師器 甕	5861	3677 4853 5529	— (7.4) 8.0	輪組み	外面 縫部ハケメ 木葉底 内面 縫部ハケメ	5.5cm/1 灰褐色 縫部	白色砂和少含む
147-05	土師器 甕	5861	5897 5897 5897	(11.2) 8.6 —	輪組み	外面 縫部ナメ ミガキ 木葉木葉底 内面 縫部ナメ	5.5cm/1 灰褐色 縫部+底部	白色砂和 黑色砂和 少含む
147-06	土師器 甕	5861	3659 3661	(4.4) 8.5	輪組み	外面 縫部+一部ナメ、ナデ 木葉底 内面 縫部+一部ナメ	5.5cm/2 灰褐色 縫部	後付侈口元、内面保 が多量に付着
147-07	土師器 甕	5861	4834	(2.5) 5.5	—	外面 底部ナデ(堆積) 木葉底 内面 底部ナメ	5.5cm/2 灰褐色 底部	内面保が多量に付着
147-08	土師器 甕	5861	3623	(2.5) 6.0	輪組み	外面 底部+うカベリ、木葉底 内面 底部ナメ	7.5cm/2 灰褐色 底部	7.5cm/2 灰褐色 底部
147-09	土師器 小口甕	5861	4772	— (3.6) 4.4	—	外面 口縁部分ナメ、ナデ 木葉底 内面 口縁部分ハケメ	7.5cm/4 灰褐色 縫部	白色砂和 黑色砂和 少含む
147-10	土師器 甕	5861	3667 3677 6419	12.7 4.3 —	輪組み	外面 口縁部分ナメ 縫部ハラケズリ 内面 口縁部分ナメ+万力	5.5cm/2 にじいろ 縫部+万力	縫部加工で±1mmの 黑色砂和含むが 内面保が付丁寧
147-11	土師器 甕	5861	3623	12.9 (4.0)	—	外面 口縁部分ナメ 縫部ナデ 底部ハラケズリ 内面 体部+万力	5.5cm/2 灰褐色 口縁部+底部	5.5cm/2 灰褐色 口縁部+底部
147-12	土師器 円筒	5861	3658	8.8 (2.6)	左ロクロ	天井削回転ハラケズリ	10.5cm/2 灰褐色 天井削回転	白色砂和 黑色砂和 少含む
147-13	土師器 円筒	5861	—	12.7	右ロクロ	天井削回転ハラケズリ→手持ちヘラケズリ	2.5cm/1 灰褐色 天井削回転+口縁部	2.5cm/1 灰褐色 天井削回転+口縁部
147-14	土師器 円筒	5861	4852	10.4	—	天井削回転ハラケズリ→ナデ	2.5cm/1 灰褐色 天井削回転	2.5cm/1 灰褐色 天井削回転
147-15	土師器 圓筒	5861	3621	12.3 3.9 —	右ロクロ	底部回転ハラケズリ。へらきり ケズリ不分明 底面十字の裏印	10.5cm/1 灰褐色 底部回転	10.5cm/1 灰褐色 底部回転
147-16	土師器 圓筒(はなび)	5861	5535 5534 5861	(1.9) 5.9 —	—	底部ナメ	1.5cm/1 灰褐色 口縁部+底部	黄苔自然解
149-01	土師器 甕	5862	3519 3540 2542	(10.3) — —	輪組み	外面 縫部ハケメ、ミガキ 木葉木葉底、掌耕腹深い 内面 底部ナメ	7.5cm/2 灰褐色 縫部+底部	白色砂和少含む
149-02	土師器 甕	5862	4696 5645	(4.4) 8.0	輪組み	外面 底部ナメ、ナデ 木葉底 内面 底部ナメ	5.5cm/2 灰褐色 底部	白色砂和少含む
149-03	土師器 甕	5862	—	(2.9)	—	外面 体部ナメアリ、ナデ 内面 体部ミキ	2.5cm/2 にじいろ 体部+底部	2.5cm/2 にじいろ 体部+底部
149-04	土師器 甕	5862	—	12.2 (4.1)	—	外面 口縁部分から体部上半分万力 下半ハラケズリ 内面 2万力 黒色処理	7.5cm/2 灰褐色 口縁部+底部	7.5cm/2 灰褐色 口縁部+底部
149-05	土師器 甕	5862	3549 6399 6405	32.6 (14.0) —	—	外面 口縁部分ナメ 縫部ハケメ 縫部底面深い 内面 体部ナメ	5.5cm/2 灰褐色 口縁部+底部	白色砂和少含む
153-01	土師器 甕	5863	6646 3604 7122	16.2 30.4 8.5	輪組み	外面 口縁部分ナメ 縫部ハケメナデ 縫部ハケメ 内面 口縁部分高いハケメナデ 縫部ハケメ	5.5cm/2 灰褐色 口縁部+底部	白色砂和少含む
153-02	土師器 甕	5863	4071 4399	20.9 7.6	輪組み	外面 口縁部分ナメ 縫部ハケメナデ 縫部ハケメ 内面 口縁部分高いハケメナデ 縫部ハケメ	7.5cm/3 灰褐色 口縁部+底部	白色砂和少含む
153-03	土師器 甕	5863	4081 4629	20.5 (3.2)	輪組み	外面 口縁部分ナメ 縫部ハケメナデ 縫部ハケメ 内面 口縁部分ナメ 縫部ナメ+ガキ 体部ナメ 内面 体部ナメ	5.5cm/2 にじいろ 口縁部+底部	白色砂和少含む
153-04	土師器 甕	5863	6657 6647 6847	19.2 — —	輪組み	外面 口縁部分から底部ナメ 内面 口縁部分ハケメか?	7.5cm/4 — —	白色砂和少含む
153-05	土師器 甕	5863	6305 6383 6491	16.0 (3.1) —	輪組み	外面 口縁部分ナメ 縫部ハケメナデ 縫部ハケメ 内面 口縁部分高いハケメナデ 縫部ハケメ	2.5cm/1 灰褐色 口縁部+底部	白色砂和少含む を含む、插入式
153-06	土師器 甕	5863	4137 5796 6800	18.2 (4.6)	輪組み	外面 口縁部分ナメ 縫部ナメ 内面 口縁部分高いハケメナデ 縫部ナメ 内面 体部ナメ	7.5cm/2 にじいろ 口縁部+底部	白色砂和少含む

第17表 6区土器観察表(2)

測量番号	種類	出土地点	遺物名	口沿 端部 底部	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考
152-07	土師器 小片	S802	6728	—	—	外面 口縁部ナデ 領部ハケメーナデ 領部ハケメ 塗装 内面 口縁部ナデ	7.5H4/2 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
153-08	土師器 片	S803	6010 4278 6542	(19.3) — —	—	外面 領部上半分 ハケ 内面 領部上半分 振付压、ナデ 下半部分ハケメ	7.5H4/3 灰褐色 内面 振付压 領部～全体上半	白色砂粒含む
153-09	土師器 片	S802	—	(2.8) 12.2	—	外面 領部ナデ、指揮付痕 内面 指揮付痕	5H5.4 にぶい赤褐色	白色砂粒含む
153-10	土師器 片	S802	6729 4076	(2.4) 7.6	—	外面 口縁ハケメ 産園ナデ 内面 口縁ハケメ、指揮付痕	7.5H4/2 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
153-11	土師器 片	S803	4082	13.0 (3.6)	—	外面 口縁部～一部ハケメ～二分岐 内面 口縁部～一部ミガキ 黒色處理	10H4/1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
153-12	土師器 片	S802	—	(3.1) (4.1) (4.5)	—	外面 口縁部ナデ 体部下半ヘラケメ 内面 口縁部～一部ミガキ 黑色處理	7.5H4/2 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒少含む
153-13	土師器 片	S803	—	12.1 (3.6)	—	外面 口縁部から体部上半分万字 内面 口縁部～一部ミガキ 黑色處理 内面 体部下半分、黑色處理	10H4/1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
153-14	土師器 片	S803	—	12.4 (2.9) (6.0)	—	外面 口縁部～一部ナデ 植物 内面 口縁部～一部ミガキ 黑色處理	7.5H4/3 にぶい赤褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
153-15	土師器 片	S802 S803	6624 6640	(3.4) 4.0	—	外面 体部上半分ミガキ 下半ヘラケメ～二分岐 内面 体部上半分	7.5H4/2 灰褐色 体部～全体	白色砂粒含む
153-16	土師器 片	S803	—	10.4 (2.2)	—	外面 口縁部面全体 体部振付压痕、ナデ 内面 体部上半分	5H5.4 にぶい赤褐色 口縁部～全体	内面振付压があるが、 内面調査は丁寧
153-17	土師器 片	S803	6738 7725	11.6 (5.5)	—	外面 口縁部～一部ナデ 産園木葉痕 塗装美しい 内面 口縁部～一部ナデ 植物美しい	2.5H4/6 明褐色 口縁部～全体	輪郭で輪郭に少しあ 大的の黒色粒を少量含む
153-18	土師器 片	S802	7862	14.2 (9.6)	—	外面 口縁部～一部ナデ 内面 口縁部～一部ナデ、振付压痕	7.5H4/2 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
154-19	土師器 片	S803	4077 6623 6674	44.0 (34.1)	—	外面 口縁部ハケメーナデ 領部ハケメーナデ 領部ハケメ 内面 口縁部ナデ 振付压痕、指揮付痕	5H4/2 灰褐色 口縁部～全体上半	白色砂粒含む
154-20	土師器 片	S803	4079 7864	44.1 (3.9)	—	外面 口縁部ハケメーナデ 領部ハケメーナデ 領部ハケメ 内面 口縁部ナデ 振付压痕、指揮付痕、ナデ	5H4/2 灰褐色 口縁部～全体上半	白色砂粒含む
154-21	須磨器 片	S802	6642	12.4 3.7	—	石クロロ 天井部回転ヘラケメ 上面～半分ヘラケメ	7.5H4/1 灰褐色 口縁部～全体	輪郭で輪郭に少しあ 大的の黒色粒を少量含む
154-22	須磨器 片	S803	6796 7842 7859	9.5 4.3 —	右ロクロ	底部回転ヘラケメ	10H4/1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-01	土師器 片	S804	6704 6974 6860	21.3 (24.2) —	輪筋孔	外面 口縁部ナデ 領部ハケメーナデ ギヨ 内面 口縁部ナデ 指揮付痕、指揮压痕	7.5H4/1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-02	土師器 片	S804	5080	(23.3) (3.1)	—	外面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ	5H5.4 にぶい赤褐色 口縁部	供養書く。やや艶つ けてる
155-03	土師器 片	S804	4170	20.8 (6.5)	—	輪筋孔 外面 口縁部ナデ 領部ハケメーナデ ギヨ 領部ハケメ 内面 口縁部ナデ 指揮付痕	5H5.4 にぶい赤褐色 口縁部～全体上半	供養書く。やや艶つ けてる
155-04	土師器 片	S804	5386 5554 5955	25.3 (3.6)	—	輪筋孔 外面 口縁部ナデ 指揮付痕、ナデ 領部ハケメ 内面 口縁部ナデ 指揮付痕、ナデ	10H4/6 灰褐色 口縁部～全体	過江系水平口縫 輪郭に少含む
155-05	土師器 片	S804	7199	(4.0) 6.0	—	外面 領部ハケメ 内面 口縁部ナデ	10H5.2 灰褐色 口縁部下半～全体	過江系水平口縫 輪郭に少含む
155-06	土師器 片	S804	4127 4140	(22.2) 6.7	—	輪筋孔 外面 回転ハケメ～指揮付痕ヘラケメ 内面 回転ハケメ～指揮付痕	5H5.3 にぶい赤褐色 口縁部上半～全体	赤色砂粒含む
155-07	土師器 片	S804	5125 6987	(11.3) —	—	輪筋孔 外面 回転ハケメ、指揮付痕 内面 回転ハケメ、指揮付痕	5H5.4 にぶい赤褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-08	土師器 片	S804	7215	(8.8) 5.8	—	外面 回転ハケメ 内面 口縁部ナデ	10H4/6 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-09	土師器 片	S804	—	(3.0) (3.2) (4.0)	—	外面 口縁部ナデ 体部ヘラケメ 内面 口縁部～一部ナデ、黑色處理	5H4/2 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-10	土師器 片	S804	6607 7821	7.1 (3.8)	—	外面 口縁部ナデ 体部ヘラケメ 内面 口縁部～一部ナデ、黑色處理	5H5.4 にぶい赤褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-11	土師器 片	S804	5879 7418 7576	10.1 (4.2)	—	外面 口縁部ナデ 体部ナデ、指揮压痕 内面 ナデ 赤色	2.5H4/6 明褐色 口縁部～全体	輪郭で輪郭に少しあ 大的の黒色粒を少量含む
155-12	土師器 片	S804	7460 7570	52.4 (2.2)	—	輪筋孔 外面 口縁部ナデ 領部ハケメーナデ 内面 口縁部ナデ 領部ハケメ	2.5H4/2 灰褐色 口縁部～全体上半	10H4/6 灰褐色 口縁部～全体
155-13	須磨器 片	S804	6135 6835	9.4 (3.5)	—	右ロクロ 天井部回転ヘラケメ	10H4/6 灰褐色 天井部～全体	白色砂粒含む
155-14	須磨器 片	S804	—	15.0 (2.4)	—	右ロクロ 天井部回転ヘラケメ	10H4/2 灰褐色 天井部～全体	白色砂粒含む
155-15	須磨器 片	S804	5566 7475	(2.6) (3.0)	—	右ロクロ 天井部回転ヘラケメ	10H4/2 灰褐色 天井部～全体	白色砂粒含む
155-16	須磨器 片	S804	5423	9.4 (3.1)	—	右ロクロ 底部回転ヘラケメ 歯跡有り	2.5H5.1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-17	須磨器 片	S804	7437	9.1 (3.3)	—	左ロクロ 底部回転ヘラケメ	10H5.1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒含む
155-18	須磨器 片	S804	6456	9.1 (3.6)	—	右ロクロ 回転ナデ	10H5.1 灰褐色 口縁部～全体	白色砂粒少含む

第18表 6区土器観察表(3)

第1-10回 回収番号	断面	出土地点	造形	手法の特徴	色調・振出部位	備考
159-19	直筒部 舟身	SB04	5402	x 2 (2.0) 4.9	左口クロ 直部凹輪へラケズリ	10195/2 黄褐色 口絆部～底部
159-20	直筒部 舟身	SB04	2807	14.0 (2.0) 7.712	左口クロ 直部凹輪へラケズリ	10195/2 黄褐色 口絆部～底部
159-21	直筒部 舟身	SB04	6032	(2.0) 11.6	左口クロ 直部凹輪へラケズリ 船付系出	10195/2 黄褐色 口絆部～底部 空気入り「ブ」 が生じている
159-22	直筒部 舟身	SB04	—	14.0 (2.0) (11.6)	右口クロ 船軸ナジ 船付系出	10195/2 黄褐色 口絆部～底部
159-23	直筒部 舟身	SB04	5401	16.7 (5.5)	右口クロ 舟部下部凹輪へラケズリ、一部に手持ちへラケズリか	10195/1 黄褐色 舟部
159-24	直筒部 舟身	SB04	7864	(4.2) 9.2	右口クロ 回転ナジ	2.511/1 黄褐色 底部
159-25	直筒部 舟身	SB04	7849	(6.5) (3.0) 9.02	回転方向 外面部回転ナジ 底部に横位の次輪	314/1 — 内面一部に自然輪
162-01	土器部 底	SB02	4707	20.0 (14.6)	輪轂み 舟部・底部ハケヌ 舟部・底部ハケヌ 舟部・底部ハケヌ	316/3 にない褐色 輪轂部～底部 舟部～底部
162-02	土器部 底	SB02	—	(5.6)	輪轂み 舟部・底部ハケヌ 舟部・底部ハケヌ	316/4 にない褐色 輪轂部～底部
162-03	土器部 底	SB02	8006	—	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/2 白砂粉含む
162-04	土器部 底	SB02	8118	12.2 (3.0)	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	舟部・ハケヌ
162-05	土器部 底	SB02	8001	12.0 (3.2)	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	舟部・ハケヌ
162-06	直筒部 舟身	SB02	—	8.7 (2.4)	右口クロ 直部凹輪へラケズリナジ	10195/1 黄褐色 口絆部～底部
166-01	土器部 底	SB05	2807	19.2 32.6	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/2 にない褐色 輪轂部～底部
166-02	土器部 底	SB05	4030	18.0 (8.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/3 にない褐色 輪轂部～底部
166-03	土器部 小型底	SB05	4031	12.7 (6.6)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/3 にない褐色 輪轂部～底部
166-04	土器部 底	SB05	4056	22.2 (10.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/4 にない褐色 輪轂部～底部上半
166-05	土器部 底	SB05	2807	20.2 (7.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/4 にない褐色 輪轂部～底部上半
166-06	土器部 底	SB05	3804	21.1 (7.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/2 にない褐色 輪轂部～底部上半
166-07	土器部 底	SB05	4020	20.1 (7.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3.5194/2 にない褐色 輪轂部～底部上半
166-08	土器部 底	SB05	3826	18.1 (6.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	7.5194/2 白砂粉含む
166-09	土器部 底	SB05	4022	20.0 (7.0)	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/4 にない褐色 輪轂部～底部上半
166-10	土器部 底	SB05	3826	(3.5) 12.0	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/2 白砂粉含む
166-11	土器部 底	SB05	3805	—	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/3 白砂粉含む
167-12	土器部 底	SB05	3803	(15.2) 8.4	輪轂み 舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/4 にない褐色 輪轂部～底部
167-13	土器部 底	SB05	—	(2.4) 8.0	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	白砂粉含む
167-14	土器部 底	SB05	3801	—	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/4 にない褐色 底部
167-15	土器部 底	SB05	4034	11.8 2.5 —	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	10195/3 にない褐色 底部
167-16	土器部 底	SB05	—	12.2 (4.2) (5.3)	舟部・ハケヌ 舟部・ハケヌ	3194/4 にない褐色 底部
167-17	土器部 底	SB05	3824	12.1 5.3	舟部・輪轂凹輪ナジ 舟部ナジ 舟部・ハケヌ	3195/4 にない褐色 底部
167-18	土器部 底	SB05	3803	11.3 7.9	舟部・輪轂凹輪ナジ 舟部・ハケヌ	10195/1 黄褐色 底部
167-19	土器部 底	SB05	3806	—	舟部・輪轂凹輪ナジ 舟部ナジ	7.5194/3 にない褐色 底部
167-20	小切妻も くは現れ	SB05	3840	—	舟部・輪轂凹輪ナジ 舟部ナジ	7.5194/4 にない褐色 底部
167-21	土器部 底	SB05	—	10.4 (3.0)	舟部・輪轂凹輪ナジ 舟部ナジ	7.5194/1 黄褐色 底部

第19表 6区土器観察表(4)

層番 回収番号	種類	出土地点	遺物名	口径 高さ 底径	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考
167-22	土師器 裏井	5805	—	(2.0) —		背面 体部へラケズリミガキか 底面ミガキ	7.5H4.2 底面 环状下半	赤色砂粒含む
167-23	土師器 裏井	5805	3981	20.5 20.0 8.4	輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔上半ヘラケズリ、ミガキ 中面部 ラッカズリ、底面ヘラケズリ 内面 CN部ヘラケズリ→ナデ 朝顔ヘラケズリ→ミガキ	7.5H4.4 にじる赤褐色 底面	白色砂粒含む 少量含む
167-24	土師器 裏井	5805	3947	(9.3) 9.7	輪組み	背面 朝顔上半ヘラケズリ 内面 朝顔ヘラケズリ	5H5.4 にじる赤褐色 环状下ギザ	内面のミガキは赤色 に留
167-25	土師器 裏井	5805	—	(4.7) 9.0		背面 底部ヘラケズリ 内面 底部ミガキ	7.5H4.6 底面 环状	内面のミガキは赤色 に留
167-26	土師器 裏井	5805	2981	12.4 4.2 —	右ロクロ	天井部凹輪ヘラケズリ	10H5.2 底面 环状	白色砂粒含む
167-27	土師器 裏井	5805	4038	9.7 2.7 —	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ	5H5.1 底面 环状	白色砂粒含む
167-28	土師器 裏井	5805	3990	10.3 4.4 —	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ	10H4.1 底面 环状	白色砂粒含む 外面やや赤化
167-29	土師器 裏井	5805	3951	9.8 4.7 6.49	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 画面十字のへら書き	5H5.1 底面 环状	
167-30	土師器 裏井	5805	3804	(13.1) (3.5) (5.5)	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ	10H4.1 底面 环状	白色砂粒含む
167-31	土師器 裏井付櫛	5805	2956	6.4 —	右ロクロ	下部凹輪ヘラケズリ	5H5.1 底面 环状	白色砂粒含む
170-01	土師器 小型	6508	6541	14.4 (9.6) 66.00	輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ 内面 口縁部ナデ 朝顔指圧痕、ナデ	5H5.3 にじる赤褐色 底面→側部	白裏面もむ にじる赤褐色 17.0と同一側体 か
170-02	土師器 裏井	5805	6254 5025	20.3 (5.8) —	輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ 内面 口縁部ナデ 朝顔指圧痕、ナデ	— にじる赤褐色 口縁部→側部、半	
170-03	土師器 裏井	5806	4908	(9.5) 7.0	輪組み	背面 朝顔ハケメ 朝顔ハケメ 内面 指圧痕、ナデ	7.5H4.1 底面 环状下ギザ	白裏面もむ
170-04	土師器 裏井	5806	6456	— (10.6) (9.9)	輪組み	背面 朝顔→生貼ハケメ 内面 朝顔ナデ	5H4.3 にじる赤褐色 底面→側部	白裏面もむ
170-05	土師器 裏井	5806	6506	(9.4) 6.9	輪組み	背面 朝顔ハケメ 產部ナデ、木葉茎 内面 朝顔指圧痕、ナデ	5H4.3 底面 环状	
170-06	土師器 井	5806	—	(6.7) (4.0) (4.0)		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 内面 ミガキ、赤彩	7.5H5.4 にじる赤褐色 口縁部→側部	地盤に少しあだの基 色和を少量含むが、 内面のミガキは赤
170-07	土師器 裏井	5806	—	(10.3) (3.7) —		背面 口縁部凹輪ナデ 产部ヘラケズリ。ミガキ 内面 ラッカズリ 黒色處理	5H4.1 底面 环状	
170-08	土師器 裏井付櫛	5806	—	(12.3) (3.1) (10.3)	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ 粘付櫛	2.5H5.1 底面 环状	
170-09	土師器 裏井	5806	5182 5767 5816	12.3 4.6 —	右ロクロ	底部凹輪ヘラケズリ→ナデ	5H6.1 底面 环状	新實
170-10	土師器 裏井	5806	—	(18.2) (2.4) (14.0)		凹輪方向不 規	2.5H5.1 底面 环状	内面自然釉
172-01	土師器 裏井	5807	4213	23.1 (7.1)	輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ 内面 口縁部指圧痕、ナデ 朝顔ハケメ	5H5.4 にじる赤褐色 口縁部→側部	地盤に少しあだの基 色和を少量含むが、 内面のミガキは赤
172-02	土師器 裏井	5807	4208	12.2 (2.2)		背面 口縁部→体部ナデ 体部 内面 口縁部→体部ミガキ 黑色處理	2.5H5.1 底面 环状	
172-03	土師器 裏井	5807	4209	(2.4) (3.4) —		背面 口縁部→体部ナデ 体部 内面 口縁部→体部ミガキ 黑色處理	5H5.4 にじる赤褐色 口縁部→側部	地盤に少しあだの基 色和を少量含むが、 内面のミガキは赤
172-04	土師器 裏井	5807	—	11.8 (4.0) (4.0)		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ ナデ	7.5H5.4 にじる赤褐色 口縁部→側部	地盤に少しあだの基 色和を少量含むが、 内面のミガキは赤
172-05	土師器 裏井 墨もくは 塗加	5807	—	10.7 (2.7) —		凹輪方向不 規	2.5H5.1 底面 环状	内面自然釉
172-06	土師器 裏井 墨もくは 塗加	5807	4518	26.0 (3.4) —		凹輪ナデ	5H6.1 底面 环状	内面口縁部自然釉
177-01	土師器 裏井	5808	3589 4815 4820	24.3 (10.6) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ 内面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ	7.5H5.3 にじる赤褐色 口縁部→側部、下半	白色砂粒少量含む
177-02	土師器 裏井	5808	7096 7258 7259	22.7 (17.6) —	輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ 内面 CN部ナデ 朝顔ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ	5H4.3 にじる赤褐色 口縁部→側部	
177-03	土師器 裏井	5808	2590 5245 6046	23.0 (36.1)	輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔→朝顔ハケメ 内面 口縁部ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ	5H4.1 にじる赤褐色 口縁部→側部	
177-04	土師器 裏井	5808	5281 5293 5296	— (10.6) (7.7)	輪組み	背面 朝顔→生貼ハケメ 木葉茎 内面 朝顔ミガキ	5H5.4 にじる赤褐色 口縁部→側部	赤色砂粒少量含む
177-05	土師器 裏井	5808	6180	(12.6) (3.6) (7.7)	右ロクロ	背面 口縁ナデ、ミガキ 連部ヘラケズリ→ミガキ 内面 朝顔ミガキ	5H4.3 にじる赤褐色 口縁部→側部	
177-06	土師器 裏井	5808	4605 4626	(4.0) (4.6) —	輪組み	背面 口縁ハケメ→ナデ 朝顔ハケメ→ミガキ 内面 口縁部ナデ 朝顔ハケメ	5H4.3 にじる赤褐色 口縁部→側部	白色砂粒含む
177-07	土師器 裏井	5808	—	(6.4)	左ロクロ	底部半凹輪ヘラケズリ	2.5H4.2 底面 环状	内面自然釉
180-01	土師器 裏井口蓋	5809	—	(12.0) (4.6) —	右ロクロ	凹輪ナデ	2.5H4.2 底面 环状	内面自然釉

第20表 6区土器観察表(5)

第1号 通番号	埋理	出土地点	遺物名	口径 底面 高さ	成形	手法の特徴	色調・底面部位	備考
180-02	須恵器 有台付舟	5809	2804 2826 7802	(16.6) (3.5) (12.3)	右口クロ	直腹回転ヘラケツリ 輪付裏面	100%4/1 褐灰色 口縁部～底部	
180-06	土師器 片	5810	—	13.6 4.5	舟面	口縁部凹字、体部ヘラケツリ 内面 口縁部凹字	7.5%4/2 褐灰色 口縁部～底部	
182-01	土師器 皿	5813	7045	(24.3) (10.3) —	輪轂み	内面 口縁部ナナ字、直腹ハラケツリ 内面 口縁部ナナ字、底面凹字、直腹ハラケツリ	50%2/2 褐灰色 口縁部～底部上半	
182-02	土師器 盤	5813	6371 6380	(14.5) (13.0)	輪轂み	内面 口縁部ナナ字、木葉底 内面 口縁部ナナ字、直腹ハラケツリ、底面凹字 内面 口縁部ナナ字、直腹ハラケツリ、底面凹字、下底ハケメ	7.5%4/1 褐灰色 口縁部～底部	外蓋連附縫付舟
182-03	土師器 皿	5813	7094	36.0 (9.0)	輪轂み	内面 口縁部ナナ字、直腹ハラケツリ 内面 口縁部ナナ字、直腹ハラケツリ、底面凹字 内面 口縁部ナナ字、直腹ハラケツリ、底面凹字、下底ハケメ	7.5%4/1 褐灰色 口縁部～底部上半	
182-04	須恵器 有台付舟	5813	7701	(12.9) — 4.1	右口クロ	舟面 車輪	100%2/2 黄褐色 口縁部～底部	鉢
182-05	須恵器 有台付舟	5813	6408	(16.3) (13.0)	右口クロ	直腹回転ヘラケツリ 輪付裏面	100%2/2 黄褐色 口縁部～底部	
182-06	須恵器 皿	5814	127-038 126-038	— (12.7)	—	外蓋内面ともタキ	2.5%1/1 黄灰色 底面	
185-02	須恵器 有台付舟	5814	—	(2.0) 11.6	回転方向不明	直腹回転ヘラケツリ 輪付裏面	2.5%1/1 黄灰色 底面	
189-01	土師器 片	5861	—	10.5 (2.4)	舟面	口縁部ナナ字、体部ヘラケツリ 内面 ミガキ 黒色地紋	7.5%2/2 褐灰色 口縁部～底部	赤色砂粒含む
189-02	灰陶器 器	5861	—	(7.5) 10.8	輪付裏面	直腹地紋	2.5%1/1 黄灰色 底面	
189-03	須恵器 有台付舟	5861	435	(3.1) 13.0	左口クロ	直腹回転ヘラケツリ 輪付裏面	100%2/2 黄褐色 底面	白色砂粒含む
189-04	須恵器 直底盤	5861	—	9.5 (6.2)	左口クロ	回転ナナ 外面に椎粒の剥離	2.5%1/1 黄灰色 口縁部～底部	内外面白砂粒
189-05	須恵器 皿	5862	—	34.8 (10.6) —	舟面	回転ナナ 内面 回転ナナ 内面 回転ナナ	2.5%1/1 黄灰色 口縁部～底部	外蓋裏面
189-06	須恵器 盤	5862	5004	22.2 (2.0)	右口クロ	回転ナナ	2.5%1/1 黄灰色 口縁部～底部	
189-07	須恵器 皿	5864	—	26.7 (11.0)	舟面	タキ牛底 (自然剥皮付) 痕が不明瞭 内面 タキ牛底	2.5%1/1 黄灰色 口縁部～底部上半	外蓋裏面自然剥
189-08	須恵器 皿	5864	—	29.3 (9.3)	舟面	回転ナナ 内面 回転ナナ	100%2/2 黄褐色 口縁部～底部	内外面赤褐色、褐色
189-09	須恵器 有台付舟	5864	—	16.3 (4.6) (12.2)	右口クロ	直腹回転ヘラケツリ 輪付裏面	2.5%1/1 黄灰色 口縁部～底部	
189-10	須恵器 有台付舟	5865	—	(3.1) (1.1)	右口クロ	直腹回転ヘラケツリ 輪付裏面	84.0 灰褐色 口縁部～底部	白色砂粒含む
189-11	須恵器 皿	5867	2392	23.9 (10.5)	左口クロ	舟面 タキ牛底 内面 ナナ	100%2/2 黄褐色 口縁部～底部	外蓋裏面自然剥
189-12	須恵器 皿	5867	2805 3462	27.4 (12.0)	左口クロ	内面 口縁部ナナ字、直腹タキ 内面 ナナ 自然剥	100%1/1 黄褐色 口縁部～底部上半	
189-13	須恵器 皿	5867	4621	31.9 (10.5)	左口クロ	内面 タキ牛底 内面 タキ牛底	100%1/1 黄褐色 口縁部～底部上半	
189-14	須恵器 皿	5867	—	23.1 (11.2) —	回転方向不明	内面 口縁部ナナ字 内面 斜方紋の埋離	100%2/2 黄褐色 口縁部～底部上半	
189-15	須恵器 皿	5867	1710 2317 2664	29.2 (12.2) —	左口クロ	舟面 タキ牛底 内面 タキ牛底	100%2/2 黄褐色 口縁部～底部上半	内蓋裏面自然剥
189-16	須恵器 皿	5867	2965	(6.6) 18.0	舟面	タキ牛底 ナナ 新方位の埋離 自然剥	50%1/1 褐灰色 口縁部～底部	片蓋縫合部色褪、褐灰色
189-17	須恵器 高杯	5867	1722	(2.0) 12.6	左口クロ	回転ナナ	2.5%1/1 黄褐色 口縁部	白色砂粒含む
190-18	土師器 片	5869	—	13.2 (3.2) —	舟面	口縁部ナナ字 体部ヘラケツリ、指揮痕 内面 口縁部～体部ナナ	50%4/4 にじいろ褐色 口縁部～底部	
190-19	土師器 片	5873	—	13.3 (3.6) —	舟面	口縁部ナナ字 体部ヘラケツリ ナナ 上半位えがき 下半位えがき	50%4/4 にじいろ褐色 口縁部～体部	赤色砂粒含む
190-20	土師器 片	PT22	—	13.1 (2.1) (4.6)	舟面	口縁部ナナ字 体部ヘラケツリ 内面 口縁部～体部えがき	7.5%1/2 褐灰色 口縁部～底部	
190-22	土師器 片	PT265	—	(3.4) (0.6)	輪轂み	内面 逆船ハナメ、ナナ、木葉底 内面 逆船ハナメ	7.5%4/4 褐灰色 口縁部	白色砂粒含む
190-23	土師器 小笠置	127-040	—	14.2 (6.4) —	舟面	ナナ 内面 口縁部ナナ字 植部輕いハケメ	100%4/4 褐灰色 口縁部	
190-24	土師器 小笠置	127-040	—	(2.9) 5.8	輪轂み	内面 ハケメ、ナナ 指揮痕 地底木葉底 内面 ハケメ	7.5%4/4 褐灰色 口縁部～底部	内蓋全体から茎瓦部 筋まで埋付舟
190-25	土師器 皿	128-039	—	(3.5) 8.5	輪轂み	内面 ハケメ、ナナ 内面 軽いハケメ	7.5%4/4 褐灰色 口縁部	白色砂粒含む
190-26	土師器 皿	128-040	—	(1.6) (8.3)	舟面	直腹ナナ字、木葉底、種子底 内面 軽いハケメ	7.5%4/4 褐灰色 底面	白色砂粒含む

第21表 6区土器観察表(6)

第1分類 固有番号	種類	出土地点	遺物名	口内 部品 目録 記述	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考
196-05	土師器 片	126/041	—	(2. 6 (3. 4)	—	背面 口縁部ナゲ 体部ミガキ 内面 口縁部ナゲ 体部ミガキ	7.5H6.3 に云々赤色 口縫部～底部	
196-06	土師器 片	127/041	—	(2. 9 (3. 6)	—	背面 口縁部ナゲ 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ナゲ 体部ミガキ	5H5.4 に云々赤色 口縫部～底部	
196-07	土師器 片	127/040	—	(2. 2 6. 8)	—	背面 口縁ナゲ 体部ミガキ 内面 口縁ナゲ 一部ミガキ	2.5H6.1 明灰褐色 体部～底部	裏面含む
196-08	須賀器 皿	青土一組	344	(2. 6 —)	右ロクロ	背面 タリナ赤 口縁部から底部暗褐色 内面 タリナ赤 脱胎斜方の腹底	10H5.1 褐色～深褐色 口縫部～脚部	背面縫部から底部 口縫部～脚部
196-09	須賀器 皿	127/029	—	19. 0 (5. 4)	右ロクロ	回転ナゲ	10H5.1 褐色～深褐色 口縫部～脚部	外表面部、内面口縫 部に自然施
196-10	須賀器 皿	126/041	—	(3. 3) —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ 滾み回転ナゲ	2.5H5.1 黄褐色 天井部	
196-11	須賀器 皿(焼け) 蓋	127/041	—	14. 2 (1. 6 10. 4)	回転方向 不明	天井部回転ヘラケズリ	1.5H5.1 黄褐色 天井部～底部	
196-12	須賀器 皿	127/041	—	(3. 7 (3. 1)	左ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	10H5.1 褐灰色 天井部～底部	
196-13	須賀器 皿台付身	127/040	—	14. 3 (4. 1 (5. 7)	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ	10H5.1 褐色～深褐色 口縫部～底部	白色砂と少量含む
196-14	須賀器 皿台付身	121/041 126/040	—	(2. 9 (4. 9 10. 4)	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	10H5.2 黑色砂 口縫部～底部	黑色砂相当
196-15	須賀器 皿台付身	127/029	—	15. 4 (4. 0 (11. 0)	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	2.5H5.1 黄褐色 口縫部～底部	黑色砂相当含む。 外表面自然施
196-16	須賀器 皿台付身	126/040	—	(3. 8 (1. 8 (11. 8)	右ロクロ	回転ナゲ 黏付高台	10H5.1 灰褐色 口縫部～底部	新實
196-17	須賀器 皿台付身	126/040	—	14. 8 (2. 8 (12. 7)	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	5H4.2 灰褐色 口縫部～底部	外表面自然施
196-18	須賀器 皿台付身	126/040	—	(3. 4 10. 5)	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	2.5H5.1 黄褐色 口縫部～底部	白色砂と少量含む
196-19	須賀器 皿台付身	126/029	—	(4. 11 10. 7)	—	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	10H5.1 黑色砂付ける時に 黒いのが混して いる。	
196-20	須賀器 皿台付身	127/041	—	(1. 7) 10. 6	回転方向 不明	底部ヘラケズリ 粘付高台	2.5H5.1 黄褐色 口縫部～底部	
196-21	須賀器 皿台付身	126/028	—	(1. 5) 10. 5	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	10H6.2 灰褐色 口縫部～底部	
196-22	須賀器 皿台付身	126/041	—	(1. 8) 10. 2	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台	10H5.1 褐灰色 口縫部～底部	白色砂と少量含む
196-23	須賀器 高片	126/040	—	— (8. 7 10. 0)	左ロクロ	回転ナゲ	2.5H5.1 黄褐色 口縫部～底部	
196-24	須賀器 高もじくは 鉢	127/048	—	(3. 6) (3. 7)	左ロクロ	底部回転ヘラケズリ 粘付高台 内面 自然施多量で断面肥大	10H6.2 灰褐色 体部～底部	内面自然施
196-25	須賀器 高もじくは 鉢	136/028	—	(3. 0) 8. 9	左ロクロ	回転ナゲ	10H5.2 灰褐色 体部～底部	外表面一部と内面施込み 内部に黏付付

第22表 4区土器観察表(1)

第2分類 固有番号	種類	出土地点	遺物名	口内 部品 目録 記述	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考
06-01	土師器 皿	5801	2500 3113 3234	(4. 0 8. 6	輪縁付	背面 通常ハケメ、ナ。指揮圧痕 木葉痕 内面 縦長いハケメ	5H6.2 灰褐色 底部	白色砂と少量含む
06-02	土師器 皿	5801	2515	—	輪縁付	背面 通常ハケメ、ミガキ 通常ナゲ、指揮圧痕 木葉痕 内面 縦長いハケメ、指揮圧痕	7.5H7.2 灰褐色	
06-03	土師器 片	5801	2600	(2. 6 (3. 7)	—	背面 口縫部から体部上半ミガキ 下半ケズリミガキ、ナ。指揮圧痕 内面 黒色處理	7.5H6.2 灰褐色 底部	白色砂相当
06-04	土師器 皿	5801	3109 3111 3232	(10. 8 8. 5	輪縁付	背面 通常ハケメ、ミガキ 通常ハケメ、ミガキ、指揮圧痕 木葉痕 内面 縦長いハケメ	5H5.2 灰褐色 底部下半～底部	白色砂和・黑色砂相当含む
06-05	須賀器 皿内 高片	5801	2507 2508 2509	17. 5 4. 0 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	2.5H6.2 灰褐色 内井部～口縫部	敷實
10-01	土師器 皿	5802	2781 2782	(5. 3) 7. 0	—	背面 鋼鉄 通常木葉痕 内面 指揮圧痕 鋼鉄	5H6.2 灰褐色 底部下半～底部	白色砂和・黑色砂相当含む
10-02	土師器 皿	5802	2770 2897 2898	(9. 0 9. 7	輪縁付	背面 通常ハケメ、指揮圧痕 通常木葉痕 鋼鉄 内面 縦長いハケメ、指揮圧痕	7.5H6.2 灰褐色	黑色砂相当含む
10-03	土師器 片	5802	2601	12. 5 4. 2 —	—	背面 口縫部～体部上半ミガキ 体部下半ヘラケズリミガキ 黑色處理 内面 口縫部～体部ミガキ、黑色處理	7.5H6.2 灰褐色 底部	
10-04	須賀器 皿身	5802	2768 2651	(3. 4) 3. 8	右ロクロ	底部回転ヘラケズリ	5H6.2 灰褐色 口縫部～底部	外表面敷實
12-01	土師器 小型皿	5804	3473 3474 3476	12. 0 12. 0 12. 0	輪縁付	背面 口縫部ナゲ 鋼鉄ハケメーナナゲ 通常ハケメ 通常ナゲ 木葉痕 鋼鉄 内面 ハケメ 基材	2.5H6.4 に云々赤褐色 口縫部～底部	白色砂相当含む 内井部
12-02	土師器 小型皿	5804	4177 4182 4278	(13. 4 (10. 0 —	輪縁付	背面 口縫部ナゲ 鋼鉄ハケメーナナゲ 通常ハケメ 通常ナゲ 木葉痕 内面 口縫部ナゲ ハケメーナナゲ 通常ハケメ 通常ナゲ	2.5H6.4 に云々赤褐色 口縫部～底部	白色砂相当含む

第23表 4区土器観察表(2)

第2分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径 底面 深度	形成	手法の特徴	色調・斑存部位	備考
12-03	土器部 底	S804	2404 2405 3019	(12.1) 14.9 6.5	輪摺り	外面：底部～底部ハケメ～ミガキ 木葉底 内面：底部ハケメ	7.5H6.3 にぶい褐色 底部下半～底部	白色砂粒・黒色砂粒 含む
12-04	漆黒器 無台板	S804	4030 4037 4221	14.9 4.7 6.4	右口クロ	内外面回転ナデ	515.1/ 1 白色砂粒含む	白色砂粒含む
12-05	漆黒器 附台板	S804	3096 3489	14.4 4.1 6.7	右口クロ	内外面回転ナデ 内面丸桟縁の保による山形文様	515.1/ 灰褐色 口縫部～底部	白色砂粒少量含む
12-06	漆黒器 無台板	S804	4176	(12.1) 14.4 (6.5)	右口クロ	外面：回転ナデ 内面：内面丸桟縁の保による山形文様	515.1/ 灰褐色 口縫部～底部	輕質
14-01	土器部 底	S805	3406 3407	20.8 (7.5)	輪摺り	外面：口縫部～ハケ 線刷毛矢毛 内面：口縫部ナデ 底部ハケメ～ミガキ	518.1/ にぶい褐色 口縫部上半	白色砂粒少量含む
16-01	土器部 底	S806	3215 3216 3272	21.5 (29.5) —	輪摺り	外面：口縫部ナデ 線刷毛矢毛 線刷毛矢毛～ミガキ 内面：口縫部ナデ 底部ハケメ～ミガキ	515.1/ 褐色 口縫部～底部下半	白色砂粒少量含む
20-01	土器部 底	S807	3074 3075 3892	(20.3) 9.6	輪摺り	外面：底部ハケメ 内面：底部ハケメ 底部ハケメ、底部ハケメ	7.5H6.1/ 灰褐色 底部上半～底部	白色砂粒多量に含む
20-02	土器部 底	S807	3961 4016 4255	20.3 (29.2) 10.4	輪摺り	外面：口縫部～ハケ 線刷毛矢毛 底部ハケメ 内面：口縫部～ハケメ～ミガキ 底部ハケメ	518.1/ 灰褐色 口縫部上半	白色砂粒少量含む
20-03	土器部 底	S807	4101 4150 4255	(6.0) — 10.4	輪摺り	外面：底部ハケメ 内面：底部ハケメ～ミガキ	7.5H6.3 にぶい褐色 底部下半～底部	白色砂粒多量に含む
20-04	土器部 底	S807	3967 4073	(4.2) 9.0	輪摺り	外面：底部ハケメ 木葉底 内面：底部ハケメ	518.1/ 褐色 底部	白色砂粒含む
20-05	土器部 底	S807	3883 3883	12.8 5.2	輪摺り	外面：口縫部ナデ 体部ナデ 体部下半～ハケズリ	7.5H6.4 にぶい褐色 底部	白色砂粒多量に含む
20-06	土器部 底	S807	4029 4060 4149	12.4 2.5 —	輪摺り	外面：口縫部ナデ 体部ナデ 体部下半～ハケズリ 内面：口縫部～体部底	518.1/ にぶい褐色 口縫部～底部	白色砂粒含む
20-07	土器部 底	S807	4104 4105 4141	12.0 (2.5) —	輪摺り	外面：口縫部～体部上半～ミガキ 体部下半～ハケズリ～ミガキ 黒色處理 内面：口縫部～ミガキ	518.1/ 灰褐色 口縫部～底部	黑色處理
20-08	土器部 底	S807	3667	11.0 3.5	輪摺り	外面：口縫部ナデ 体部～ハケズリ	518.1/ にぶい褐色 口縫部～体部	白色砂粒少量含む
20-09	漆黒器 無台板	S807	3668	17.9 8.1 9.9	左口クロ	底部凹部～ハケズリ	2.5H4.2/ 灰褐色 口縫部～底部	大形の癹合跡、やや 輕質
22-01	土器部 小型器	S809	2897 2898 4802	16.7 — —	輪摺り	外面：口縫部ナデ 底部ナデ ハケメ やや韋耗 内面：口縫部ナデ 底部ハケメ	7.5H6.2/ 灰褐色 口縫部上半	白色砂粒少量含む
23-02	土器部 底	S809	3701 3702	31.0 (10.4) —	輪摺り	外面：口縫部ナデ 底部ナデ 底部ハケメ 内面：口縫部ナデ 底部ハケメ	518.1/ にぶい褐色 口縫部～底部	白色砂粒少量含む
23-03	漆黒器 輪底内壁	S809	2895 4002	14.0 —	右口クロ	天井部回転～ハケズリ	2.5H4.2/ 灰褐色 天井部～口縫部	輕質
27-01	土器部 底	S810	4372 4460 4461	20.5 30.2 44.6	輪摺り	外面：口縫部から底部ハケメ～ナデ 底部上半～ハケメ、下半部ハケメ、 内面：口縫部ナデ 線刷毛矢毛	518.2/ 灰褐色 口縫部上半	白色砂粒多量に含む
27-02	土器部 底	S810	4367 4368	16.8 —	輪摺り	外面：口縫部ナデ 線刷毛矢毛～ミガキ 底部ハケメ、ミガキ 内面：口縫部～ハケメ～ナデ 線刷毛矢毛～ミガキ	518.2/ にぶい褐色 口縫部上半	白色砂粒含む
27-03	土器部 底	S810	4460 4464	17.0 44.6	輪摺り	外面：口縫部～ハケメ～ナデ 底部ナデ 内面：口縫部～ハケメ～ナデ 線刷毛矢毛	2.5H4.4/ にぶい褐色 口縫部～底部	白色砂粒含む
27-04	土器部 底	S810	4527 4615	(12.2) 8.7	輪摺り	外面：底部ハケメ～ナデ ミガキ～ナデ 底部ナデ 内面：底部上半ハケメ、下ナデ～底部ハケメ	518.2/ 灰褐色 口縫部～底部	白色砂粒多量に含む
27-05	土器部 底	S810	—	(6.1) 8.6	輪摺り	外面：底部下半～底部ハケメ、ミガキ 木葉底 内面：底部下半～底部ハケメ、ニキ	518.2/ 灰褐色 底部下半～底部	白色砂粒少量含む
27-06	土器部 底	S810	6302 6303 6210	10.6 4.5 —	輪摺り	外面：口縫部～体部ナデ 底部木葉底 内面：口縫部～体部ナデ	7.5H6.4/ にぶい褐色 底部上半	輕質で動かさない 木葉の柔軟性を含む
27-07	土器部 底	S810	4374	13.0 4.5	輪摺り	外面：口縫部ナデ 体部～ハケズリ～ミガキ 内面：ナデ	7.5H6.2/ 灰褐色 口縫部～底部	白色砂粒少量含む
27-08	漆黒器 片身	S810	4351	8.0 3.2	左口クロ	回転ナデ 底部凹部～ハケズリ	518.1/ 灰褐色 口縫部～底部	外縁口縫部端に自然 跡
27-09	漆黒器 片身	S810	—	8.4 3.0	右口クロ	底部凹部～ハケズリ	2.5H4.1/ 灰褐色 口縫部～底部	外縁自然跡
27-10	漆黒器 片身	S810	—	7.0 (2.5)	右口クロ	外面：自然顔が全面付着し、調整は不明	2.5H4.2/ 堆積色 口縫部～底部	外縁自然跡
27-11	漆黒器 無台身	S810	4377 4395	10.6 3.4 6.7	右口クロ	底部凹部～ハケズリ	10H4.2/ 灰褐色 口縫部～底部	10H4.2/ 灰褐色
30-01	土器部 底	S811	6360 6364 6367	20.0 (24.6)	輪摺り	外面：口縫部ナデ 底部ナデ ハケメ 内面：口縫部ナデ 線刷毛矢毛～ハケメ	7.5H6.2/ 灰褐色 口縫部上半	白色砂粒少量含む
30-02	土器部 底	S811	4366 6379	20.5 (15.1)	輪摺り	外面：口縫部ナデ 底部ナデ ハケメ 内面：口縫部ナデ 線刷毛矢毛～ハケメ	518.2/ 灰褐色 口縫部上半	白色砂粒含む
30-03	土器部 底	S811	4510	12.5 3.8	輪摺り	外面：口縫部～体部ナデ ミガキ～ミガキ 黑色處理 内面：ミガキ 黑色處理	10H4.1/ 灰褐色 口縫部～底部	白色砂粒少量含む
30-04	土器部 底	S811	4605	12.2 2.9 —	輪摺り	外面：口縫部～体部ナデ 底部ハケズリ 内面：口縫部～体部ナデ	10H5.2/ 灰褐色 口縫部～底部	白色砂粒・赤色砂粒 少量含む
30-05	土器部 底	S811	—	11.9 3.8 —	輪摺り	外面：口縫部から底部上半～ミガキ 体部下半～ハケズリ～ミガキ 内面：ミガキ	7.5H6.4/ 灰褐色 口縫部～底部	

第24表 4区土器観察表(3)

調査区分 調査番号	種類	出土地点	遺物名	口沿 縁部 底部 修理	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考	
30-06	土師器 片	S8II	4507	10.0 5.0 —		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 口縁部ナデ 体部ミガキ	7.5H6.3 にぶい褐色 変形	白色砂粒・黑色砂粒 含む	
30-07	土師器 片	S8II	4742	10.0 4.2 —		片重 口縁部ヘラケズリミガキ 体部下半ヘラケズリミガキ 黒色胎理 内面 口縁部ヘラケズリミガキ 黑色胎理	S8II-3 にぶい褐色 黒色胎理	赤色砂粒少量含む	
30-08	土師器 片	S8II	6746	12.9		背面 口縁部ヘラケズリミガキ 体部木葉底 内面 中心から左右へカット	S8II-6 褐色	黒褐色や土色に「V」字 の黑色砂粒含む	
30-09	土師器 片	S8II	6751	9.5		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリミガキ (やや變形) 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリミガキ ナデ 黑色胎理	7.5H6.2 にぶい褐色 変形		
30-10	土師器 片	S8II	4508	11.0		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリミガキ 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリミガキ 黑色胎理	7.5H6.2 灰褐色		
30-11	土師器 片	S8II	4511	10.8 6.6 9.9		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリミガキ 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリミガキ 腹部 内面 口縁部ナデ 体部ナデ	7.5H6.2 にぶい褐色 黒色胎理		
30-12	須磨器 片	S8II	4506	11.6 4.6 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	SH6.2 褐色	天井部自然輪	
33-01	土師器 片	S8II	6227	—		背面 朝顔丁ギー底部ヘラケズリミガキ 内面 朝顔丁ギー底部ナメ	7.5H6.2 灰褐色		
33-02	土師器 片	S8II	6236	(8.5) 2.5		背面 朝顔丁ギー底部ヘラケズリミガキ 内面 朝顔丁ギー底部ナメ	7.5H6.2 にぶい褐色 黒色胎理		
36-01	土師器 片	S8II	6808	24.2		輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔ヘマーナデ 朝顔ナデ 朝顔紅いハケメ 内面 口縁部ナデ 朝顔ヘマーナデ 朝顔紅いハケメ	7.5H6.2 にぶい褐色 口縁部	
36-02	土師器 小型器	S8II	7044	14.0 (7.5)		輪組み	背面 口縁部ナデ 朝顔ヘマーナデ 朝顔紅いハケメ 内面 口縁部ナデ 朝顔ヘマーナデ 朝顔紅いハケメ	10H6.2 灰褐色 口縁部一側部下半	
36-03	土師器 小型器	S8II	7191	—		輪組み	背面 朝顔ヘマーナデ 朝顔ナデ 朝顔ナデ 内面 朝顔ヘマーナデ 朝顔ナデ 朝顔ナデ	7.5H6.2 にぶい褐色 黒色胎理	白画面ばらに食入
36-04	土師器 小型器	S8II	7192	(7.5) 6.9		輪組み	背面 朝顔ヘマーナデ 朝顔ナデ 朝顔ナデ 内面 朝顔ヘマーナデ 朝顔ナデ 朝顔ナデ	7.5H6.2 にぶい褐色 黒色胎理	
36-05	土師器 小型器	S8II	7048	(2.1) 5.8		輪組み	背面 朝顔ナデ ハケメ 朝顔木葉底 内面 朝顔ナデ ハケメ 朝顔木葉底	7.5H6.4 にぶい褐色 黒色胎理	白色砂粒少量含む
36-06	土師器 小型器	S8II	7196	(4.0) 6.2		輪組み	背面 朝顔ナデ 木葉底 内面 朝顔ナデ 木葉底	7.5H6.2 にぶい褐色 黒色胎理	白色砂粒少量含む
36-07	土師器 小型器	S8II	7064	—		輪組み	背面 朝顔ヘマーナデ 木葉底 内面 朝顔ヘマーナデ 木葉底	7.5H6.2 にぶい褐色 黒色胎理	中がみ苦し
36-08	土師器 片	S8II	6805	18.0 2.7 9.5		輪組み	背面 口縁部ナデ 体部ミガキ 通部ヘラケズリミガキ 内面 口縁部ナデ 体部ミガキ 通部ヘラケズリミガキ 内面 通部壁付E方斜 亂擦痕等のナメ強く残る	7.5H6.2 にぶい褐色 口縁部一側部	白色砂粒・黑色砂粒 ごく少量含む
36-09	土師器 片	S8II	7175	41.7 (13.0)		輪組み	背面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ 内面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ	7.5H6.2 にぶい褐色 口縁部一側部	白色砂粒少量含む
36-10	土師器 片	S8II	7201	—		輪組み	背面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ 内面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ	SH6.2 灰褐色	白色砂粒少量含む
36-11	土師器 片	S8II	7242	—		輪組み	背面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ 内面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ	7.5H6.2 灰褐色	白色砂粒少量含む
38-01	土師器 片	S8II	7058	(4.1) (6.9)		輪組み	背面 通部ナデ タナ ミガキ 内面 ハケメ	SH6.2 灰褐色	白色砂粒・黑色砂粒 含む
41-01	土師器 片	S8II	7155	14.5 (32.0)		輪組み	背面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ 内面 口縁部ナデ 亂擦ヘマーナデ 通部ヘケメ	SH6.2 灰褐色	白色砂粒・黑色砂粒 含む
41-02	土師器 片	S8II	7182	15.1 22.0 7.1		輪組み	背面 口縁部ヘマーナデ 亂擦ヘマーナデ 通部上半ハケメ 内面 朝顔丁ギー底部ヘケメ ナデ 内面 亂擦ヘマーナデ 亂擦ヘマーナデ 通部上半ハケメ	7.5H6.1 灰褐色	白色砂粒含む
41-03	土師器 小型器	S8II	7509	(7.6) 6.8		輪組み	背面 亂擦ヘマーナデ 通部ナデ 木葉底 内面 亂擦ヘマーナデ 通部ナデ 木葉底	7.5H6.2 灰褐色	白色砂粒少量含む
41-04	土師器 片	S8II	7582	11.2 (3.6) —		輪組み	背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ナデ 体部ミガキ	7.5H6.2 灰褐色	白色砂粒少量含む
41-05	土師器 片	S8II	7150	9.4 (7.6)		輪組み	背面 口縁部ナデ 通部ミガキ 内面 口縁部ナデ 通部ミガキ	7.5H6.1 灰褐色	白色砂粒ともに方角 修理痕
41-06	須磨器 片	S8II	7493	12.0 4.9 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	SH6.1 褐色 変形	白色砂粒少量含む	
41-07	須磨器 片	S8II	7491	12.1 4.7 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	10H5.2 灰褐色		
41-08	須磨器 片	S8II	7492	11.7 4.2 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	2.5H5.1 灰色 変形	外画面自然輪	
41-09	須磨器 片	S8II	7493	12.3 4.4 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ 内面 光沢み跡ナデ	SH6.1 灰褐色 変形	地土に1~2mmの 黒色砂粒含む。外画面 自然輪	
41-10	須磨器 片	S8II	7627	11.0 3.7 —	右ロクロ	通部回転ヘラケズリ	SH5.1 黑色 変形	白色砂粒少量含む	
41-11	須磨器 片	S8II	7498	9.8 3.6 —	左ロクロ	通部回転ヘラケズリ	2.5H4.1 褐色 変形	白色砂粒少量含む	
41-12	須磨器 片	S8II	7499	11.0 16.2 —	左ロクロ	通部回転ヘラケズリ	10H5.1 褐色 変形	外画面輪部自然輪	
42-01	土師器 片	S8II	6880	11.6 (4.1)		背面 口縁部ミガキ 体部ヘラケズリミガキ 内面 口縁部ミガキ 体部ミガキ 黑色胎理	7.5H6.2 にぶい褐色	赤色砂粒少量含む	
42-02	土師器 片	S8II	7654	12.2 3.8 —		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 内面 口縁部ミガキ、体部ナデ (ミガキ)、複屈圧痕	7.5H6.4 にぶい褐色	赤色砂粒少量含む	
42-03	土師器 片	S8II	6982	11.0 4.8 —		背面 口縁部ナデ 体部ヘラケズリ 通部木葉底、腹利痕しい 内面 口縁部ミガキ、体部ナデ	SH6.2 灰褐色	やや屈曲輪部で少 量の黑色砂粒を少す 含む。	
42-04	土師器 片	S8II	7129	12.4 5.0 7.0		背面 亂擦ヘマーナデ 通部ヘラケズリミガキ 亂擦ヘマーナデ 内面 亂擦ヘマーナデ 通部ヘラケズリミガキ 亂擦ヘマーナデ	10H5.1 褐色 変形		
42-05	須磨器 片	S8II	6877	9.9 2.9 —	右ロクロ	天井部回転ヘラケズリ	SH6.1 褐色 天井部口縁部	天井部自然輪	

第25表 4区土器観察表(4)

第2分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径直徑	成形	手法の特徴	色調・既存部位	備考
4E-01	土器群 小型壺	(国)	7221	12.2 12.7 6.5	輪組込	外面：口縁部ナナ 内面：口縁部ナナ 底部ハケメ、ナデ 木葉底 底部ナナ	7.5時間/3 褐色 既存部分	
4E-02	土器群 小型壺	(国)	7345 7346 7347	10.2 10.2 4.9	輪組込	外面：口縁部ナナ～底部ナナ、指揮圧痕 墓林 内面：口縁部ナナ	7.5時間/3 褐色～土褐色 既存部分～一部	
4E-03	土器群 壺	(国)	7353 7375 7429	24.5 (8.3) —	輪組込	外面：口縁部ナナ 膨脹ハケメナナ 内面：口縁部ナナ 膨脹部ナナ	3時間/3 にぶい褐色 口縫部～一部上半	
4E-04	土器群 壺	(国)	7394 7395 7396	16.7 (11.4) —	輪組込	外面：口縁部ナナ 縦筋ナナ 内面：口縁部ナナ 縦筋ナナ	7.5時間/3 褐色 既存部分 口縫部～一部下半	
4E-05	土器群 小型壺	(国)	7396 7370	12.0 (4.1)	輪組込	外面：口縫部ナナ～ナナ 内面：口縫部ナナ	3時間/2 褐色 既存部分上半	
4E-06	土器群 壺	(国)	7394 7395 7374	24.3 (29.8) —	輪組込	外面：口縫部ナナ 膨脹ハケメナナ 内面：口縫部ナナ～ナナ 底部ハケメ	3時間/4 にぶい褐色 口縫部～一部下半	
4E-07	土器群 壺	(国)	7377	(7.4) 6.3	輪組込	外面：底部ハケメ 内面：口縫部ナナ 指揮圧痕 木葉底～ナナ消し 底部ハケメ	3時間/3 褐色 既存部分	
4E-08	土器群 壺	(国)	7327	—	輪組込	外面：底部ハケメ ミガキ 木葉底ナナ 内面：底部ハケメ	7.5時間/1 褐色 既存部分	
4E-09	土器群 小型壺	(国)	7321 7343 7390	— (4.1) 6.0	輪組込	外面：底部ナナ～底部ハケメ、ナデ 木葉底 内面：底部ナナ～底部ハケメ	7.5時間/3 褐色 既存部分	
4E-10	土器群 小型壺	(国)	6956 7252	22.0 (6.8) 6.6	輪組込	外面：底部ハケメ、指揮圧痕 木葉底 内面：底部ハケメ、ナデ	3時間/3 褐色 既存部分	
4E-11	土器群 小型壺	(国)	7004 7029 7112	— (7.1) 6.5	輪組込	外面：底部ハケメ 木葉底ナナ 内面：底部ハケメ 底部ハケメ、ナナ	3時間/3 にぶい褐色 既存部分	
4E-12	土器群 片	(国)	—	12.6 4.8 7.3	外面：口縫部～全体凹凸ナナミガキ 底部ハケメリ。糸切り痕 内面：放射状凹凸ナナ	3時間/3 にぶい褐色 口縫部～一部	赤色砂利～白青砂利	
4E-13	土器群 片	(国)	7270 7321 7322	— (6.2) —	輪組込	外面：底部ハケメ、ナデ 木葉底ナナ 木葉底 内面：底部ハケメ、ナデ 指揮圧痕	7.5時間/3 褐色 既存部分	
50-01	土器群 壺	(国)	6794 6796 6797	19.1 20.5 8.1	輪組込	外面：口縫部ナナ 底部ナナ 内面：口縫部ナナ 木葉底 底部ナナ	3時間/2 にぶい褐色 口縫部～一部	白色砂利含む
50-02	土器群 片	(国)	4618 6820	20.0 (6.4)	輪組込	外面：口縫部ナナ 底部ナナ 内面：口縫部ナナ～ナナ 底部ハケメ、指揮圧痕	3時間/3 褐色 既存部分	白色砂利含む
50-03	土器群 片	(国)	6664 6669 6682	19.2 (6.7) —	輪組込	外面：口縫部ナナ 底部ナナ 内面：口縫部ナナ～ナナ 底部ハケメ	3時間/3 にぶい褐色 既存部分	白色砂利含む
50-04	土器群 片	(国)	6667	20.2 (6.4) —	輪組込	外面：口縫部「タ」ハケメナナ 内面：口縫部ナナ～ナナ 底部ハケメ、指揮圧痕、指揮圧痕	3時間/3 褐色 既存部分	白色砂利～赤色砂利
50-05	土器群 片	(国)	—	17.3 (5.3)	輪組込	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ナナ	3時間/3 褐色 既存部分	白色砂利～赤色砂利 多量に含む
50-06	土器群 片	(国)	4571	19.7 (7.2) —	輪組込	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ナナ～ナナ 底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	白青砂利～白青砂利
50-07	土器群 片	(国)	4670 6684	(9.3) 9.4	輪組込	外面：底部ハケメ 内面：底部ハケメ 木葉底 底部ハケメ	3時間/2 にぶい褐色 既存部分	赤色砂利～少量含む
50-08	土器群 片	(国)	4552 4724	(4.7) —	輪組込	外面：底部ハケメ 内面：底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	白色砂利～黑色砂利 微量
50-09	土器群 片	(国)	4532 4533 4534	— (3.5) 12.0	輪組込	外面：底部ナナ 内面：底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	白色砂利～褐色 微量
50-10	土器群 片	(国)	4519	12.7 2.7 —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ナナ (ミキモカ)	3時間/2 褐色 既存部分	赤色砂利～白青砂利	
50-11	土器群 片	(国)	4708	12.0 (3.4) —	外面：口縫部～全体ナナ 内面：口縫部～ナナ 底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	白色砂利～赤色砂利 微量	
50-12	土器群 片	(国)	6840	10.5 3.5 —	外面：口縫部ナナ 内面：底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	赤色砂利含む	
50-13	土器群 片	(国)	6825 6823	12.0 3.4 —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ナナ	3時間/2 褐色 既存部分	白色砂利～褐色 微量	
50-14	土器群 片	(国)	4557	13.4 2.8 —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部～ミガキ 底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	赤色砂利含む	
50-15	土器群 片	(国)	4559 4510 6344	12.0 3.8 —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ミガキ 底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	赤色砂利含む	
50-16	土器群 片	(国)	4514 5818	12.0 (3.4) —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ミガキ	3時間/2 褐色 既存部分	赤色砂利含む	
50-17	土器群 片	(国)	5817 5818 4537	12.0 4.7 —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ナナ	3時間/2 褐色 既存部分	白色砂利含む	
50-18	土器群 片	(国)	6839	12.5 2.3 —	外面：口縫部ナナ 内面：口縫部ミガキ 底部ハケメ	3時間/2 褐色 既存部分	内面裏ともに墨跡 既存部分	
50-19	土器群 片	(国)	6862	11.6 4.9 —	外面：口縫部ナナ 内面：ナナ	3時間/2 褐色 既存部分	既存部分に上に「」 既存部分	
50-20	漆器群 片	(国)	4664	9.8 (3.5) —	右ロクロ	天井部転写ハケメリ。一本の裏印有り	10時間/1 褐色 天井部	
50-21	漆器群 片	(国)	4578	9.0 3.1 —	右ロクロ	底部転写ハケメリ。十字の裏印有り 内面裏込み部にナナつけ	2.5時間/1 褐色 既存部分	

第26表 4区土器観察表(5)

調査分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径 横幅 高さ	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考
50-22	須賀器 土器	5B17 5B18	4020	6.0 (3.0)	右ロクロ	遮断凹輪へラケズリ	2.5H5-1 青灰色 口縁部～全体	内面見込み部跡、 自然釉
51-01	土師器 小口器	5B18	4091	15.0 (17.3)	輪組み	片面 口縁部ナデ 輪組ナデ 内部	10H9A-2 青灰色 口縁部～全体	
51-02	土師器 壺	5B18	4674 4696 5215	20.4 (14.3) —	輪組み	片面 口縁部ナデ 輪組ナデ 内部	5H4-2 青灰色 口縁部～全体	白色砂粒、黄色砂粒 含む
51-03	土師器 壺	5B18	5031 5212	11.6 8.0	輪組み	片面 輪組ナデ 内部	5H4-2 青灰色 口縁部～全体	白色砂粒含む
51-04	土師器 壺	5B18	4589 4590 4595	— (5.8) 6.2	輪組み	片面 輪組ナデ 内部	7.5H4-2 青灰色 口縁部～全体	赤色砂粒少含む
51-05	土師器 片	5B18 5B19	—	12.5 3.2 —	外側 —	片面 口縁部ナデ 内部	7.5H4-4 にぶい青灰色 口縁部～全体	赤色砂粒含む
51-06	須賀器 輪台鏡	5B18	—	9.8 5.0	左ロクロ	遮断凹輪へラケズリ	10H9C-1 青灰色 口縁部～全体	外面口部自然釉
51-07	須賀器 輪台鏡	5B18	—	9.8 (4.2)	右ロクロ	遮断凹輪へラケズリ	10H9E-2 青灰色 口縁部～全体	内面自然釉
52-01	土師器 壺	5B20	6590	44.2 (5.7)	輪組み	片面 口縁部ナデ 内部	5H4-2 青灰色 口縁部～全体	白色砂粒含む
57-01	須賀器 輪台鏡	SPGP11	—	(10.6) 2.6 (5.9)	右ロクロ	ケズリ出し巻台	7.5H4-2 青灰色 口縁部～全体	
62-01	土師器 壺	5D2	2382	34.0 (3.3) —	外側 —	片面 口縁部ナデ 内部	7.5H4-2 青灰色 口縁部～全体	白色砂粒含む
62-02	土師器 壺	5D2	2329 2390 2390～ 2390	— (3.8) 8.6	外側 —	片面 輪組ナデ 内部	7.5H4-2 青灰色 口縁部～全体	白色砂粒含む
62-03	土師器 片	5D2	2392 2393 2395	13.2 3.8 —	外側 —	片面 輪組ナデ 内部	5H9-3 にぶい青灰色 口縁部～全体	
62-04	土師器 片	5D2	2394 2395 2397	12.6 (3.6) —	外側 —	片面 輪組ナデ 内部	5H9-1 青灰色 口縁部～全体	
62-05	須賀器 蓋か	5D2	2699 2801	(2.6) 7.6	右ロクロ	粘付巻台	10H9E-2 青灰色 口縁部～全体	高台の一部はがれて いる
62-06	須賀器 輪台鏡	5D2	—	13.9 4.3 5.5	右ロクロ	ゆがみが激しい 内面に保材層(火だしき移の様の文様有り)	10H9E-2 青灰色 口縁部～全体	剥離
62-07	須賀器 有台身	5D3	—	(4.6) 12.7	右ロクロ	遮断凹輪へラケズリ	10H9E-2 青灰色 口縁部～全体	剥離
62-08	須賀器 輪台鏡	5D3	—	13.6 4.0 6.1	右ロクロ	遮断ナデ 保材方向の火薙移の文様	10H9E-2 青灰色 口縁部～全体	やや剥離
62-09	須賀器 高底盤 もじくは 底盤	5D9	4637 7838	7.4 (9.3)	右ロクロ	内面に保材有り	7.5H4-2 青灰色 口縁部～全体	内面及び内面口部 自然釉
64-01	土師器 壺	P1425	7016 7017	21.1 7.8	輪組み	片面 口縁部ハケメ～ハケメ 内部	5H4-5 にぶい青灰色 口縁部～全体	白色砂粒含む
66-01	土師器 壺	131/058	4345	37.5 (7.6)	輪組み	片面 口縁部ナデ 遮断ナデ～ナデ 内部	5H4-4 にぶい青灰色 口縁部～全体	白色砂粒多量に含む
66-02	土師器 壺	131-1	—	45.8 (16.6)	輪組み	片面 口縁部ナデ 遮断ナデ 内部	5H4-2 にぶい青灰色 口縁部～全体	白色砂粒多量に含む
66-03	土師器 壺	131-1	—	4.6 (15.3)	輪組み	片面 口縁部ナデ 遮断ナデ 内部	5H4-2 にぶい青灰色 口縁部～全体	白色砂粒多量に含む
66-04	土師器 片	131/058	1120	11.6 4.8 (7.4)	外側 —	片面 口縁部ナデ 遮断ナデ～ナデ 内部	2.5H5-6 青灰色 口縁部～全体	
66-05	土師器 蓋片	134/0211	1268	(9.6) (2.6)	—	轟割利のため不規則	7.5H4-4 にぶい青灰色 遮断	白色砂粒多量に含 む、火候時代後期
66-06	須賀器 蓋片	蓋土一箱	—	11.6 3.8 (10.2)	右ロクロ	天井削凹輪へラケズリ	5H7-1 青灰色 天井部～全体	ゆがみが激しい
66-07	須賀器 輪台鏡	132/029	1183	12.6 3.4 (11.0)	右ロクロ	遮断凹輪へラケズリ	10H9E-2 青灰色 口縁部～全体	剥離
66-08	須賀器 蓋片	—	1301	(11.1) —	左ロクロ	粘付巻台	10H9C-2 にぶい青灰色 遮断	内面自然釉
66-09	須賀器 輪台鏡	Q18/134	1277	(11.0) 2.4 3.1	左ロクロ	粘付巻台	5H7-1 青灰色 遮断	

第27表 7区土器観察表(1)

第2分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径 器高 底径	成形	手法の特徴	色調・底部位	備考
7-01	土師器 壺	SB01	509	(3.0) 7.0	内面 ナヂ、陶質底 内面 ナヂ、陶質底 深多量に付着		7.5W/4.7 底褐色 底部	白蓋多量に付着
7-02	土師器 壺	SB01	527	14.0 4.0 12.0	右口クロ 底部回転ヘラケズリ		7.5W/4 にじいろ 底褐色 底部	白色砂和少量含む
7-03	土師器 壺	SB01	527	15.9 5.3 —	内面 口縁部ナヂ 体壁カズリ、ナヂ、陶質底 内面 口縁部+体壁ミガキ		7.5W/3 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	
7-04	済器 焼み塗	SB01	526	14.0 (3.7)	右口クロ 天井側回転ヘラケズリ		7.5W/4 底褐色 天井部～口縁部	外表面糊自然糊
7-05	済器 焼み塗	SB01	605	16.2	右口クロ 天井側回転ヘラケズリ		9.5W/1 灰褐色 底部	
7-06	済器 焼み塗	SB01	1007 482	15.7 2.5 —	右口ロロ 天井側回転ヘラケズリ		2.5W/2 灰褐色 天井部～口縁部	外表面糊自然糊
7-07	済器 焼み塗	SB01	3141	15.0 5.0 —	右口クロ 天井側回転ヘラケズリ		2.5W/2 灰褐色 天井部～口縁部	外表面糊自然糊
7-08	済器 焼み塗身	SB01	3142	13.5 3.3 10.0	右口クロ 底部回転ヘラケズリ		7.5W/1 灰褐色 口縁部+底部	
7-09	済器 焼み塗身	SB01	3-4-5 21	12.5 2.9 8.8	右口クロ 底部回転ヘラケズリ		9.5W/2 灰褐色 口縁部+底部	
7-10	済器 有台身舟	SB01	574	14.6 3.2 12.0	右口クロ 底部回転ヘラケズリ 脊付高台 内面に「フツ」(気泡)		9.5W/2 灰褐色 口縁部+底部	
7-11	済器 有台身舟	SB01	3143	13.5 4.0 11.0	右口クロ 底部回転ヘラケズリ 脊付高台 内面に「フツ」(気泡)		2.5W/1 灰褐色 口縁部+底部	△1mmの小石含む
7-12	済器 有台身舟	SB01	606	(2.2) 13.8	右口クロ 底部回転ヘラケズリ ケズリ時に同心円状の痕跡が残る 貼付高台		9.5W/1 灰褐色 口縁部+底部	
7-13	済器 有台身舟	SB01	506	14.1 3.0 (10.2)	右口クロ 底部回転ヘラケズリ 貼付高台		10.5W/2 灰褐色 口縁部+底部	
7-14	済器 有台身舟	SB01	594	14.0 3.7 —	右口クロ 底部回転ヘラケズリ、静止粘付 貼付高台		9.5W/1 灰褐色 口縁部+底部	外表面糊自然糊
7-01	土師器 壺	SP179	2401 1563 5664	20.0 19.0 19.0	梅筋付 内面 口縁部ハケメーナヂ 莖部ハケメーナギキ 陶部ハケメ。ミガキ 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナヂ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		7.5W/4 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白色砂和少量含む
7-02	土師器 壺	SP02	851 5414	20.0 —	梅筋付 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナヂ 陶部ハケメ、ミガキ 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナヂ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		7.5W/2 灰褐色 口縁部+底部	
7-03	土師器 壺	SP02	2334 3629 2750	19.3 (12.9) —	梅筋付 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメ、ミガキ 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナヂ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		2.5W/3 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	
7-04	土師器 壺	SP02	443 3696 5570	20.0 19.0 —	梅筋付 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメ、ミガキ 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナヂ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		2.5W/4 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	
7-05	土師器 壺	SP02	850 22.9	22.9 (6.0)	梅筋付 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		7.5W/3 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白色砂和多量に含む
7-06	土師器 壺	SP02	2229 5530 5566	(17.4) — —	梅筋付 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		7.5W/2 にじいろ 底褐色 陶部+底部	白色砂和・黒っぽい 糊少量含む
7-07	土師器 壺	SP02	3208 5819	(18.0) —	梅筋付 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		7.5W/2 灰褐色 底部	
7-08	土師器 壺	SP02	3600 5469 551	(19.0) 8.0	梅筋付 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		7.5W/3 底色 底部	白色砂和・黒っぽい 糊含む
7-09	土師器 壺	SP02	2179 2740	(8.6) 7.4	梅筋付 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム		6.5W/2 底色 底部	白色砂和少量含む
7-10	土師器 壺	SP02	3201 3466 3807	(24.0) — —	梅筋付 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底 上段後便用段付、待田庄底、タチミガキ		7.5W/3 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白色砂和多量に含む
7-11	済器 焼み塗身舟	SP02	2504 8918	11.0 3.3 8.0	右口クロ 底部回転ヘラケズリ		7.5W/1 灰褐色 底部	内面糊自然糊
7-01	土師器 片	SP02	—	(3.6) —	内面 口縁部ナヂ 体部ナヂ、指揮底 内面 口縁部ナヂ 体部ナヂ		2.5W/6 底色 底部	糊製動土で↓1mmの 基色を含む
7-02	土師器 片	SP03	25	(1.4) (4.7)	内面 口縁部ナヂ 体部 (ケズリかー) ナヂ、陶質底 内面 口縁部+体部ミガキ		7.5W/4 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白色砂和含む
7-03	土師器 片	SP03	—	(10.3) (2.8) —	内面 口縁部+体部ナヂ 底部ヘラケリーナヂ 内面 斜削底+ミガキ		2.5W/4 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白色砂和少量含む
7-01	土師器 壺	SP04	716 717 718	16.1 31.6 8.9	梅筋付 内面 口縁部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 口縁部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		5.5W/2 灰褐色 底部	白色砂和含む
7-02	土師器 壺	SP04	151 155 5827	19.8 30.9 7.9	梅筋付 内面 口縁部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底 内面 口縁部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		5.5W/2 灰褐色 底部	白色砂和含む
7-03	土師器 壺	SP04	3363	(7.3) —	梅筋付 内面 口縁部ナヂ 陶部ナヂ 陶部ハケメーイケム 内面 口縁部ハケメーナギキ 陶部ハケメーイケム、待田庄底		10.5W/2 底色 底部	白色砂和・黒っぽい 糊含む
7-04	土師器 壺	SP04	160 176	(7.0) (8.6)	梅筋付 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部 内面 陶部ハケメーナギキ 陶部		5.5W/4 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白色砂和多量に含む
7-05	土師器 小型	SP04	227 712 712	13.8 (15.4) —	梅筋付 内面 口縁部ナヂ 陶部ハケメーナギキ 陶部ハケメ 内面 口縁部ナヂ 陶部上半部ハケメーイケム、下半ナヂ		7.5W/3 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	
7-06	土師器 片	SP04	5858	12.9 4.2 —	外面 口縁部ナヂ 体部+ラズリ 内面 ミコミガキ+陶部+ナヂ+ミガキ+瓦		7.5W/4 にじいろ 底褐色 口縁部+底部	白蓋多量含む

第28表 7区土器観察表(2)

第2分類 遺物番号	種類	出土点	遺物名	口沿 縁及 底	成形	手作の特徴	色調・模様部位	備考
81-07	土師器 片	8804	—	(3. 6) —	—	背面 口縁部～体部上半ミガキ。下半ヘラケズリ 内面 口縁部～体部ミガキ	7.5H6/4 にじみ4種色 口縁部～体部	
81-08	土師器 片	8804	—	(3. 6) —	—	片面 体部上半ミガキ。下半ヘラケズリ 下半面鋸歯 内面 体部ミガキ	5H5.4 にじみ4種色 口縁部～体部	黒色砂粒含む
81-09	土師器 片	8804	3425 3426	12. 0 (3. 6) —	—	背面 口縁部～体部上半ミガキ。下半ヘラケズリ 黑色糊埋 内面 口縁部～体部ミガキ 黑色糊埋	5H2.1 オーリーブ系色 口縁部～体部	
81-10	土師器 片	8804 8227	5860	1. 1 (3. 6) —	—	背面 口縁部～体部上半ミガキ。下半ヘラケズリ 黑色糊埋 内面 口縁部～体部ミガキ 黑色糊埋	7.5H6/2 にじみ4種色 口縁部～体部	
81-11	土師器 片	8804	—	11. 4 4. 7 —	—	片面 口縁部ナデ施錠痕 体部ナデ、指錠痕 錠木茎痕 内面 口縁部～体部ナデ	5H5.4 にじみ4種色 口縁部～体部	黒製塗地で少々白色砂粒を含む
81-12	土師器 片	8804	191-192 193-195 196-197 198-200 319	14. 0 8. 2 — —	—	片面 口縁部～体部ナデ 指錠痕 錠木茎痕 内面 口縁部～体部ナデ	5H5.6 黒系色 糊埋	黒製塗地で少々白色砂粒を含む
81-13	漆器蓋 片	8804	228	(10. 2) (4. 0) —	右ロクロ	天井面凹輪へラケズリ 口縫部に一条浅縫	2.5H5/1 黄褐色 天井部～口縫部	
81-14	漆器蓋 片	8804	326	(8. 5) —	—	下部に圓印へラケズリ	5H5.4 黄色 口縫部～体部	
84-01	土師器 小豆型	5380	14. 0 (5. 5) —	梅筋孔	片面 口縁部ナデ 施錠ナデ 細部ハケメ 口縫部から頭部糊埋 内面 口縁部ナデ 施錠ナデ 細部ハケメ、施錠痕	7.5H6/3 にじみ4種色 口縫部～体部	白色砂粒多量に含む	
84-02	土師器 片	5385	259 262 342	19. 6 (5. 6) —	梅筋孔	片面 口縁部ナデ 施錠ハケメ～ミガキ 施錠ナメ 内面 口縁部ナデ 施錠ハケメ～ミガキ	5H4.3 にじみ4種色 口縫部～糊埋	白色砂粒多量に含む
84-03	土師器 片	8805	247 255 339	17. 0 31. 4 9. 0	梅筋孔	片面 口縁部ナデ 施錠ナメ 头部上半ハケメ、中段ナメ、下半ハケメ 内面 口縁部ナメ～ミガキ 施錠ハケメ	5H4.2 黑色 糊埋	白色砂粒含む
84-04	土師器 片	8805	241 343 245	14. 0 (14. 4) 8. 5	梅筋孔	片面 施錠ハケメ、ミガキ 連鎖ナメ 内面 施錠ハケメ 施錠ナメ、施錠痕	5H4.2 黑色 糊埋	白色砂粒含む
84-05	土師器 片	8805 8223	338	12. 0 (4. 0) —	—	片面 口縫部ミガキ 体部上半ミガキ、下半ヘラケズリ (～ミガキ) 内面 口縫部ミガキ	7.5H6/2 灰褐色 口縫部～体部	赤色砂と少量含む
84-06	土師器 片	8805	243	12. 0 — —	—	片面 口縫部～体部上半ミガキ。下半ヘラケズリ 黑色糊埋 内面 口縫部～体部ミガキ 黑色糊埋	5H4.2 黑色 糊埋	
88-01	土師器 片	8806	120	17. 0 (7. 6) —	梅筋孔	片面 口縫部ナデ 施錠ハケメ～ミガキ 施錠ナメ 内面 口縫部ミガキ～ハケメ 施錠痕	2.5H5/2 にじみ4種色 口縫部～糊埋	
88-02	土師器 片	8806	3833 4682 5777	(22. 3) — —	梅筋孔	片面 施錠ハケメ、ナメ (ミガキ) 内面 施錠ハケメ～ナメ	5H4.3 にじみ4種色 糊埋	白色砂粒含む
88-03	土師器 片	8806	118 (20. 8) 8. 0 4803	— — —	梅筋孔	片面 上段ハケメ 中段後各部に入念なナメ 下段ハケメ 内面 上段ハケメ～ナメ、ナメ 施錠痕	7.5H6/2 黑色 糊埋	白色砂粒含む
88-04	土師器 片	8806	—	13. 4 (4. 5) —	—	片面 口縫部ナデ 体部ヘラケズリ～ミガキ ハケメ 黑色糊埋 内面 口縫部～体部ミガキ 黑色糊埋	7.5H6/3 黑色 糊埋	
88-05	土師器 片	8806	—	12. 4 (4. 4) —	—	片面 口縫部ナデ 体部ヘラケズリ～ミガキ ハケメ 黑色糊埋 内面 口縫部～体部ミガキ 黑色糊埋	5H4.4 にじみ4種色 糊埋	φ 1m大の小石含む
88-06	土師器 片	8806	119	12. 9 4. 1 —	—	片面 口縫部ナデ 体部上半糊埋頭錠痕 (手)ヘラケズリ。ミガキ 内面 口縫部～体部ミガキ、ナメ 施錠痕	5H4.4 にじみ4種色 糊埋	φ 1m大の小石含む
88-07	土師器 片	8806 8222	—	10. 4 (4. 0) —	—	片面 口縫部ナデ 体部ナメ、施錠痕 内面 口縫部～体部ナメ	7.5H6/4 にじみ4種色 糊埋	黒製塗地で少々～3mm大の黑色粒を含む
88-08	土師器 片	8806	4716 5538	11. 0 4. 5 —	—	片面 口縫部ナデ 体部ナメ、施錠痕 錠木茎痕 内面 口縫部～体部	5H4.4 にじみ4種色 糊埋	黒製塗地で少々～3mm大の黑色粒を含む
88-09	土師器 片	8806	—	(2. 8) 3. 0 —	—	片面 口縫部ミガキ 体部～一部ナメ、施錠痕、ナメ 内面 口縫部ナデ 体部放射状縫文ミガキ	7.5H6/2 にじみ4種色 糊埋	
88-10	漆器蓋 片	8806	—	(2. 4) —	左ロクロ	天井面凹輪へラケズリ	2.5H5/1 黄褐色 天井部	天井部自然難
88-11	漆器蓋 片	8806	—	1. 8 4. 4 —	右ロクロ	天井面凹輪へラケズリ	2.5H5/1 灰褐色 天井部～糊埋	
88-12	漆器蓋 片	8806 8201	—	9. 0 3. 7 —	左ロクロ	底部凹輪へラケズリ (ケズリ張弱い)	2.5H5/1 黄褐色 底部	やや破損
88-13	漆器蓋 片	8806	—	9. 4 (2. 6) —	左ロクロ	底部凹輪へラケズリ	5H4.3 黑色 糊埋	
88-14	漆器蓋 片	8806	—	(9. 0) (4. 6) —	右ロクロ	施錠ナメ	10H4.1 黑色 糊埋	やや破損
88-15	漆器蓋 片	8806	—	16. 6 (4. 6) —	右ロクロ	施錠ナメ	2.5H5/1 黄褐色 糊埋	内面見込み部を剥き自然難
90-01	土師器 片	8807	102 104 105	(8. 1) — 9. 5	梅筋孔	片面 施錠ナメハケメ 施錠ナメ ハケメ 内面 施錠ナメ～施錠痕ハケメ、ナメ	2.5H5/4 にじみ4種色 糊埋	白色砂粒含む
90-02	土師器 片	8807	90	(12. 0) 4. 0 —	—	片面 口縫部ナデ 体部ナメ、施錠痕 錠木茎痕 内面 口縫部ナデ	7.5H6/4 にじみ4種色 糊埋	φ 2～3mm大の黑色粒を含む 糊を多く含む
93-01	土師器 片	8808	468 3001 2325	18. 6 (7. 4) —	梅筋孔	片面 口縫部ナデ 施錠ナメ～ナメ 施錠ナメ 内面 口縫部ナメ～ハケメ 施錠ナメ	7.5H6/4 にじみ4種色 糊埋	白色砂粒多量に含む
93-02	土師器 片	8808	630 634 984	23. 1 (12. 4) —	梅筋孔	片面 口縫部ナデ 施錠ナメ～ナメ 施錠ナメ 内面 口縫部ナデ	7.5H6/4 にじみ4種色 糊埋	白色砂粒多く含む

第29表 7区土器観察表(3)

第2分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径直徑	成形	手法の特徴	色調・陶片部位	備考
SI-03	土器器 皿	SI00	—	14.0 (4.1) —	輪捏込	外面：口縁部ハケーナデ 底部ハケーナデ 内面：口縁部ハケーナデ、底部ハケーナデ	7.5W4/2 白色砂・基底色 含む	白色砂利・基底色 含む
SI-04	土器器 皿	SI00	992 2088 5688	20.8 (16.0) —	輪捏込	外面：口縁部ハケーナデ 底部ハケーナデ 内面：口縁部ハケーナデ、底部ハケーナデ	SIW4/4 白色砂 含む	白色砂利多く含む
SI-05	土器器 皿もしくは 碗	SI00	968 2004 3245	31.1 (14.5) —	輪捏込	外面：口縁部ハケーナデ 底部ハケーナデ 内面：口縁部ハケーナデ、底部ハケーナデ 中段後ハケーナデ 下段ハケーナデ、指謹正直	7.5W4/4 に少い褐色 口縁部・底部	白色砂利多く含む
SI-06	土器器 皿	SI00	3022 2024	(5.0) 9.5	輪捏込	外面：底部下ハケーナデハケーナデ 突起 木茎痕 内面：底部下ハケーナデ 指謹正直	SIW4/4 白色砂利	白色砂利含む
SI-07	土器器 皿小型	SI00	4826 4827	— (4.4) —	輪捏込	外面：底部ハケーナデ 本茎痕 内面：底部ハケーナデ	SIW4/4 に少い褐色 底部	白色砂利多く含む
SI-08	土器器 皿片	SI00	3337 3665 5225	(5.4) 9.7	輪捏込	外面：底部ハケーナデ、ミガキ 底部ハケーナデ 内面：底部ハケーナデ、ミガキ 底部ハケーナデ	7.5W4/3 白色 底部	
SI-09	土器器 皿片	SI00	965 2069	10.4 4.7	外	外面：口縁部ミガキ 底部ハケーナデミガキ 内面：口縁部ミガキ 底部ハケーナデミガキ	SIW4/4 白色砂利 含む	白色砂利・基底色 含む
SI-10	土器器 皿片	SI00	462	10.4 3.7	外	外面：口縁部ミガキ 底部下ハラケズリ 内面：口縁部ミガキ	7.5W4/4 に少い褐色 口縁部	
SI-11	土器器 皿片	SI00	475	10.4 4.1 —	外	外面：口縁部ミガキ 底部上半ミガキ 内面：口縁部ミガキ、ミガキ	SIW4/4 に少い褐色 口縁部・底部	白色砂利・基底色 含む
SI-12	土器器 皿片	SI00	966 317 3556	14.0 4.1 —	外	外面：口縁部ミガキ 底部ハケーナデミガキ 内面：口縁部ミガキ、黑色粘滑	SIW4/4 白色砂利	
SI-13	土器器 皿片	SI00	—	11.0 (5.4) —	外	外面：口縁部ミガキ、ミガキ 底部ハケーナデ 内面：口縁部ミガキ	SIW4/4 に少い褐色 口縁部・底部	黑色砂利・赤色砂利 含む
SI-14	土器器 皿片	SI00	5216	10.8 4.5 —	外	外面：口縁部ミガキ 体部ミガキ、指謹正直 内面：口縁部ミガキ 体部ミガキ	SIW4/4 白色砂利 含む	白色砂利・基底色 含む
SI-15	土器器 皿片	SI00	4026	11.6 4.8	外	外面：口縁部ミガキ 体部ミガキ、指謹正直 内面：口縁部ミガキ	SIW4/4 白色砂利 含む	白色砂利・基底色 含む
SI-16	土器器 皿片	SI00	3200 3399	(3.6) —	外	外面：口縁部ミガキ 体部ミガキ、指謹正直 内面：口縁部ミガキ	SIW4/4 白色砂利 含む	白色砂利・基底色 含む
SI-01	渦巻器 皿片	SI00	—	9.4 4.0	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	SIW4/4 白色砂利 天井部・口縁部	白色砂利
SI-01	土器器 皿	SI00	274 275 296	23.0 (7.3) —	輪捏込	外面：口縁部ハケーナデ 底部ハケーナデ 内面：口縁部ハケーナデ、底部ハケーナデ	2.5W4/2 に少い褐色 口縁部	白色砂利含む
SI-02	土器器 皿	SI00	3777 379 406	19.8 (10.0) —	輪捏込	外面：口縁部ナデ 底部ハケーナデハケーナデ 内面：口縁部ナデ 底部ハケーナデハケーナデ	SIW4/2 白色 口縁部	白色砂利含む
SI-02	土器器 皿	SI00	3767 3768	(1.1) —	輪捏込	外面：口縁部ナデ 底部ハケーナデ 内面：口縁部ナデ 底部ハケーナデ	SIW4/2 白色 口縁部	白色砂利多量に含む
SI-04	土器器 皿	SI00	299 400 401	19.2 (9.3) —	輪捏込	外面：口縁部ナデハケーナデ 基底ハケーナデ 内面：口縁部ナデハケーナデ	SIW4/2 に少い褐色 口縁部	白色砂利多く含む
SI-05	土器器 皿片	SI00	756	11.0 3.7	外	外面：口縁部ミガキ 体部ハラケズリナデ 内面：口縁部ミガキ	SIW4/2 白色砂利 口縁部	白色砂利・赤色砂利 含む
SI-06	土器器 皿片	SI00	403	12.3 4.0	外	外面：口縁部ミガキ 体部ハラケズリミガキ 内面：口縁部ミガキ、口縁部ナデ	SIW4/2 白色砂利 口縁部	白色砂利多量に含む
SI-07	土器器 皿片	SI00	373 756	12.9 4.2 —	外	外面：口縁部ミガキ 体部下ハラケズリ 内面：口縁部ミガキ、黑色粘滑	SIW4/2 白色砂利 口縁部	白色砂利多量に含む
SI-09	土器器 皿片	SI00	423	21.8 4.4 —	外	外面：口縁部ミガキ 体部ハラケズリミガキ 内面：口縁部ミガキ	SIW4/2 に少い褐色 口縁部	白色砂利
SI-09	土器器 皿片	SI00	3369 3370	12.0 5.0 —	外	外面：口縁部ミガキ 体部ハラケズリミガキ、指謹正直 内面：口縁部ミガキ	SIW4/2 白色砂利 口縁部	白色砂利含む
SI-10	渦巻器 皿片	SI00	371 408	8.6 (2.7) —	左回り 不規	天井部回転ハラケズリ	SIW4/2 黄褐色 天井部・口縁部	
SI-11	渦巻器 皿片	SI00	—	10.2 (2.2)	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	SIW4/2 黄褐色 天井部・口縁部	やや擦滅
SI-12	渦巻器 皿片	SI00	755	9.2 2.3	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	SIW4/2 黄褐色 天井部	
SI-13	渦巻器 皿片	SI00	402	(T.5) —	右ロクロ	内外面ともに三回ナデ	SIW4/1 黄褐色 内部(底部)・回転	叶部および細部特に 底部
SI-01	土器器 皿	SI00	691 692 711	15.8 (9.2) —	輪捏込	外面：口縁部ハケーナデ 基底ハケーナデ 内面：口縁部ハケーナデ、複数のうなぎナデ 底部ハケーナデ、指謹正直	SIW4/4 に少い褐色 口縁部	白色砂利多量に含む
SI-02	土器器 皿	SI00	658 663 664	16.4 20.0 7.9	輪捏込	外面：口縁部ハケーナデ 基底ハケーナデ 内面：口縁部ハケーナデ、底部上半ハケーナデ 指謹正直ナデ、指謹正直	SIW4/4 に少い褐色 口縁部	白色砂利含む
SI-03	土器器 皿片	SI00	698 3254 3255	(15.2) 9.5	輪捏込	外面：底部下ハケーナデ、ミガキ 木茎痕 内面：底部下ハケーナデミガキ	SIW4/2 白色 底部	白色砂利多量に含む
SI-04	土器器 皿片	SI00	3427	12.5 3.7 —	外	外面：口縁部ミガキ 体部下ハラケズリミガキ 黑色粘滑 内面：口縁部ミガキ	SIW4/2 黑色 底部	内外面ともに黑色 含む
SI-05	土器器 皿片	SI00	5441	12.0 (4.5) —	外	外面：口縁部ミガキ 体部ハラケズリ 黑色粘滑 内面：口縁部ミガキ	SIW4/3 白色 口縁部	
SI-06	土器器 皿片	SI00	709	12.0 4.5 —	外	外面：口縁部ナデ 体部ナデ、指謹正直 底部木茎痕 内面：口縁部ナデ	SIW4/2 白色 底部	粗製土で約2~3 mmの黒色粒を含む

第30表 7区土器観察表(4)

調査分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径 縦横 直角	成形	手法の特徴	色調・模様部位	備考		
102-07	土器器 底付	SB11 SB12	—	14.0 —	内面 内面	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	背景助石でより3 mm大的黒色斑を含む		
102-08	土器器 底付	SB11	5296 5448 5452	14.0 11.4 11.0	内面 内面 内面	内面 内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	背景助石でより2 mm大的黒色斑を含む		
102-09	土器器 底付	SB11	5277 5429 5690	11.4 11.4 6.3	内面 内面 内面	内面 内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	背景助石でより2 mm大的黒色斑を含む		
102-10	土器器 底付	SB11	5426 5429 5690	11.4 11.4 6.3	内面 内面 内面	内面 内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	背景助石でより2 mm大的黒色斑を含む		
102-11	土器器 底付	SB11 SB03	5696 5694 5603	17.2 (24.5) (3.0)	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	背景助石でより2 mm大的黒色斑を含む		
102-12	土器器 底付	SB11	655	9.5 3.7 4.5	左ロクロ	底部凹回へラケズリ	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	底部にハケメ工具 による痕跡		
104-01	土器器 底付	SB12	3433	17.6 (17.6)	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒少量含む	
104-02	土器器 底付	SB12 SB18	—	(12.7) 7.8	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒少量含む	
104-03	須惠器 台付	SB12	—	(15.0) 6.4 11.4	—	右ロクロ	底部凹回へラケズリ 外面と内面口縁部に横付帯	HRS-5.2 に近い赤褐色 口縁部～腹部		
109-01	土器器 底付	SB15 SB25 4941	2795 2799 —	17.6 (7.7) —	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む		
109-02	土器器 底付	SB15 148/033	—	20.0 (13.8)	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
109-03	土器器 底付	SB15	—	21.6 (14.2)	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
109-04	土器器 底付	SB15	750 751 768	— (15.7) 6.0	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
109-05	土器器 底付	SB15	3809 5290	12.8 3.9	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
109-06	土器器 底付	SB15	—	12.2 3.7	—	片内 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む		
109-07	土器器 底付	SB15	5288	13.0 3.8	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
109-08	土器器 底付	SB15	—	12.4 4.6	—	片内 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	黑色砂粒含む		
111-09	土器器 底付	SB15	—	12.6 (3.5)	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒少量含む	
111-10	土器器 底付	SB15	5291	11.6 5.5	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
111-11	土器器 底付	SB15	3807 3808	12.8 8.1	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
111-12	土器器 底付	SB15	746	13.0 6.5	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
111-13	須惠器 底付	SB15 150/033	—	6.0 2.3	—	右ロクロ	天井断面凹回へラケズリ	SHRS-4 に近い赤褐色 天井部～口縁部	外面全面に自然顔	
115-01	土器器 底付	SB16	2546 3558 3845	15.5 27.4 —	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む		
115-02	土器器 底付	SB16	3542	20.5 (7.0)	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒少量・黑色 砂粒少量含む	
115-03	土器器 底付	SB16	3526	16.0 —	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む		
115-04	土器器 底付	SB16	3546 3549	19.5 (23.0)	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
115-05	土器器 底付	SB16	5214 5545	12.7 (22.1) 9.0	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒含む	
115-06	土器器 底付	SB16	3582 3586	14.6 8.0	—	輪筋込	内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒・黑色砂粒 含む	
115-07	土器器 底付	SB16	3559	—	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒多量に含む	
115-08	土器器 底付	SB16	3650 3652	(10.1) 11.0	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒多量に含む	
115-09	土器器 底付	SB16	3653 3657	4.6 —	—	輪筋込	内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒少量含む	
115-10	須惠器 底付	SB16	3659 3663 3666	27.8 (14.1) —	—	輪筋込	内面 内面 内面	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	白色砂粒多量に含む	
115-11	須惠器 底付	SB16	3625 3629	(6.0) 3.2	—	右ロクロ	天井部凹回へラケズリ	SHRS-4 に近い赤褐色 口縁部～腹部	天井部～口縁部	

第31表 7区土器観察表(5)

第2分類番号	種類	出土地点	遺物名	口径 深さ	成形	手作の特徴	色調・保存部位	備考
115-12	渦巻器 片身	SB16 SB16	4606	9.0 3.2 —	右口クロ 旋輪ヘラケズリ		7.5W/1 灰色 ほぼ完形	
115-13	渦巻器 片身	SB16	—	9.0 (2.8)	右口クロ	旋輪回転ヘラケズリ	7.5W/1 灰色 ほぼ完形	
119-01	土師器 片	SB17 4603 4602 4604	4603 4602 4604	10.3 21.6 8.4	輪様み	内面：口縁部ナメ 底部ナメ 腰部ナメ 内面：口縁部ナメ 底部ナメ 腰部ナメ	7.5W/3 に少し褐色 口縁部・底部	白色砂含む
119-02	土師器 片	SB17	—	9.0 (1.4)	左口クロ	内面：口縁部+ガキ 底部ヘラケズリ 下部垂れ 内面：口縁部+ガキ 底部ミカメ	7.5W/7 灰色 口縁部・全体	
119-03	土師器 片	SB17	4600	9.6	左口クロ	内面：口縁部+ガキ 底部ヘラケズリ+ミカメ 内面：口縁部ナメ 底部ミカメ 腰部ナメ	7.5W/4 に少し褐色 底部	白色砂含む；基盤部 含む
119-04	渦巻器 片身	SB17	4602	10.7 3.8 —	右口クロ	天井回転ヘラケズリ 底部に一条の浅縫	7.5W/1 灰色 ほぼ完形	白色砂含む
119-05	渦巻器 片身	SB17	4603	10.6 4.3 —	左口クロ	底部回転ヘラケズリ 外面部のケズリ傷、当たり音所が洗練となる	7.5W/2 灰色 ほぼ完形	
119-06	渦巻器 片身	SB17	4602	10.0 4.4 —	左口クロ	底部回転ヘラケズリ	7.5W/1 真黄色 底部	
119-07	渦巻器 片身	SB17 (SB16) 4617	(11.0) (2.9) —	右口クロ	底部回転ヘラケズリ	7.5W/1 真黄色 口縁部・底部		
121-01	土師器 ミニニアーチ 片	SB18	3873	7.0 2.8 4.7	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部+底部ナメ	底部陶質強化、底部木葉痕薄く残る 摩耗	7.5W/3 灰色 ほぼ完形	黑色砂含む
121-02	土師器 ミニニアーチ 片	SB18	3874	6.7 3.4 4.4	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	底部陶質強化、底部木葉痕薄く残る 摩耗	7.5W/3 褐色 ほぼ完形	白色砂含む
121-03	土師器 ミニニアーチ 片	SB18	3876	7.0 2.3 4.0	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部+底部ナメ	底部陶質強化、底部木葉痕薄く残る 摩耗	7.5W/3 褐色 口縁部・底部	黑色砂含む
121-04	土師器 ミニニアーチ 片	SB18	3875	7.5 3.7 —	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	底部陶質強化、底部木葉痕薄く残る 摩耗	7.5W/3 褐色 底部	白色砂含む
121-05	渦巻器 片身	SB18 147/031	— (5.5) (10.6)	右口クロ	旋輪ナメ		7.5W/2 真黄色 底部	外面部自然顔
125-01	土師器 片	SB20 5206 5206 5206	4609 5126 5126	20.0 — —	輪様み	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部+ハケナメ	7.5W/4 に少し褐色 口縁部・底部	白色砂含多量に含む
125-02	土師器 片	SB20	5129 5146 4673	— (2.0) —	輪様み	内面：口縁部+ハメ 内面：口縁部+底部+ハメ	7.5W/4 に少し褐色 底部	白色砂含む
125-03	土師器 片	SB20	5142	11.6 (4.0) —	外面：口縁部+ハメ 内面：口縁部+ハメ	底部上半をガキ 下部ヘラケズリ+ミガキ 内面：口縁部+底部	7.5W/3 褐色 口縁部・底部	
125-04	土師器 片	SB20	4694 4674	11.8 5.2 —	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	底部ナメ、木葉痕	7.5W/5 褐色 ほぼ完形 注付部	粗製粘土で少く1~2mmの大いな褐色を含む
126-01	土師器 小型	SB21	—	12.7 (7.7)	輪様み	外面：口縁部+ハメ 内面：口縁部+ハメ	7.5W/2 真褐色 口縁部	白色砂少量含む
126-02	土師器 片	SB21	5167	16.0 (12.0) —	輪様み	外面：口縁部+ハメ 内面：口縁部+ハメ	7.5W/2 真褐色 口縁部・底部	白色砂少量含む
126-03	土師器 片	SB21	—	(11.0) 6.0	輪様み	内面：口縁部+ハメ 内面：口縁部+ハメ	7.5W/2 褐色 口縁部	白色砂・真褐色 含む
126-04	土師器 片	SB21	5178	12.0 (4.1) —	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部+ハメ	底部ヘラケズリ 内面：口縁部+ガキ 黑色地	7.5W/3 褐色 口縁部・底部	
126-05	土師器 片	SB21	5170	12.0 (4.5) —	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	底部ヘラケズリナメ	7.5W/4 に少し褐色 口縁部・底部	粗製粘土で真褐色少 量含む
129-01	土師器 片	SB22	—	(12.2) (4.1)	外面：口縁部+底部+ガキ 内面：口縁部+底部+ガキ	摩耗底 内面：口縁部+底部+ガキ 黑色地	7.5W/3 褐色 口縁部	
129-02	土師器 片	SB22	—	10.5 (3.0)	外面：口縁部+ガキ 内面：口縁部+ガキ	摩耗ヘラケズリ 内面：口縁部+ガキ 黑色地	7.5W/3 に少し褐色 口縁部	
129-03	土師器 片	SB22	—	8.8 2.6	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	摩耗ナメ 内面：口縁部ナメ	7.5W/2 褐色 口縁部	粗製粘土で少く1~2mmの大いな褐色を含む
129-04	土師器 片	SB22 5203	4672	11.4 5.2	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	底部ヘラケズリ 内面：口縁部+ガキ 摩耗底	7.5W/3 に少し褐色 口縁部	黑色砂含む
129-05	土師器 片	SB22	—	14.0 (5.0)	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	底部陶質強化 内面：口縁部ナメ	7.5W/3 褐色 口縁部	
129-06	土師器 片身	SB22	—	— (4.0)	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	摩耗ナメ 内面：口縁部ナメ	7.5W/4 に少し褐色 底部	粗製粘土で少く1~2mmの大いな褐色を含む 粗製粘土で少く1~2mmの大いな褐色を含む
129-07	土師器 片	SB22	—	48.0 (10.0)	輪様み	外面：口縁部+ハメ 内面：口縁部+ハメ	7.5W/3 に少し褐色 口縁部	白色砂含多量に含む
129-08	渦巻器 片身	SB22	—	8.6 (3.3)	右口クロ	底部回転ヘラケズリ	7.5W/2 真黄色 口縁部・底部	
129-09	渦巻器 片身	SB22	—	9.6 (3.4)	右口クロ	底部回転ヘラケズリ 口縁部附近までヘラケズリ及ぶ	7.5W/1 灰色 口縁部・底部	
129-10	渦巻器 片身	SB22	—	(17.2) (12.6)	右口クロ	底部回転ヘラケズリ	7.5W/1 灰色 口縁部・底部	
132-01	土師器 片	SB23	—	—	輪様み	外面：口縁部ナメ 内面：口縁部ナメ	7.5W/4 に少し褐色 口縁部	白色砂含多量に含む

第32表 7区土器観察表(6)

調査区分 調査番号	種類	出土地点	遺物名	口径 基盤 底径	成形	手法的特徴	色調・複雑部位	備考
132-02	土器器 外	SB22	—	(16.6) 8.4	輪組み	内面 口縁部から体部上半を手作 内面 口縁部ハケタ、施錫注意 内面 口縁部ハケタとミガキ	7.S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒含む
132-03	土器器 外	SB23	4946	12.3 8.7	輪組み	外面 口縁部から体部上半を手作 内面 口縁部ハケタとミガキ 裏面 口縁部ハケタとミガキ	S184/2 7.青褐色 輪組み一部	7.青褐色 輪組み一部
134-01	土器器 外	SB24	—	18.3 (14.7)	輪組み	内面 全体表面 内面 口縁部ハケタ	S184/3 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒多量に含む
136-01	土器器 外	SB25	4818 4822 4944	24.6 (9.5) —	輪組み	内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒多量に含む
136-02	土器器 外	SB26	5709	— (7.7) 7.6	輪組み	内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ	2.S184/1 7.青褐色 輪組み一部	7.青褐色 輪組み含む
139-01	土器器 外	SB27	5730 5740 5742	16.4 31.4 (8.4)	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ	2.S184/1 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒含む
139-02	土器器 外	SB27	5737	12.5 3.5 —	輪組み	内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ	3.S184/6 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒・黑色砂粒 少量含む
139-03	土器器 外	SB27	5736	13.0 3.9 —	輪組み	内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ	3.S184/4 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒・黑色砂粒 少量含む
139-04	土器器 外	SB27	5743	12.4 (4.0) —	輪組み	内面 輪組みから体部上半をミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ 内面 輪組みハケタとミガキ	3.S184/4 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒含む
139-05	須磨器 灰舟	SB27	—	8.6 (3.0) —	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	2.S185/1 7.青褐色 天井部一部	外表面自然釉
141-01	土器器 外	SB29	—	19.6 (7.7)	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ	S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒多量に含む
141-02	土器器 外	SB29	—	24.0 (7.6) —	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	7.5.S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒多量に含む
141-03	土器器 外	SB29	—	21.2 (9.4)	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	7.5.S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒含む
141-04	土器器 外	SB29	—	12.6 (0.5)	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	2.S184/1 7.青褐色 輪組み一部	7.青褐色 輪組み一部
141-05	須磨器 灰舟外	SB29	—	15.8 (0.3)	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	5.S184/6 7.青褐色 天井部一部	外表面自然釉・黑色和 古色
141-06	須磨器 灰舟外身	SB29	—	13.6 (3.9) —	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	2.S184/2 7.青褐色 天井部一部	7.青褐色 輪組み一部
145-01	土器器 外	SB29	5629 5639 5783	20.0 (9.6) —	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	7.5.S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒含む
145-02	土器器 外	SB29	5635	16.8 (7.5)	輪組み	内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	7.5.S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒・黑色砂粒 少量含む
145-03	土器器 外	SB29	5637	20.1 (11.1)	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	7.5.S184/2 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒・黑色砂粒 少量含む
145-04	土器器 外	SB29	5784	20.4 (0.6) —	輪組み	内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	2.S184/1 7.青褐色 輪組み一部	7.青褐色 輪組み一部
145-05	土器器 外	SB29	3717	(2.1) 8.0	輪組み	内面 底面ハケ 内面 底面ハケ	S184/3 7.青褐色 輪組み一部	7.青褐色 輪組み一部
145-06	土器器 外	SB29	—	(4.6) 2.0	輪組み	内面 底面ハケ 内面 底面ハケ	S184/3 7.青褐色 輪組み一部	7.青褐色 輪組み一部
145-07	土器器 外	SB29	4982	11.1 4.4 —	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 底面ハケ 内面 底面ハケ	2.S184/6 7.青褐色 輪組み一部	輪組助士で約2~3 mmの大さの黑色點を含む
145-08	土器器 外	SB29	—	10.6 4.0	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 底面ハケ 内面 底面ハケ	S184/6 7.青褐色 輪組み一部	輪組助士で約2~3 mmの大さの黑色點を含む
145-09	土器器 外	SB29	4633	(5.6)	輪組み	内面 底面ハケ 内面 底面ハケ	10985/3 7.青褐色 輪組み一部	輪組助士で約2~3 mmの大さの黑色點を含む
145-10	土器器 外	SB29	4828 5145 5831 5847	46.9 22.4 10.1	輪組み	内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ 内面 口縁部ナデ	10985/3 7.青褐色 輪組み一部	10985/3 7.青褐色 輪組み一部
145-11	須磨器 灰舟	SB29	— (17.021)	9.8 3.7	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	5.S184/1 7.青褐色 天井部一部	白色砂粒
145-12	須磨器 灰舟	SB29	—	9.5 2.8 —	左ロクロ	天井部回転ハラケズリ	2.S184/7 7.青褐色 天井部一部	やや質實
145-13	須磨器 灰舟	SB29	— (17.021)	(11.4) (4.4)	左ロクロ	天井部回転ハラケズリ	2.S184/7 7.青褐色 天井部一部	内表面自然釉
145-14	須磨器 灰舟	SB29	—	(8.6) 3.1	右ロクロ	底面回転ハラケズリ	2.S184/1 7.青褐色 天井部一部	白色砂粒含む
145-15	須磨器 灰舟	SB29	5646	(8.0) (3.6) —	左ロクロ	底面ナデ	2.S184/2 7.青褐色 天井部一部	2.S184/2 7.青褐色 天井部一部
145-16	須磨器 灰舟	SB29	3719	8.0 (3.2)	右ロクロ	底面ナデ	2.S184/2 7.青褐色 天井部一部	2.S184/2 7.青褐色 天井部一部
145-17	須磨器 灰舟	SB29	—	9.6 (3.3)	右ロクロ	底面回転ハラケズリ 底部に裏印 体部下半にケズリ工具による一列の次線	2.S184/1 7.青褐色 天井部一部	2.S184/1 7.青褐色 天井部一部
146-01	土器器 外	SB30	—	22.1 (7.0)	輪組み	内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ 内面 口縁部ハケタとミガキ	2.S184/4 7.青褐色 輪組み一部	白色砂粒含む

第33表 7区土器観察表(7)

第33表 調査番号	種類	出土地点	遺物名	口径 底面 高さ	成形	手法の特徴	色調・保存部位	備考
140-02	土器器 皿	SB00	—	12.6 (7.7) —	輪捏み	外面：口縁部ハケーナメ。底盤丸窪。腹部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。 内面：口縁部相違ハケーナメ。	0.9M/3 に近い黄褐色 口縫部一部	白色砂利多量に含む
140-03	土器器 皿	SB00	4521 4523	— (8.5) (8.8)	—	外面：底盤上ハケーナメ。ミガキ。腹部ナデ。内面：底盤上底盤ハケーナメ。ナデ。指揮丘底。内外面ともに麻糸。	1.9M/3 (2.1) に近い黄褐色 底盤一部	白色砂利・墨色砂利 含む
140-04	土器器 皿	SB00	—	(3.6) 6.4	輪捏み	外面：底盤ナデ。底盤江底。 内面：底盤ナデ。底盤江底。	7.5M/3 灰褐色 全体一括焼	
140-05	土器器 皿	SB00	2890 2896	(4.5) (9.6) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ナデ。腹部ハケーナメ。回転底糸。 内面：口縁部ナデ。腹部ナデ。指揮丘底。腹部相違ハケーナメ。指揮丘底。	7.5M/3 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
140-06	土器器 皿	SB00	—	(4.6) (6.7)	輪捏み	外面：口縁部ナデ。底盤江底。腹部ナデ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。 内面：口縁部ナデ。指揮丘底。腹部相違ハケーナメ。指揮丘底。	7.5M/3 灰褐色 口縫部一部	白色砂利多量に含む
140-07	漆器器 皿	SB00	—	9.6 3.5 —	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	5.6M/1 灰褐色 天井部一口縫部	外面自然焼
140-08	漆器器 皿	149-031	—	(14.0) —	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	5.7M/1 灰褐色 天井部一部	白色砂利含む
151-01	土器器 皿	SB01	6676 3160	21.4 (22.7) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。ミガキ。腹部ハケーナメ。ミガキ。 内面：口縁部ナデ。腹部上ハケーナメ。指揮丘底。腹部相違ハケーナメ。指揮丘底。	3.9M/3 に近い黄褐色 口縫部一部	接合部丁寧なミガキ
151-02	土器器 皿	SB01	4876 3162	18.6 —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。ミガキ。指揮丘底。腹部相違ハケーナメ。指揮丘底。	5.0M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
151-03	土器器 皿	SB01	4536 3163	20.1 (18.9) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ナデ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。 内面：口縁部ナデ。腹部ナデ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。	3.9M/2 灰褐色 口縫部一部	
151-04	土器器 皿	SB01	4810 3162	— (10.0) 9.8	—	外面：底盤上ハケーナメ。ミガキ。腹部ナデ。 内面：底盤上ハケーナメ。底盤ナデ。	7.5M/3 灰褐色 底盤一部	白色砂利含む
151-05	土器器 皿	SB01	4530 4879	43.0 4.5 —	—	外面：口縁部ナデ。体部上ラクゼリ。全体的に朱糞。 内面：口縁部ナデ。底盤ナデ。	7.5M/3 灰褐色 口縫部一部	
151-06	土器器 皿	SB01	5087	6.2 4.4 —	—	外面：口縁部ナデ。体部ナデ。指揮丘底。底盤木葉底。 内面：口縁部ナデ。指揮丘底。	7.5M/3 灰褐色 指揮丘底 底盤木葉底	
151-07	土器器 皿	SB01	4713	43.2 21.8 —	輪捏み	外面：口縁部ハケーナメ。底盤江底。腹部ハケーナメ。腹部ナデ。腹部相違ハケーナメ。指揮丘底。 内面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。	7.5M/3 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
151-08	土器器 皿	SB01	5704 4876	44.2 (21.1) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。ミガキ。腹部ハケーナメ。ミガキ。 内面：口縁部ナデ。腹部ナデ。指揮丘底。	5.0M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
152-09	土器器 皿	SB01	4876	51.2 (22.1) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。ミガキ。腹部ナデ。指揮丘底。 内面：口縁部ナデ。腹部ナデ。指揮丘底。	3.9M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
152-10	土器器 皿	SB01	5090 5082 5035	48.1 (24.5) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。腹部ナデ。指揮丘底。腹部ハケーナメ。指揮丘底。指揮部ヘラナデ。ミガキ。 内面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。指揮部ヘラナデ。ミガキ。	3.5M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
152-11	漆器器 皿	SB01	—	(3.3) —	右ロクロ	天井部回転ハラケズリ	2.5M/1 灰褐色 天井部 天井部	
152-12	漆器器 皿	SB01	—	(1.9) (0.4)	右ロクロ	底盤回転ハラケズリ 粘付苔苔	7.5M/1 灰褐色 底盤	
153-01	土器器 皿	SB33	5019 5022 5023	(16.7) 6.4 —	輪捏み	外面：輪捏上ハケーナメ。ヨコガキ。下平ハケーナメ。タテミガキ。 内面：タテミガキ。輪捏上本底。タテミガキ。輪捏上ハケーナメ。指揮丘底。輪捏中凹部。指揮丘底。下平ハケーナメ。	2.5M/5 灰褐色 輪捏上部	白色砂利含む
153-02	漆器器 皿	SB33	5025	9.6 4.1 —	右ロクロ	底盤回転ハラケズリ	3.9M/1 灰褐色 口縫部一部	
164-01	漆器器 皿	SB06	—	9.0 (2.4) —	右ロクロ	底盤回転ハラケズリ	2.5M/1 灰褐色 口縫部一部	
164-02	漆器器 皿	SB07 表土一括	—	21.0 (5.2) —	右ロクロ	回転ナデ	7.5M/4 灰褐色 口縫部一部	内面口縫部・外裏自然 焼
164-03	漆器器 皿	SB06	—	15.8 (5.7) —	右ロクロ	回転ナデ	7.5M/4 灰褐色 口縫部一部	
164-04	漆器器 皿	SB09	—	8.4 (2.6) —	右ロクロ	底盤回転ハラケズリ	2.5M/1 灰褐色 口縫部一部	
164-05	漆器器 皿	SB12 表土一括	—	8.8 (2.8) —	右ロクロ	回転ナデ	2.5M/1 灰褐色 口縫部一部	内外面自然焼
164-06	漆器器 皿	SB13	—	38.0 (6.9) —	回転方向 不明	外面：タテミガキ。 内面：タテミガキ。 自然焼のためタタキの基準不明瞭	5.9M/1 灰褐色 口縫部一部	内面口縫部・外裏自 然焼
164-07	漆器器 皿	SB14	577	(6.2) —	右ロクロ	外面：波状文	3.5M/1 灰褐色 口縫部一部	外面自然焼
164-08	漆器器 皿	SB21 底盤	—	(47.2) (9.1) —	左ロクロ	外面：斜方柱のタタキ底。(不規則)。 内面：指揮丘底。	2.5M/1 灰褐色 口縫部一部	外面自然色
164-09	土器器 皿	SB23	904 926 3266	49.2 (12.0) —	輪捏み	外面：口縁部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。 内面：口縁部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。	3.9M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
164-10	土器器 皿	SB23	920 943 948	48.0 (10.0) —	輪捏み	外面：口縁部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。 内面：口縁部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。指揮丘底。	3.9M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む
164-11	漆器器 皿	SB25 表土一括	—	— 12.6	左ロクロ	底盤ナデ。紙張上に二重の沈継	10.9M/2 灰褐色 底盤	
166-01	土器器 皿	SP791	645	20.0 (2.7) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。指揮丘底。指揮部ナデ。腹部ハケーナメ。 内面：口縁部相違ハケーナメ。指揮丘底。指揮部ナデ。	5.9M/2 灰褐色 口縫部一部	
166-02	土器器 皿	SP81 表土一括	—	20.8 (3.5) —	輪捏み	外面：口縁部ナデ。腹部ハケーナメ。腹部ハケーナメ。 内面：口縁部相違ハケーナメ。指揮丘底。指揮部ナデ。	7.5M/2 灰褐色 口縫部一部	白色砂利含む

第34表 7区土器観察表(8)

測定番号	種類	出土点	遺物No.	口径 高さ 底径	成形	手法の特徴	色調・複雑部位	備考
166-02	土器器皿	S301	699	2.9 (14.1) —	輪組み	外面 口縁部ナデ 茶褐色ハケメー3.ガキ 間部ハケメ 内面 口縁部ハケメーテ(ハケメが強く残る) 茶褐色ハケメ、指跡圧痕	S194/3 にぶい赤褐色 口縁部~底部	白色砂粒含む
166-03	土器器皿	S301 PT34	650	(4.5) 2.9	輪組み	片面 流れハケメ、ナデ 木葉痕 内面 流れハケメ	7.519/2 茶褐色 底部	
166-04	土器器皿	S301	700	11.1 4.4 —	輪組み	外面 口縁部ナデ 体部上半が丸、下部へラケゼリ→ミガキ 内面 口縁部一側部ミガキ 黄色粘液	S194/3 にぶい赤褐色 完形	密なミガキ調整
166-05	土器器皿	S301 1401/021	—	11.8 (4.0)	輪組み	外面 口縁部ナデ 茶褐色ナデ、指跡圧痕 遠部木葉痕 内面 口縁部一側部ナデ	7.519/2 茶褐色 口縁部~底部	輪組地でさよ2~3mmの大黒色斑を含む
166-06	土器器皿	S301	—	12.0 5.6	輪組み	外面 口縁部ナデ 茶褐色ナデ、指跡圧痕 遠部木葉痕 内面 口縁部一側部ナデ	7.519/4 11.5~14.0 茶褐色 口縁部~底部	輪組地でさよ2~3mmの大黒色斑を含む
166-07	土器器皿	表土一括	—	15.2 (3.9) —	輪組み	外面 口縁部ハケメーナデ 茶褐色ナデ 指跡ハケメ 全面に保 内面 口縁部ハケメーナデ 指跡ハケメ、指跡圧痕	S194/2 茶褐色 口縁部~底部	
166-08	土器器皿	1401/021	—	13.9 (10.1)	輪組み	外面 口縁部ナデ 茶褐色ナデ、指跡ハケメ 内面 口縁部ナデ 指跡ハケメ、指跡圧痕	7.519/1 12.5~14.0 茶褐色 口縁部~底部	白色砂粒含む
166-09	土器器皿	1401/021	—	17.0 9.2	輪組み	外面 口縁部ナデ 茶褐色ナデ 茶褐色ハケメ 内面 口縁部ナデ 指跡ハケメ、指跡圧痕	S194/3 にぶい赤褐色 口縁部~底部	白色砂粒含む
166-10	土器器皿	表土一括	—	39.0 (7.3)	輪組み	外面 口縁部ナデ 茶褐色ハケメ 斧利	7.519/3 茶褐色 口縁部~底部	白色砂粒含む
166-11	土器器皿	P107	644	20.9 (10.5)	輪組み	外面 口縁部ナデ 指跡ハケメ、指跡みず印痕 内面 口縁部ナデ 指跡ミガキ	10/984/1 茶褐色 口縁部~底部	
166-12	遺物	表土一括	—	10.0 3.6	右ロクロ	遠部凹版へラケズリ	S194/1 三色 口縁部~底部	外蓋自然難
166-13	遺物	表土一括	—	8.2 (4.2)	左ロクロ	遠部凹版へラケズリ	10/983/1 茶褐色 口縁部~底部	やや破質
166-14	遺物	表土一括 sondage	—	9.0 10.7	右ロクロ	遠部凹版へラケズリ 脱片裏面	10/983/2 茶褐色 底部	
166-15	遺物	表土一括	—	(6.6)	右ロクロ	口輪ナデ 輪組透かし	2.25/1 赤灰色 井筒~底部	
166-16	遺物	表土一括 裏もぐく 粗粒	—	7.3(7.6)	右ロクロ	口輪ナデ	S194/1 三色 口縁部~底部	外蓋一部~内蓋口縁部に自然難

第35表 石器・土製品観察表

測定No.	基	通幅	遺物No.	基種	石材	最大径 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重さ (g)	直面 (mm)	裏面 (mm)	
第1分類	13-26	3基	S861	346	砾石系	泥岩	204.1	106.2	47.3	1526.41	—	—
	13-27	3基	S861	683	砾石系	砂岩	111.6	53.4	46.9	305.42	—	—
	29-75	3基	S866	2556	砾石系	泥灰岩	98.1	60.9	59.1	363.53	—	—
	55-05	8基	S865	3764	砾石系	砂岩	31.5	—	15.0	11.1	6.00	1.00
	101-07	5基	S862	2456	砾石系	泥灰岩	70.2	46.7	40.7	105.18	—	—
	104-14	5基	S862	877	砾石系	砂岩	133.1	75.6	52.9	533.55	—	—
	106-02	5基	S864	1808	砾石系	泥灰岩	89.9	66.2	36.9	274.36	—	—
	114-06	5基	S865	3784	砾石系	土質	31.5	—	15.0	11.1	6.00	1.00
	132-01	5基	S869	842	石系	泥岩	102.5	24.7	12.9	58.44	—	—
	147-32	6基	S865	4727	砾石系	泥灰岩	147.6	117.9	42.4	795.98	—	—
第2分類	170-11	6基	S868	6640	研磨盤	泥岩	47.0	—	20.0	57.72	9.00	9.00
	177-08	6基	S868	6959	研磨盤	砂岩	114.6	67.6	48.8	653.6	—	—
	196-26	6基	遺構外	230	断面	泥岩	85.2	61.0	12.6	96.04	—	—
	27-12	4基	S810	6030	砾石系	砂岩	119.1	48.6	35.3	206.42	—	—
	77-13	4基	S810	6632	砾石系	砂岩	225.4	107.4	24.1	1141.91	—	—
	50-23	4基	S817	6338	砾石系	泥岩	101.6	72.9	52.3	552.36	—	—
	64-02	4基	PT2771	6644	砾石系	泥灰岩	124.2	41.9	39.7	245.23	—	—
	66-10	4基	遺構外	—	土種	土質	36.0	—	35.0	54.94	19.00	19.00
	86-11	4基	遺構外	—	砂	泥石	26.9	13.5	21.7	11.12	—	—
	116-14	7基	S814	4607	研磨盤	泥岩	34.0	—	14.0	26.16	7.50	8.00
	149-59	7基	S830	4386	砾石系	泥灰岩	74.5	52.9	21.5	118.22	—	—

第36表 鋼製品観察表

測定No.	基	通幅	遺物No.	種類	鋼 (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	
第1分類	29-76	3基	S806	1936	瓦刀	16.4	17.9	6.7	5.44	
	50-06	8基	S862	3670	鉈	19.0	30.6	6.1	5.38	
	139-08	8基	—	1	鐵	29.9	22.4	7.0	3.13	
	159-26	6基	S804	3580	瓦刀	15.9	17.2	5.7	4.07	
	28-09	4基	S814	6914	鉈	42.0	46.0	6.0	20.06	一部を鋸で補修
	46-14	4基	S821	6884	分割	32.0	31.5	20.0	71.11	一部を鋸で補修
	52-17	7基	S809	4465	瓦刀	23.6	25.8	5.7	10.63	
	81-15	7基	S804	—	鐵	20.1	19.4	6.7	2.5	
	128-06	7基	S821	4875	瓦刀	29.6	6.2	3.5	3.06	

第37表 鉄製品観察表

両柱	器物名	所	遺構	種類	遺物番号	全長 (cm)	鉢身・刃部・頭部 (cm)		頭部・脚部 (cm)		頭・器具・脚部 (cm)		備考
							長	幅	長	幅	長	幅	
55-14	刀	5803	刀子	2466	(6.4)	5.1	0.9	—	—	1.7	0.7	—	
55-15	刀	5803	鉄劍	3626	(31.7)	—	—	(7.2)	0.5	4.6	0.3	—	
55-16	刀	5803	不明鉄製品	1706	(5.2)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 5.2cm、幅 3.4cm
66-27	刀	5807	刀子	4109	17.4	10.6	1.4	—	—	6.6	0.9	—	
66-28	刀	5807	鉄劍	4096	(10.3)	—	—	(8.0)	0.4	(2.2)	0.4	—	
66-29	刀	5807	鍔	3898	(3.1)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 4.2cm、幅 3.1cm
75-46	刀	5808	刀子	3809	(8.9)	(3.5)	1.4	—	—	(3.4)	1.0	—	
75-47	刀	5808	刀子	3909	(2)	(3.1)	(3.6)	1.2	—	(4.5)	0.8	—	
75-48	刀	5808	刀子	3909	(1)	(4.6)	(4.6)	0.7	—	—	—	—	
75-49	刀	5808	鉄劍	3679	(13.5)	—	—	(10.2)	0.5	(2.3)	0.4	—	
75-50	刀	5808	鉄劍	3907	(7.3)	—	—	(4.9)	0.4	(2.4)	0.3	—	
75-51	刀	5808	刀子	3905	(6.0)	—	—	—	—	(6.0)	(0.4)	—	
75-52	刀	5808	青銅金具?	3906	(8.2)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 6.2cm、幅 1.6cm
76-02	刀	5816	刀子	4133	(5.7)	—	—	—	—	(5.7)	(0.6)	—	
82-06	刀	5812	不明鉄製品	3766	6.4	—	—	—	—	—	—	—	高さ 6.4cm、幅 1.6cm
84-06	刀	5810	貴金属	3348	3.9	—	—	—	—	0.6	0.4	—	
97-01	刀	5801	鉄劍	2092	(9.4)	4.5	2.2	4.8	0.6	(0.4)	0.8	—	
109-06	刀	5805	刀子	1386	(5.5)	2.8	0.9	—	—	(2.7)	0.8	—	
109-07	刀	5805	鉄劍	2309	2710	(15.5)	(3.0)	0.6	0.2	0.6	(2.3)	0.4	—
第1分帶	9.8	5805	刀子	2064	(8.4)	—	—	(8.4)	0.7	—	—	—	
	9.8	5805	鉄劍	2564	(2.6)	1.0	0.8	(2.4)	0.6	—	—	—	
	9.8	5805	刀子	2765	3.6	—	—	—	—	1.0	0.3	—	
	9.8	5805	貴金属	2767	2.9	—	—	—	—	0.4	0.6	—	
	9.8	5805	鉄劍	1772	(4.4)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 4.4cm
	11.6	5805	刀子	2159	(11.2)	—	—	(7.8)	0.5	3.4	0.5	—	
	12.9	5805	刀子	869	(11.5)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 11.5cm、幅 1.6cm
	12.9	5805	3913-1 不明鉄製品	967	(7)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 7.7cm、幅 0.9cm
	12.9	5805	3913-2 不明鉄製品	813	(6.2)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 6.2cm、幅 0.3cm
	12.9	5805	5813-1 不明鉄製品	967	(2)	(4.5)	—	—	—	—	—	—	高さ 4.5cm、幅 1.4cm
	13.0	5805	5809-2 鋼刀	4086	5.7	—	—	—	—	—	—	—	高さ 4.5cm、幅 1.6cm
	13.0	5805	過渡型	88	(3.1)	—	—	—	—	—	—	—	高さ 3.1cm、幅 0.4cm
	14.7-17	6.8	5801	鉄劍	—	(10.3)	2.2	(3.2)	3.4	0.4	(4.7)	0.4	—
	15.4-23	7.8	5803	鉄劍	7643	(8.6)	3.8	2	—	—	(2.6)	1.4	—
	15.9-27	6.8	5804	刀子	—	(3.4)	(0.6)	1.0	—	—	(2.8)	0.8	—
	15.9-28	6.8	5804	鍔	7729	(4.2)	—	—	—	—	—	—	—
	16.2-17	6.8	5812	刀子	4162	(3.8)	(2.8)	1.0	—	—	—	—	—
	17.0-12	6.8	5806#60	刀子	6540	(7.0)	(2.5)	0.9	—	—	(4.5)	0.8	—
	17.0-13	6.8	5806	不明鉄製品	2807	(5.6)	—	—	—	—	—	—	高さ 5.6cm、幅 0.4cm
	17.0-20	6.8	5804	釘	—	(4.4)	—	—	—	—	—	—	鉄釘長さ 3.3cm
第2分帶	3.7-10	4.8	5814	鉄劍	7006	(32.6)	—	—	—	—	—	—	—
	38-02	4.8	5822	刀子	7506	(7.9)	(6.2)	1.1	—	—	(1.7)	0.7	—
	38-03	4.8	5822	刀子	7515	(4.9)	(1.4)	0.6	—	—	(2.5)	0.5	—
	38-04	4.8	5822	過渡形鉄	2667	7.8	—	—	—	—	—	—	—
	46-15	4.8	5821	不明鉄製品	7540	(6.6)	—	—	—	—	—	—	—
	72-18	7.8	5801	刀子	12	(15.4)	(8.8)	1.1	—	—	6.8	0.9	—
	72-16	7.8	5801	鉄劍	12	(12.3)	—	(8.7)	0.5	3.6	0.4	—	—
	72-17	7.8	5801	鉄劍	505	(5.7)	—	(5.2)	0.5	(0.5)	0.5	—	—
	72-20	7.8	5801	鉄劍	91	(4.2)	—	—	—	—	—	—	—
	111-14	7.8	5815	刀子	744	746	(9.6)	7.2	1.7	—	—	(2.4)	1.2
	111-15	7.8	5815	釘	—	3.5	—	—	—	—	—	—	—
	116-15	7.8	5816	刀子	4179	(9.5)	(7.5)	1.2	—	—	(2.0)	0.8	—
	119-08	7.8	5817	鉄劍	4991	(14.0)	2.6	0.8	9.8	0.6	(1.6)	0.5	—
	120-11	7.8	5822	鉄劍	4674	(14.1)	3.6	0.6	9.9	0.4	(1.5)	0.4	—
	152-13	7.8	5821	鉄劍	5701	(6.4)	(1.4)	0.6	(5.2)	0.4	—	—	—
	156-01	7.8	5824	不明鉄製品	4953	(72.8)	—	—	—	—	—	—	高さ 17.8cm、幅 0.7cm

第38表 ガラス小玉鑄型観察表

両柱	出土点	出土位序	資料番号	遺物番号	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	胎土	
								胎物	合模
170-07	6.8 5807	遺土	1	4214	20.9	22.6	11.5	鉄鏡	—
180-02	6.8 5809	遺土	2	3513	18.4	18.4	10.0	鉄鏡	—
180-04	6.8 5809	遺土	3	—	17.6	29.7	11.1	鉄鏡	—
180-05	6.8 5809	遺土	4	—	21.2	14.7	9.7	鉄鏡	—
187-27	6.8 127/41 リップ	遺物合模	5	—	32.0	42.1	10.7	鉄鏡	—
187-27	6.8 127/40 リップ	遺物合模	6	—	32.6	40.8	11.5	鉄鏡	—
187-27	6.8 127/41 リップ	遺物合模	7	—	37.0	42.9	10.4	鉄鏡	—
187-28	6.8 126/40 リップ	遺物合模	8	—	31.1	42.7	10.0	鉄鏡	—
187-29	6.8 126/41 リップ	遺物合模	9	—	24.9	27.7	10.0	鉄鏡	—
187-30	6.8 127/41 リップ	遺物合模	10	—	23.7	24.1	10.6	鉄鏡	—
187-31	6.8 126/41 リップ	遺物合模	11	—	14.0	17.4	11.1	鉄鏡	—
10-06	4.8 5807	遺土	12	—	30.3	25.6	9.9	鉄鏡	—
第2分帶	—	複合資料	—	5-6-7	—	47.2	93.0	11.4	鉄鏡
	—	複合資料	—	4-12	—	25.7	39.4	9.9	鉄鏡

第39表 玉製品観察表

番號	調査No.	区	造様	種類	遺物No.	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重さ (g)	色調
第1分冊	52-17	8区 583	583	曾玉	3768	緑玉髓	22.10	8.30	8.30	2.41	緑色
	101-01	5区 582	582	勾玉	2559	メノウ	20.30	17.10	9.10	3.50	褐色
	101-09	5区 582	582	丸玉	2323	玉髓	9.70	11.60	11.60	1.81	緑色
	180-07	6区 5811	5811	丸玉	3843	土製	9.80	12.40	12.60	1.41	褐色
第2分冊	90-18	7区 588	588	曾玉	3255	緑玉髓	20.40	7.60	7.60	2.09	緑色
	90-19	7区 588	588	丸玉	3756	土製	7.80	8.00	7.60	0.38	褐色
	90-20	7区 588	588	小玉	3624	ガラス	2.70	4.40	4.80	0.05	青色
	140-18	7区 5829	5829	丸玉	3879	土製	7.60	9.20	9.90	0.54	褐色

第40表 古銭観察表

番號	調査No.	区	造様	種類	遺物No.	材質	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	備考
第1分冊	41-06	3区	造様外	開元通寶	2009	25.0	25.0	1.0	—	—
	41-07	3区	造様外	淳化通寶	2009	24.0	24.0	1.2	—	—
	41-08	3区	造様外	開元通寶	2009	25.0	24.0	1.3	—	—
	41-09	2区	造様外	開元通寶	2009	25.0	25.0	1.2	—	—
	139-02	8区	8-91410	貞永通寶	2709	22.0	22.0	1.1	近世遺物	—
	187-22	6区	造様外	開元通寶	—	22.0	23.0	1.2	—	—

写 真 図 版



3区第1号住居址遺物出土状況



3区第1号住居址カマド遺物出土状況



3区第1号住居址完掘

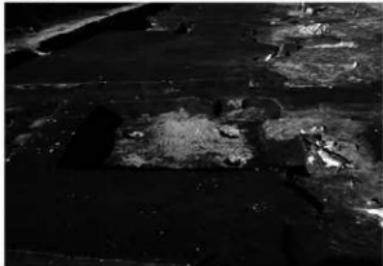


3区第2号住居址遺物出土状況

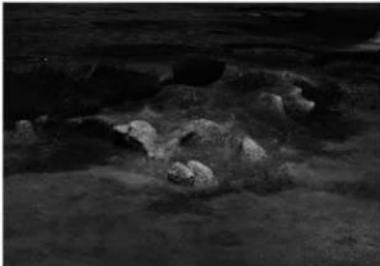


3区第2号住居址床面

P.L. 2



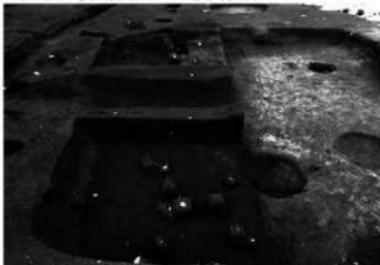
3区第2号住居址完掘



3区第3号住居址カマド検出状況



3区第3号住居址東側遺物出土状況



3区第3号住居址西側遺物出土状況



3区第3号住居址東側完掘



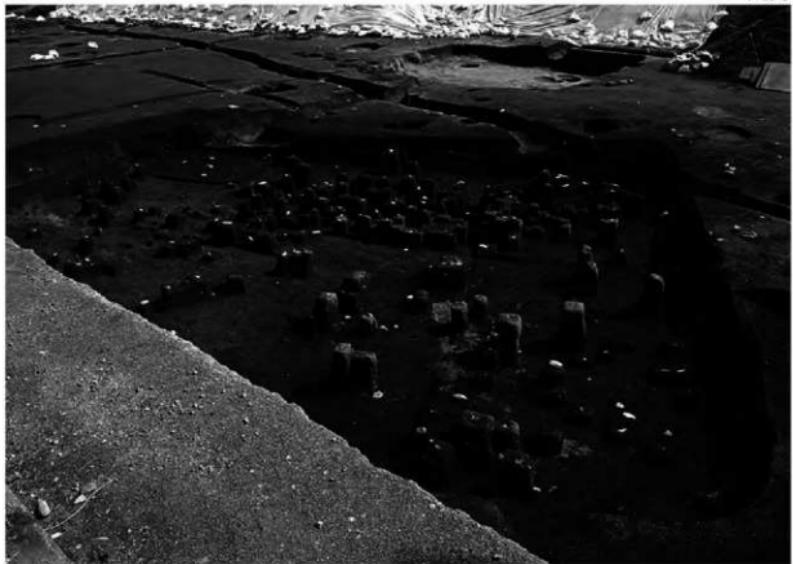
3区第4号住居址完掘



3区第5号住居址カマド検出状況



3区第5号住居址完掘



3区第6号住居遺物出土状況



3区第6号住居址床面



3区第6号住居址カマド南北セクション



3区第6号住居址カマド



3区第6号住居址完掘



3区第7号住居址完掘



3区第7号住居址カマド・壁溝完掘



3区第8号住居址完掘



3区第1号掘立柱建物址完掘



3区第1号溝状遺構セクション

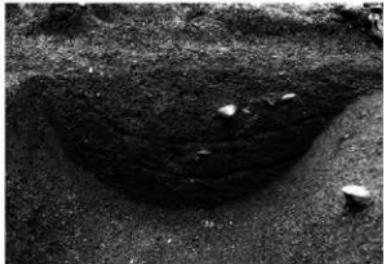


3区第1・2号溝状遺構完掘



3区第2・17・18号溝状遺構完掘

P.L. 6



3区第2号溝状遺構セクション



3区第3号溝状遺構Dセクション



3区第3号溝状遺構Eセクション



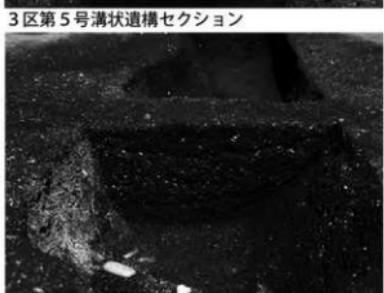
3区第4号溝状遺構セクション



3区第5号溝状遺構セクション



3区第6号溝状遺構セクション



3区第7号溝状遺構セクション



3区第8・9・10号溝状遺構セクション



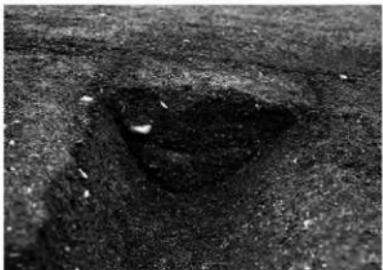
3区第10号溝状造構セクション



3区第11号溝状造構セクション



3区第12号溝状造構セクション



3区第14号溝状造構セクション



3区第13号溝状造構検出状況

P.L. 8



3区第15号溝状遺構セクション



3区第18号溝状遺構セクション



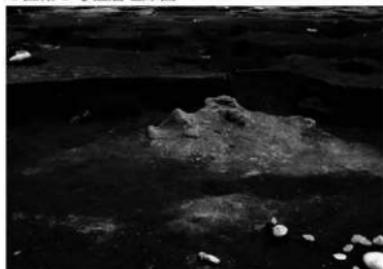
3区第16号溝状遺構セクション



3区第19号溝状遺構セクション



8区第3号住居址床面



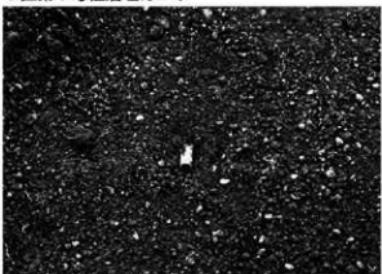
8区第3号住居址カマド検出状況



8区第3号住居址カマド



8区第3号住居址カマド内遺物出土状況



8区第3号住居址管玉出土状況

P.L. 10



8区第3号住居址完掘



8区第4号住居址カマド検出状況



8区第4号住居址完掘



8区第4号住居址カマド



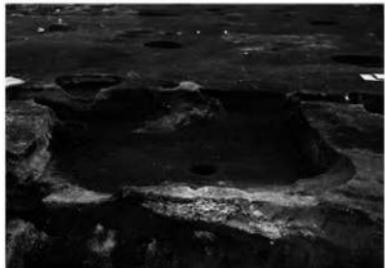
8区第18号住居址床面



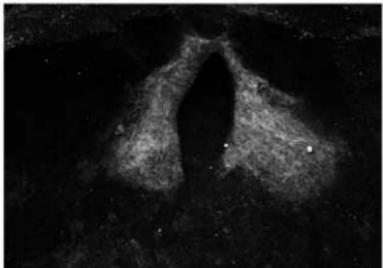
8区第18号住居址カマド



8区第18号住居址完掘



8区第5号住居址床面



8区第5号住居址カマド



8区第5号住居址完掘

P.L. 12



8区第5号住居址鉗具出土状況



8区第6号住居址床面



8区第6号住居址カマド



8区第7号住居址床面



8区第6号住居址完掘



8区第7号住居址カマド



8区第7号住居址カマド遺物出土状況



8区第8号住居址床面



8区第17号住居址カマド検出状況



8区第7号住居址完掘

P.L. 14



8区第17号住居址完掘



8区第17号住居址カマド遺物出土状況



8区第17号住居址カマド



8区第8号住居址床面



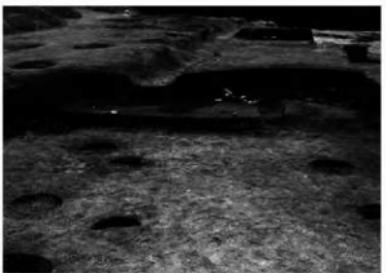
8区第8号住居址カマド



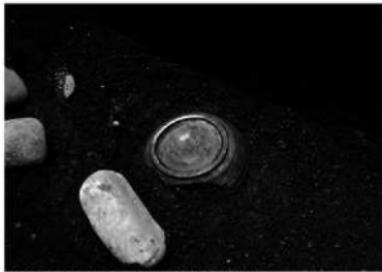
8区第8号住居址完掘



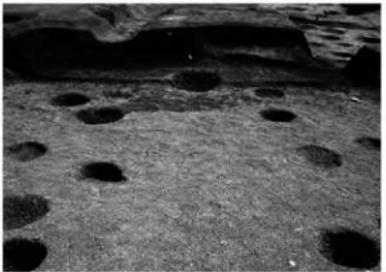
8区第8号住居址須惠器坏蓋出土状况



8区第16号住居址床面



8区第16号住居址遗物出土状况



8区第16号住居址完掘

P.L. 16



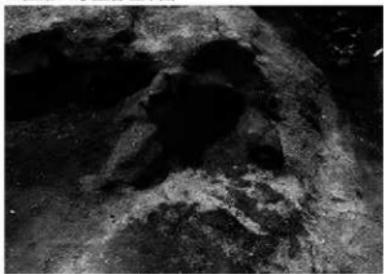
8区第9号住居址完掘



8区第9号住居址床面



8区第9号住居址カマド遺物出土状況



8区第12号住居址カマド



8区第12号住居址完掘南壁柱穴列



8区第12号住居址完掘



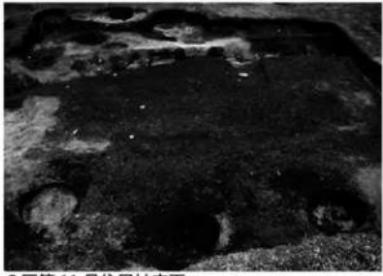
8区第10号住居址床面



8区第10号住居址完掘



8区第10号住居址カマド



8区第11号住居址床面



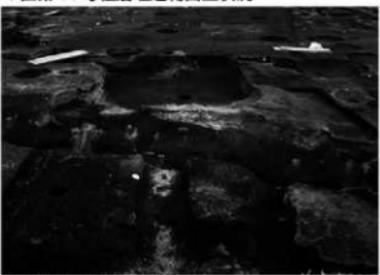
8区第11号住居址カマド



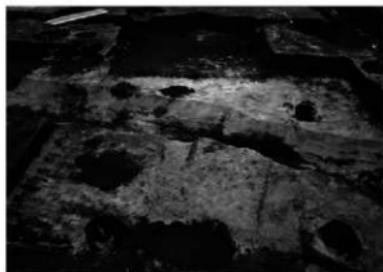
8区第11号住居址遺物出土状況



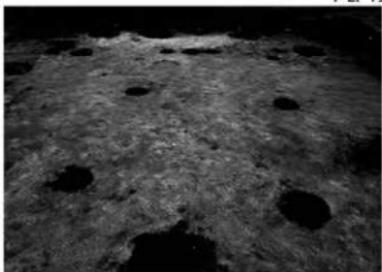
8区第13号住居址完掘



8区第14号住居址床面



8区第14号住居址完掘



8区第1号掘立柱建物址完掘



8区第1号溝状遺構完掘



8区第2号溝状遺構完掘



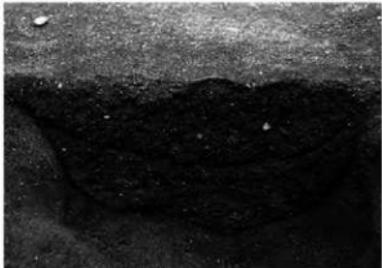
8区第3号溝状遺構セクション



8区第5号溝状遺構完掘



8区第7・8・9号溝状遺構完掘



8区第7号溝状遺構セクション

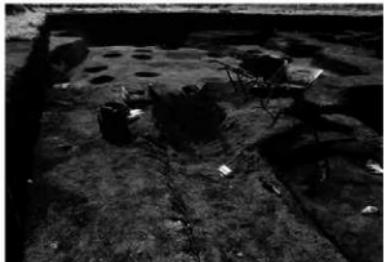
P.L. 20



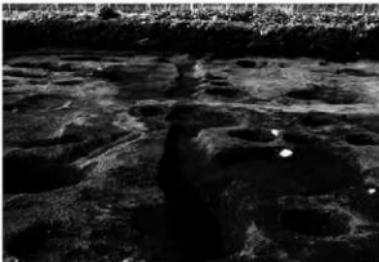
8区第8号溝状遺構セクション



8区第10号溝状遺構セクション



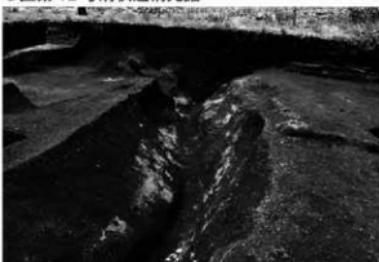
8区第10号溝状遺構完掘



8区第12号溝状遺構完掘



8区第13号溝状遺構出土状況



8区第13号溝状遺構完掘



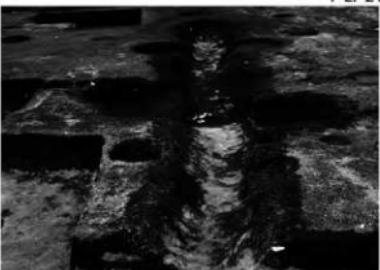
8区第13号溝状遺構セクション



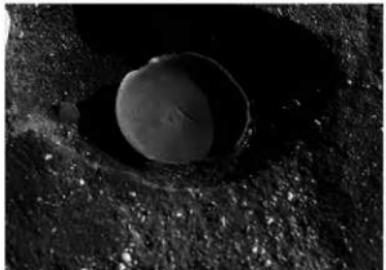
8区第16号溝状遺構完掘



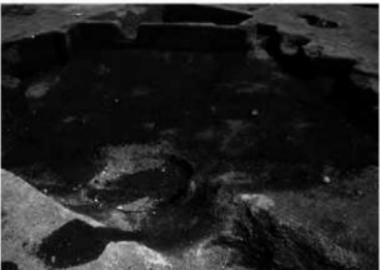
8区第17号溝状遺構完掘



8区第18号溝状遺構完掘



8区PT306土器出土状況



8区第1号不明遺構完掘

P.L. 22



5区第1号住居址完掘



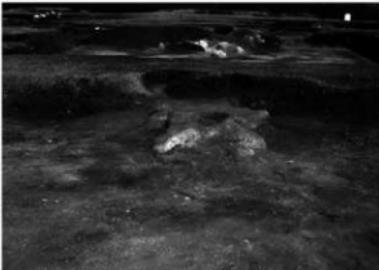
5区第1号住居址床面



5区第1号住居址カマド検出状況



5区第2号住居址床面



5区第2号住居址カマド検出状況



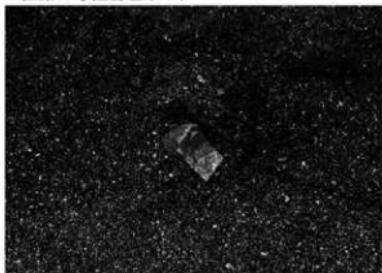
5区第2号住居址完掘



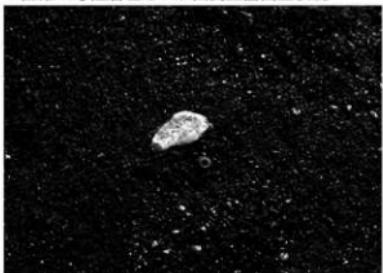
5区第2号住居址カマド



5区第2号住居址カマド西侧土器出土状況



5区第2号住居址砥石出土状況



5区第2号住居址丸玉出土状況



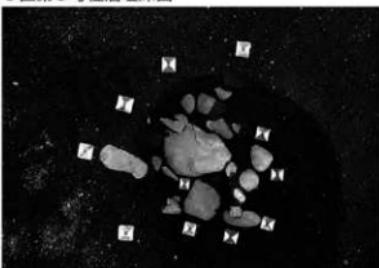
5区第2号住居址勾玉出土状況



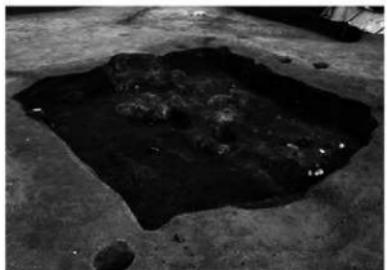
5区第3号住居址床面



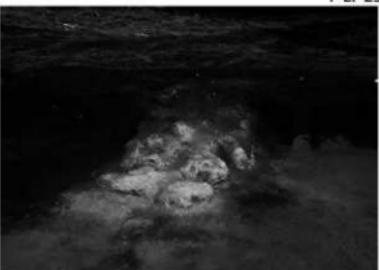
5区第3号住居址カマド検出状況



5区第3号住居址完掘



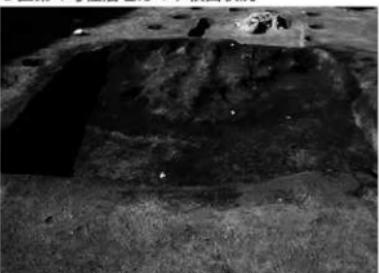
5区第4号住居址カマド粘土検出状況



5区第4号住居址カマド検出状況



5区第4号住居址カマド



5区第5号住居址カマド検出状況

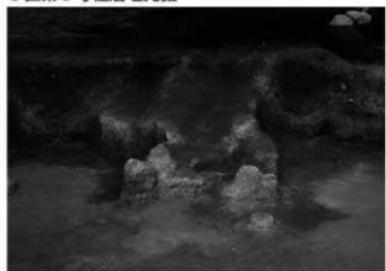


5区第4号住居址完掘

P.L. 26



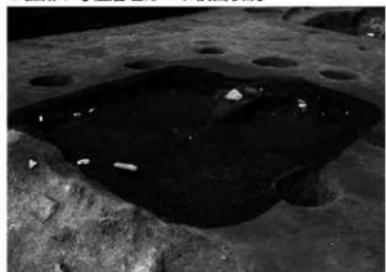
5区第5号住居址完掘



5区第5号住居址カマド検出状況



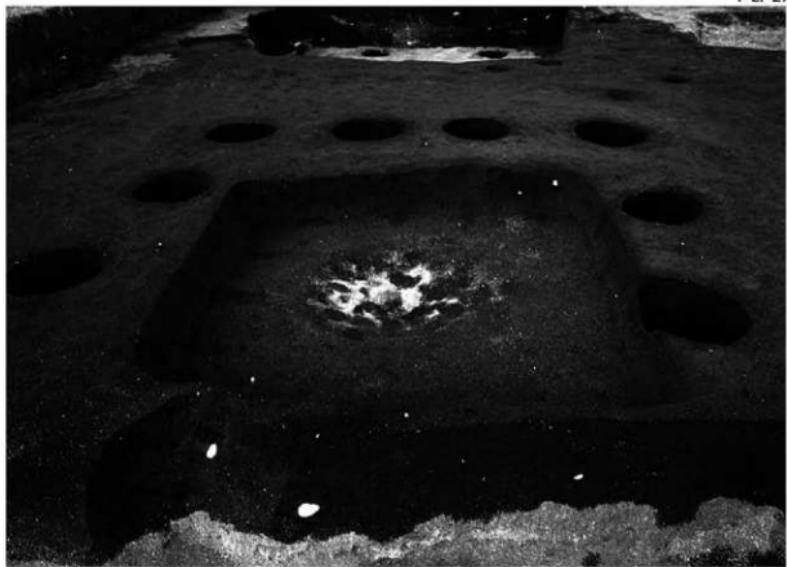
5区第5号住居址鉄製品出土状況



5区第6号住居址床面



5区第6号住居址カマド



5区第6号住居址完掘



5区第6号住居址カマド



5区第6号住居址遺物出土状況



5区第7号住居址床面



5区第7号住居址紡錘車出土状況



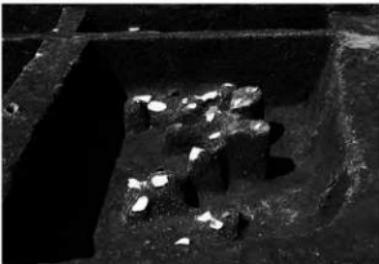
5区第7・9号住居址完掘



5区第8号住居址カマド検出状況



5区第8号住居址 EWセクション



5区第8号住居址 遺物出土状況



5区第8・10号住居址完掘



5区第1号掘立柱建物址完掘



5区第2号掘立柱建物址完掘



5区第3号掘立柱建物址完掘



5区第4号掘立柱建物址完掘



5区第1号溝状遺構セクション



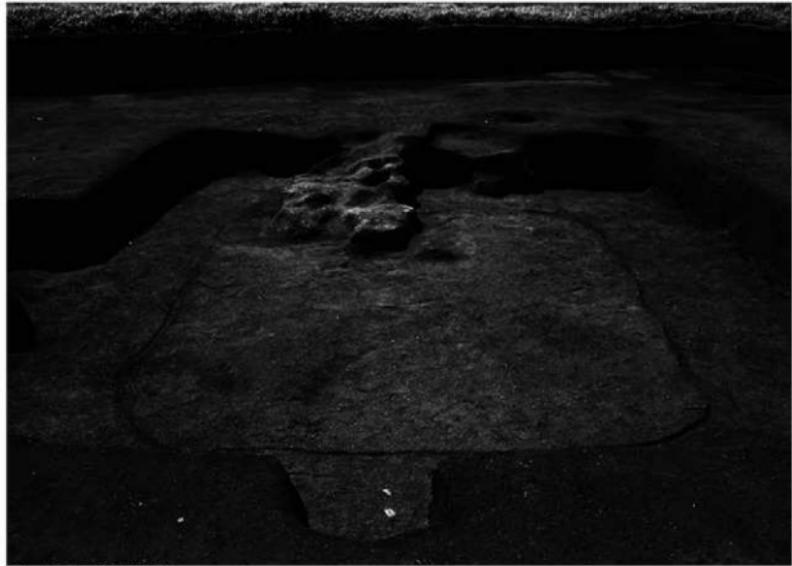
5区第3号溝状遺構セクション



5区第5号溝状遺構セクション



5区第7号溝状遺構セクション



6区第1号住居址床面



6区第1号住居址カマド内遺物出土状況



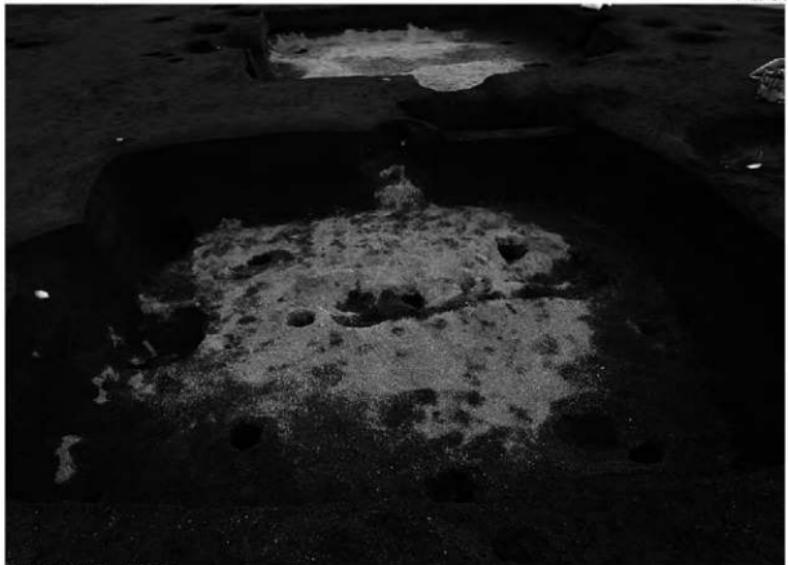
6区第2号住居址棟出状況



6区第2号住居址カマド NS セクション



6区第2号住居址カマド



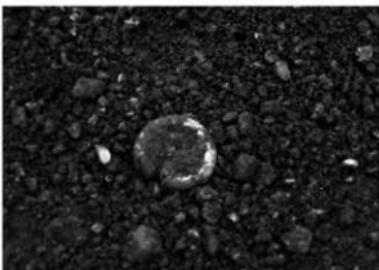
6区第2号住居址完掘



6区第3号住居址完掘



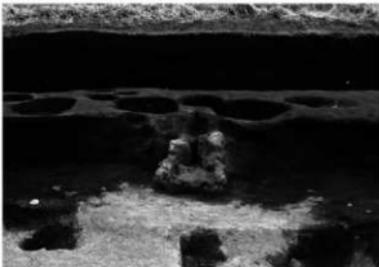
6区第3号住居址床面



6区第4号住居址耳環出土状況



6区第4号住居址完掘



6区第12号住居址カマド検出状況



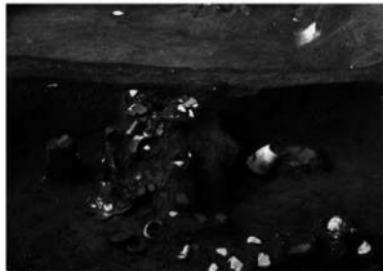
6区第12号住居址完掘



6区第5号住居址カマドセクション



6区第5号住居址カマド



6区第5号住居址カマド付近遺物出土状況



6区第5号住居址土器出土状況



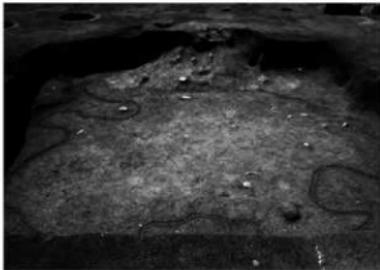
6区第5号住居址遺物出土状況



6区第5号住居址完掘



6区第6号住居址床面・カマド検出状況(1)



6区第6号住居址床面・カマド検出状況(2)



6区第6号住居址紡錘車出土状況



6区第7号住居址カマド



6区第6号住居址完掘



6区第7号住居址完掘



6区第8号住居址遺物出土状況



6区第8号住居址カマド1NS セクション



6区第8号住居址カマド1EW セクション



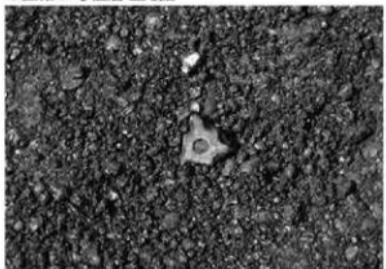
6区第8号住居址カマド2EW セクション



6区第8号住居址完掘



6区第9号住居址完掘



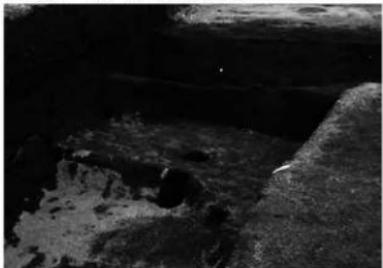
6区第9号住居址铸型出土状况



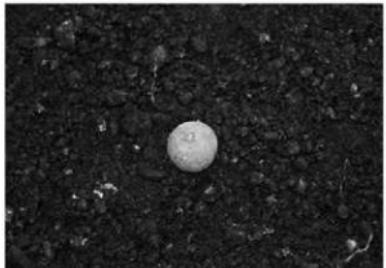
6区第9・10・11号住居址完掘



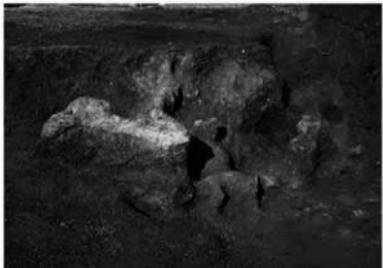
6区第10号住居址完掘



6区第11号住居址完掘



6区第11号住居址小玉出土状况



6区第14号住居址カマド EW セクション

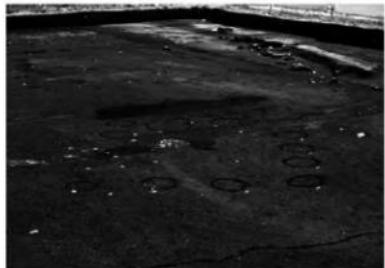
P.L. 38



6区第13号住居址完掘



6区第14号住居址完掘



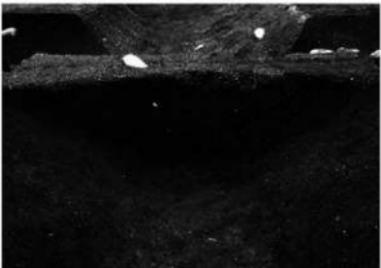
6区第1号掘立柱建物址検出状況



6区第1号溝状遺構出土状況



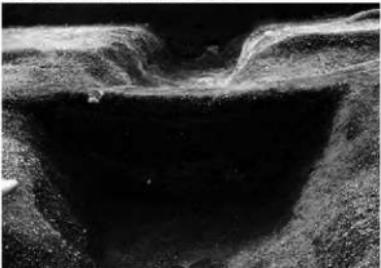
6区第2号溝状遺構出土状況



6区第3号溝状遺構セクション



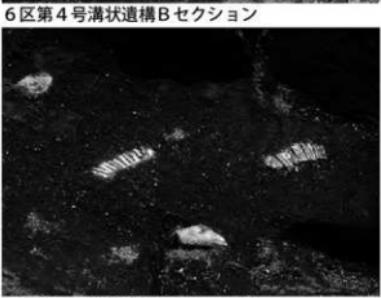
6区第4号溝状遺構Aセクション



6区第4号溝状遺構Bセクション



6区第4号溝状遺構出土状況



6区第4号溝状遺構馬歯出土状況

P.L. 40



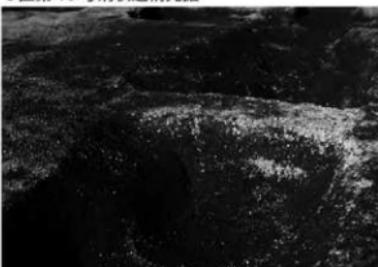
6区第5号溝状遺構セクション



6区第10号溝状遺構完掘



6区第11号溝状遺構セクション



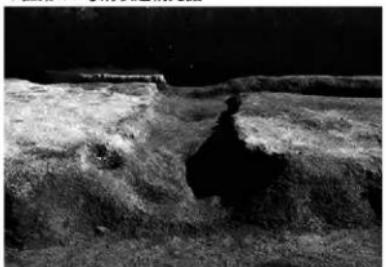
6区第11号溝状遺構セクション



6区第11号溝状遺構完掘



6区第13号溝状遺構完掘



6区第14号溝状遺構完掘



6区遺構外ガラス小玉鋳型出土状況



4区第1号住居址完掘



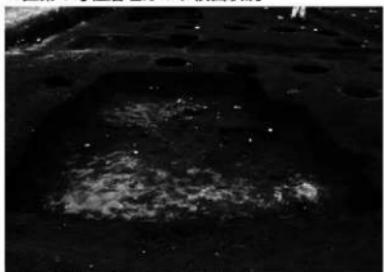
4区第1号住居址遺物出土状況



4区第1号住居址カマド検出状況



4区第2号住居址カマド粘土検出状況



4区第2号・第3号住居址床面



4区第2号住居址遺物検出状況



4区第3号住居址 NS セクション



4区第3号住居址カマド EW セクション



4区第4号住居址柱穴検出状況



4区第4号住居址遺物出土状況



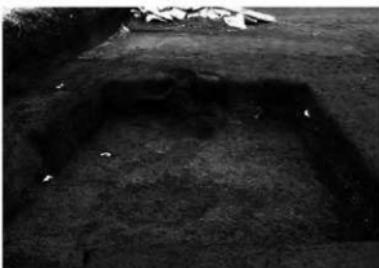
4区第2号・第3号住居址完掘



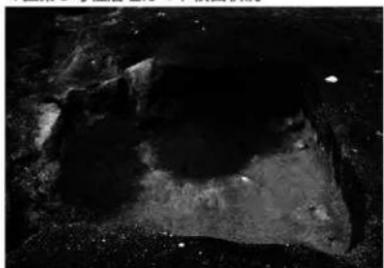
4区第4号住居址完掘



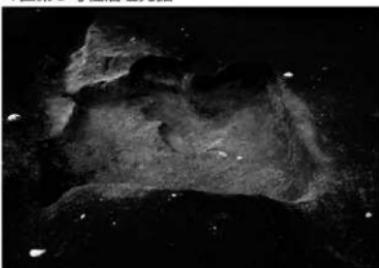
4区第5号住居址カマド検出状況



4区第5号住居址完掘



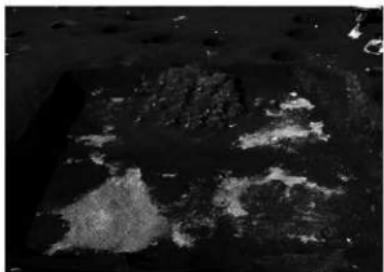
4区第6号住居址床面



4区第6号住居址完掘



4区第7号住居址遺物出土状況



4区第7号住居址床面



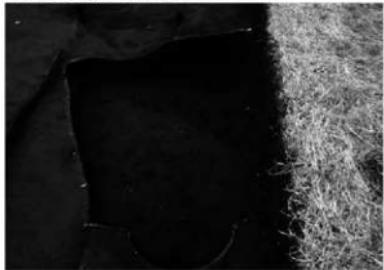
4区第7号住居址完掘



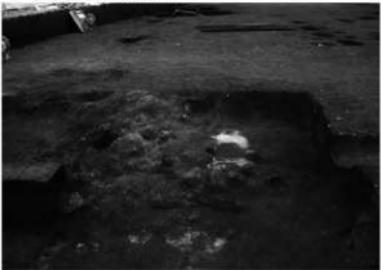
4区第8号住居址床面



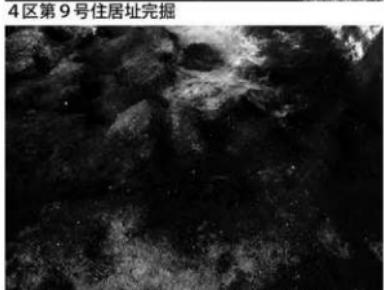
4区第8号住居址完掘



4区第9号住居址完掘



4区第10号住居址カマド粘土候出状況



4区第10号住居址炭化物・焼土検出状況



4区第10号住居址完掘



4区第11号住居址遺物出土状況



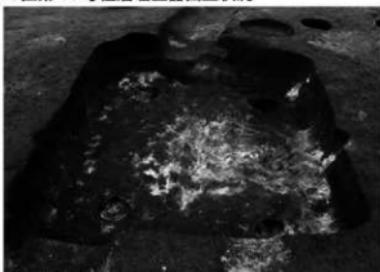
4区第11号住居址床面



4区第11号住居址土器出土状況



4区第12号住居址カマド粘土検出状況



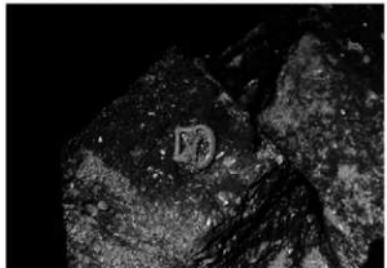
4区第12号住居址完掘



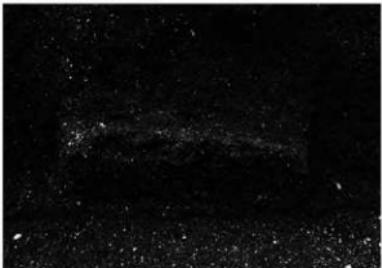
4区第14号住居址カマド検出状況



4区第14号住居址遺物出土状況



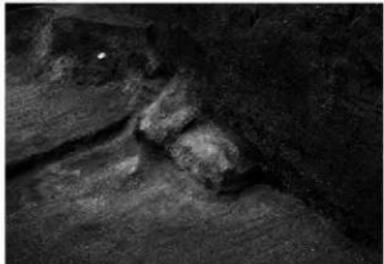
4区第14号住居址鉗具出土状況



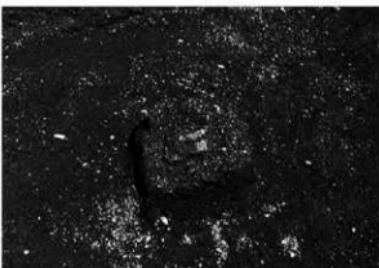
4区第14号住居址刀子出土状況



4区第14号住居址完掘



4区第22号住居址カマド検出状況



4区第22号住居址鉄斧出土状況



4区第22号住居址完掘



4区第15号住居址遺物出土状況



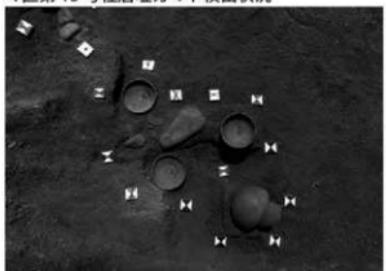
4区第15号住居址完掘



4区第15号住居址カマド検出状況



4区第15号住居址カマド芯材出土状況



4区第15号住居址遺物出土状況



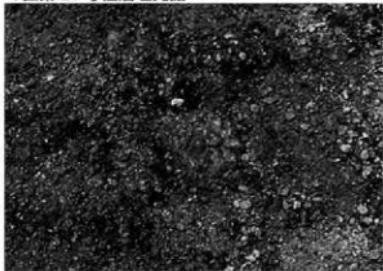
4区第16号住居址カマド粘土検出状況



4区第16号住居址完掘



4区第21号住居址完掘



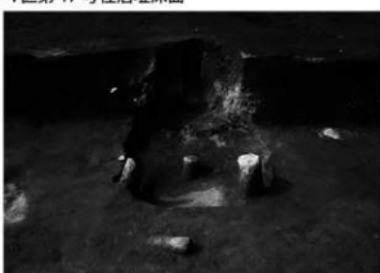
4区第21号住居址分鉄出土状況



4区第17号住居址床面



4区第17号住居址カマド土器出土状況



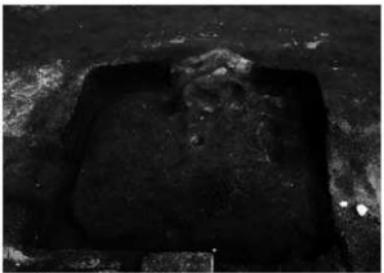
4区第17号住居址カマド内部



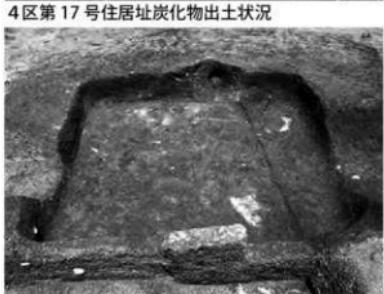
4区第17号住居址柱穴検出状況



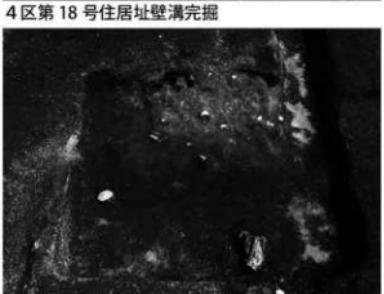
4区第17号住居址炭化物出土状況



4区第18号住居址壁溝完掘



4区第18号住居址完掘



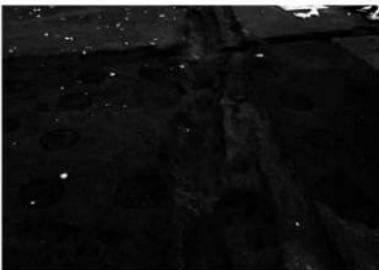
4区第20号住居址カマド粘土検出状況



4区第20号住居址完掘



4区第1号掘立柱建物址完掘



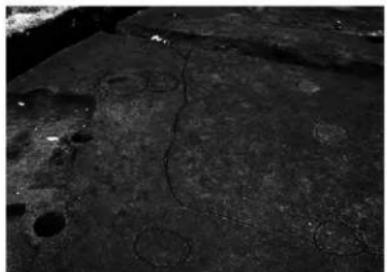
4区第2号掘立柱建物址検出状況



4区第3号掘立柱建物址完掘



4区第4号掘立柱建物址完掘



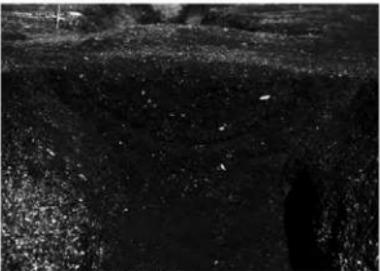
4区第5号掘立柱建物址検出状況



4区第1号溝状遺構出土状況



4区第1・12・13号溝状遺構セクション



4区第2号溝状遺構セクション



4区第3号溝状遺構セクション



4区第4号溝状遺構セクション

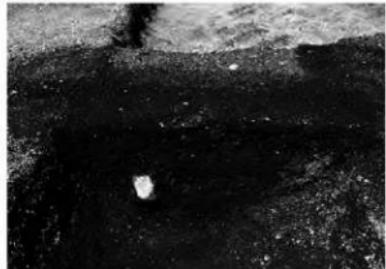


4区第5号溝状遺構セクション



4区第8号溝状遺構セクション

P.L. 54



4区第15号溝状遺構セクション



4区第18号溝状遺構セクション



4区第19・20号溝状遺構セクション



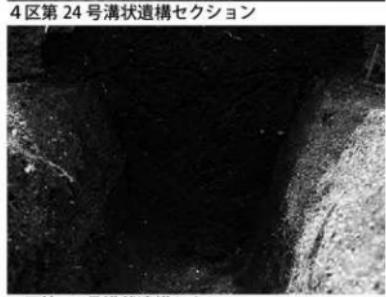
4区第23号溝状遺構セクション



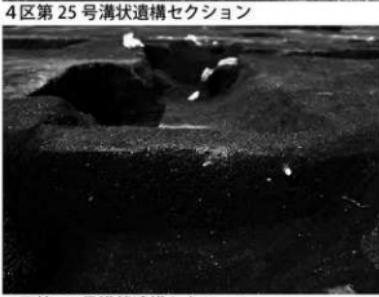
4区第24号溝状遺構セクション



4区第25号溝状遺構セクション



4区第27号溝状遺構セクション



4区第28号溝状遺構セクション



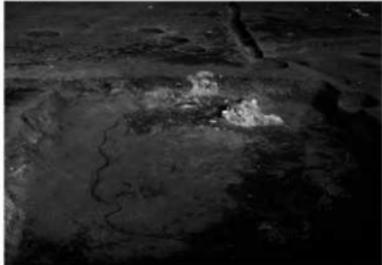
4区第29号溝状遺構セクション



4区第1号不明遺構セクション



4区第31号溝状遺構出土状況



7区第1号住居址床面



7区第1号住居址カマド



7区第1号住居址遺物出土状況



7区第2号住居址カマド



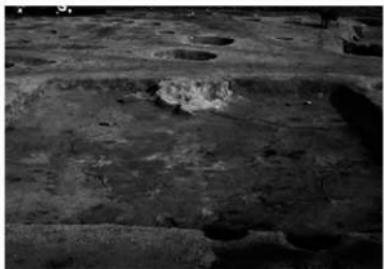
7区第1号住居址完掘



7区第2号住居址完掘



7区第3号住居址床面



7区第4号住居址床面



7区第4号住居址カマド遺物出土状況



7区第4号住居址カマド

P.L. 58



7区第3号住居址完掘



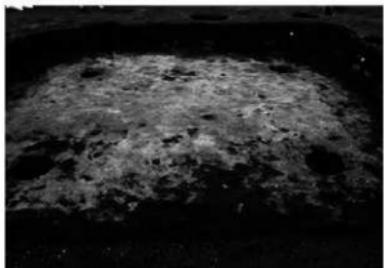
7区第4号住居址完掘



7区第5号住居址床面



7区第5号住居址カマド



7区第5号住居址完掘



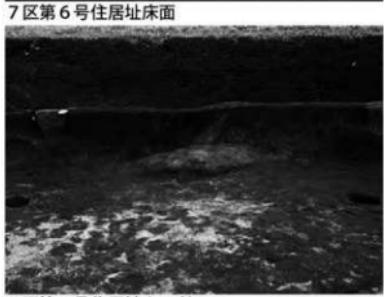
7区第6号住居址床面



7区第6号住居址床面



7区第6号住居址カマド 1



7区第6号住居址カマド 2



7区第6号住居址カマド 1 遺物出土状況



7区第6号住居址完掘



7区第7号住居址床面



7区第7号住居址完掘



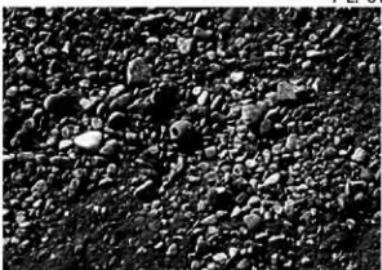
7区第8号住居址カマド



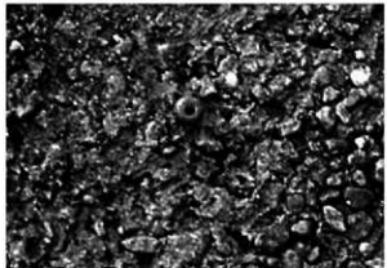
7区第8号住居址遺物出土状況



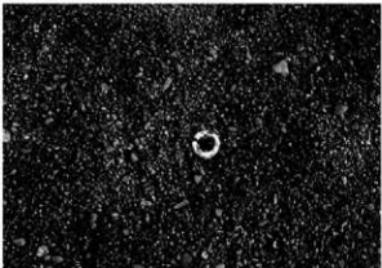
7区第8号住居址管玉出土状況



7区第8号住居址丸玉出土状況



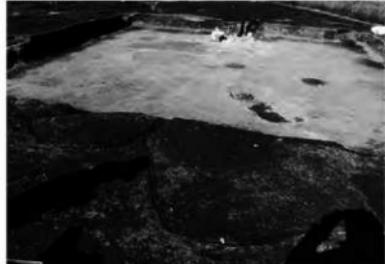
7区第8号住居址ガラス小玉出土状況



7区第8号住居址耳環出土状況



7区第8号住居址完掘



7区第35・36号住居址検出状況



7区第36号住居址完掘



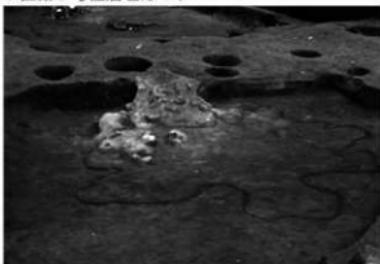
7区第9号住居址床面



7区第9号住居址カマド



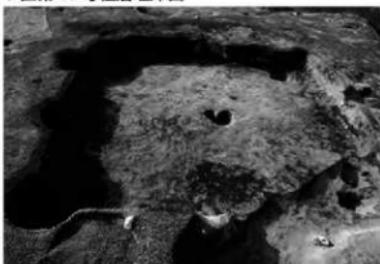
7区第9号住居址完掘



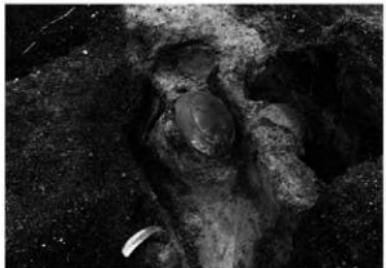
7区第10号住居址床面



7区第10号住居址カマド



7区第10号住居址完掘



7区第11号住居址カマド遺物出土状況



7区第11号住居址カマド



7区第12号住居址床面



7区第12号住居址カマド



7区第11・12号住居址完掘



7区第12号住居址完掘



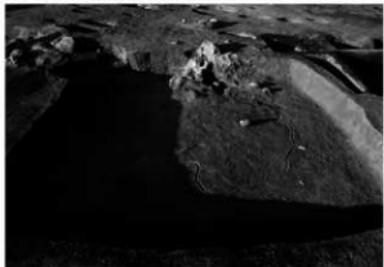
7区第14号住居址床面



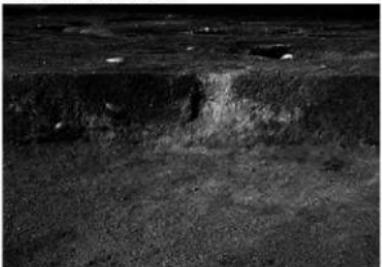
7区第14号住居址カマド



7区第14号住居址完掘



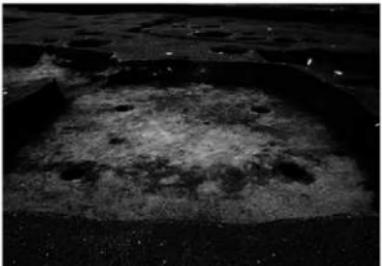
7区第15号住居址床面



7区第15号住居址カマド完掘



7区第15号住居址集中礫



7区第15号住居址完掘



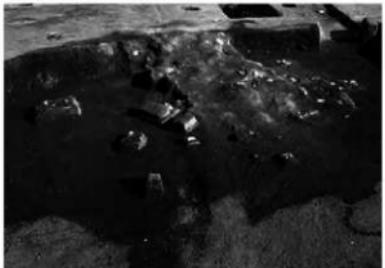
7区第16号住居址床面



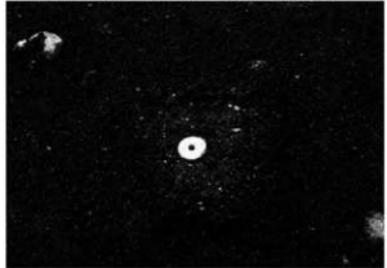
7区第16号住居址カマド



7区第16号住居址カマド付近遺物出土状況



7区第16号住居址遺物出土状況



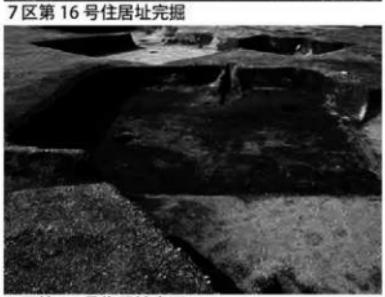
7区第16号住居址紡錘車出土状況



7区第16号住居址完掘



7区第17号住居址カマド



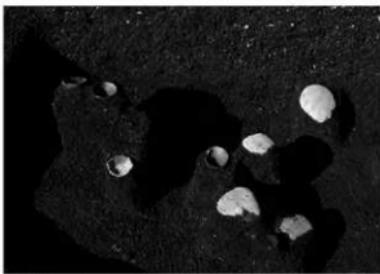
7区第17号住居址床面



7区第17号住居址完掘



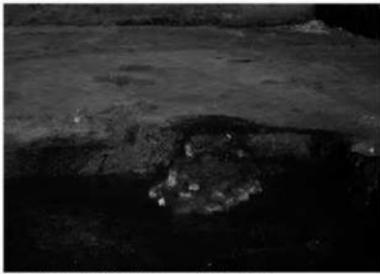
7区第18号住居址床面



7区第18号住居址出土状况



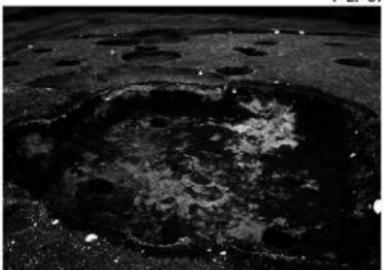
7区第18号住居址完掘



7区第19号住居址カマド検出状况



7区第19号住居址カマド



7区第19号住居址完掘



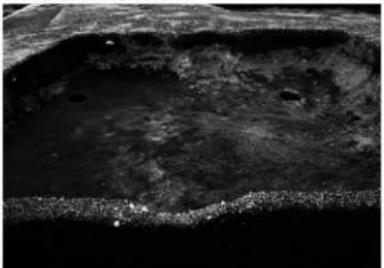
7区第20号住居址床面



7区第20号住居址カマド



7区第20号住居址遺物出土状況



7区第20号住居址完掘



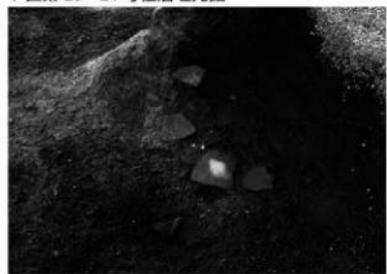
7区第21号住居址床面



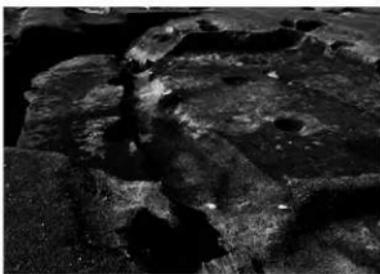
7区第21号住居址カマド



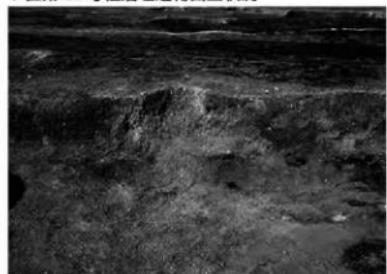
7区第20・21号住居址完掘



7区第22号住居址遺物出土状況



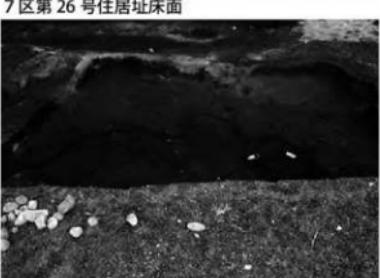
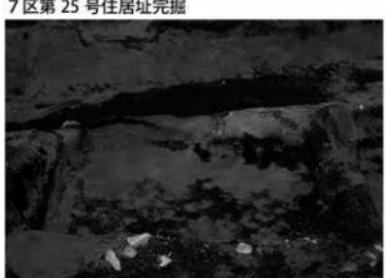
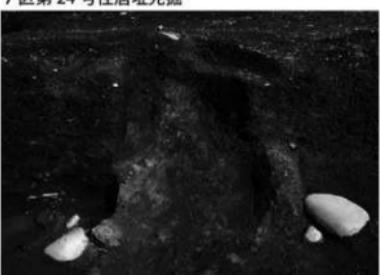
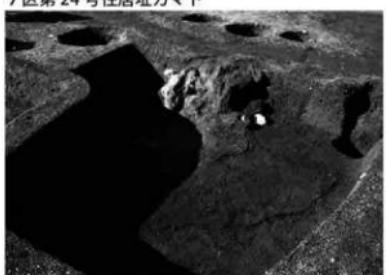
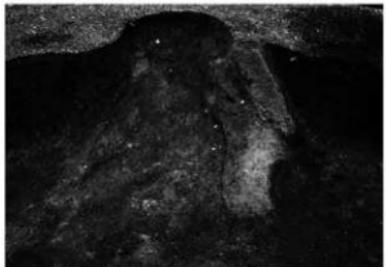
7区第22号住居址完掘



7区第23号住居址カマド完掘



7区第24号住居址床面





7区第27号住居址カマド



7区第27号住居址遺物出土状況



7区第39号住居址カマド



7区第39号住居址カマド完掘



7区第27号住居址完掘



7区第28号住居址床面



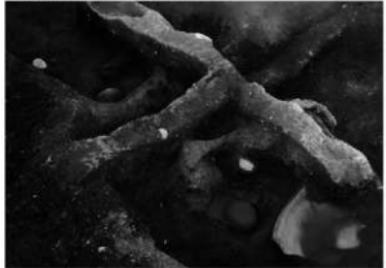
7区第28号住居址完掘



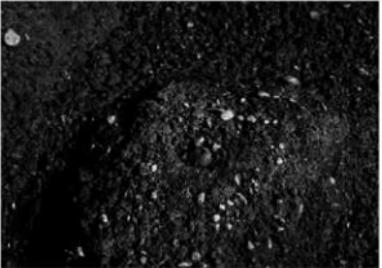
7区第29号住居址遺物出土状況



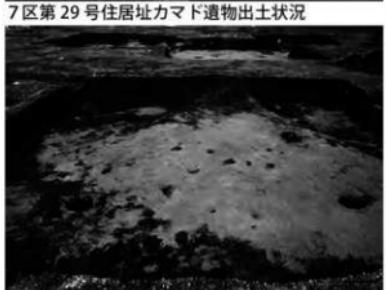
7区第29号住居址カマド



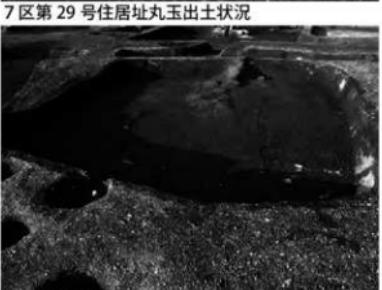
7区第29号住居址カマド遺物出土状況



7区第29号住居址丸玉出土状況

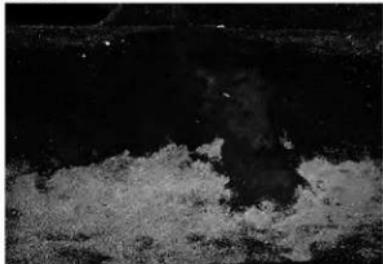


7区第29号住居址完掘



7区第30号住居址床面

P.L. 72



7区第30号住居址カマド



7区第30号住居址完掘



7区第31号住居址カマド



7区第31号住居址完掘



7区第32号住居址検出



7区第32号住居址完掘



7区第33号住居址完掘



7区第34号住居址完掘



7区第1号掘立柱建物址完掘



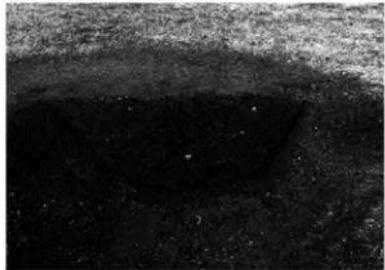
7区第3号掘立柱建物址



7区第4号掘立柱建物址完掘



7区第1・25号溝状遺構



7区第3号溝状遺構セクション



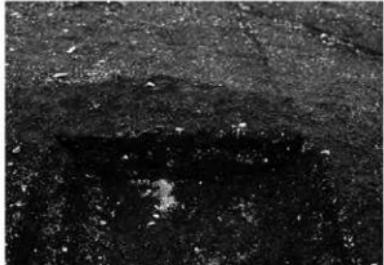
7区第4・5・7・8号溝状遺構完掘



7区第5号溝状遺構セクション



7区第5号溝状遺構骨出土状況



7区第6号溝状遺構セクション



7区第7号溝状遺構セクション



7区第9号溝状遺構セクション



7区第10号溝状遺構セクション



7区第11号溝状遺構完掘



7区第12号溝状遺構セクション



7区第13号溝状遺構セクション



7区第14号溝状遺構セクション



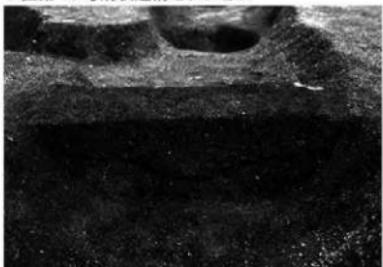
7区第15号溝状造構セクション



7区第16号溝状造構セクション



7区第17号溝状造構セクション



7区第18号溝状造構セクション



7区第21号溝状造構完掘



7区第22号溝状造構セクション



7区第23号溝状造構セクション



7区第25号溝状造構セクション

P.L. 76



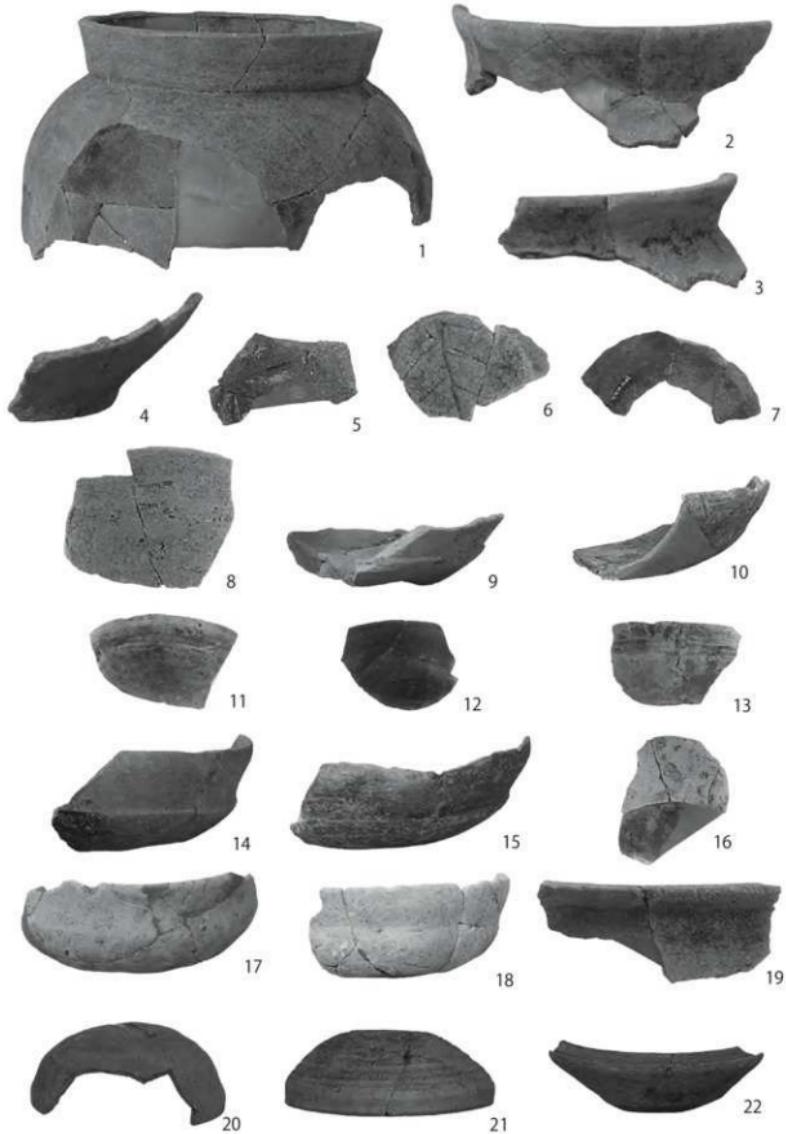
7区溝状遺構群



7区第1号不明遺構（1）



7区第1号不明遺構（2）



3区第1号住居址出土土器 (1)

P.L. 78



23



24



25

3区第1号住居址出土土器 (2)



1

3区第2号住居址出土土器



1



2



3



4



5

3区第3号住居址出土土器



1



2

3区第4号住居址出土土器



1



2



3



4



5



7

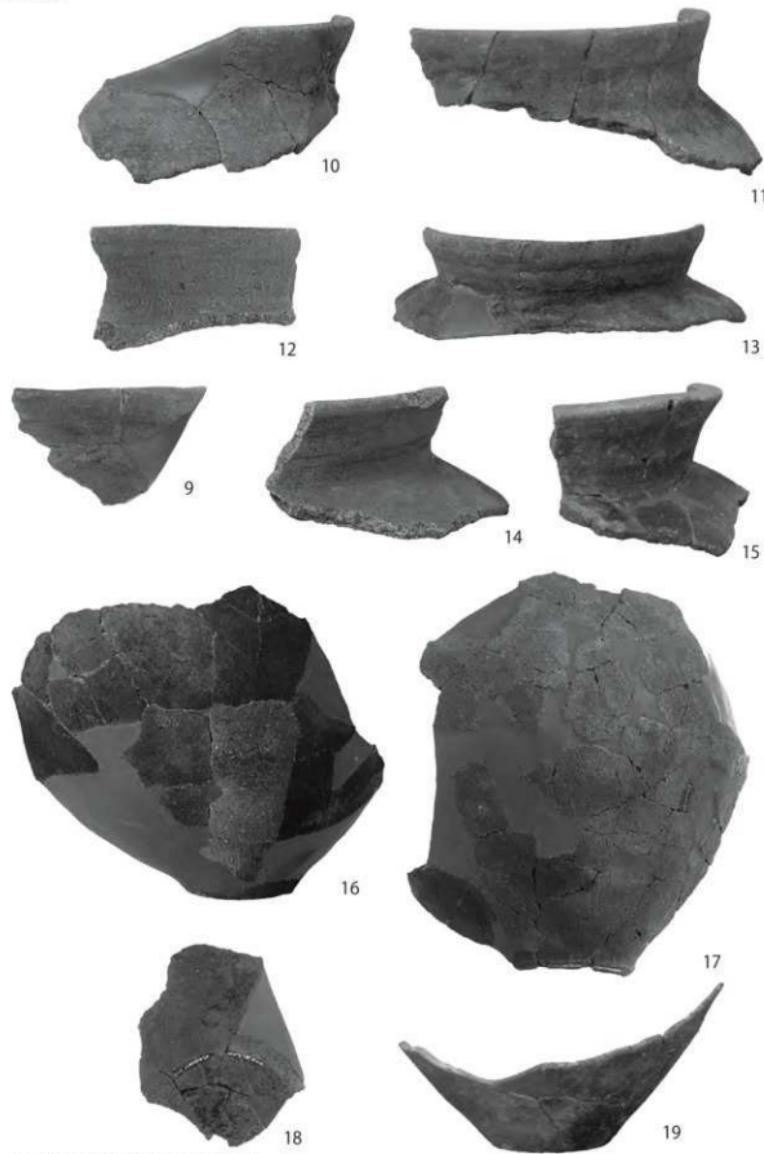


6

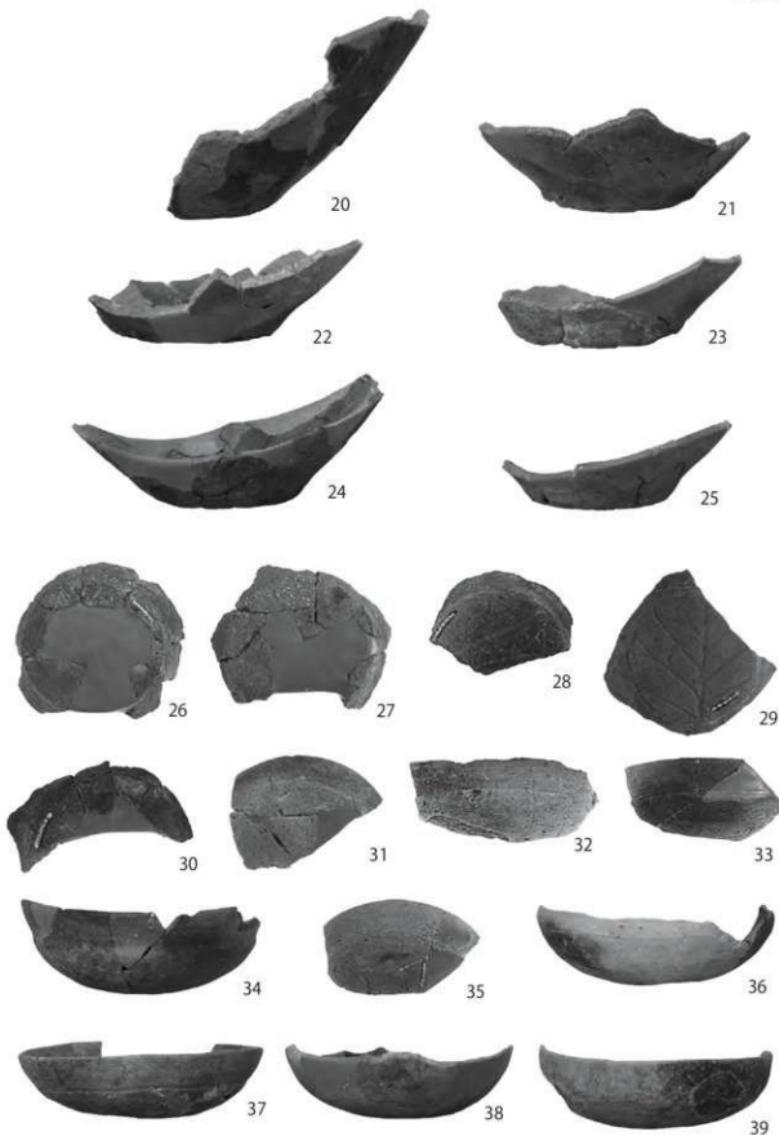


8

3区第6号住居址出土土器 (1)

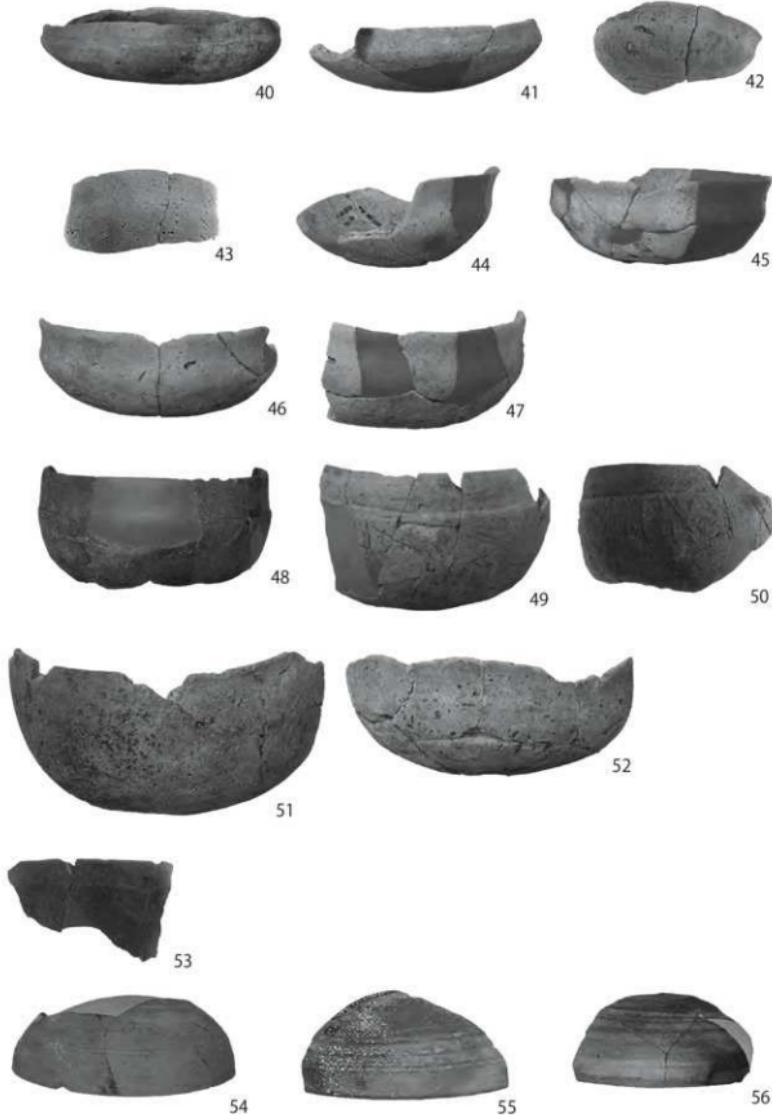


3区第6号住居址出土土器（2）



3区第6号住居址出土土器 (3)

P.L. 82



3区第6号住居址出土土器 (4)

P L. 83



57



58



59



60



61



62



63



64



65



66



67



68



69



70



71



72



73



74

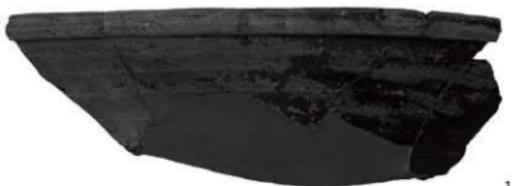
3区第6号住居址出土土器（5）



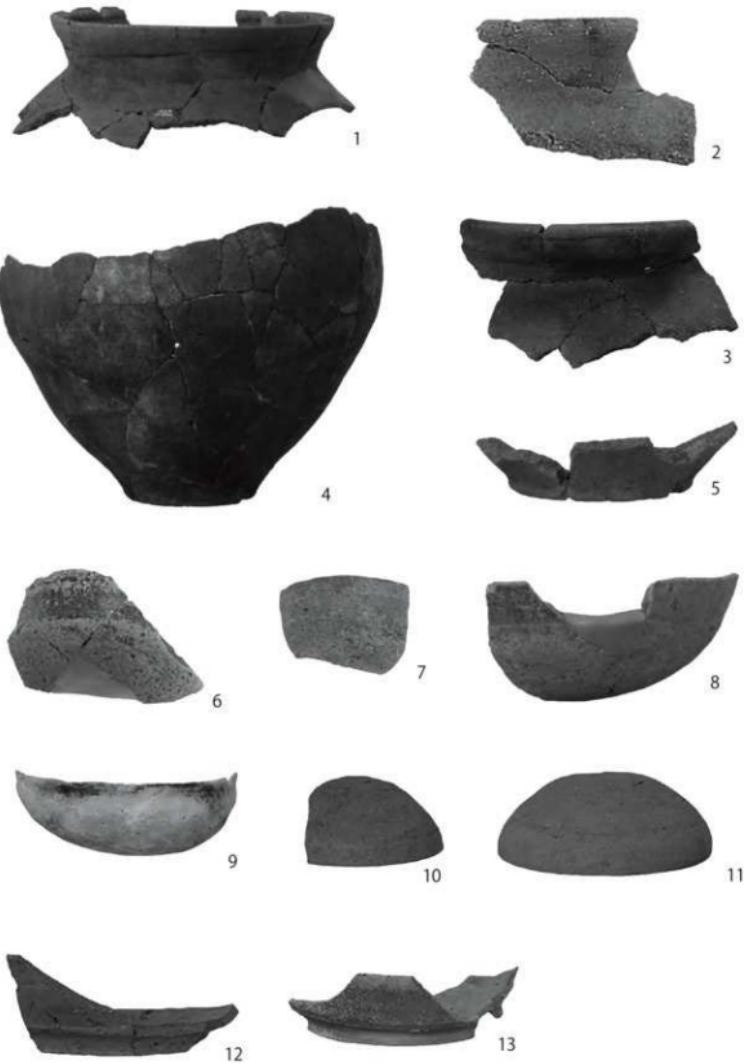
3区第7号住居址出土土器



3区第7号溝状遺構出土土器



3区遺構外出土土器



8区第3号住居址出土土器



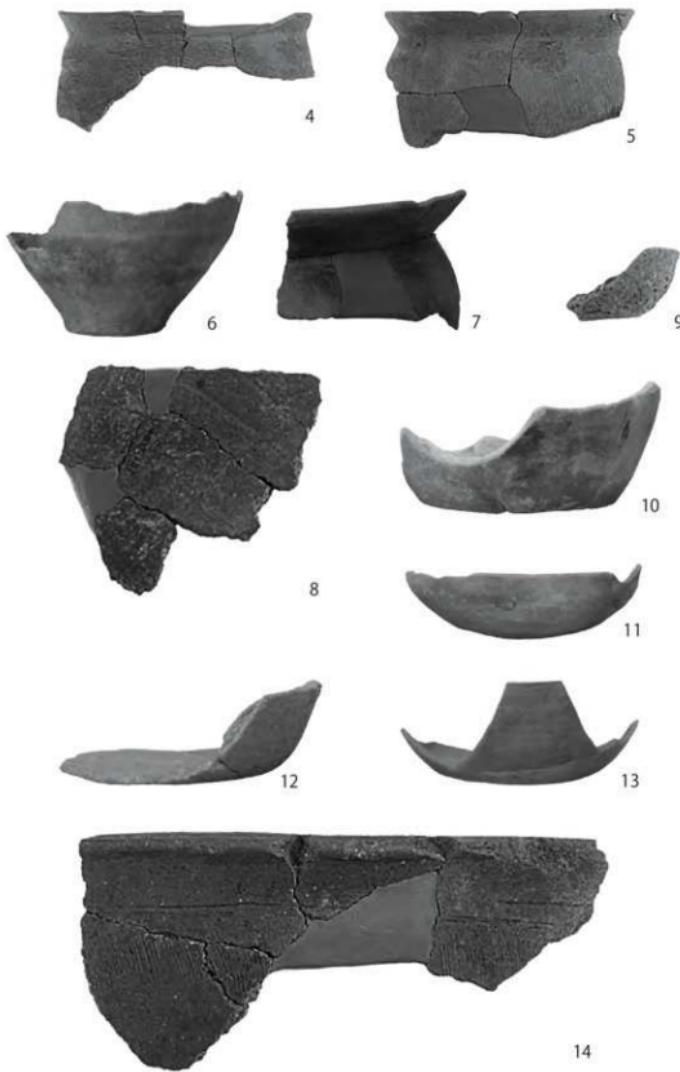
8区第5号住居址出土土器



8区第6号住居址出土土器

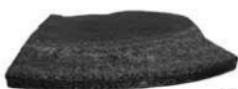
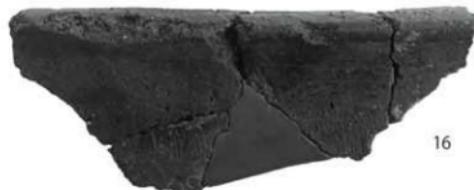


8区第7号住居址出土土器（1）



8区第7号住居址出土土器（2）

P L. 88



8区第7号住居址出土土器（3）



1



2



3



4



5



6



7



8



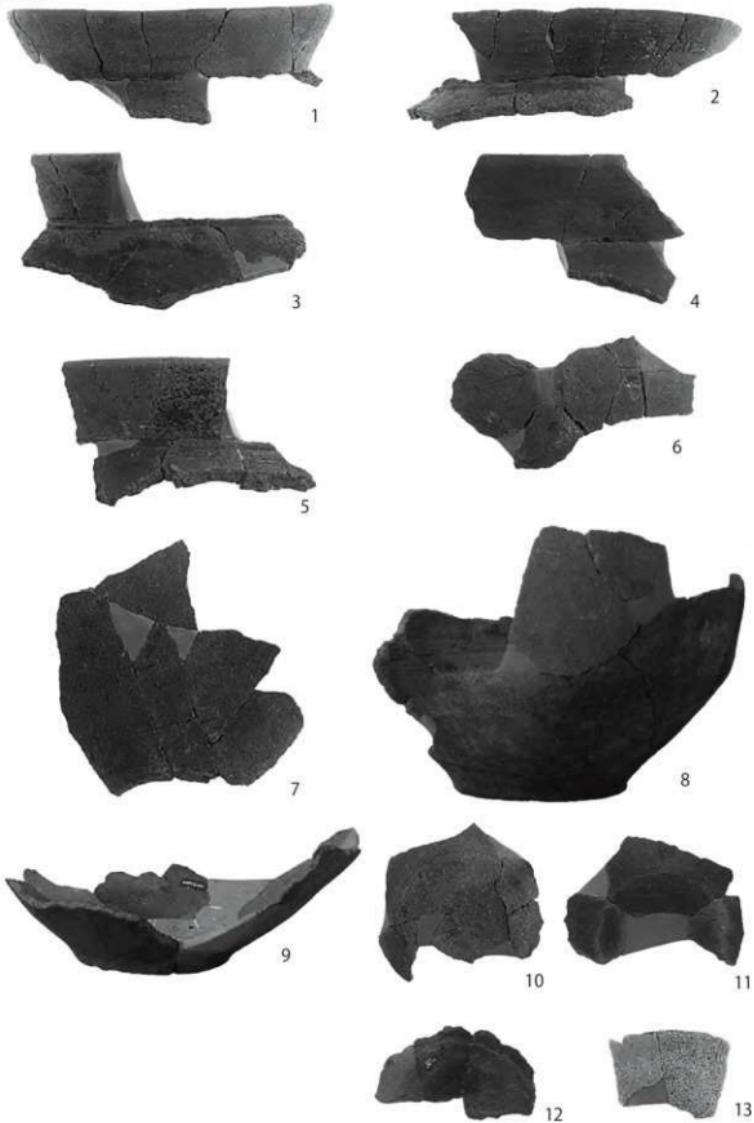
9



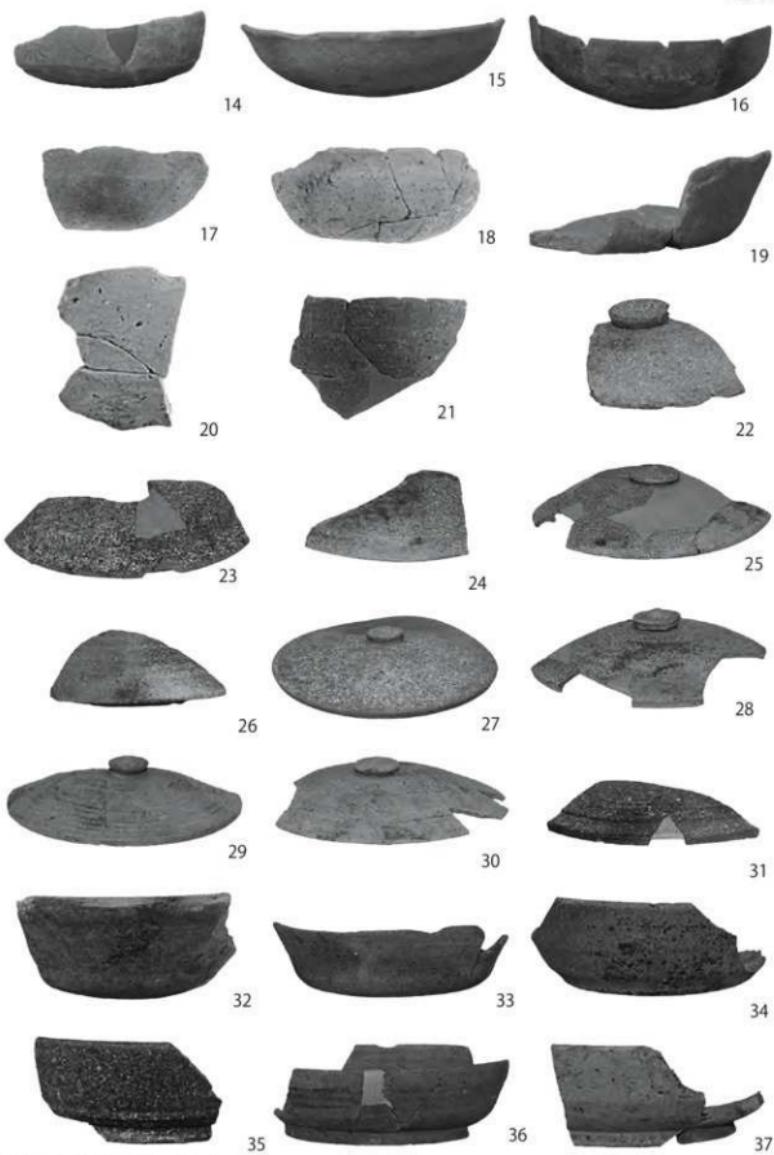
10



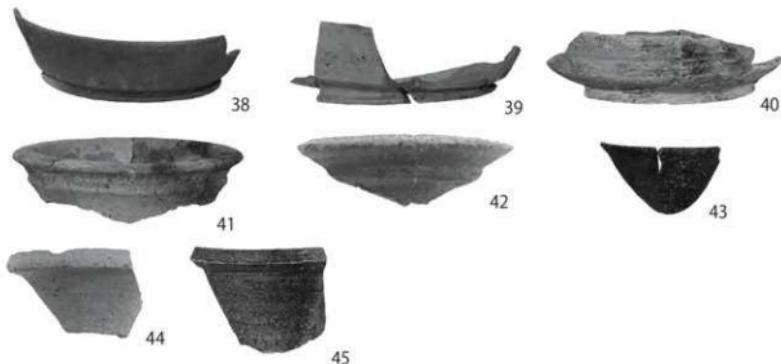
11



8区第8号住居址出土土器 (1)



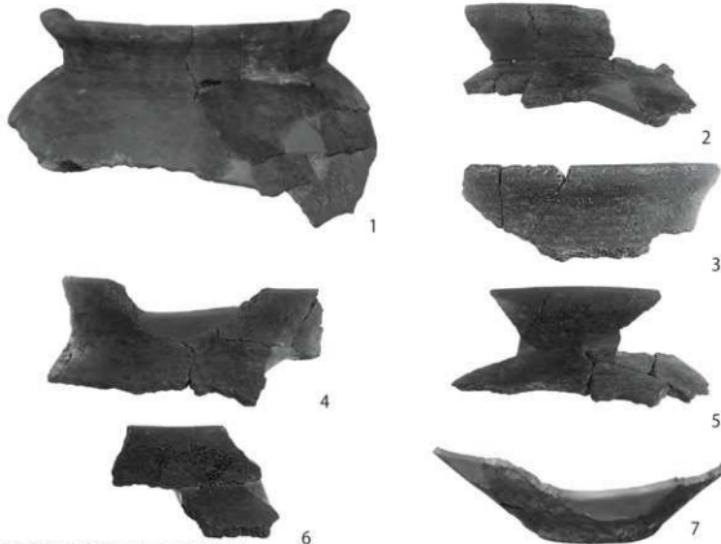
8区第8号住居址出土土器 (2)



8区第8号住居址出土土器 (3)



8区第16号住居址出土土器



8区第9号住居址出土土器 (1)

8区第9号住居址出土土器（2）



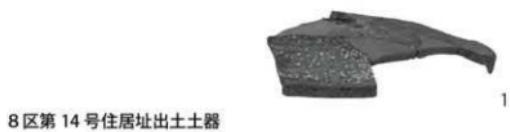
8区第12号住居址出土土器



8区第10号住居址出土土器



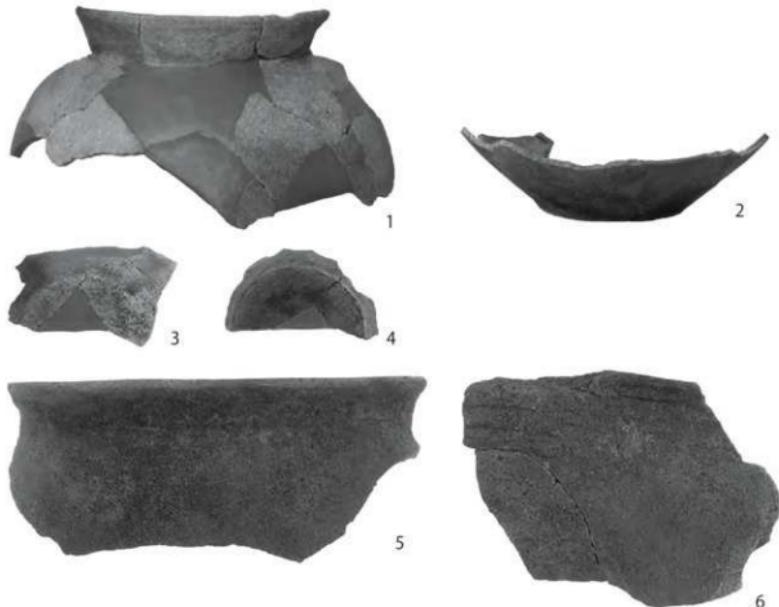
8区第11号住居址出土土器



8区第14号住居址出土土器



5区第1号住居址出土土器

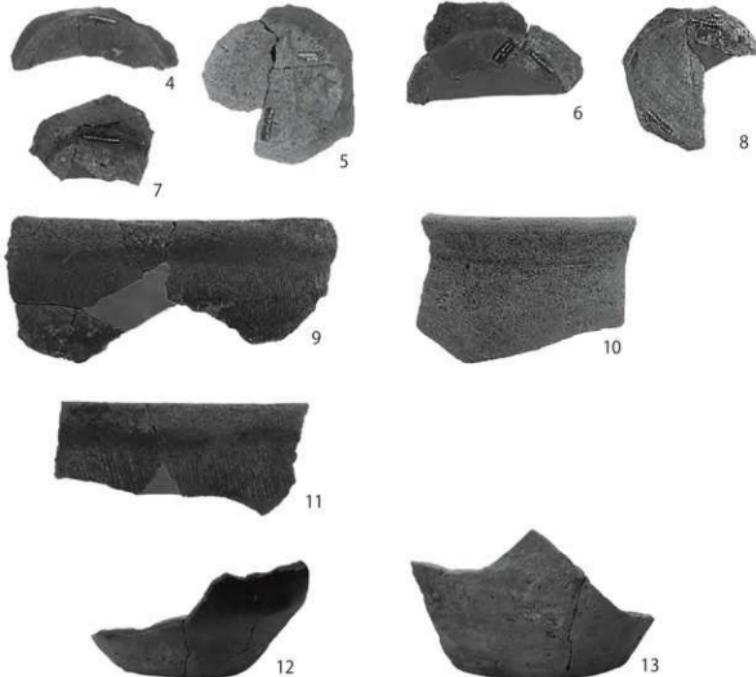


5区第2号住居址出土土器



5区第3号住居址出土土器 (1)

P.L. 96



5区第3号住居址出土土器 (2)



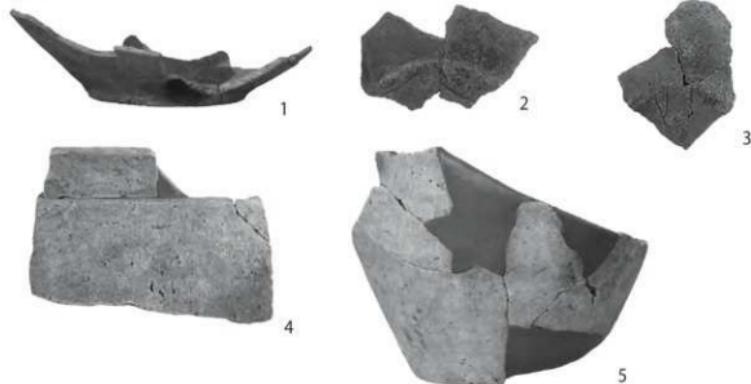
5区第4号住居址出土土器



5区第5号住居址出土土器



5区第6号住居址出土土器



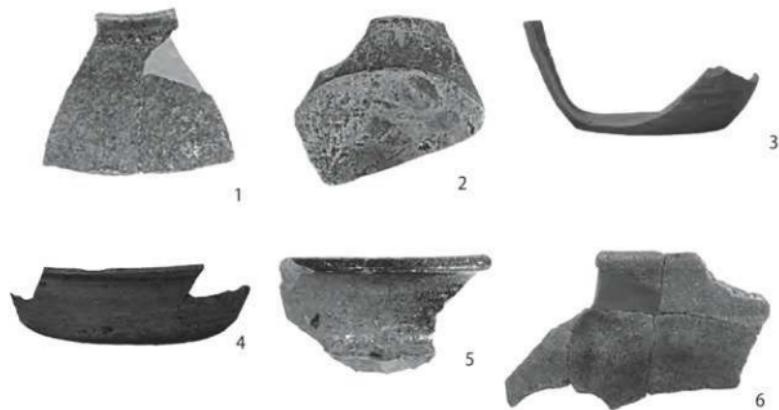
5区第7号住居址出土土器



5区第8号住居址出土土器 (1)



5区第8号住居址出土土器（2）



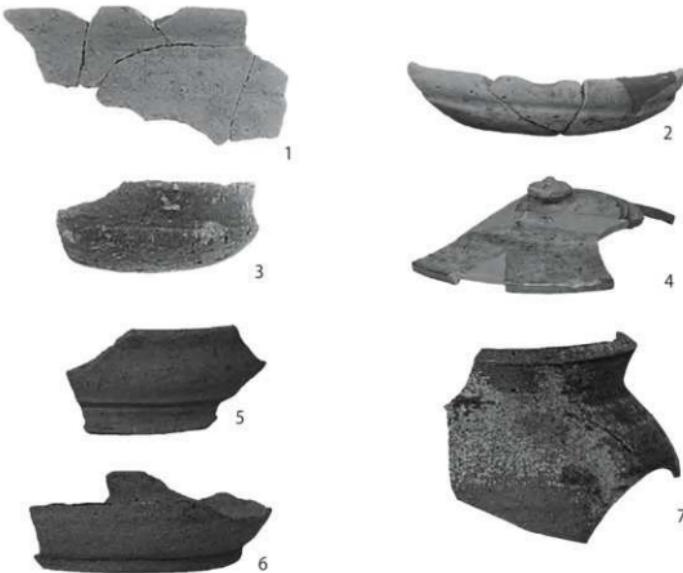
8区溝状遺構出土土器



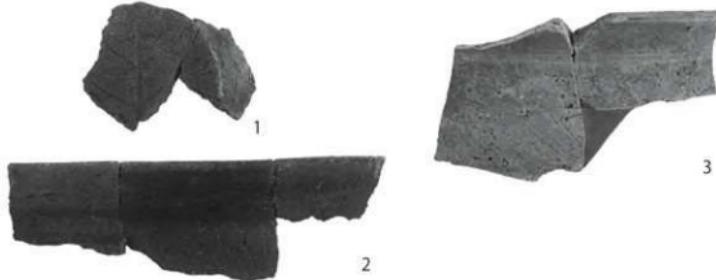
8区ピット出土土器



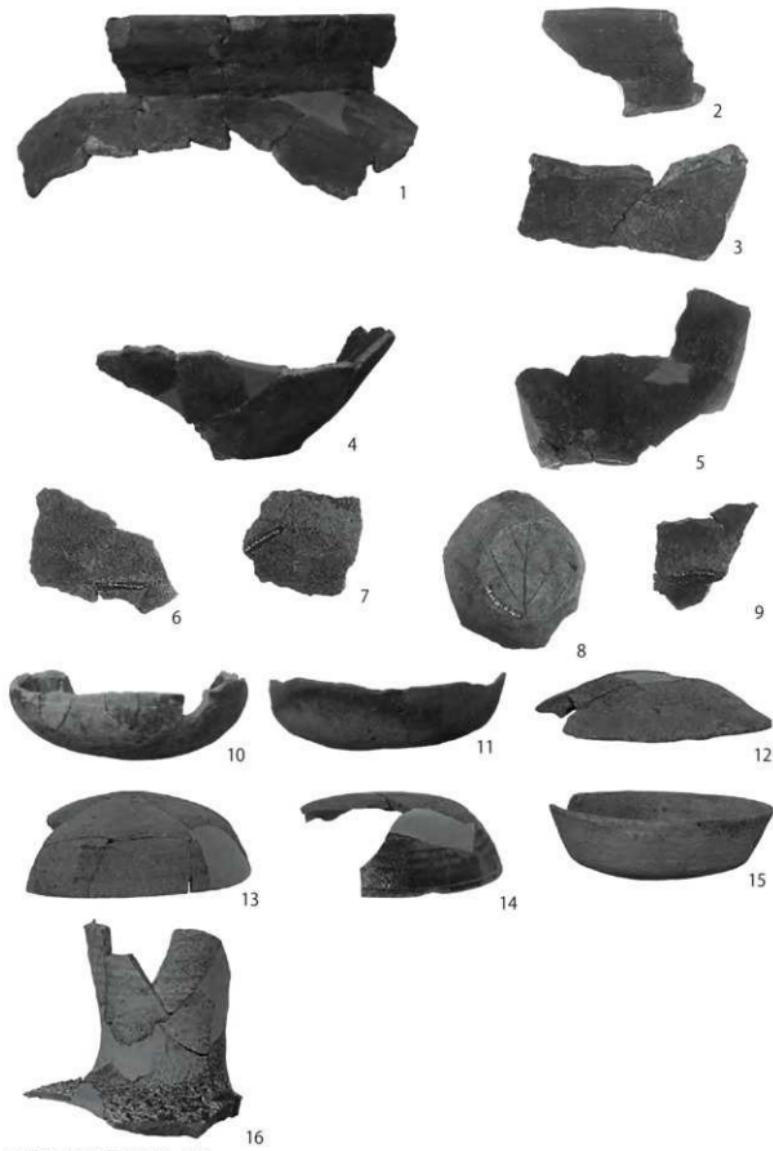
8区第1号不明遗構出土土器



8区遗構外出土土器



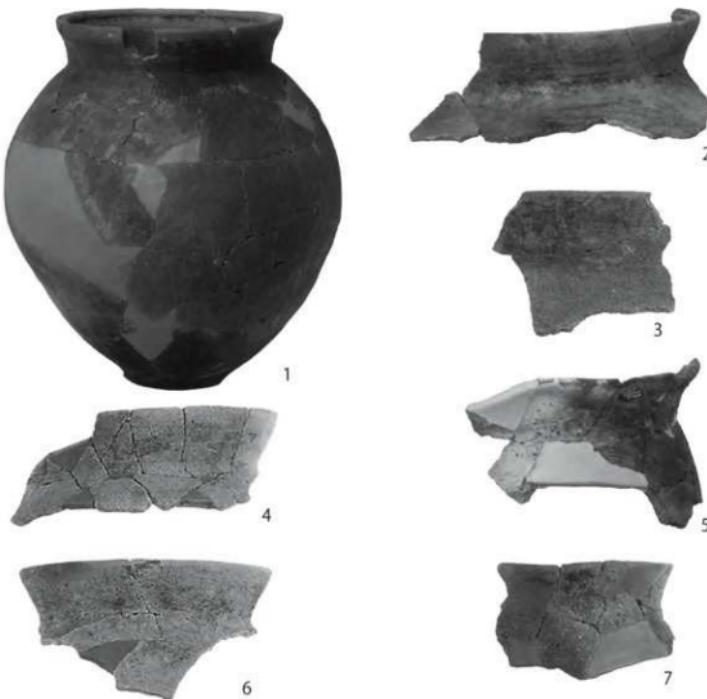
5区遗構外出土土器



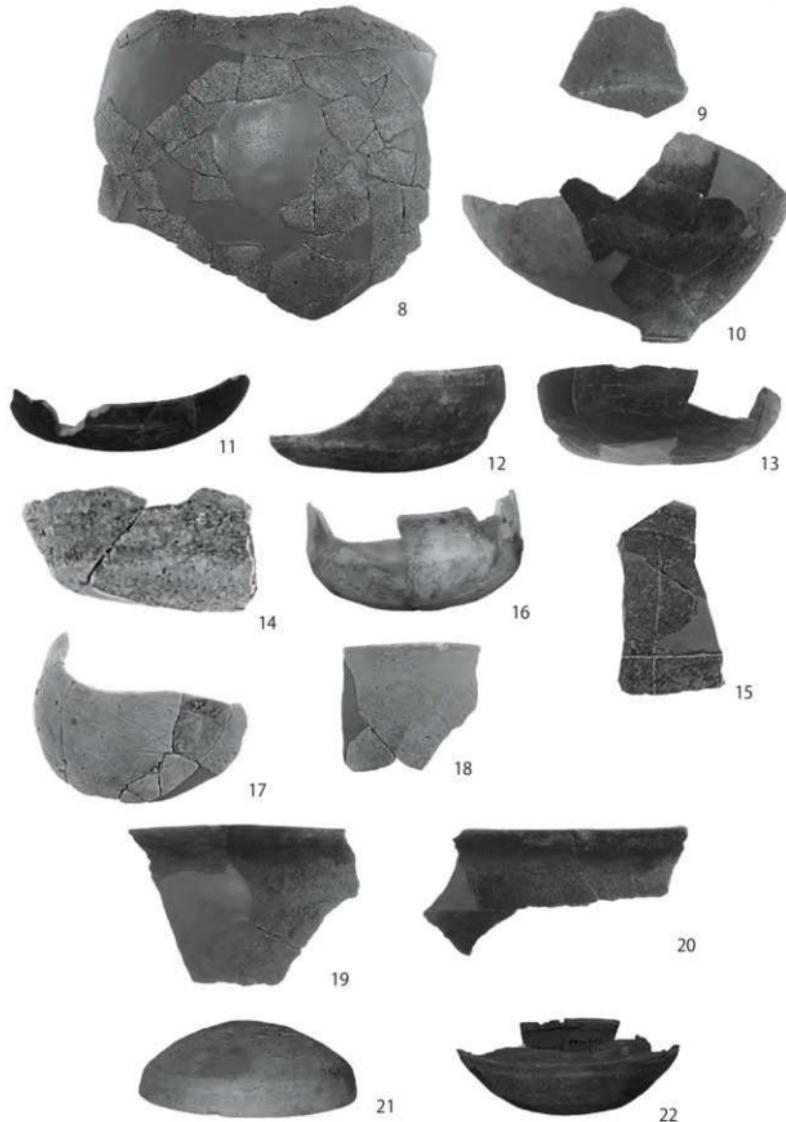
6区第1号住居址出土土器



6区第2号住居址出土土器



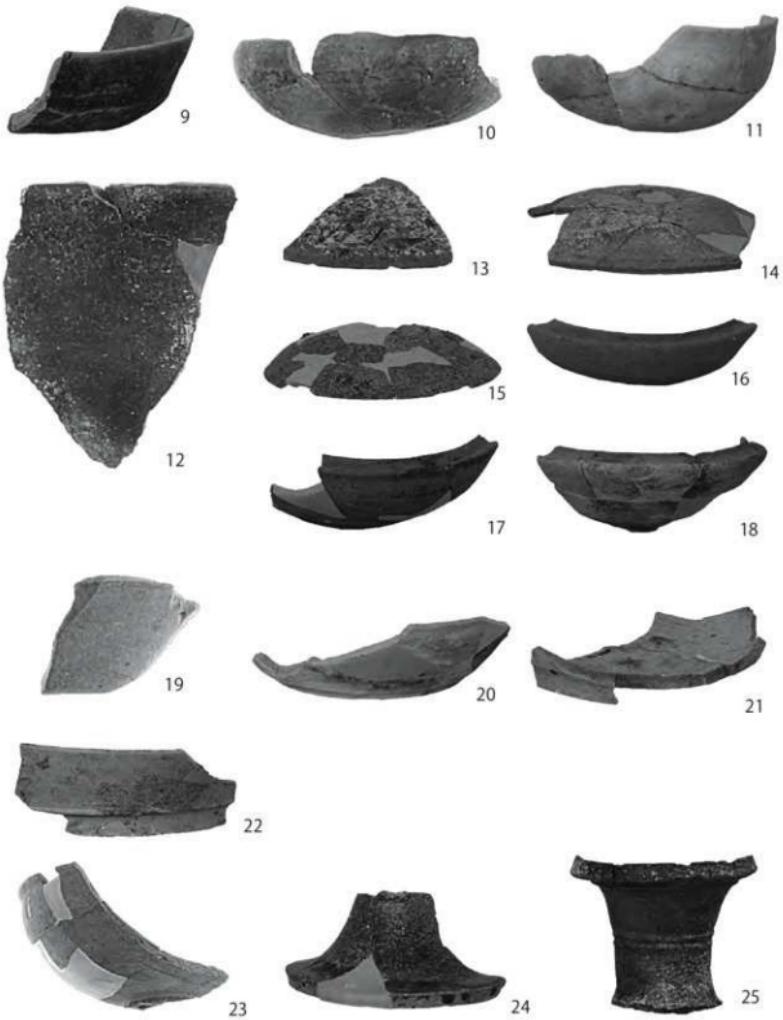
6区第3号住居址出土土器 (1)



6区第3号住居址出土土器 (2)



6区第4号住居址出土土器（1）



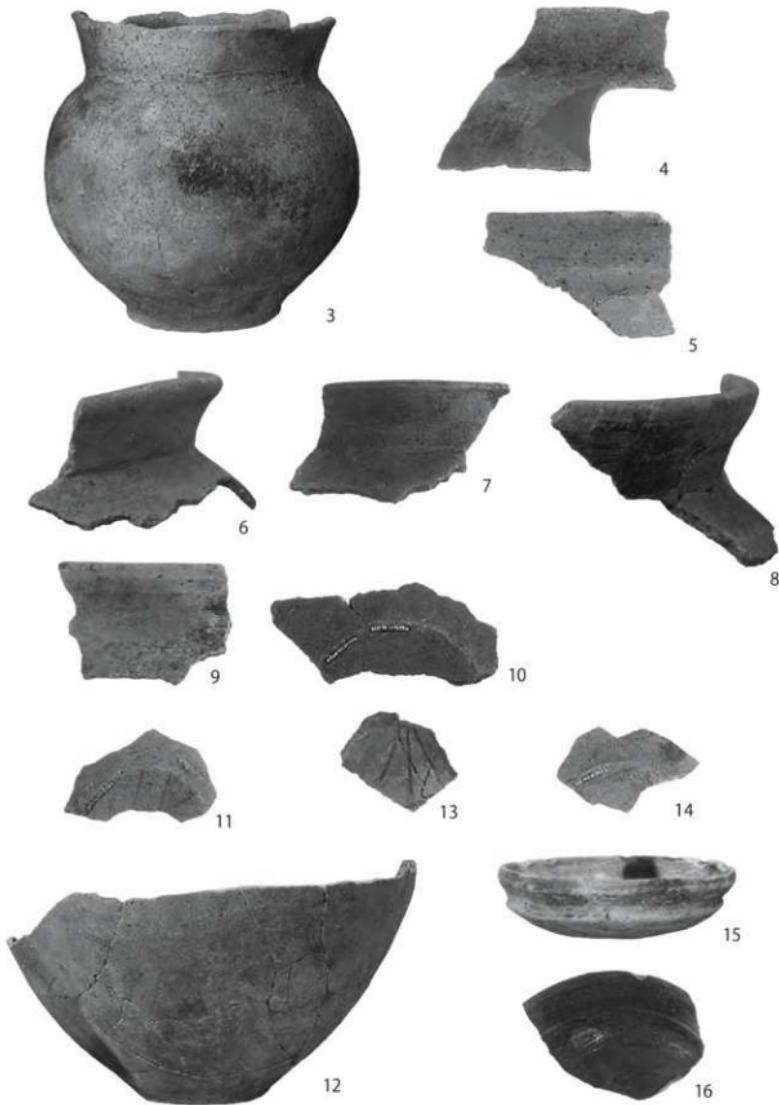
6区第4号住居址出土土器 (2)



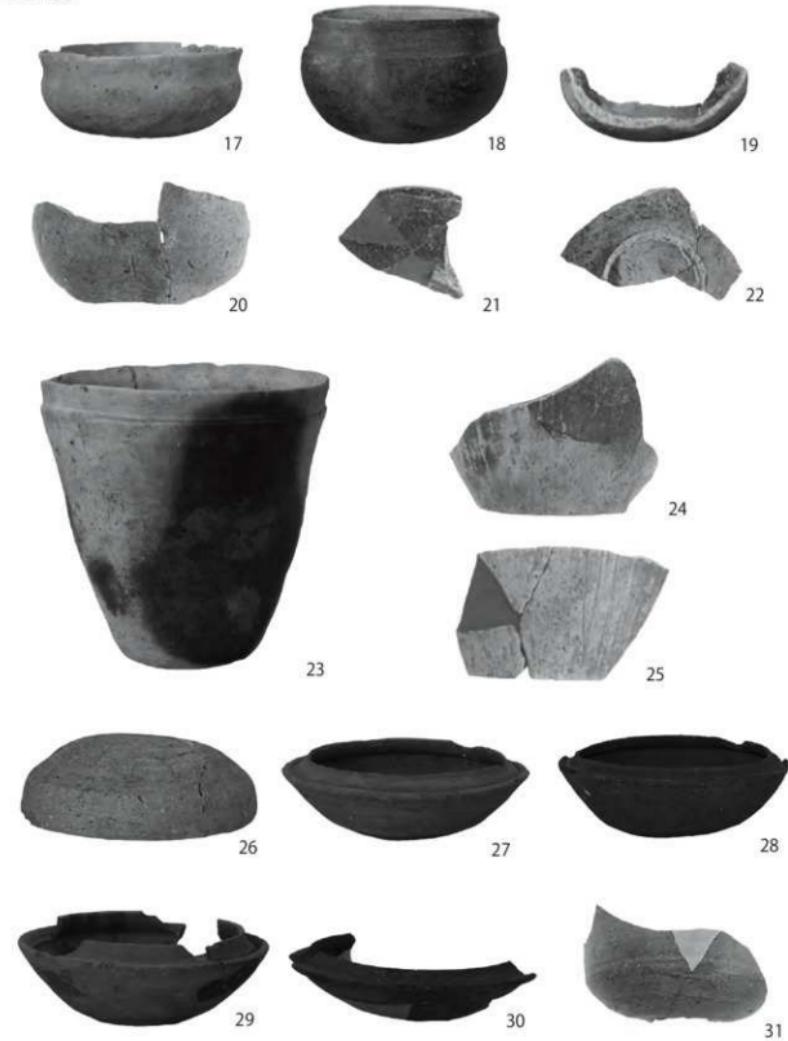
6区第12号住居址出土土器

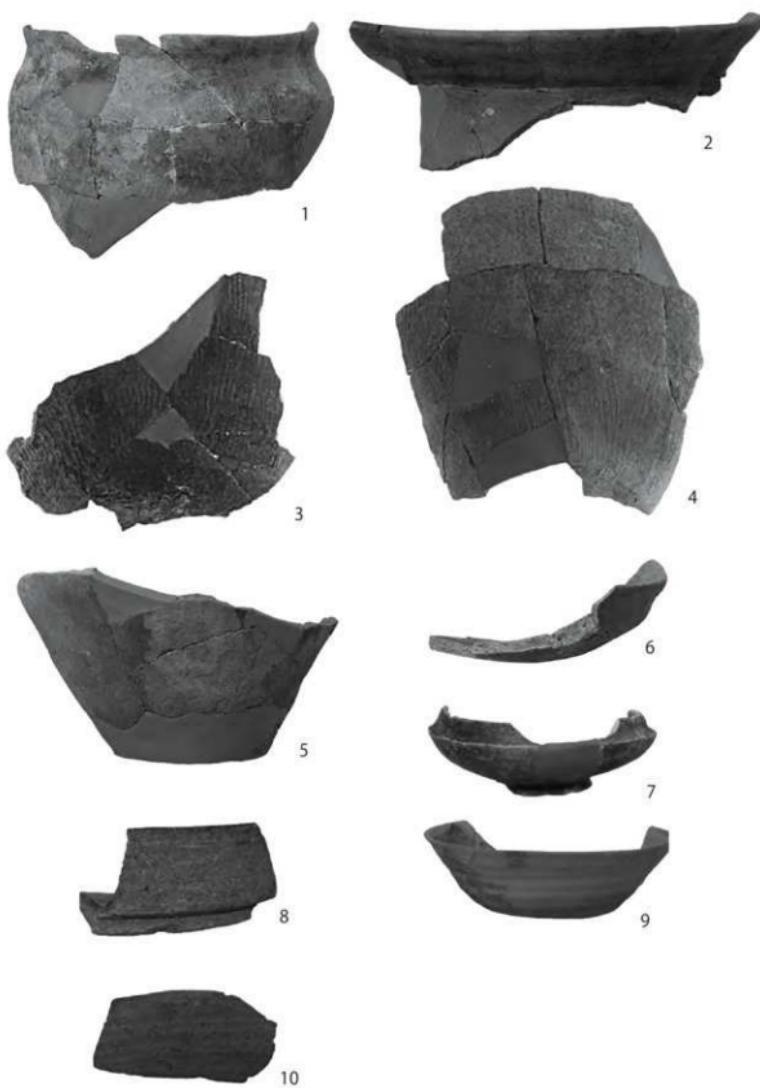


6区第5号住居址出土土器（1）



6区第5号住居址出土土器 (2)

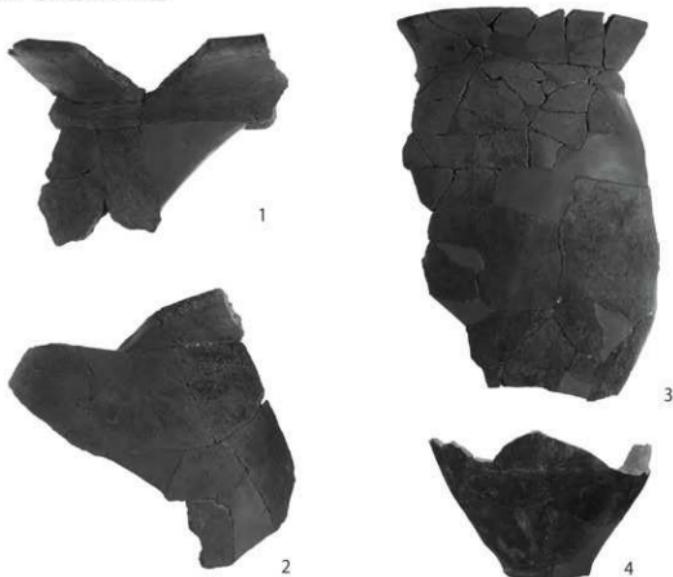




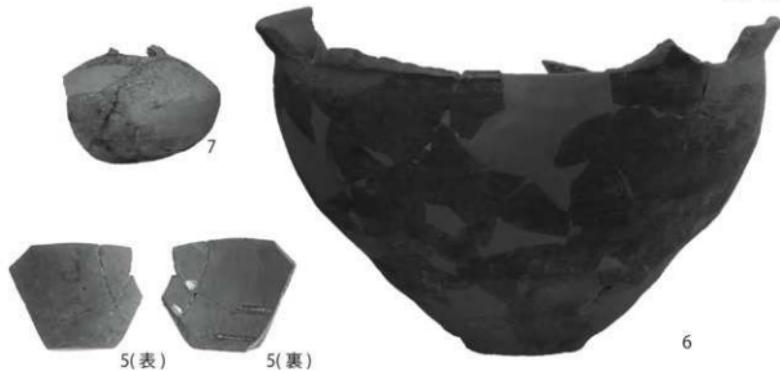
6区第6号住居址出土土器



6区第7号住居址出土土器



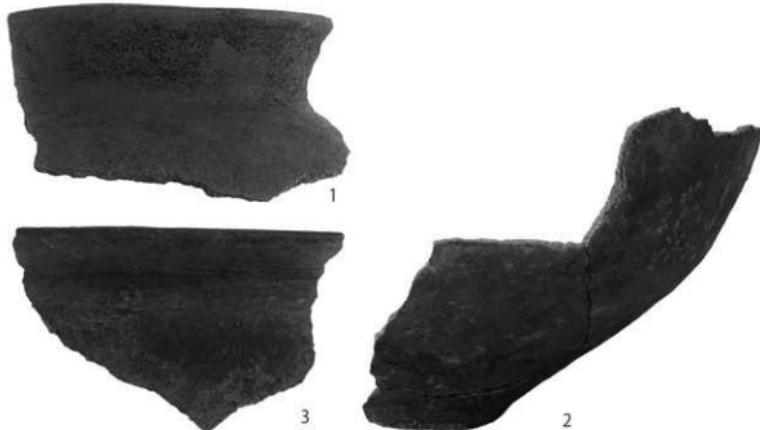
6区第8号住居址出土土器（1）



6区第8号住居址出土土器 (2)



1·2 6区第9号住居址出土土器 6 6区第10号住居址出土土器



6区第13号住居址出土土器 (1)



4



5

6区第13号住居址出土土器 (2)



1(表)



1(裏)



2

6区第14号住居址出土土器



1



2



3



4

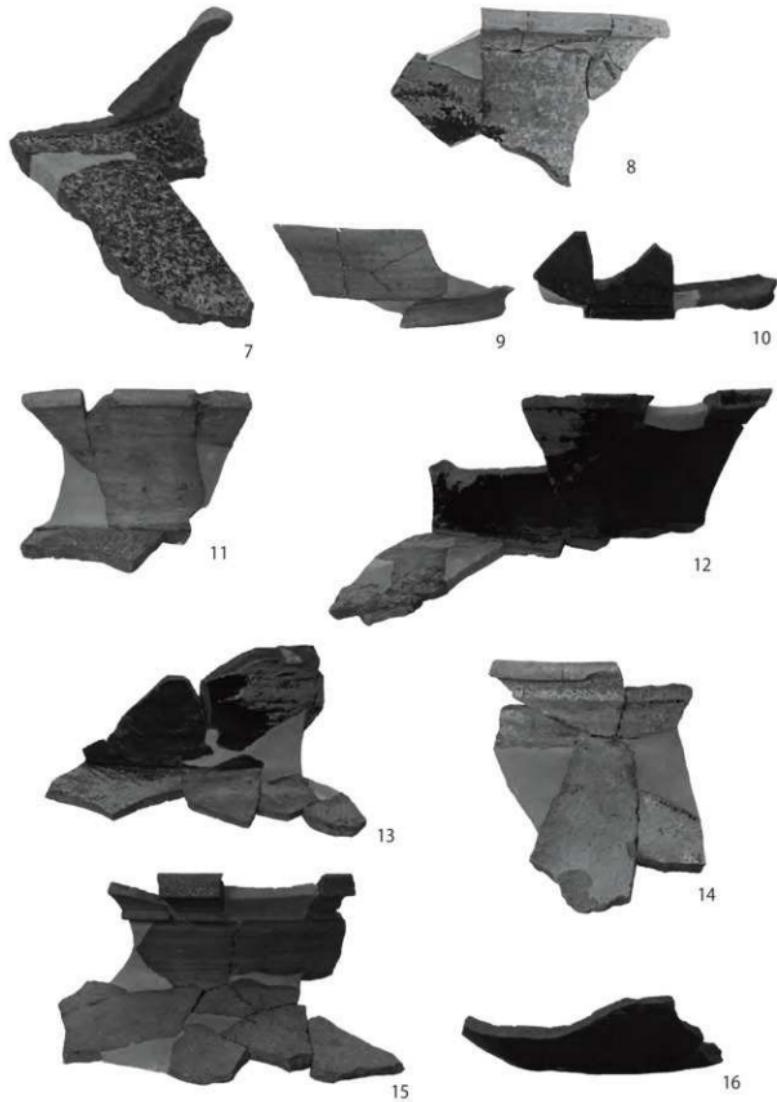


5

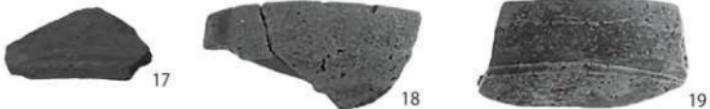


6

6区溝状遺構出土土器 (1)



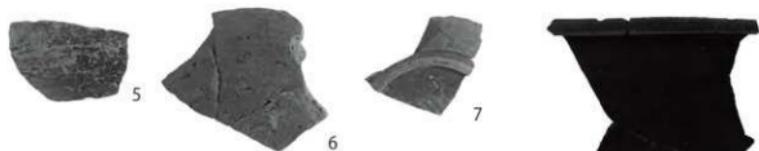
6区溝状遺構出土土器（2）



6区溝状遺構出土土器 (3)



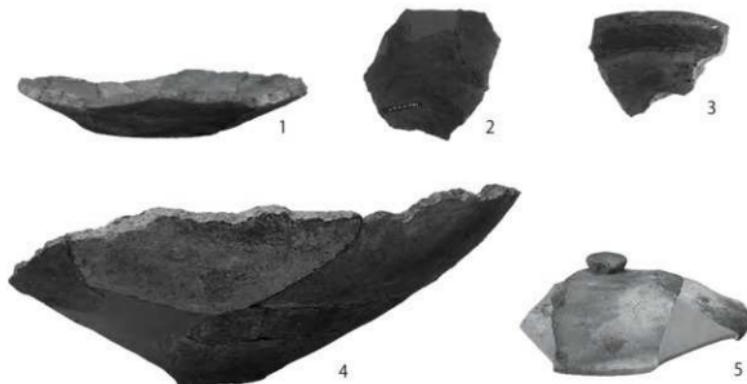
6区ピット出土土器



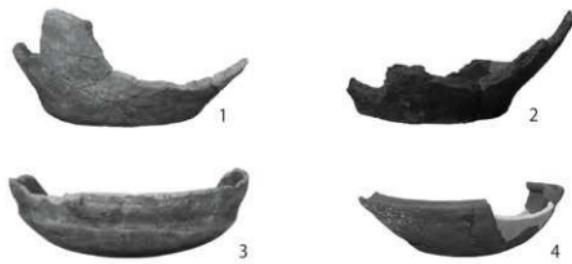
6区遺構外出土土器 (1)



6区遺構外出土土器（2）



4区第1号住居址出土土器



4区第2号住居址出土土器



4区第4号住居址出土土器

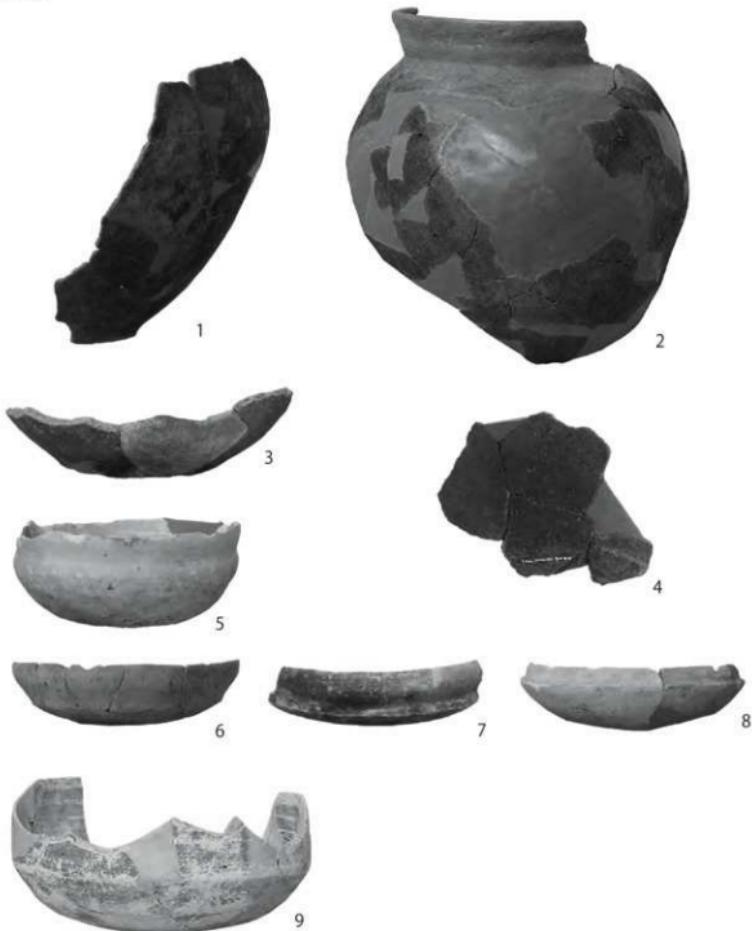


4区第4号住居址出土土器

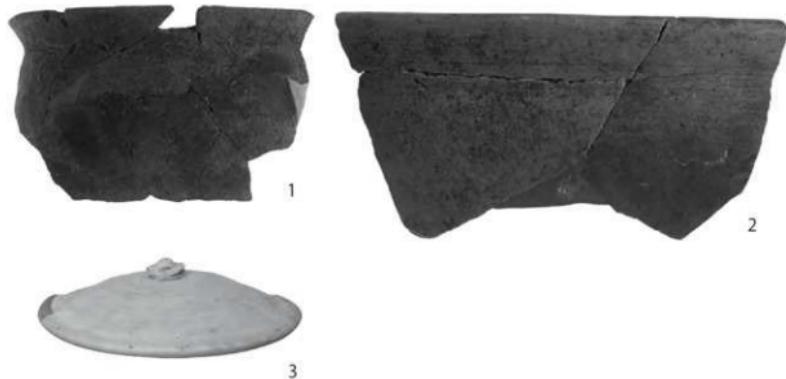


4区第5号住居址出土土器

4区第6号住居址出土土器



4区第7号住居址出土土器



4区第9号住居址出土土器



4区第10号住居址出土土器 (1)

P.L. 120



6



7



8



9



10



11

4区第10号住居址出土土器 (2)



1



2



3



4



5



6



7

4区第11号住居址出土土器 (1)



8



9



10



11



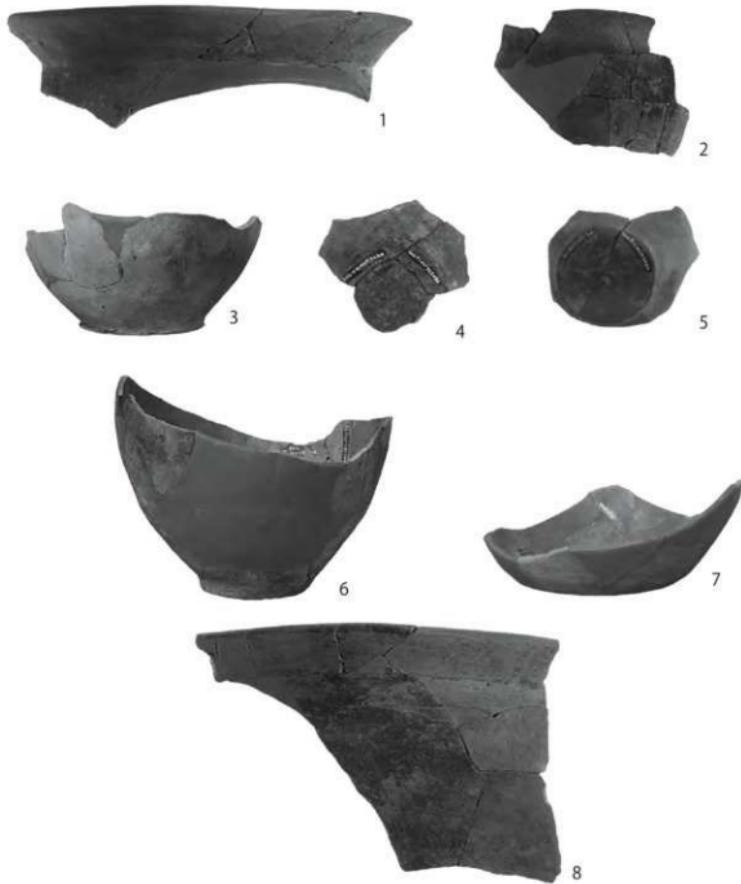
12

4区第11号住居址出土土器（2）



1

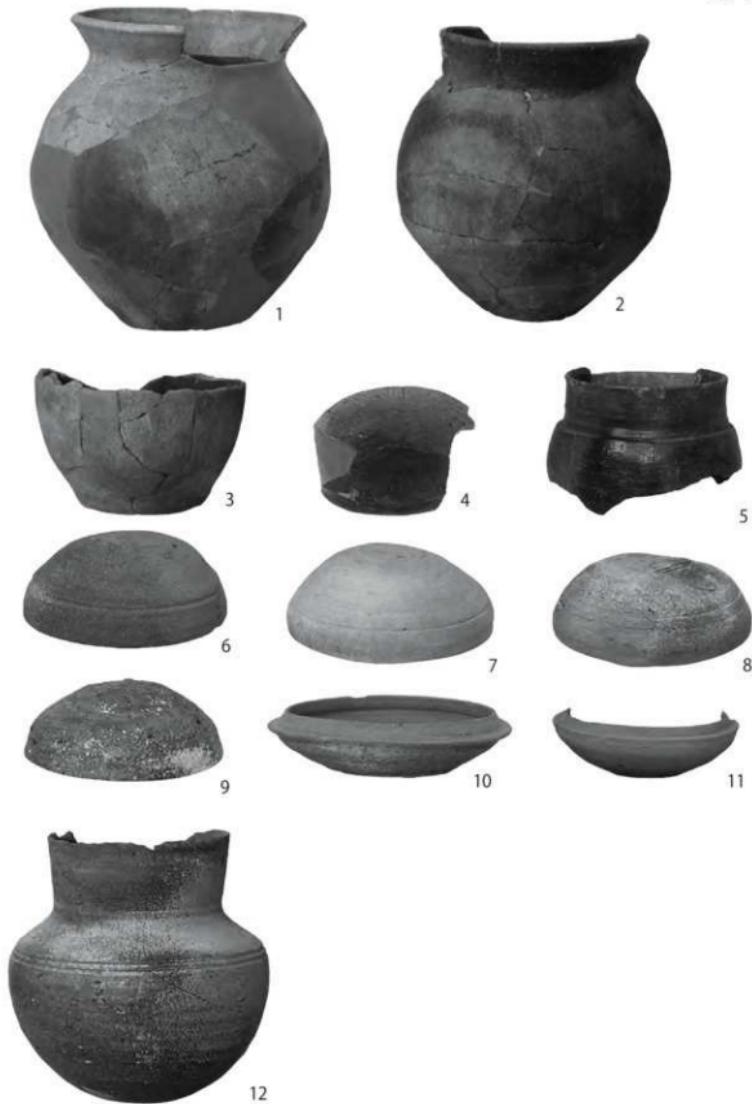
4区第12号住居址出土土器



4区第14号住居址出土土器



4区第22号住居址出土土器



4区第15号住居址出土土器

P.L. 124



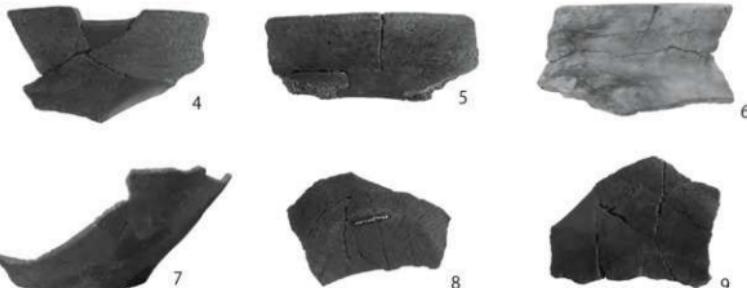
4区第16号住居址出土土器



4区第21号住居址出土土器（1）

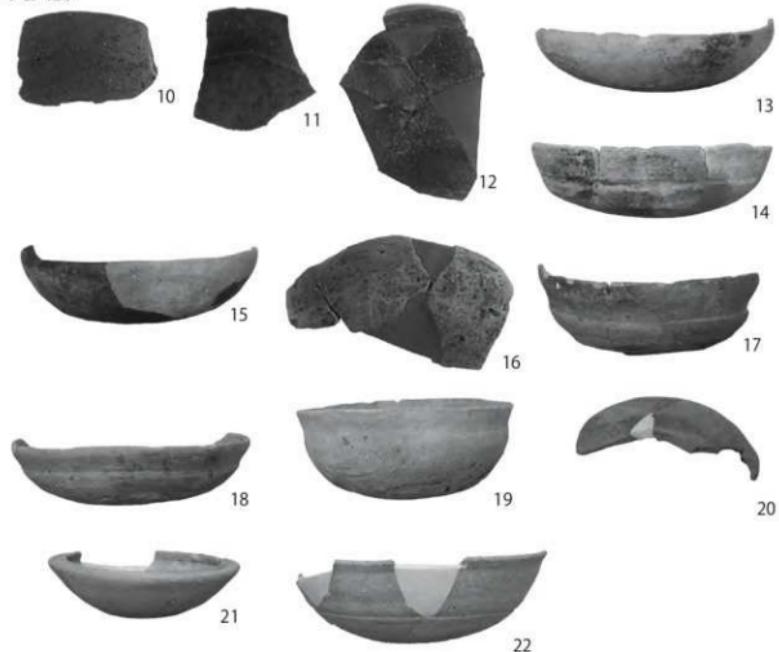


4区第21号住居址出土土器（2）

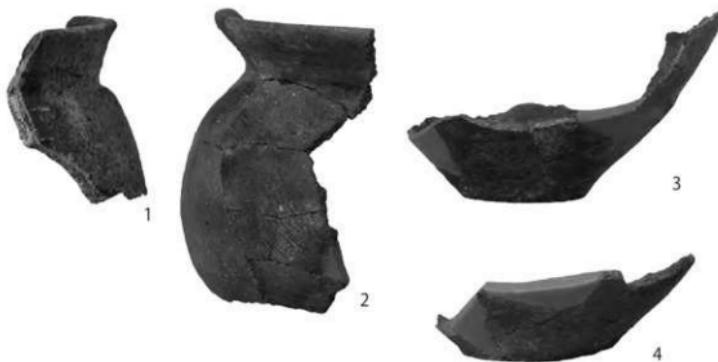


4区第17号住居址出土土器（1）

P.L. 126



4区第17号住居址出土土器 (2)



4区第18号住居址出土土器 (1)



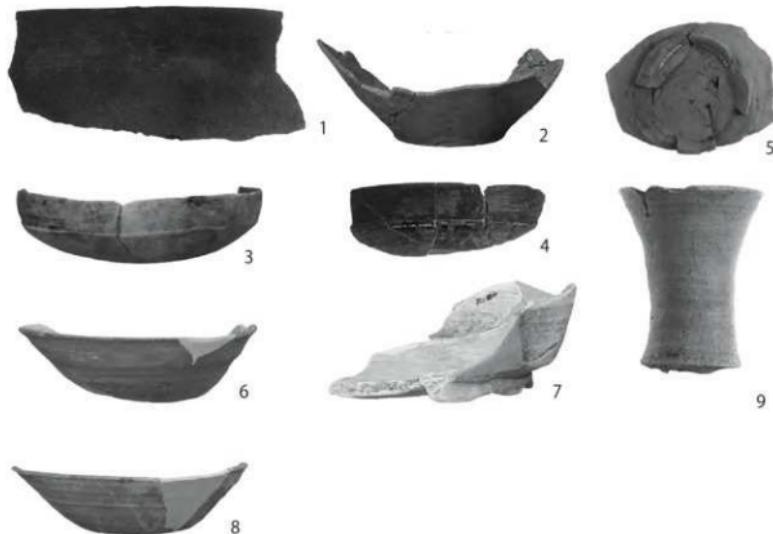
4区第18号住居址出土土器（2）



4区第20号住居址出土土器



4区第3号掘立柱建物址出土土器



4区溝状遺構出土土器

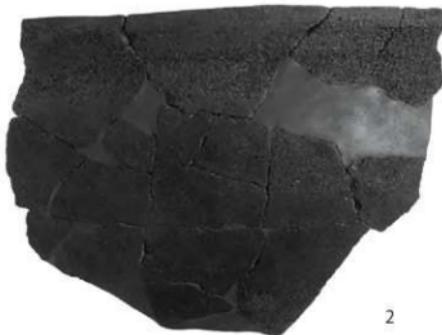


1

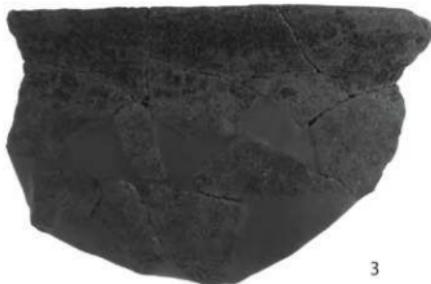
4区ピット出土土器



1



2



3

4区遺構外出土土器（1）



4



5



6



7



9



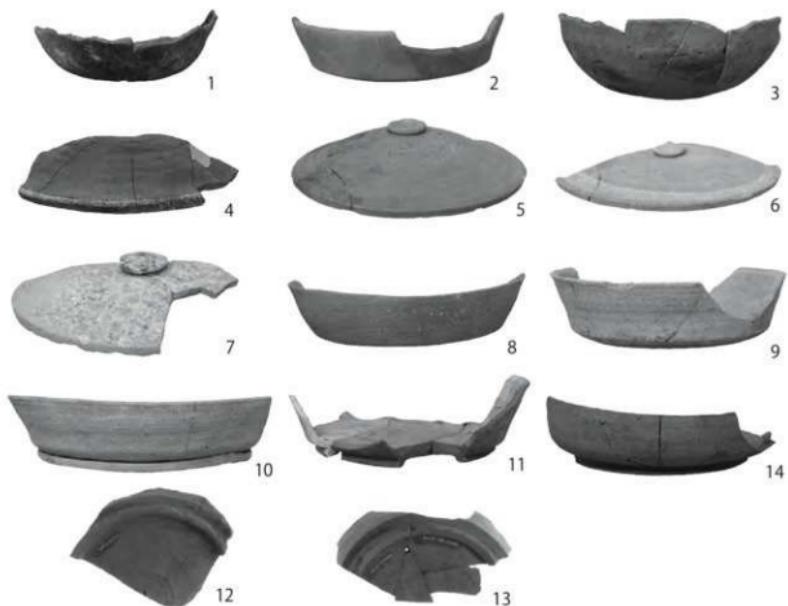
8(表)



8(裏)

4区遺構外出土土器（2）

P.L. 130



7区第1号住居址出土土器



7区第2号住居址出土土器（1）



7区第2号住居址出土土器 (2)



7区第3号住居址出土土器



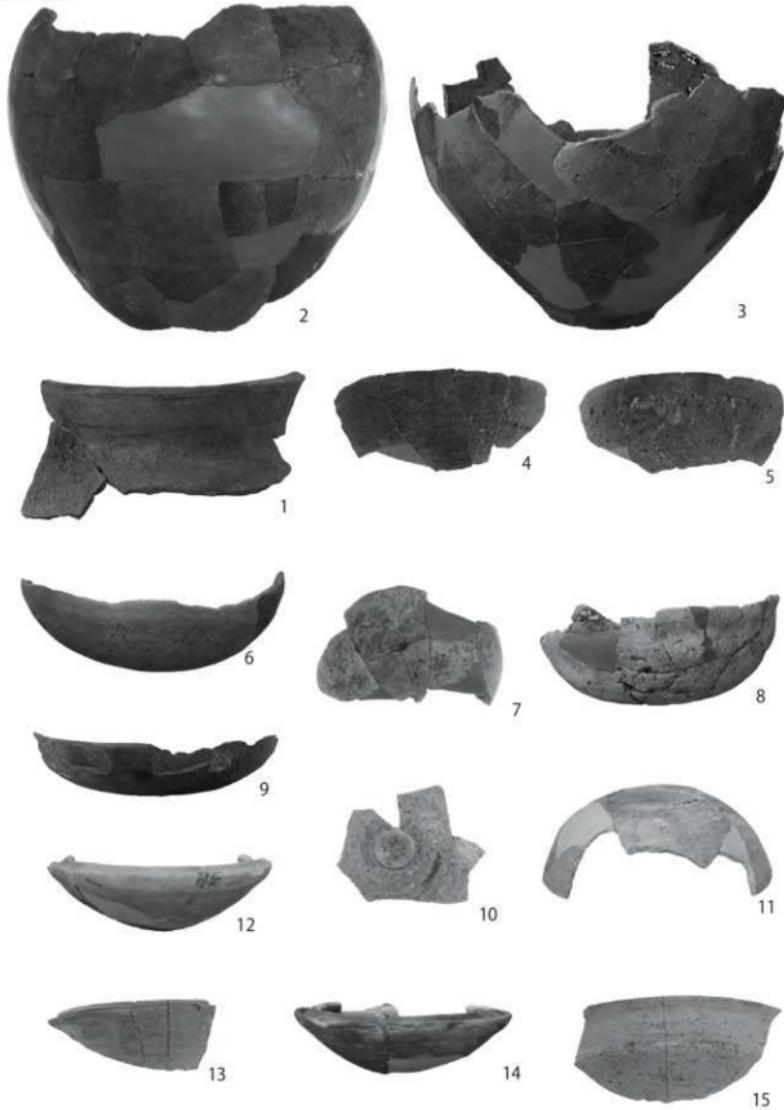
7区第4号住居址出土土器 (1)



7区第4号住居址出土土器 (2)



7区第5号住居址出土土器



7区第6号住居址出土土器



1



2

7区第7号住居址出土土器



1



2



4



3



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14

7区第8号住居址出土土器 (1)



15



16

7区第8号住居址出土土器 (2)



1

7区第36号住居址出土土器



1



2



3



5



6



4



7

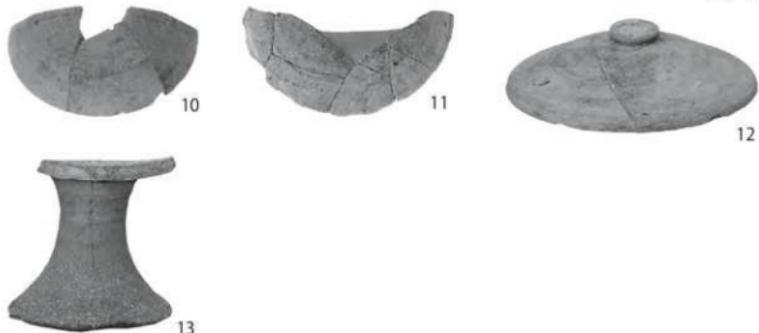


8



9

7区第10号住居址出土土器 (1)



7区第10号住居址出土土器 (2)



7区第11号住居址出土土器 (1)



9



10

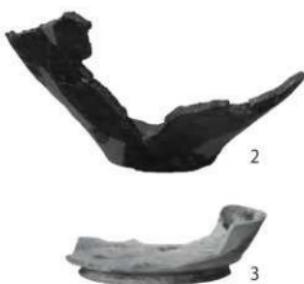


11

7区第11号住居址出土土器 (2)



1



2

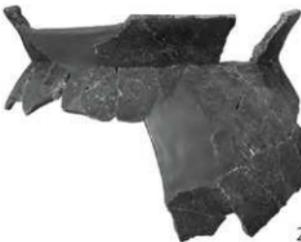


3

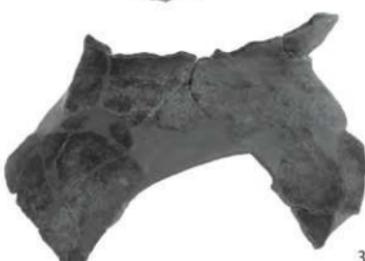
7区第12号住居址出土土器



1



2

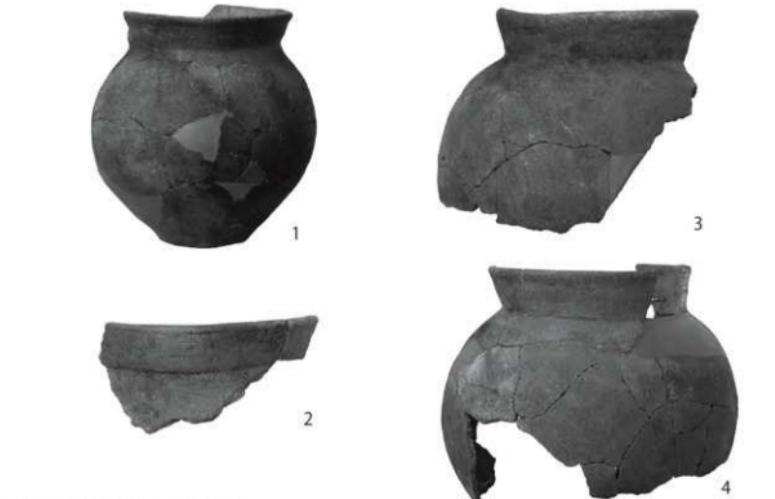


3

7区第15号住居址出土土器 (1)



7区第15号住居址出土土器 (2)



7区第16号住居址出土土器 (1)



7区第16号住居址出土土器 (2)



7区第17号住居址出土土器



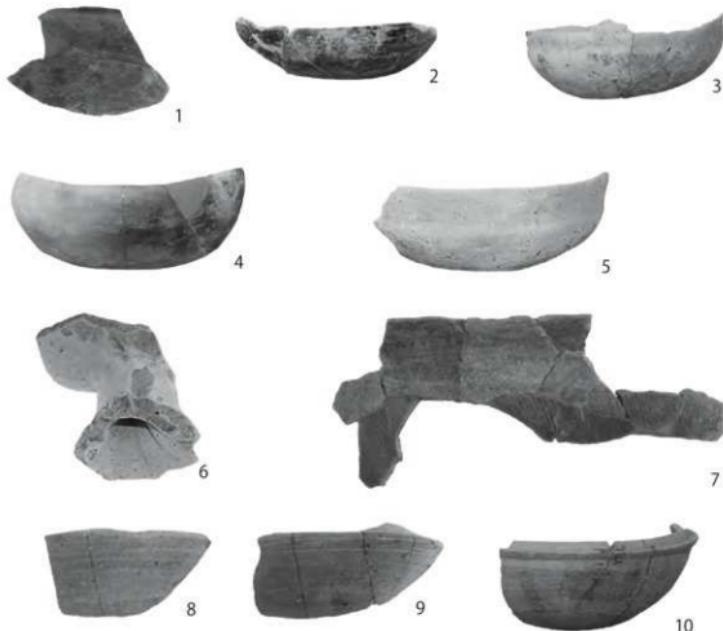
7区第18号住居址出土土器



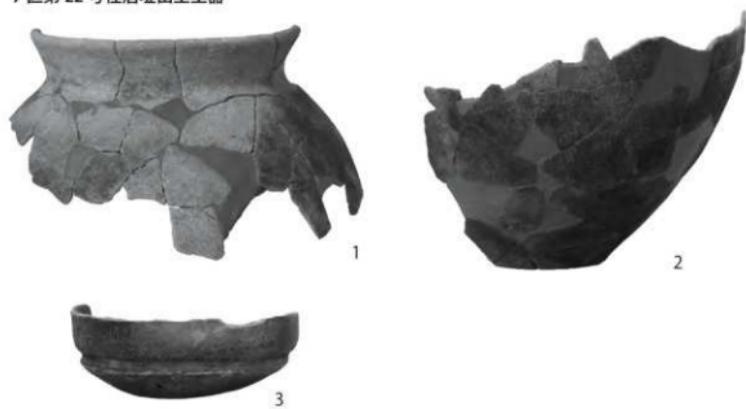
7区第20号住居址出土土器



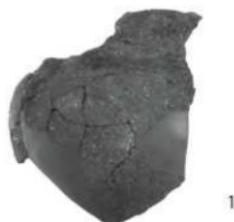
7区第21号住居址出土土器



7区第22号住居址出土土器



7区第23号住居址出土土器



1

7区第24号住居址出土土器



1



2

7区第25号住居址出土土器



1



2



3



4

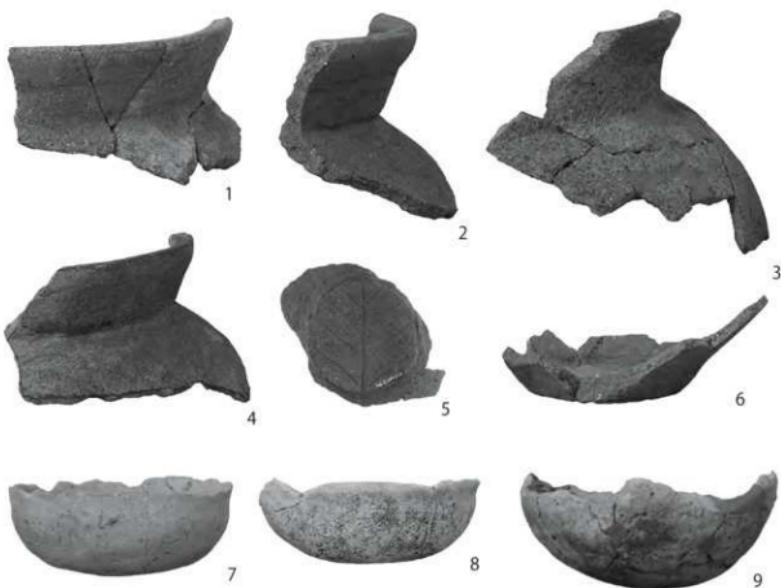


5

7区第27号住居址出土土器



7区第28号住居址出土土器



7区第29号住居址出土土器（1）



7区第29号住居址出土土器 (2)



7区第30号住居址出土土器 (1)



4



5



6



7



8

7区第30号住居址出土土器 (2)



1



2



3



4



5



6



11



12

7区第31号住居址出土土器 (1)



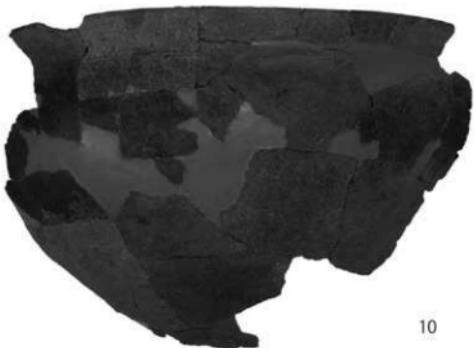
7



9

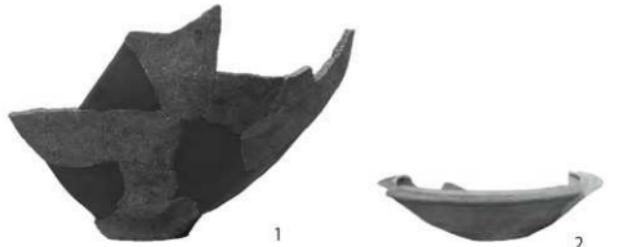


8



10

7区第31号住居址出土土器（2）



7区第33号住居址出土土器



7区溝状遺構出土土器



1

7区第ピット出土土器



1



2



3



4



5



6

7区第1号不明遺構出土土器



1

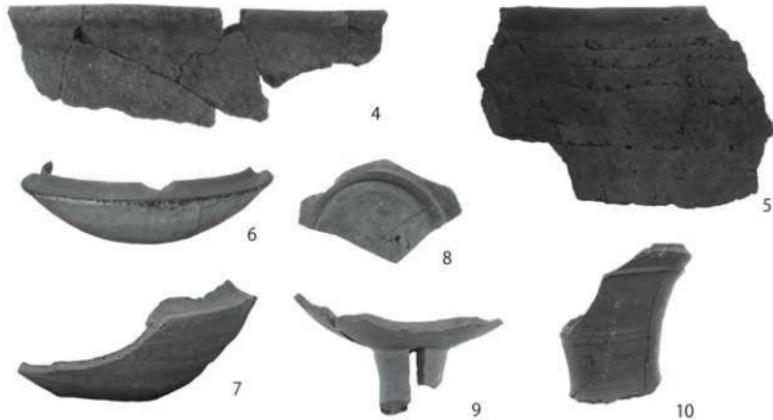


3



2

7区遺構外出土土器



7区遺構外出土土器



3区・5区出土石器、石製品



6区・4区・7区出土石器、石製品

P.L. 152



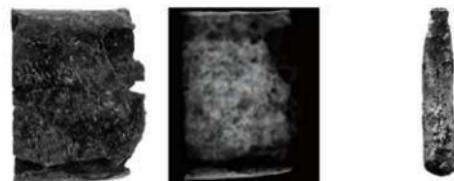
紡錘車・土錘・印



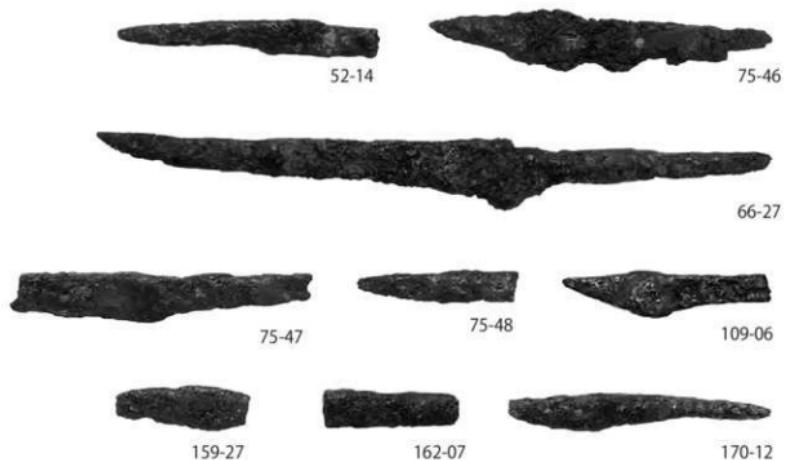
耳環・銅環



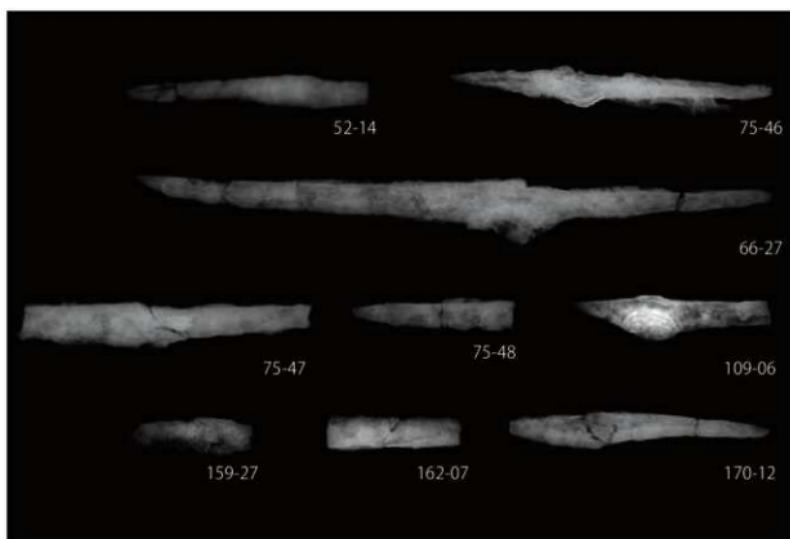
銅製鉸具



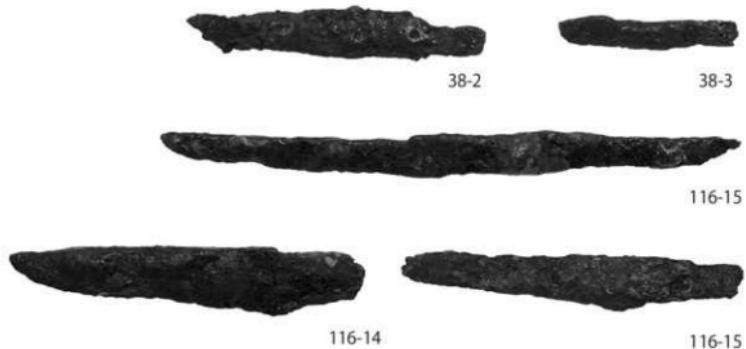
銅製錐・刺金



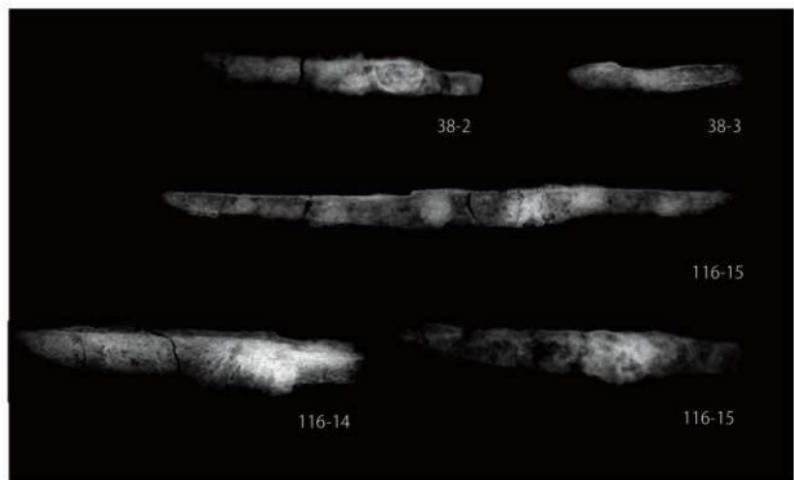
8区・5区・6区出土刀子（数字は第1分冊の図版番号に対応）



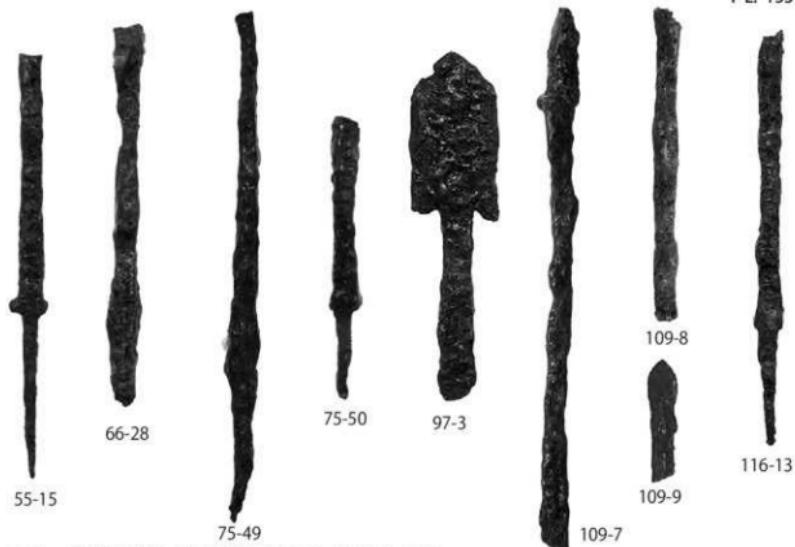
8区・5区・6区出土刀子 X線透過写真



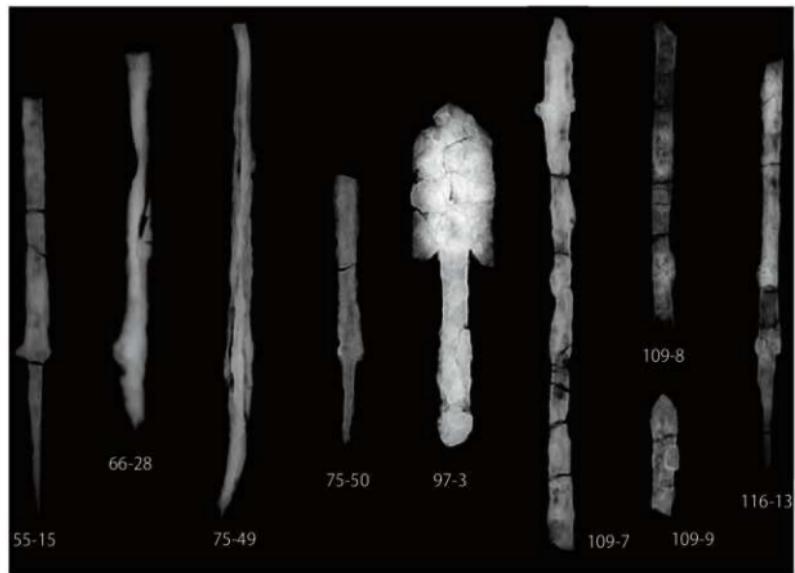
4区・7区出土刀子（数字は第2分冊の図版番号に対応）



4区・7区出土刀子 X線透視写真



8区・5区出土鉄鎌 (数字は第1分冊の図版番号に対応)



8区・5区出土鉄鎌 X線透過写真

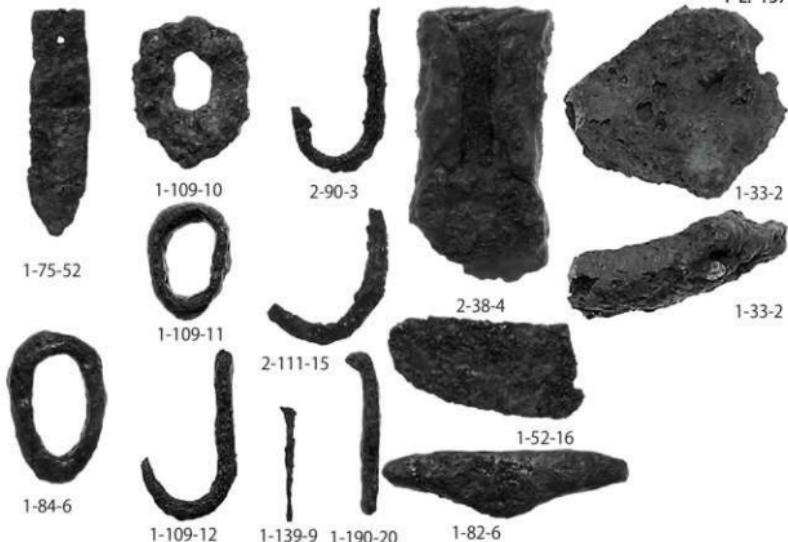
P.L. 156



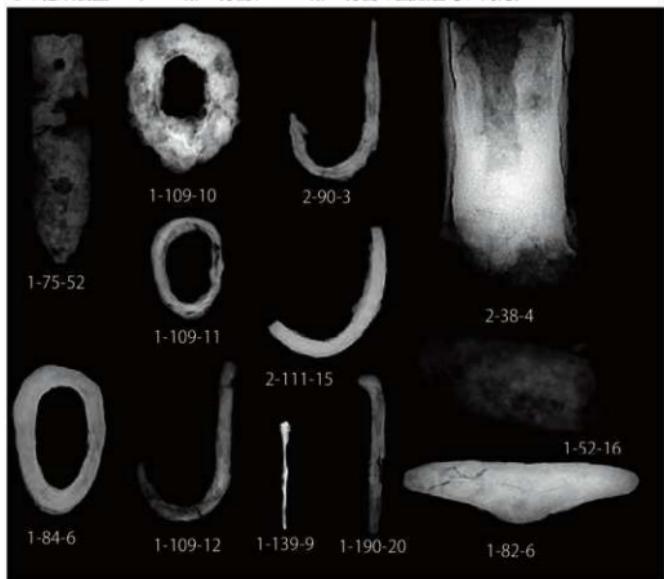
6区・4区・7区出土鉄鎌・鎌・吊金具（1-：第1分冊、2-：第2分冊の図版番号に対応）



6区・4区・7区出土鉄鎌・鎌・吊金具X線透過写真（1-：第1分冊、2-：第2分冊の図版番号に対応）



その他鉄製品 1 (1- : 第 1 分冊、2- : 第 2 分冊の図版番号に対応)



その他鉄製品 X線透過写真 (1- : 第 1 分冊、2- : 第 2 分冊の図版番号に対応)

P.L. 158

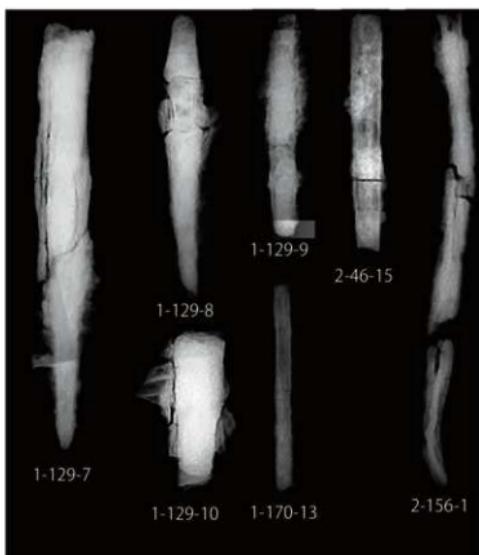


2-37-10

その他鉄製品 2 X線透過写真



その他鉄製品 2



報告書抄録

沼津市文化財調査報告書 第113集

中原遺跡発掘調査報告書

(第3分冊)

平成28年2月19日 印刷

平成28年3月4日 発行

編 集／沼津市教育委員会

発 行／沼津市教育委員会

沼津市御幸町16番1号

TEL(055)931-2500㈹

印 刷／みどり美術印刷株式会社